

事務事業評価報告書

(平成16年度決算評価)

新しい行政経営システムの構築をめざして

事業チェックシート編

総務部・生活環境部・保健福祉部・建設部

消防本部・水道部・教育委員会

平成17年11月

芦屋市

目 次

1	事務事業チェックシート目次	1
2	所管評価及び市評価結果の概要	4
3	事務事業チェックシート	10

平成16年度事務事業報告書目次(平成17年度評価)

部	所管NO	所管名	平成16年度 評価結果一覧				事業NO	事務事業名	ページ	
			H16 1次	H16 2次	H16 外部	H16 年度 新規 事業				
総務部 (行政経営)	0201	総務部行政経営課	D	C	C		1420010	平和施策	10 ~ 11	
	0201	総務部行政経営課	D	D	D		3420010	しそう森林王国協会との国内交流事業	12 ~ 13	
	0206	総務部広報課	C	B	C		5110020	広報刊行物発行	14 ~ 15	
	0206	総務部広報課	B	D	D		5110150	CATV広報チャンネル制作	16 ~ 17	
	0208	市民参画課	C	C	C		1140010	地区集会所管理運営事業	18 ~ 19	
	0209	総務部国際文化担当	D	D	D		3250050	「阪神芸術祭」の開催	20 ~ 21	
	0209	総務部国際文化担当	C	C	D		3410010	海外諸都市との交流事業の促進	22 ~ 23	
	0209	総務部国際文化担当	D	B	C		5110060	アシヤニュースレターの発行	24 ~ 25	
	0210	総務部男女共同参画推進担当	C	C	C		3310020	共生を目指す関係団体のネットワーク	26 ~ 27	
	0210	総務部男女共同参画推進担当	B	B	C		3320010	男女共生に関する情報収集、提供と情報コーナーの活用	28 ~ 29	
0210	総務部男女共同参画推進担当	A	B	C		3320020	女性センター運営事業	30 ~ 31		
生活環境部	0401	生活環境部総務課	D	D	D		1320160	薬剤散布等環境衛生業務	32 ~ 33	
	0401	生活環境部総務課	B	D	D		1320180	空閑地対策業務	34 ~ 35	
	0401	生活環境部総務課	B	D	D		4340010	芦屋市霊園維持管理業務	36 ~ 37	
	0401	生活環境部総務課	D	D	D		4340050	あしや温泉運営管理業務	38 ~ 39	
	0405	生活環境部市民課	B	B	C		5230900	ラポルテ市民サービスコーナー運営	40 ~ 41	
	0406	生活環境部経済課	B	D	D		1510200	市民農園事業	42 ~ 43	
	0406	生活環境部経済課	B	B	C		1530030	商業活性化事業	44 ~ 45	
	0411	生活環境部環境処理セン	D	D	D		1310090	ごみ計量業務	46 ~ 47	
	0411	生活環境部環境処理セン	D	D	D		1310140	パイプライン施設整備事業	48 ~ 49	
保健福祉部	0501	保健福祉部総務課	B	B	C		2220050	福祉サービス利用援助事業	50 ~ 51	
	0501	保健福祉部総務課	B	B	C		2310020	高齢者の地域活動の推進	52 ~ 53	
	0502	保健福祉部生活介護課	B	B	C		2610020	生活困窮者に対する法外扶助金給付事業	54 ~ 55	
	0502	保健福祉部生活介護課	D	B	D		2620030	被災者自立支援金支給事務	56 ~ 57	
	0503	保健福祉部健康課	A	D	C		2120010	特定疾病療養費補助事業	58 ~ 59	
	0503	保健福祉部健康課	A	B	D		2120070	地域保健事業	60 ~ 61	
	0503	保健福祉部健康課	A	B	C		2120080	健康診査事業	62 ~ 63	
	0503	保健福祉部健康課	A	B	C		2120100	機能訓練事業	64 ~ 65	
	0503	保健福祉部健康課	A	B	C		2120110	介護予防・生きがい生活支援事業	66 ~ 67	
	0503	保健福祉部健康課	A	C	C		2120130	保健センター維持管理	68 ~ 69	
	0503	保健福祉部健康課	A	B	C		2120140	保健センター設備整備事業	70 ~ 71	
	0503	保健福祉部健康課	A	B	C		2120210	保健センター事業	72 ~ 73	
	0503	保健福祉部健康課	A	B	C		2130010	健康教育事業	74 ~ 75	
	0503	保健福祉部健康課	A	B	C		2130020	健康相談	76 ~ 77	
	0503	保健福祉部健康課	A	B	C		2410120	育児相談	78 ~ 79	
	0503	保健福祉部健康課	A	B	C		2410130	育児教室	80 ~ 81	
	0503	保健福祉部健康課	A	B	C		2410140	乳幼児育成指導事業	82 ~ 83	
	0504	保健福祉部障害福祉課	A	B	C		2510010	心身障害者福祉事業	84 ~ 85	
	0504	保健福祉部障害福祉課	A	D	D		2510070	芦屋市福祉金の支給事務	86 ~ 87	
	0504	保健福祉部障害福祉課	A	B	C		2520010	早期療育訓練事業	88 ~ 89	
	0505	保健福祉部こども課	D	B	C		2410080	保育所の運営及び維持管理業務	90 ~ 91	
	0505	保健福祉部こども課	B	B	C		2420120	子育て支援事業	92 ~ 93	
	0507	保健福祉部老年福祉課	A	D	D		2310040	生きがい活動支援事業	94 ~ 95	
	0507	保健福祉部老年福祉課	A	D	D		2310070	社会参加・生きがい事業	96 ~ 97	
	0507	保健福祉部老年福祉課	A	C	C		2310080	高齢者バス運賃助成事業	98 ~ 99	
	0507	保健福祉部老年福祉課	B	B	C		2340150	介護予防・生活支援事業	100 ~ 101	
	0507	保健福祉部老年福祉課	A	D	D		2340280	敬老祝金	102 ~ 103	
	0507	保健福祉部老年福祉課	A	D	D		2340350	高齢世帯生活援助員派遣事業	104 ~ 105	
	0507	保健福祉部老年福祉課	A	B	D		2340390	高齢者相談業務	106 ~ 107	
	0510	保健福祉部養護老人ホーム和風園	B	D	C		2340120	養護老人ホーム運営事業	108 ~ 109	
	建設部	0601	建設部総務課	D	D	D		1220090	都市計画事業特別融資制度、芦屋市既成宅地防災工事資金融資あっせん制度	110 ~ 111
		0602	建設部住宅課	B	D	D		2620040	災害復興住宅特別融資制度	112 ~ 113
		0602	建設部住宅課	B	D	D		2620050	高齢者住宅再建支援事業	114 ~ 115
0602		建設部住宅課	D	D	D		2620060	民間賃貸住宅家賃負担軽減事業	116 ~ 117	
0602		建設部住宅課	D	D	D		4310030	特定優良賃貸住宅家賃対策補助	118 ~ 119	
0602		建設部住宅課	B	B	C		4310060	市営住宅管理業務	120 ~ 121	
0602		建設部住宅課	B	B	C		4310080	市営住宅募集業務	122 ~ 123	
0602		建設部住宅課	B	B	C		4310110	住宅使用料等に関する事務	124 ~ 125	
0602		建設部住宅課	B	D	C		4310140	市営住宅等入居者対応	126 ~ 127	
0602		建設部住宅課	B	B	C		4310150	上宮川町住宅管理業務	128 ~ 129	
0602		建設部住宅課	B	B	C		4310170	若宮町住宅管理業務	130 ~ 131	
0602		建設部住宅課	B	B	C		4310180	県公社住宅管理業務	132 ~ 133	
0602		建設部住宅課	B	B	C		4310200	従前居住者用住宅管理業務	134 ~ 135	
0606		建設部公園緑地課	B	D	C		4130260	南芦屋浜公園等管理業務	136 ~ 137	
0606		建設部公園緑地課	B	B	C		4420120	都市公園維持・管理	138 ~ 139	
0606		建設部公園緑地課	B	D	D		4420160	まちなみ緑化助成事業関係業務	140 ~ 141	
0606		建設部公園緑地課	B	B	D		4420270	住民緑化団体育成事業	142 ~ 143	

平成16年度事務事業報告書目次(平成17年度評価)

部	所管NO	所管名	平成16年度 評価結果一覧				事業NO	事務事業名	ページ
			H16 1次	H16 2次	H16 外部	H16 年度 新規 事業			
	0606	建設部公園緑地課	C	D	D		4420280	生け垣等設置助成事業	144 ~ 145
	0607	建設部庭園都市推進担当				新規	4420690	庭園都市推進に関する業務	146 ~ 147
	0608	建設部下水道課	D	D	D		4330190	下水道施設建設費負担金設計業務	148 ~ 149
	0609	建設部下水処理場	B	B	C		4330270	下水処理場・ポンプ場維持管理業務	150 ~ 151
建設部 (都市計 画)	0705	建設部建築指導課	A	A	C		4130110	建築基準法の施行に関する事務	152 ~ 153
	0705	建設部建築指導課	A	C	C		4230030	駐車場法に規定する建築物である路外駐車場の設置に関する事務	154 ~ 155
	0705	建設部建築指導課	D	D	D		4310250	住宅金融公庫からの受託に係る審査及び検査事務	156 ~ 157
消防本部	1502	消防本部警防課	B	B	C		1240060	火災証明等発行及び各種願届出処理	158 ~ 159
	1505	消防本部予防課	D	C	C		1220270	液化石油ガス設備, 高圧ガス消費施設, 火薬庫等への立入検査火災予防措置	160 ~ 161
	1505	消防本部予防課	B	D	C		1240130	芦屋危険物安全協会, 芦屋市少年消防クラブの育成指導	162 ~ 163
	1507	消防署・高浜分署	B	B	C		1240090	火災予防相談と防火思想の普及啓発	164 ~ 165
	1601	管理部総務課	D	D	D		3120260	高等学校修学旅行費援助費	166 ~ 167
教育委員 会 学校教育 部	1701	学校教育部学校教育課	B	B	C				
	1701	学校教育部学校教育課	A	C	C		2410150	カウンセリングセンター管理運営	168 ~ 169
	1701	学校教育部学校教育課	B	D	C		3110010	特色ある学校園づくり支援事業	170 ~ 171
	1701	学校教育部学校教育課	A	B	C		3110020	学校園創立記念事業	172 ~ 173
	1701	学校教育部学校教育課	A	B	C		3120070	適応教室実施事業	174 ~ 175
	1704	学校教育部打出教育文化センター	D	D	C		3120200	打出教育文化センター一般事業	176 ~ 177
	1704	学校教育部打出教育文化センター	B	B	C		3130050	打出教育文化センター出版刊行事業	178 ~ 179
	1704	学校教育部打出教育文化センター	B	D	C		3130060	打出教育文化センター管理運営	180 ~ 181
教育委員 会 社会教育 部	1801	社会教育部生涯学習課	B	B	C				
	1801	社会教育部生涯学習課	C	B	C		3210280	三条分室及び三条デイサービスセンターの維持管理	182 ~ 183
	1801	社会教育部生涯学習課	C	B	C		3260020	発掘調査の円滑化	184 ~ 185
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	D	D	C		2410160	青少年育成事業(小・中学生レクリエーションキャンプ)	186 ~ 187
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	D	D	C		2410170	青少年育成事業(手作り教室等)	188 ~ 189
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	D	D	C		3210130	成人式	190 ~ 191
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	D	D	C		3220010	青少年団体及びリーダー育成事業(青少年リーダーの育成)	192 ~ 193
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	B	D	C		3240020	スポーツリーダー認定講習会	194 ~ 195
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	B	D	C		3240040	体育の日の行事	196 ~ 197
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	A	D	D		3240050	市民ゴルフ大会	198 ~ 199
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	B	D	D		3240060	生活の中にひと汗運動	200 ~ 201
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	B	D	C		3240070	ニュースポーツ・レクリエーション啓発事業	202 ~ 203
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	D	D	C		3240080	競技スポーツ推進事業	204 ~ 205
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	B	D	C		3240160	海浜公園プール管理運営	206 ~ 207
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	D	D	C		3240180	スポーツ振興基金事業	208 ~ 209
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	B	D	C		3240200	体育館管理運営	210 ~ 211
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	D	D	C		3240210	中央公園野球場, 川西運動場, 芝生広場管理運営	212 ~ 213
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	B	D	C		3240220	テニスコートの運営管理	214 ~ 215
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	D	D	D		3240230	市民プール管理運営	216 ~ 217
	1804	社会教育部スポーツ・青少年課	B	B	C		3240290	スポーツ振興基金事業(市長杯・教育長杯事業)	218 ~ 219
	1806	社会教育部公民館	B	B	C		3210060	芦屋川カレッジ	220 ~ 221
	1806	社会教育部公民館	B	B	C		3210070	芦屋川セカンド・カレッジ	222 ~ 223
	1806	社会教育部市民センター	B	B	C		3210210	市民センター管理運営	224 ~ 225
	1807	社会教育部図書館	D	D	D		3210170	図書館運営事業(視聴覚ライブラリー)	226 ~ 227
	1807	社会教育部図書館	B	D	C		3210180	図書館運営事業(読書会・研究会・鑑賞会等の主催)	228 ~ 229

平成16年度事務事業報告書目次(平成17年度評価)

部	所管NO	所管名	平成16年度 評価結果一覧				事業NO	事務事業名	ページ
			H16 1次	H16 2次	H16 外部	H16 年度 新規 事業			
	1807	社会教育部図書館	D	D	C		3210190	図書館運営事業(資料発行)	230 ~ 231
	1809	社会教育部谷崎潤一郎記念館	B	D	C		3210240	谷崎潤一郎記念館の管理運営	232 ~ 233
	1809	社会教育部谷崎潤一郎記念館	D	D	C		3250170	谷崎潤一郎賞受賞記念文化事業	234 ~ 235
	1809	社会教育部谷崎潤一郎記念館	D	D	C		3250190	谷崎潤一郎に関する資料の収集・整理・展示事業	236 ~ 237
	1809	社会教育部谷崎潤一郎記念館	D	D	C		3250210	谷崎潤一郎及び記念館に関する資料等の出版事業	238 ~ 239
	1810	社会教育部美術博物館	D	D	C		3210260	美術博物館管理運営	240 ~ 241
	1810	社会教育部美術博物館	D	D	C		3250110	富田碎花顕彰事業管理委託	242 ~ 243
	1810	社会教育部美術博物館	D	D	C		3250230	美術博物館展示等委託事業	244 ~ 245
	1810	社会教育部美術博物館	B	D	C		3250270	公募展	246 ~ 247

昨年外部評価'C」	84
昨年外部評価'D」	34
新規事業	1
平成17年度評価事業数	119

平成 17 年度評価(平成 16 年度事務事業)
所管評価及び市評価結果の概要.doc

行政経営課

所管別対象事業数

所管部名	対象事業数	総事業数	对所管%	対全体%
総務部	0	58	0%	0%
総務部(行政経営)	11	43	25.5%	9.2%
総務部(財務)	0	18	0%	0%
生活環境部	9	73	12.3%	7.5%
保健福祉部	30	103	29.1%	25.2%
建設部	21	100	21.0%	17.6%
建設部(都市計画)	3	62	4.8%	2.5%
消防本部	4	61	6.5%	3.3%
教委管理部	1	38	2.6%	0.8%
学校教育部	7	33	21.2%	5.8%
社会教育部	33	77	42.8%	27.7%
計	119	670	17.7%	100%

総合評価別対象事業数

総合評価	1次評価 (所管評価)		2次評価 (市評価)	
A	28	23.5%	2	1.7%
B	52	43.7%	57	47.9%
C	6	5.0%	5	4.2%
D	33	27.7%	55	46.2%
計	119	100%	119	100%

今後の方向性別対象事業数

今後の方向性	1次評価 (所管)		2次評価 (市評価)	
拡大・充実	5	4.2%	1	0.8%
現状維持	46	39.4%	7	5.8%
方法改善	25	21.0%	36	30.2%
民間委託等	28	23.5%	40	33.6%
縮小	2	1.6%	7	5.8%
統合 / 終期設定	1	0.8%	12	10.0%
廃止 / 休止	11	9.2%	16	13.4%
計	119	100%	119	100%

部	課	事業番号	事業名	市 評 価					
				所管 評価	2次 評価	所管課 方向性	2次評価 方向性	2評価コメント	
1	総務部	行政経営課	3420010	しそ森林王国協会との国内 交流事業	D	D	方法改 善	廃止/ 休止	(交流事業としては、休止の状態である。)
2	総務部	行政経営課	1420010	平和施策	C	C	方法改 善	方法改 善	人権推進事業との統合など効率的な執行体制を検討する 必要があります。
3	総務部	広報課	5110020	広報刊行物発行	B	B	方法改 善	方法改 善	芦屋市ガイドマップについては、有償や広告掲載による経 費削減を図るとともに、駅等での販売等を検討してくださ い。 市制要覧については廃止を検討し、市制要覧記載のデー ター等についてはホームページを活用して充実してくださ い。
4	総務部	広報課	5110150	CATV広報チャンネル制作	A	B	現状維 持	方法改 善	市のサーバーの容量を考慮して、インターネットでの配信を 検討してください。
5	総務部	市民参画課	1140010	地区集会所管理運営事業	C	D	民間委 託等	民間委 託等	指定管理者制に移行していますので、今後の推移を見ま すが、利用率の向上を図ってください。
6	総務部	国際文化担当	3250050	「阪神芸術祭」の開催	D	D	統合/ 終期設 定	統合/ 終期設 定	平成19年度をもって終期設定してください。
7	総務部	国際文化担当	3410010	海外諸都市との交流事業の促 進	C	D	現状維 持	方法改 善	市が実施すべき範囲を明確にし、国際交流協会との役割分 担を整理して下さい。また、コスト削減に向けた取り組みを 進めてください。
8	総務部	国際文化担当	5110060	アシヤニューズレターの発行	A	B	現状維 持	方法改 善	NPOへの対応や有料広告の掲載などを検討してください。
9	総務部	男女共同参画 推進担当	3310020	共生を目指す関係団体のネッ トワーク	C	D	方法改 善	民間委 託等	女性センターの運営は、NPO,市民団体に任せてください。
10	総務部	男女共同参画 推進担当	3320010	男女共生に関する情報収集、 提供と情報コーナーの活用	B	B	現状維 持	民間委 託等	女性センターの運営は、NPO,市民団体に任せてください。
11	総務部	男女共同参画 推進担当	3320020	女性センター運営事業	B	D	現状維 持	民間委 託等	女性センターの運営は、NPO,市民団体、民間委託等に任 せてください。
12	生活環境 部	総務課	1320160	薬剤散布等環境衛生業務	D	D	民間委 託等	民間委 託等	
13	生活環境 部	総務課	1320180	空閑地対策業務	D	D	縮小	縮小	他市の状況を把握の上、苦情対応のみにとどめるなど縮小 を図ってください。
14	生活環境 部	総務課	4340010	芦屋市霊園維持管理業務	D	D	民間委 託等	民間委 託等	
15	生活環境 部	総務課	4340050	あしや温泉運営管理業務	D	D	廃止/ 休止	廃止/ 休止	
16	生活環境 部	市民課	5230900	ラポルテ市民サービスコー ナー運営	A	B	現状維 持	方法改 善	ラポルテサービスコーナーのPRに努めるとともに、目標数 値を高めてください。
17	生活環境 部	経済課	1510200	市民農園事業	B	D	現状維 持	民間委 託等	自主運営等を検討してください。
18	生活環境 部	経済課	1530030	商業活性化事業	B	B	方法改 善	方法改 善	
19	生活環境 部	環境処理セン ター	1310090	ごみ計量業務	B	D	民間委 託等	民間委 託等	民間委託の検討を進めてください。
20	生活環境 部	環境処理セン ター(環境施設 担当)	1310140	バイブライン施設整備事業	D	D	現状維 持	方法改 善	バイブライン施設の長期的な施設のあるべき展望を他市の 状況等を調査して検討してください。ゴミ有料化への対応や 受益者負担の考え方を検討してください。
21	保健福祉 部	総務課	2220050	福祉サービス利用援助事業	B	B	現状維 持	方法改 善	対象者把握のためのネットワークづくりや、適切なサービス 状況の提供やPRに努めてください。
22	保健福祉 部	総務課	2310020	高齢者の地域活動の推進	B	B	方法改 善	方法改 善	老人福祉会館については、指定管理者制度の導入を検討 してください。老人憩いの家は、利用者増を図るようにPRに 努めてください。
23	保健福祉 部	生活援護課	2610020	生活困窮者に対する法外扶助 金給付事業	B	B	方法改 善	方法改 善	
24	保健福祉 部	生活援護課	2620030	被災者自立支援金支給事務	B	B	廃止/ 休止	廃止/ 休止	(平成17年3月末で終了)
25	保健福祉 部	健康課	2120010	特定疾病療養費補助事業	C	D	方法改 善	統合/ 終期設 定	終期設定を検討してください。
26	保健福祉 部	健康課	2120070	地域保健事業	A	D	現状維 持	統合/ 終期設 定	市の関与の必要性に疑問があります。継続する場合、受益 者負担の検討を進めてください。
27	保健福祉 部	健康課	2120080	健康診査事業	A	B	現状維 持	方法改 善	受診率の向上を目指してください。

	部	課	事業番号	事業名	市 評 価				2評価コメント
					所管評価	2次評価	所管課方向性	2次評価方向性	
28	保健福祉部	健康課	2120100	機能訓練事業	B	B	方法改善	方法改善	市の関与の必要性を明らかにするとともに、受益者負担を検討してください。また、介護予防・生きがい生活支援事業との統合を図ってください。
29	保健福祉部	健康課	2120110	介護予防・生きがい生活支援事業	B	B	拡大/充実	方法改善	高齢者の受講者を増やすように検討してください。
30	保健福祉部	健康課	2120130	保健センター維持管理	A	D	現状維持	民間委託等	保守点検業務の統括的な委託など、方法の検討を行って下さい。保健センター-設備整備事業との統合を行って下さい。
31	保健福祉部	健康課	2120140	保健センター設備整備事業	A	A	現状維持	統合/終期設定	保健センター維持管理と統合してください
32	保健福祉部	健康課	2120210	保健センター事業	B	D	現状維持	民間委託等	民間委託等を検討してください
33	保健福祉部	健康課	2130010	健康教育事業	B	B	現状維持	民間委託等	適正な受益者負担と民間への委託を検討してください。
34	保健福祉部	健康課	2130020	健康相談	B	B	現状維持	統合/終期設定	効率性の向上を図り、健康教育事業との統合を図ってください。
35	保健福祉部	健康課	2410120	育児相談	B	B	現状維持	方法改善	育児相談と育児教室との統合を図ってください。また、他部門との役割分担を整理してください。
36	保健福祉部	健康課	2410130	育児教室	B	B	現状維持	方法改善	育児相談との統合を図ってください。親同士の交流については、NPOや市民との協働を図ってください。
37	保健福祉部	健康課	2410140	乳幼児育成指導事業	B	B	現状維持	方法改善	他団体の状況を把握し、ベストプラクティスにならってください。また、親同士の交流については、NPOや市民団体との協働を図ってください。
38	保健福祉部	障害福祉課	2510010	心身障害者福祉事業	A	B	方法改善	縮小	はり・灸・あんま・マッサージ事業については、廃止の方向で見直してください。
39	保健福祉部	障害福祉課	2510070	芦屋市福祉金の支給事務	A	D	廃止/休止	廃止/休止	
40	保健福祉部	障害福祉課	2520010	早期療育訓練事業	B	B	拡大/充実	民間委託等	民間活力の導入について、他団体の事例を調査しアクションプランを作成して進めてください。
41	保健福祉部	こども課	2410080	保育所の運営及び維持管理業務	B	D	民間委託等	民間委託等	民間委託に向けてアクションプランを作成して進めてください。
42	保健福祉部	こども課	2420120	子育て支援事業	B	B	方法改善	統合/終期設定	育児教室や教育委員会が実施する事業等との連携・役割分担を整理し、統合に向けて早急にアクションプランを作成して進めてください。
43	保健福祉部	高年福祉課	2310040	生きがい活動支援事業	A	D	方法改善	廃止/休止	廃止に向けて早急にアクションプランを作成して進めてください。
44	保健福祉部	高年福祉課	2310070	社会参加・生きがい事業	A	D	現状維持	民間委託等	民間(NPOや市民団体など)によるアクションプランを作成して進めてください。
45	保健福祉部	高年福祉課	2310080	高齢者バス運賃助成事業	A	B	現状維持	方法改善	所得制限を設け、必要な人に助成ができるように見直してください。
46	保健福祉部	高年福祉課	2340150	介護予防・生活支援事業	B	B	現状維持	縮小	はり・灸・あんま等については、廃止する方向で検討してください。
47	保健福祉部	高年福祉課	2340280	敬老祝金	A	D	現状維持	縮小	事業手段として金銭給付が妥当かの検討が必要です。
48	保健福祉部	高年福祉課	2340350	高齢世帯生活援助員派遣事業	A	B	現状維持	統合/終期設定	終期設定を行い、平成21年度をもって終了してください。
49	保健福祉部	高年福祉課	2340390	高齢者相談業務	B	B	方法改善	方法改善	相談業務の統合を図るなど、方法改善を行って下さい。
50	保健福祉部	和風園	2340120	養護老人ホーム運営事業	B	D	民間委託等	民間委託等	平成19年度民間委託に向けてアクションプランを作成して進めてください。
51	建設部	総務課	1220090	都市計画事業特別融資制度、芦屋市既成宅地防災工事資金融資あっせん制度	D	D	現状維持	縮小	社会状況に合わせた見直しを行って下さい。
52	建設部	住宅課	2620040	災害復興住宅特別融資制度	B	B	廃止/休止	廃止/休止	
53	建設部	住宅課	2620050	高齢者住宅再建支援事業	D	D	廃止/休止	廃止/休止	平成18年度で事業を終了してください。
54	建設部	住宅課	2620060	民間賃貸住宅家賃負担軽減事業	D	D	廃止/休止	廃止/休止	平成17年度中に事業を終了してください。
55	建設部	住宅課	4310060	市営住宅管理業務	B	B	民間委託等	民間委託等	老朽した市営住宅の統廃合を検討するとともに、維持管理経費の軽減に取り組んでください。また、都市整備公社の解散を踏まえて、指定管理者制度・民間委託等を検討してください。

	部	課	事業番号	事業名	市 評 価				2評価コメント
					所管評価	2次評価	所管課方向性	2次評価方向性	
56	建設部	住宅課	4310080	市営住宅募集業務	B	B	現状維持	方法改善	住宅困窮者登録制度見直しを含めて、個人情報に留意し民間委託等を検討してください。
57	建設部	住宅課	4310110	住宅使用料等に関する事務	B	B	拡大/充実	方法改善	民間活力の導入を図るなど収納率の向上に努めてください。
58	建設部	住宅課	4310140	市営住宅等入居者対応	B	B	現状維持	現状維持	
59	建設部	住宅課	4310150	上宮川町住宅管理業務	B	B	民間委託等	民間委託等	都市整備公社の解散を踏まえて、指定管理者制度・民間委託等を検討してください。
60	建設部	住宅課	4310170	若宮町住宅管理業務	B	B	民間委託等	民間委託等	都市整備公社の解散を踏まえて、指定管理者制度・民間委託等を検討してください。
61	建設部	住宅課	4310180	県公社住宅管理業務	B	B	民間委託等	民間委託等	都市整備公社の解散を踏まえて、指定管理者制度・民間委託等を検討してください。
62	建設部	住宅課	4310200	従前居住者用住宅管理業務	B	B	民間委託等	民間委託等	都市整備公社の解散を踏まえて、指定管理者制度・民間委託等を検討してください。
63	建設部	住宅課	4310030	特定優良賃貸住宅家賃対策補助	D	D	現状維持	方法改善	さらに家賃改定の適正化に努めてください。また、入居率の向上を図ってください。
64	建設部	公園緑地課	4130260	南芦屋浜公園等管理業務	A	B	民間委託等	民間委託等	指定管理者の導入予定
65	建設部	公園緑地課	4420120	都市公園維持・管理	A	B	民間委託等	民間委託等	維持管理等、市民参画の推進等に取り組んでください。
66	建設部	公園緑地課	4420160	まちなみ緑化助成事業関係業務	D	D	廃止/休止	廃止/休止	
67	建設部	公園緑地課	4420270	住民緑化団体育成事業	B	B	現状維持	方法改善	本市では、庭園都市宣言を行い、花と緑のまちづくりを推進しているため、補助事業の有効性が発揮できるように、検証しながら継続してください。
68	建設部	公園緑地課	4420280	生け垣等設置助成事業	C	C	廃止/休止	統合/終期設定	まちなみ緑化助成事業廃止に伴い、他事業との統合の検討を行って下さい。
69	建設部	公園緑地課	4420690	庭園都市推進に関する業務	B	B	拡大/充実	拡大/充実	市民の参画を得て、庭園都市・国体開催に向けて進めてください。
70	建設部	下水道課	4330190	下水道施設建設費負担金設計業務	D	D	民間委託等	縮小	事業を縮小して、民間での対応を進めてください。
71	建設部	下水処理場	4330270	下水処理場・ポンプ場維持管理業務	B	B	民間委託等	民間委託等	民間活力の導入を平成20年度を目途に実施してください。
72	建設部	建築指導課	4130110	建築基準法の施行に関する事務	A	A	方法改善	方法改善	審査事務組合の設立に向けて検討してください。
73	建設部	建築指導課	4230030	駐車場法に規定する建築物である路外駐車場の設置に関する事務	A	C	現状維持	現状維持	届出件数がないため、現状維持とします。
74	建設部	建築指導課	4310250	住宅金融公庫からの受託に係る審査及び検査事務	D	D	廃止/休止	統合/終期設定	平成18年度を目途に終期設定を行って下さい。
75	消防本部	警防課	1240060	火災証明等発行及び各種願届出処理	A	C	現状維持	方法改善	必要な事業であると考えますが、事業の目的を精査し、アウトカム指標(中間成果指標、最終成果指標)を再度検討してください。また、無届工事施工を減らすための啓発・指導等を行ってください。
76	消防本部	予防課	1220270	液化石油ガス設備、高圧ガス消費施設、火薬庫等への立入検査火災予防措置	B	B	方法改善	方法改善	
77	消防本部	予防課	1240130	芦屋危険物安全協会、芦屋市少年消防クラブの育成指導	B	B	現状維持	現状維持	
78	消防署・高浜分署		1240090	火災予防相談と防火思想の普及啓発	B	B	現状維持	現状維持	住宅防火の推進を継続してください。
79	教育委員会管理課	総務課	3120260	高等学校修学旅行費援助費	D	D	廃止/休止	廃止/休止	平成17年度末をもって廃止してください。
80	教育委員会学校教育課	学校教育課	2410150	カウンセリングセンター管理運営	A	B	現状維持	統合/終期設定	教育委員会内部での相談業務を統合してください。
81	教育委員会学校教育課	学校教育課	3110010	特色ある学校園づくり支援事業	A	C	拡大/充実	方法改善	内容の充実を図ってください。(学力向上については、別事業として行ってください。)
82	教育委員会学校教育課	学校教育課	3110020	学校園創立記念事業	A	D	方法改善	廃止/休止	市が関与するのではなく、実施主体を市民団体やNPOに委ねてください。
83	教育委員会学校教育課	学校教育課	3120070	適応教室実施事業	A	B	方法改善	統合/終期設定	他の相談指導業務との統合を図ると共に、成果があがるようアクションプランを検討してください。

	部	課	事業番号	事業名	市 評 価				
					所管 評価	2次 評価	所管課 方向性	2次評価 方向性	2評価コメント
84	教育委員会 学校教育 教育部	打出教育文化 センター	3120200	打出教育文化センター一般事 業	A	D	現状維 持	統合/ 終期設 定	事業の目的を明確にし、他の相談業務との統合を図って ください。
85	教育委員会 学校教育 教育部	打出教育文化 センター	3130050	打出教育文化センター出版刊 行事業	A	B	現状維 持	方法改 善	(教育推進事業及び研修事業との統合を図ってください。)
86	教育委員会 学校教育 教育部	打出教育文化 センター	3130060	打出教育文化センター管理運 営	A	B	現状維 持	民間委 託等	経費節減に向けて、方法改善に努めてください。
87	教育委員会 社会教育 部	生涯学習課	3210280	三条分室及び三条デイベー スセンターの維持管理	B	B	現状維 持	現状維 持	
88	教育委員会 社会教育 部	市民センター	3210210	市民センター管理運営	B	B	方法改 善	民間委 託等	民間活力の導入について、引き続き検討してください。運営 委託のための施設・設備改修等を含めた経費や負担方 法、委託方法等について検討してください。
89	教育委員会 社会教育 部	文化財課	3260020	発掘調査の円滑化	B	B	現状維 持	現状維 持	
90	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	2410160	青少年育成事業(小・中学生レ クリエーションキャンプ)	D	D	方法改 善	廃止/ 休止	事業を廃止してください。
91	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	2410170	青少年育成事業(手作り教室 等)	D	D	方法改 善	廃止/ 休止	廃止に向けて検討してください。
92	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3210130	成人式	D	D	現状維 持	方法改 善	アトラクションの内容については、引き続き新成人及び19 歳で構成する検討委員会を組織し、意見交換を行ないなが ら実施してください。
93	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3220010	青少年団体及びリーダー育成 事業(青少年リーダーの育成)	D	D	方法改 善	方法改 善	
94	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240020	スポ-ツリ-ダ-認定講習会	D	D	現状維 持	方法改 善	アンケート調査等を実施するなど、育成後のリーダーのフォ ロ-アップをはかってください。
95	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240040	体育の日の行事	B	D	現状維 持	現状維 持	参加者を増やす工夫をしてください。
96	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240050	市民ゴルフ大会	D	D	現状維 持	民間委 託等	市関与の妥当性が見られないため、市民団体等との協力 を得た運営方法を検討してください。
97	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240060	生活の中にひと汗運動	D	D	廃止/ 休止	廃止/ 休止	平成16年度をもって廃止
98	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240070	ニュースポ-ツレクリエ-ション啓発事 業	D	D	現状維 持	方法改 善	実施方法や参加者数を増やす工夫をしてください。
99	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240080	競技スポ-ツ推進事業	D	D	現状維 持	民間委 託等	市関与の妥当性が低いため、市民団体等との連携や自主 性に委ねることを検討してください。
100	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240160	海浜公園プール管理運営	D	D	民間委 託等	民間委 託等	平成17年6月から指定管理者制度導入済
101	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240180	スポーツ振興基金事業	D	D	縮小	縮小	
102	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240200	体育館管理運営	D	D	民間委 託等	民間委 託等	指定管理者制度の導入等を進めてください。
103	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240210	中央公園野球場、川西運動 場、芝生広場管理運営	D	D	民間委 託等	民間委 託等	指定管理者制度の導入等を進めてください。
104	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240220	テニスコートの運営管理	D	D	民間委 託等	民間委 託等	指定管理者制度の導入等を進めてください。
105	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240230	市民プール管理運営	D	D	民間委 託等	民間委 託等	指定管理者制度の導入等を進めてください。
106	教育委員会 社会教育 部	スポーツ・青少 年課	3240290	スポーツ振興基金事業(市長 杯・教育長杯事業)	D	D	現状維 持	方法改 善	
107	教育委員会 社会教育 部	公民館	3210060	芦屋川カレッジ	A	B	方法改 善	方法改 善	
108	教育委員会 社会教育 部	公民館	3210070	芦屋川セカンド・カレッジ	A	D	方法改 善	廃止/ 休止	市の関与の妥当性に欠けるため、自主運営を促進してくだ さい。

	部	課	事業番号	事業名	市 評 価				
					所管 評価	2次 評価	所管課 方向性	2次評価 方向性	2評価コメント
109	教育委員会 社会教育部	図書館	3210170	図書館運営事業(視聴覚ライブラリー)	D	D	現状維持	方法改善	郷土資料等の活用を検討するとともに、ボランティア等による運営など市民の参画の機会をより進めてください。
110	教育委員会 社会教育部	図書館	3210180	図書館運営事業(読書会・研究会・鑑賞会等の主催)	D	D	方法改善	民間委託等	ボランティア等による運営など市民の参画の機会をより進めてください。
111	教育委員会 社会教育部	図書館	3210190	図書館運営事業(資料発行)	B	B	方法改善	方法改善	ボランティア等による運営など市民の参画の機会をより進めてください。
112	教育委員会 社会教育部	谷崎潤一郎記念館	3210240	谷崎潤一郎記念館の管理運営	B	B	民間委託等	民間委託等	指定管理者制度の導入等を検討してください。
113	教育委員会 社会教育部	谷崎潤一郎記念館	3250170	谷崎潤一郎賞受賞記念文化事業	B	D	民間委託等	廃止/休止	民間主体で進めるように検討してください。
114	教育委員会 社会教育部	谷崎潤一郎記念館	3250190	谷崎潤一郎に関する資料の収集・整理・展示事業	B	B	民間委託等	民間委託等	指定管理者制度の導入等を検討してください。
115	教育委員会 社会教育部	谷崎潤一郎記念館	3250210	谷崎潤一郎及び記念館に関する資料等の出版事業	B	B	民間委託等	民間委託等	指定管理者制度の導入等を検討してください。
116	教育委員会 社会教育部	美術博物館	3210260	美術博物館管理運営	B	B	民間委託等	民間委託等	指定管理者制度の導入等を検討してください。
117	教育委員会 社会教育部	美術博物館	3250110	富田碎花顕彰事業管理委託	B	D	民間委託等	民間委託等	地域ボランティアの活用等を図ってください。
118	教育委員会 社会教育部	美術博物館	3250230	美術博物館展示等委託事業	B	B	民間委託等	民間委託等	指定管理者制度の導入等を検討してください。
119	教育委員会 社会教育部	美術博物館	3250270	公募展	B	B	民間委託等	民間委託等	指定管理者制度の導入等を検討してください。

(一般事業)	事業コード	1420010
平成16年度	事業名	平和施策

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり			所管課	総務部		
総合計画	中	4	人権の尊重と平和施策の推進			行政経営課			
政策施策	小	2	平和施策の推進			所管課長氏名	桑原 正		
体系	細					記入者氏名	桑原 正		
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2009	内線	2101
根拠法令・要綱等						実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称: _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容: _____								
事業の概要	恒久平和の理念を市民生活に生かすための啓発事業								
事業の現状	1. 人権問題の啓発と戦争の悲惨さを訴え平和について見つめ直してもらうため関係課(人権推進担当、公民館、上宮川文化センター、生涯学習課、子育てセンター)と共同で「平和と戦争展」を、また各関係課はそれぞれ関連した事業を実施。 2. 非核平和の取組(核実験への抗議等)、平和行進の支援(お茶の用意)								
アウトプット	指標	指標名	平和ポスター展出展児童数						
		結果指標(1)	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
		指標値	260人	132人	101人	300人	300人		
		単位コスト	15,777円	8,205円	5,663円				
		結果指標(2)	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市内小学生							
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	3821	受益数(b)	101	比率(b÷a)%	2.64%		
意図(対象を主語にして)	図	こどものポスターを中心に家庭内で平和についての話をする。							
大きな目的	平和に対する認識を新たにしよう。								
アウトカム	指標	指標名	平和ポスターについての関心度						
		中間成果	考え方・式	出展者数/小学校児童数					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	7.4%	4%	2.6%	8%	8%		
		最終成果	指標名	平和について見つめなおした人の数					
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値				100%	100%				
芦屋市の特色など補足する事項	昭和60年10月 非核平和都市宣言(芦屋市議会決議)								

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成18年度(目標)	1世帯当り(円)	15	住民1人当り(円)	6	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	98.3%	4,064	1,077	563	-	人権推進:386,706円				
	事業費	1.7%	38	6	10	5	公民館:60,123円				
	他部門経費						子育てセンター:8,586円				
	減価償却費						上宮川文化センター				
	合計	100.0%	4,102	1,083	573	5	:50,000円 関係課計:505,415円				
財源(千円)	国・県										
	市債等										
	その他										
一般財源	100.0%	4,102	1,083	573	5						
活動配分(人)	職員	100.0%	0.35	0.10	0.05	-					
	嘱託・臨時等					-					
	合計	100.0%	0.35	0.10	0.05	0.00					

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	1	-1
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2 2		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
効率性 3点	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり	学校教育課への依頼を旧年度中に行う		<input type="checkbox"/> 特になし
	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	阪神各市他	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	2 2	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	別紙	<input type="checkbox"/> 把握していない		
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	高い,または低い場合の理由		
手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない		1. 平和施策に係る連絡調整会議の立上げ		
コスト削減取組(1~ 1)	↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり		<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応できない業務である		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない	
↳ 内容		事業予算としてはない,活動に付随するもののみ					
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価 C C
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	<input type="checkbox"/> D	改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		<ul style="list-style-type: none"> 小学生「平和ポスター展」出展者数の減少。 他課の予算に頼って事業を実施している。 						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	各小学校へ依頼する時期を旧年度中に行う。					
		実施期限	平成	18	年	3	月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア		平和施策部門と人権推進部門との統合						
平成18~20年度の方向性		小学生のポスター募集については,学校教育課と協議をし,新年度カリキュラムのポスター応募予定の中に入れておいてもらい,学校での理解を深めておいてもらう。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		人権推進事業との統合など効率的な執行体制を検討する必要があります。						

(一般事業)	事業コード	3420010
平成16年度	事業名	しそ森林王国協会との国内交流事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	総務部
総合計画	中	4	市民交流の促進			行政経営課	
政策施策	小	2	国内交流の促進			所管課長氏名	桑原 正
体系	細					記入者氏名	桑原 正
事業期間	平成16年度～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2009 内線 2101
根拠法令・要綱等						実施主体	市/しそ森林王国
実施手続			<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金
委託先			<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容
事業の概要	兵庫県宍粟郡(山崎町, 安富町, 一宮町, 波賀町, 千種町)で構成する「しそ森林王国」との国内(地域間)交流事業。						
事業の現状	芦屋市主催事業は実施していない。 市民団体主催事業:「あしや秋まつり」(10月9・10日)に王国から物産展に延べで4人参加。 秋まつり入場者数:38,000人						
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	交流事業開催回数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	8回	7回	1回		
	単位コスト	670,000	765,000	1,000			
	結果指標 (2)	指標名	交流事業参加者数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値		121人	157人	-			
単位コスト	44,272	12,879					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	芦屋市及びしそ森林王国の居住者				
	対象カバー率	対象数(a)	約15万人	受益数(b)	不明	比率(b÷a)%
	意 図 (対象を主語にして)	交流事業を通じて地域間の相互理解を深める。				
大 き な 目 的	地域の活性化を図る。					
アウトカム 指標	中間成果 指 標	指標名	参加者の満足度			
		考え方・式	交流事業(秋まつり)に参加して満足したか			
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	不明	不明	不明		
	最終成果 指 標	指標名	交流人口			
		考え方・式	アンケート調査(未実施)			
年 度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値	不明	不明	不明			
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	0	住民1人当り(円)	0	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	4,740	1,676		-	16年度決算額は図書費のみ 17年度予算は通行料
	事業費	617	346	1	12	
	他部門経費				-	
	減価償却費				-	
	合計	100.0%	5,357	2,022	1	
財 源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	216	50			
一般財源	100.0%	5,141	1,972	1	12	
活 動 配 分 (人)	職員	0.40	0.15		-	
	嘱託・臨時等				-	
合計		0.40	0.15	0.00	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
受 当 性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	2	-3
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 合併による方針決定まで縮小方向にある。		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有 効 性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	0	0
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし			
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神間各市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 事業費と人件費 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由:	0	0
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: カヌー交流事業の廃止 <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果 <input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価 D D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題: 交流事業の見直し 改善内容: カヌー交流会を16年度から廃止した。		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・交流事業としては,ほとんど休眠状態にあるが,交流事業の内容を再度見直し,続けていくことは必要と考える。 合併により安富町を除き宍粟市となっている,宍粟市と今後の事業内容について協議を進める必要がある。 ・担当所管課についての検討が必要と考える		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	担当所管課について,組織担当と協議を行う。
		実施期限	平成 17 年 10 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア			
平成18~20年度の方向性	宍粟市と協議し,今後の取組内容についても十分調整を行い,方向性を定める。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	(交流事業としては,休止の状態である。)		

(一般事業)	事業コード	5110020
平成16年度	事業名	広報刊行物発行

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	5	市民と協働してつくる自立した行政基盤づくり	所管課	総務部			
総合計画	中	1 市民と行政の協働システムの実現		広報課			
政策施策	小	1 情報公開の推進	所管課長氏名	三木五郎			
体系	細		記入者氏名	三木五郎			
事業期間		経常臨時 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2006 内線 2111			
根拠法令・要綱等			実施主体	市			
実施手法	法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称	<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容			
事業の概要		・市勢要覧の発行(4年毎に製作、市勢の概要紹介・主に他都市からの視察時に使用) ・芦屋市ガイドマップの発行(芦屋市全図・市の窓口紹介、主に転入者へ配布)					
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容	・市勢要覧を4,000部発行(4年毎の製作) ・芦屋市ガイドマップを10,000部発行(毎年改定のうえ発行) (16年度は残部数があり作成せず。17年度は南芦屋地区の街区の新設がある。)					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	市勢要覧発行部数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	-	4,000部	-	-	-
		単位コスト	-	639円/部	-	-	-
	結果指標(2)	指標名	芦屋市ガイドマップ発行部数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値		10,000部	10,000部	-	10,000部	10,000部	
	単位コスト	-	39円/部	-	-	-	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市民					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	39,128世帯	受益数(b)	10,000世帯	比率(b÷a)%	25.6%
	意図(対象を主語にして)	市民が市域を知り、郷土としての市への愛着度を高めるとともに、市民生活の利便性を図る。					
大きな目的		市政への関心度、愛着度を高める。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	転入者配布率(%)				
		考え方・式	無償配布数/転入者数×100				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	100%	100%	100%	100%	100%
	最終成果指標	指標名	市域を知り、市政への関心度と愛着度				
		考え方・式	アンケート等による調査				
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	-	-	-	-	-	
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	100.0%	1,958	2,568	2,042	-
	事業費		2,998	3,184		1,050
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	4,956	5,752	2,042	1,050
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	4,956	5,752	2,042	1,050	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.20	0.30	0.20	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.20	0.30	0.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			5	5
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない				
		<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている				
		<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 転入者:H16年度 3,705世帯 6,372人	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容:直近の情報に更新している					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している		<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
効果 率 3点	-成果向上余地(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない			
		成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし			
効果 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名:阪神間各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		0	-3	
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない				
	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
	高い,または低い場合の理由						
率 性 3点	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない			
		↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり		<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について			<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である				
	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である		<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応できない業務である		<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
		<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
		↳ 内容:地図GISの初期投資により,通年の経費削減,資料の電子化提供による印刷コストの削減					
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価
			<input type="checkbox"/> D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	
平成16~17年度に実施した改善内容		印刷経費の削減 掲載内容の改善	改善内容	提供資料の電子化 市ハイキングマップの掲載			B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		「芦屋市ガイドマップ」は,全世帯配布は行わず,転入者及び希望者へ無償配布を行っている。					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	市民					
	意見,要望内容	史跡や文化スポット,ハイキングコースの資料掲載(窓口聴取)					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	「芦屋市ガイドマップ」にハイキングコース案内を掲載				
		実施期限	平成	17	年	7	月
	(2)	対応内容	経済課で観光ガイドマップを作成				
		実施期限	平成	17	年	5	月
	(3)	対応内容	広報紙で特集を組む				
		実施期限	平成	17	年		月
その他考えられる改善のアイデア	「芦屋市ガイドマップ」への広告掲載による単位コストの削減						
平成18~20年度の方向性	今後の方向性		1次評価			2次評価	
	・転入者への無償配布の継続		拡大・充実				
	・広告掲載による単位コストの削減をはかり,希望者への無償配布の継続		現状維持				
	・有償頒布は,納付書の作成や調定作業等で事務が煩雑化するため実施は困難である。		方法改善				
			民間委託等				
			縮小				
		統合/終期設定					
		廃止/休止					
2次評価委員会コメント		芦屋市ガイドマップについては,有償や広告掲載による経費節減を図るとともに,駅等での販売等を検討してください。 市制要覧については廃止を検討し,市制要覧記載のデータ等についてはホームページを活用して充実してください。					

(一般事業)	事業コード	5110150
平成16年度	事業名	CATV広報チャンネル制作

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	5	市民と協働してつくる自立した行政基盤づくり	所管課	総務部		
総合計画	中	1 市民と行政の協働システムの実現		広報課		
政策施策	小	1 情報公開の推進	所管課長氏名	三木五郎		
体系	細		記入者氏名	三木五郎		
事業期間		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2006 内線 2111		
根拠法令・要綱等			実施主体	市		
実施手法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金				
委託先		<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要		ケーブルテレビを通じて、行政からの情報提供と市民(市民スタッフ)の要求する情報や活動を広く紹介する。				
事業の現状		ケーブルテレビ(9ch)アンケートによる視聴可能世帯は76.7%(H17.4.1現在推計29,067世帯) 番組制作本数は月6本(年間制作本数72本) 放送は、1回30分で1日5回/月				
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	番組制作本数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	168本	108本	72本	72本	
	単位コスト	362,744円/本	507,694円/本	133,263円/本		
結果指標(2)	指標名	番組放映時間数(分:1日)				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値	1,350分	1,080分	150分	150分		
単位コスト	45,141円/分	50,769円/分	63,966円/分			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市民					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	39,128世帯	受益数(b)	29,067世帯	比率(b÷a)%	74.3%
意図(対象を主語にして)	図	市民へ伝えるべき市の情報を、映像と音によりタイムリーに伝える。 市民が知りたい情報を、市民スタッフの参画による製作で、市政に対する関心を高め参画を推進する。					
大きな目的		市政への関心を高め、市民参画への意識を高める。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	ケーブルテレビ(9ch)の視聴率【前年対比のため視聴可能世帯数を指標とする。】				
		考え方・式	視聴可能率(視聴可能世帯/対象世帯数)				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	28,126世帯	28,468世帯	28,809世帯	29,067世帯		
最終成果指標	指標名	放映情報の理解度と満足度					
	考え方・式	アンケート等による調査(平成17年4月)【ほとんどの番組を見る+関心ある番組を見る】					
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値	-	-	26.6%				
芦屋市の特色など補足する事項		市民スタッフによる企画と出演により、市民の視点による番組を製作					

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	10.9%	18,159	17,676	1,196	-
	事業費	89.1%	42,782	37,155	9,765	9,906
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合計	100.0%	60,941	54,831	10,961	9,906	
財源(千円)	国・県					
	市債等					
その他						
一般財源	100.0%	60,941	54,831	10,961	9,906	
活動配分(人)	職員	100.0%	2.00	2.10	0.15	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	2.00	2.10	0.15	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	5			5
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容: 市民スタッフのボランティア参加,制作番組を精査し情報発信をおこなう。				
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
	-成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし			
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 川西市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	2			0
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない				
	手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	A	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	製作本数の減によるコスト削減	改善内容	放映時間(回数)減によるコスト削減 市民スタッフのボランティア参加		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		<ul style="list-style-type: none"> ・満足度の把握 ・インターネットサーバーの整備 ・市民が必要とするリアルタイムな情報の把握 						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	市民						
	意見,要望内容	視聴者からの声は,概ね好評であり市民団体からの取材希望も多い。						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	市民スタッフによる,視聴者の意見収集					
		実施期限	平成	17	年	4	月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア	過去の制作番組の一部をインターネット配信する。							
平成18~20年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・映像のインターネット配信について 容量の増のためホームページサーバーの整備が必要となる。 ネット配信としても制作費は必要となる。 インターネットでの映像は長時間の視聴は難しい(見にくい) ネット配信については,実施する方向での課題の整理が必要となる。 ・行政からの「知ってもらいたい情報」を,市民の目線からの切り口として製作をする。 					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	市のサーバーの容量を考慮して,インターネットでの配信を検討してください。							

(一般事業)	事業コード	1140010	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	地区集会所管理運営事業						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり	所管課	総務部			
総合計画	中	1 ネットワーク型コミュニティの形成		市民参画課			
政策施策	小	4 コミュニティ施設の充実	所管課長氏名	杉町 納			
体系	細		記入者氏名	福島 貴美			
事業期間		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2007 内線 2122			
根拠法令・要綱等	芦屋市立地区集会所の設置及び管理に関する条例		実施主体	市 自治事務			
実施手法	法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称 (財) 芦屋都市整備公社	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容 管理運営業務			
事業の概要	地域社会における相互の親睦と文化活動の推進に寄与するために、コミュニティと防災の拠点である集会所の管理運営及び維持管理等を行う。						
事業の現状	1 2カ所の地区集会所の管理運営(目的:市民が地域で豊かなコミュニティを築くこと) ・管理運営業務は各集会所の地区協議会(2~7町で構成)に委託・維持管理業務は(財)芦屋都市整備公社に委託 ・使用時間 9:00~21:30(使用時間帯は、9:00~12:00, 13:00~17:00, 18:00~21:30) ・休館日 年末年始及び月曜日(6集会所)、火曜日(1集会所)、水曜日(5集会所) ・使用の申し込みができる部屋は、各集会所で2~5部屋						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	集会所使用件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	9,829室	10,499室	10,242室	10,345室	10,345室
	結果指標(2)	単位コスト	6,750円	6,452円	7,770円	1,532円	1,532円
		指標名					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	自治会・こども会・老人会の活動や文化活動をしたいと思っている地域住民。					
	対象カバー率	対象数(a)	3,7017室	受益数(b)	10,242	比率(b÷a)%	27.7
	意図(対象を主語にして)	地域活動や文化活動を行う住民が、集会所を利用して豊かな地域の人間関係と市民活動を行うこと。					
大きな目的	地域で豊かなコミュニティが築ける場を提供し、住み続けたい環境を整備すること。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	地域の豊かなコミュニティ形成				
		考え方・式	集会所使用件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果指標	指標値	9,829室	10,499室	10,242室	10,345室	10,345室
		指標名					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	2,034	住民1人当り(円)	884	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	13.6%	4,985	6,942	10,790	-
	事業費	63.3%	51,469	49,757	50,370	15,857
	他部門経費					-
	減価償却費	23.1%	18,418	18,418	18,418	-
	合計	100.0%	74,872	75,117	79,578	15,857
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	12.5%	8,518	8,981	9,963	10,000
一般財源	87.5%	66,354	66,136	69,615	5,857	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.50	0.45	1.05	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.05	0.60	0.00	-
	合計	100.0%	0.55	1.05	1.05	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない				
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である				
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている				
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
社会環境変化(1~ 1)		<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない				
		<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 市民活動団体基礎調査 25.3%	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握				
優先性,緊急性(1)		<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容 市民参画・協働の実現例として地域住民が構成する運営協議会の連合による指定管理者運営。				
対象カバー率(1~ 1)		<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	-1	-1
	受益者(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
成果の実績(2~ 1)		<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
		<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない				
-成果向上余地(1~ 1)		成果があがっていない場合					
		<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり	運営を地域主体にし,地域課題に取り組みやすい助成等を講ずる <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 西宮市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない				
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない				
受益者負担(0~ 1)		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	1	0
		高い,または低い場合の理由					
手段(1~ 3)		<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求められることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求められるべき事業ではない					
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
コスト削減取組(1~ 1)		直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について					
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である					
	<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない					
	内容 平成17年4月から管理委託料を廃止し,運営協議会が連合を組み指定管理者となり管理運営。						
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価 C D
		<input type="checkbox"/> D				<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	会長・管理人会議を13回開き,市の財政状況と行政改革について説明と理解を求め,全集会所が連合を組み指定管理者となり,管理運営する提案をした。			改善内容	地区集会所運営協議会連合会が指定管理者となり,平成17年4月より管理委託料を廃止し,管理運営を行っている。また,維持管理費を実質300万円削減した。3ヶ月先までの予約を実現した。	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	集会所の案内や予約のインターネット化。 高齢者等のバリアフリー対策。(和室の洋室化,3階建にエレベーター対応) 管理人不在の時間の防犯対策。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	地区集会所運営協議会関係者や管理人・集会所の利用者						
	意見,要望内容	予約をインターネットで受け付けてほしい。足の悪い高齢者の利用が多いので,和室を洋室に改良してほしい。管理人不在の時間の防犯対策を考えてほしい。						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	インターネットで予約を受け付け,仕事をしている人や外出困難な高齢者・障害者の予約をし易くする。					
		実施期限	平成	19	年	3	月	
	(2)	対応内容	バリアフリー対策として,3階建の大原集会所にエレベーターを取り付ける。集会所の和室を洋室にし,高齢者が使い易くして,市民による絵や写真の個展やダンス・コンサート・劇の開催の希望に応える。					
		実施期限	平成	18	年	3	月	
	(3)	対応内容	運営協議会役員による腕章を付けた巡回を住民による参画・協働の中で進める。					
		実施期限	平成	18	年	3	月	
その他考えられる改善のアイデア		希望する集会所の,和室を洋室にし,市民が講師になり「こどもの遊び講座」や「パソコン講座」を開設する。						
		NPO・ボランティアの活動の拠点として利用する。						
平成18~20年度の方向性		平成17年4月から行っている,地区集会所運営協議会の管理運営を検証し,20年度の指定管理者の見直しに備え,さらに利用し易い集会所にするため,議論を重複検討する。				今後の方向性	1次評価	2次評価
		予約をインターネットでできるようにし,和室を洋室にして,予約も利用もユニバーサル仕様にする。				拡大・充実		
		防犯や文化活動を住民の参画・協働で行い,集会所を地域活動の拠点にする。				現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
2次評価委員会コメント		指定管理者制に移行していますので,今後の推移を見ますが,利用率の向上を図ってください。						
						統合/終期設定		
						廃止/休止		

(一般事業)	事業コード	3250050
平成16年度	事業名	「阪神芸術祭」の開催

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	総務部
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			市民参画課	
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援			所管課長氏名	水谷 幸雄
体系	細					記入者氏名	竹迫 留利子
事業期間	平成11年9月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2008 内線 94-302
根拠法令・要綱等						実施主体	阪神芸術祭実行委員会
実施手続	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金						
委託	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容				
事業の概要	阪神地域から各事業を展開し、地域の活性化及び人材発掘と育成等地域の特色づくりとイメージアップを目指す。						
事業の現状	「阪神芸術祭」を開催し、オープニングイベントや各市の参加イベントを行う。						
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	阪神芸術祭期間中の来場者数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	7,539人	6,542人	6,165人		
	単位コスト	425.12円	153.77円	237.79円			
	結果指標 (2)	指標名					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	阪神7市1町の住民					
	対象カバー率	対象数(a)	1,661,325人	受益数(b)	6,165人	比率(b÷a)%	0.37%
	意図 (対象を主語にして)	阪神7市1町の住民が、阪神間の文化施設をより多く利用する。					
大きな目的	阪神地域のイメージの形成を図るとともに、魅力ある地域づくりの促進。						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名					
		考え方・式					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値						
	最終成果 指標	指標名	阪神芸術祭期間中の来場者数				
考え方・式		阪神7市1町における各施設、イベントに対する参加者数					
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	7,539人	6,542人	6,165人				
芦屋市の特色など補足する事項	全国で唯一の国際文化住宅都市であること。						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	37	住民1人当り(円)	16	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	91.3%	2,875	927	1,338	-
	事業費	0.0%	0	0	0	0
	他部門経費	8.7%	330	79	128	-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	3,205	1,006	1,466	0
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	3,205	1,006	1,466	0	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.30	0.10	0.15	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.30	0.10	0.15	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	-1	-1	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 毎年,新企画を提案している。	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	0	-3	
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない			
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし			
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 神芸術参加市 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由: _____	0	0	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: オープニング事業の縮小及び報告書の簡素化等 <input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	今後の方向性について	改善内容 会合の時に,芦屋市から率先してこの事業については見直すよう提案している。			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	阪神芸術祭参加市町の会議の中で一巡したら7市・1町とも終了したい旨の意見が出ている。 阪神芸術祭が一巡したら文化主管者会議に切り替えるよう検討中。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成	年	月		
	(2)	対応内容	実施期限	平成	年	月		
	(3)	対応内容	実施期限	平成	年	月		
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性	阪神間で順番に行っている事業のため一市だけで今後の方向は決められないが,全体では廃止の方向で進んでいる。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	平成19年度をもって終期設定してください。							

(一般事業)	事業コード	3410010
平成16年度	事業名	海外諸都市との交流事業の促進

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	総務部			
総合計画	中	4 市民交流の促進		市民参画課			
政策施策	小	1 国際交流の促進	所管課長氏名	水谷 幸雄			
体系	細		記入者氏名	竹迫 留利子			
事業期間	昭和36年~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2008 内線 94-302			
根拠法令・要綱等	モンテペロ市と芦屋市との間の姉妹都市提携に関する盟約ほか		実施主体	市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称 芦屋市国際交流協会	<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容 モンテペロ市との交流事業			
事業の概要	姉妹都市及び海外諸都市との交流事業						
事業の現状	【姉妹都市】 ・毎年夏に実施される交換学生事業(芦屋市2名, モンテペロ市2名) 【その他海外諸都市との交流】 ・その他海外諸都市からの来芦者との交流						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	海外諸都市との交流回数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	3回	3回	2回	2回	
	単位コスト	556,333円	740,000円	1,681,500円			
	結果指標(2)	指標名	国際交流事業参加者数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値		186人	160人	159人			
単位コスト	8,973円	13,875円	21,150円				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	国際交流を志す市民				
	対象カバー率	対象数(a)	不明	受益数(b)	不明	比率(b÷a)%
	意図 (対象を主語にして)	市民の国際感覚と国際理解を醸成。				
大きな目的	姉妹都市を含め海外諸都市との交流を深めることによって国際化に対応した人づくりを目指す。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	国際交流協会員数			
		考え方・式	協会の会員数が増えることにより国際化に対応した人を増やす。			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	626人	595人	705人	750人	800人
	最終成果指標	指標名				
		考え方・式				
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値						
芦屋市の特色など補足する事項	全国で唯一の国際文化住宅都市であること。					

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	86	住民1人当り(円)	37	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	79.5%	959	1,583	2,675	-
	事業費	12.8%	600	480	432	432
	他部門経費	7.6%	110	157	256	-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	1,669	2,220	3,363	432
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	1,669	2,220	3,363	432	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.10	0.20	0.30	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.10	0.20	0.30	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	2	2	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input checked="" type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要		内容			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		3	3	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし					
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	1	-1	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	C	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	・行政側としてのかかわり方	改善内容	人と人との交流事業は出来るだけ国際交流協会に任せる。				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	財政難の折,海外との交流については行政側としての経費は出来るだけかからないよう工夫する必要があること。相手側の交流都市については礼儀的な交流は継続する必要がある。 平成18年度は姉妹都市提携45周年で,周年記念事業として相互訪問がある。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容	実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容	実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	国際交流の意義は大きいので,できるだけ事業は継続できるよう参加者個人からの費用負担を求めるなど方法を考えたい。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント	市が実施すべき範囲を明確にし,国際交流協会との役割分担を整理してください,また,コスト削減に向けた取り組みを進めてください。						

(一般事業)	事業コード	5110060
平成16年度	事業名	アジアニューズレターの発行

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	5	市民と協働してつくる自立した行政基盤づくり	所管課	総務部		
総合計画	中	1 市民と行政の協働システムの実現		市民参画課		
政策施策	小	1 情報公開の推進	所管課長氏名	水谷 幸雄		
体系	細		記入者氏名	竹迫 留利子		
事業期間	平成15年9月~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2008 内線 94-302		
根拠法令・要綱等			実施主体	市		
実施手続		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金				
委託先		<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	英語版広報紙の発行					
事業の現状	・発行期間 平成16年6月~平成17年3月 ・発行月 6・8・10・12・1・3月 ・発行部数 各1,000部 ・配布先 市内公共施設及び商業施設に配布。市のホームページに掲載。					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	発行頁数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	28,800頁	28,800頁	24,000頁	16,000頁	16,000頁
	単位コスト	126.28円/頁	146.80円/頁	215.58円/頁		-
結果指標(2)	指標名	発行回数				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値	年6回	年6回	年6回	年4回	年4回	
単位コスト	568,666円	704,666円	862,333円			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市内在住の外国人					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	1,745人	受益数(b)	1,000人	比率(b÷a)%	57.31%
意図(対象を主語にして)	図	・外国人の生活に密着した行政情報や外国人が必要としている情報をタイムリーに伝える。 ・外国人が芦屋市で生活していくためのルール等を守ってもらう。(ごみ収集等)					
大きな目的	図	・外国人が快適な暮らしができるようになることで外国人の定住化を促進でき、住みやすい都市整備が図れる。 ・外国人と行政との共同システムづくりが可能となる。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	アジアニューズレターの読者数				
		考え方・式	発行数 - 残存数 = 読者数				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	把握せず	把握せず	4,213人/6,000部	3,000人/4,000部	3,000人/4,000部	
最終成果指標	指標名						
	考え方・式						
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項	全国で唯一の国際文化住宅都市であること。						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	132	住民1人当り(円)	57	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	70.0%	1,634	2,510	3,624	-
	事業費	22.5%	1,558	1,483	1,166	929
	他部門経費	7.4%	220	235	384	-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	3,412	4,228	5,174	929
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	3,412	4,228	5,174	929	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.25	0.30	0.45	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.25	0.30	0.45	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			5	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない				
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている				
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握			3	3
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している 内容	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要				
有効性 4点	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				3	3
	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
有効性 4点	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない				2	-1
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり 商業施設等にも配布 <input type="checkbox"/> 特になし					
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 京周辺の自治体	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			2	-1
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない				
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	高い,または低い場合の理由				
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
効率性 3点	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				総合評価	A
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容 部数の削減,郵送料の削減				B	
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た		総合評価
平成16~17年度に実施した改善内容	課題 印刷代の削減 郵送料の削減	<input type="checkbox"/> D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	
					改善内容 ・印刷部数1200部を1000部に削減 ・平成17年度より発行回数を年6回を4回に削減 ・郵送は国際交流協会の文書類と同封		総合評価

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	ブラジル及びペルーからの外国人が著しく増えてきており,そのためポルトガル語などの必要性も感じる。 ハングル語・中国語・英語併記が望まれる。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
その他考えられる改善のアイデア	・市広報紙と同じく広告欄など掲載し有料化できないか今後検討したい。							
平成18~20年度の方向性						今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	NPOへの対応や有料広告の掲載などを検討してください。							

(一般事業)	事業コード	3310020
平成16年度	事業名	共生を目指す関係団体のネットワーク

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	総務部 市民参画課		
総合計画	中	3	男女共同参画社会の実現				男女共同参画推進担当		
政策施策	小	1	男女共同参画行動計画の推進			所管課長氏名	水谷 幸雄		
体系	細					記入者氏名	若林 伸貞		
事業期間	平成3年4月～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-2023	内線	94-202
根拠法令・要綱等	男女共同参画社会基本法、第2次芦屋市男女共同参画行動計画					実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____								
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政のパートナーシップによる男女共同参画を進めるため、女性センター登録団体による月例会や合同事業を開催し、団体間の連携を深める。 ・男女の人権啓発につながる関係団体との合同事業開催による男女共同参画意識の醸成 								
事業の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・月例会での各団体間の活動紹介 ・年1回の合同事業や合同研修の開催 ・市実施事業の案内や現状報告(啓発および情報提供) ・市政への参画 								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	登録団体数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値		30団体	34団体	38団体	40団体		
		単位コスト	105,800円	81,470円					
	結果指標 (2)	指標名	月例会や合同事業開催数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値			12回	12回	12回	12回			
	単位コスト	264,500円	270,833円						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	登録団体の構成会員							
	対象カバー率	対象数(a)	1,648人	受益数(b)	762人	比率(b÷a)%	46.2%		
	意図 (対象を主語にして)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接事業に参加することにより、男女共同参画に対する正しい知識が得られる。 <input type="checkbox"/> 月例会や施設利用により、異種団体間の交流が深まる。							
大きな目的	男女共同参画社会の実現								
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	女性センター以外で連携事業を実施した件数						
		考え方・式							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値		不明	不明				
	最終成果 指標	指標名	男女共同参画について正しい知識を得た人の数						
		考え方・式							
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値		不明	不明					
芦屋市の特色など補足する事項	毎月定例会を開催し、団体間のコミュニケーションも深まり、女性センター外でも相互交流が行われている。								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	71	住民1人当り(円)	31	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	100.0%	3,476	3,141	2,770	-
	事業費	0.0%	34	33	0	0
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	3,510	3,174	2,770	0
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	3,510	3,174	2,770	0
活動配分 (人)	職員	50.0%	0.20	0.20	0.20	-
	嘱託・臨時等	50.0%	0.35	0.30	0.20	-
	合計	100.0%	0.55	0.50	0.40	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	3
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	1	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える			
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		<input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名: 他市センター	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	1	0	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない			
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
		高い,または低い場合の理由		団体の共同事業は団体の自主財源で運営,他市では公費負担あり			
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない	↳ 内容: 登録団体間で共同事業経費を徴収している			
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	C
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	市民参画への意識醸成	改善内容	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった		
					<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった		D
					まちづくり参画セミナーの開催 活動の活性化支援講座の開催 活動活性化のための情報提供と場の提供		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		協議会ネットワーク事業の把握 団体間をコーディネートできるリーダー養成						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	協議会月例会で,ネットワーク事業の報告を受ける					
		実施期限	平成	17	年	7	月	
	(2)	対応内容	協議会月例会,共同事業実施時の役割分担によりリーダー意識の醸成を図る					
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性		登録団体の拡大と団体間交流の活発化				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		女性センターの運営は,NPO,市民団体に任せてください。						

(一般事業)	事業コード	3320010	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	男女共生に関する情報収集,提供と情報コーナーの活用						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	総務部 市民参画課			
総合計画	中	3 男女共同参画社会の実現		男女共同参画推進担当			
政策施策	小	2 参画に向けての基盤整備	所管課長氏名	水谷 幸雄			
体系	細		記入者氏名	若林 伸貞			
事業期間	平成6年8月~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-2023 内線 94-202			
根拠法令・要綱等	男女共同参画社会基本法		実施主体	市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	男女共生に関する情報の収集,提供 図書の貸し出し 女性の文化・芸術活動の支援						
事業の現状	国,県,近隣市との情報交換したチラシ等の提供 図書(蔵書 1,000冊)の貸し出し 女性作家による写真,絵画,染色等を一月単位で展示						
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	展示回数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	12回	12回	12回	12回	12回
	結果指標 (2)	単位コスト	390,333円/件 260,250円/件 166,083円/件				
		指標名	図書の貸し出し冊数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	199冊	104冊	126冊	200冊	12回	
	単位コスト	23,538円/冊 30,028円/冊 15,817円/冊					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	施設を利用した市民					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	比率(b÷a)%			
	意図 (対象を主語にして)	男女共生に関する認識が深まる					
大きな目的	男女共同参画社会の実現						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	男女共同参画に関する用語の認知度 男女共同参画週間記念事業(映画会)におけるアンケート調査				
		考え方・式	「男女共同参画」を知っているか				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	不明	不明	68%	75%	90%
	最終成果 指標	指標名					
		考え方・式					
年 度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値						
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	51	住民1人当り(円)	22	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	92.5%	4,188	2,961	1,843	-
	事業費	7.5%	496	162	150	198
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	4,684	3,123	1,993	198
財 源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	4,684	3,123	1,993	198
活 動 配 分 (人)	職員	60.0%	0.20	0.15	0.15	-
	嘱託・臨時等	40.0%	0.65	0.50	0.10	-
	合計	100.0%	0.85	0.65	0.25	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	3
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 新たな制度の周知を図るため変化に応じた情報の提供が必要		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	3	3
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市センター <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____ ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由: 他市では情報専門相談員を配置していることがある	0	-1
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 図書購入の厳選 市費による展示をしなくてもむよう展示者の開拓		
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性 <input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価 B B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題: 人件費の削減	改善内容: H P 編集, 図書の整理, 事業チラシ作成等に市民ボランティアの活用	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	収集した情報の市民への提供拡大					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称					
	意見,要望内容					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	積極的な広報活動			
		実施期限	平成	年 月		
	(2)	対応内容	協議会月例会,共同事業実施時の役割分担によりリーダー意識の醸成を図る			
		実施期限	平成	年 月		
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年 月		
その他考えられる改善のアイデア						
平成18~20年度の方向性	広報活動の充実により利用者増を図る 平成18年度からこの事業を「女性センター運営事業」へ一本化予定			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
			統合/終期設定			
			廃止/休止			
2次評価委員会コメント	女性センターの運営は,NPO,市民団体に任せてください。					

(一般事業)	事業コード	3320020
平成16年度	事業名	女性センター運営事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	総務部
総合計画	中	3	男女共同参画社会の実現			男女共同参画推進担当	
政策施策	小	2	参画に向けての基盤整備			所管課長氏名	水谷 幸雄
体系	細					記入者氏名	水谷 幸雄
事業期間	平成16年8月		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2008 内線 94-301
根拠法令・要綱等						実施主体	市
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金	
委託先		<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に繋がる市民活動の拠点 ・地域団体の自発的な活動支援、情報提供 						
事業の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体への施設使用許可 ・啓発のための各種事業実施 ・図書/資料の貸し出し ・活動支援のための情報提供 						
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	女性センター登録団体数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値		30	34	34	
	単位コスト	213,033円 160,000円					
	結果指標 (2)	指標名	施設利用回数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値			397回	459回	500回		
単位コスト	16,098円 11,851円						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	来館者数				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	4,974人	比率(b÷a)%	
	意図 (対象を主語にして)	男性、女性という性別による役割分担意識を払拭し、互いの人権に対する正しい知識が得られる。				
大きな目的	男女共同参画社会の実現					
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	男女共同参画社会の実現			
		考え方・式	男女共同参画について正しい知識を得た人数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	6,020人	5,346人	4,974人	6,000人	
	最終成果 指標	指標名	社会参画へ参画する女性の割合			
		考え方・式				
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値						
芦屋市の特色など補足する事項	女性センターは貸し館(独立館)でないため、男女共生を目指す団体のみ登録制度を取り、団体間のミーティングや交流の場として施設利用を認めている。					

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	139	住民1人当り(円)	60	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	40.6%	1,621	2,802	2,207	-
	事業費	12.4%	337	460	673	881
	他部門経費	47.1%	3,409	3,129	2,560	-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	5,367	6,391	5,440	881
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	1.9%	106	84	102	
一般財源	98.1%	5,261	6,307	5,338	881	
活動配分 (人)	職員	42.9%	0.10	0.15	0.15	-
	嘱託・臨時等	57.1%	0.15	0.40	0.20	-
	合計	100.0%	0.25	0.55	0.35	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			5	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない					
		<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握					
		<input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		2	2	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり センターを積極的にPRする <input type="checkbox"/> 特になし						
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			0	-1	
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない					
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由						
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない						
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について						
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている			<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である			<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である			
		<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である			<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない						
		内容 センター運営に市民ボランティアの活用						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	D
			<input type="checkbox"/> D					
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	市民と協働によるセンター運営		改善内容	市民ボランティアの活用		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		センター運営の方法,センターの名称変更,部屋の使用の有料化等						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	センター独立館として,設置管理条例を制定する際に抜本的に変更したい。					
		実施期限	平成	未定	年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア		市民ボランティアグループ化による活動の定着化						
平成18~20年度の方向性		市民との協働によるセンター運営の推進を図る。 平成18年度から「男女共生に関する情報収集,提供と情報コーナーの活用」をこの事業に一本化				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		女性センターの運営は,NPO,市民団体,民間委託等に任せてください。						

(一般事業)	事業コード	1320160
平成16年度	事業名	薬剤散布等環境衛生業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり			所管課	生活環境部 総務課
総合計画	中	3	環境適合型社会の形成				
政策施策	小	2	環境保全対策の推進			所管課長氏名	橋本裕二郎
体系	細					記入者氏名	橋本裕二郎
事業期間	昭和20年代	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2050	内線 2601
根拠法令・要綱等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					実施主体	市
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____						
事業の概要	・市内全域の薬剤散布による感染症予防対策の実施						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	・カ、ハ工駆除薬剤散布(4月~10月) ・毛虫等害虫駆除, 蜂の巣駆除, ねずみ駆除剤取付(マンホール約300箇所 11月~3月) ・感染症対策(0157)給食室・トイレ等の消毒, 学校園薬剤散布						
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	害虫駆除, 0157予防の為に薬剤散布依頼件数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	148件	144件	116件	110件	110件
	結果指標 (2)	指標名	害虫駆除, 0157予防の為に薬剤散布処理件数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	148件	144件	116件	110件	110件

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	・感染症の原因となる細菌, 害虫, ねずみ等					
	対象カバー率	対象数(a)	89,610人	受益数(b)	89,610人	比率(b÷a)%	100%
	意 図 (対象を主語にして)	・消毒, 駆除により感染症の発生を予防する。					
大 き な 目 的	・清潔で快適な生活環境を確保する。						
アウトカム 指標	中間成果 指 標	指標名	感染症発生件数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値		0件	0件	0件	0件	
	最終成果 指 標	指標名					
年 度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	

芦屋市の特色など補足する事項

3 事業費・活動配分(コスト)		1世帯当たり(円)	627	住民1人当たり(円)	273	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	89.0%	15,644	23,349	21,855	-
	事業費	11.0%	4,086	3,706	2,689	
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	19,730	27,055	24,544	0
財 源 (千円)	国・県					
	市債等					
そ の 他						
一 般 財 源	100.0%	19,730	27,055	24,544	0	
活 動 配 分 (人)	職 員	54.3%	1.80	2.60	2.00	-
	嘱託・臨時等	45.7%	0.88	1.08	1.68	-
	合 計	100.0%	2.68	3.68	3.68	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	2	2
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	2	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない			
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-3	-3
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	高い,または低い場合の理由		
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容						
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がな	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価 D D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題		改善内容				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	経費の削減						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	市民					
	意見,要望内容	力,八工等の駆除					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	現場を確認し,公道部分,市有地については薬剤を散布している。				
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	民間委託の検討 再任用職員の配置	今後の方向性	拡大・充実	1次評価	2次評価		
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
		統合/終期設定					
2次評価委員会コメント	廃止/休止						

(一般事業)	事業コード	1320180
平成16年度	事業名	空閑地対策業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり	所管課	生活環境部		
総合計画	中	3 環境適合型社会の形成	総務課			
政策施策	小	2 環境保全対策の推進	所管課長氏名	橋本裕二郎		
体系	細		記入者氏名	橋本裕二郎		
事業期間	昭和48年~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2050 内線 2601		
根拠法令・要綱等	緑ゆたかな美しいまちづくり条例		実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容					
事業の概要	空閑地の雑草、樹木等の適正管理の指導					
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域の空閑地の現状調査(空閑地所有者 2,635人) ・年1回,所有者へ適正管理の通知(はがき送付件数 150件) ・苦情対応,現地調査 ・苦情のあった不良空閑地の所有者に対し適正管理を依頼(依頼文書送付件数 72件) 					
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	通知書送付件数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	137件	164件	150件	150件	150件
	単位コスト					
結果指標 (2)	指標名	適正管理依頼件数				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	72件	97件	72件	70件	70件
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図 (対象を主語にして)	対象	空閑地所有者				
	対象カバー率	対象数(a)	2,635人	受益数(b)	比率(b÷a)%	
	意図	<ul style="list-style-type: none"> ・空閑地の所有者が雑草の除去,樹木の手入れ等を行うことにより,良好な住環境を形成する。 ・カ等の発生を予防し,ごみの不法投棄,たばこのポイ捨てによる火災を予防する。 				
大きな目的	空閑地の適正な管理を所有者が行うよう指導し,美しいまちづくりを推進する。					
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値					
	最終成果 指標	指標名				
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値						
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円)	112	住民1人当り(円)	49	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳 (千円)	人件費	98.7%	3,462	3,808	4,316	-				
	事業費	1.3%	57	58	58	60				
	他部門経費	0.0%			0	-				
	減価償却費	0.0%			0	-				
	合計	100.0%	3,519	3,866	4,374	60				
財源 (千円)	国・県									
	市債等 その他									
一般財源	100.0%	3,519	3,866	4,374	60					
活動 配分 (人)	職員	83.3%			0.50	-				
	嘱託・臨時等	16.7%			0.10	-				
	合計	100.0%	0.00	0.00	0.60	0.00				

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	1	1
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		0	0
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している					
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		<input checked="" type="checkbox"/> 特になし				
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	単位コスト		<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり	
	手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である	
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている		<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない		内容	
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がな	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価 D D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題		改善内容				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	実効性がない。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	市民						
	意見,要望内容	土地所有者への適正管理の強力な指導 土地所有者に代わって行政が草刈等行ってほしい。						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	市広報紙による啓発					
		実施期限	平成	18	年	3	月	
	(2)	対応内容	条例改正を含め検討する。					
		実施期限	平成	18	年	3	月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア	行政代執行も含めた実効性のある施策							
平成18~20年度の方向性	今後の方向性	拡大・充実					1次評価	2次評価
		現状維持						
		方法改善						
		民間委託等						
		縮小						
		統合/終期設定						
2次評価委員会コメント	他市の状況を把握の上。苦情対応のみにとどめるなど縮小を図ってください。							

(一般事業)	事業コード	4340010
平成16年度	事業名	芦屋市霊園維持管理業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり	所管課	生活環境部		
総合計画	中	3 安全で快適な生活基盤の充実		総務課		
政策施策	小	4 その他都市施設の整備	所管課長氏名	橋本裕二郎		
体系	細		記入者氏名	天王寺谷正裕		
事業期間	昭和28年12月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時		
根拠法令・要綱等	墓地埋葬等に関する法律、芦屋市霊園使用条例		電話番号	0797-38-2050 内線 2603		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		実施主体	市		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	名称 霊園協力会	委託内容	維持管理業務		
事業の概要	墓地の維持管理 敷地総面積 152,878㎡ 墓地区画数6,171区画(面積38,734㎡)					
事業の現状	霊園墓地使用者より年間1,200円/1㎡の維持管理費を徴収。 維持管理費徴収件数及び徴収額。件数4,482件 金額38,612千円 園内の樹木の剪定及びゴミ清掃収集作業(作業人員6名,年間作業日数280日),来園者等への案内業務 使用者変更等,各種届出受付処理,墓地台帳の整理等					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	作業日数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	280日	280日	280日	280日	280日
	単位コスト	73,368円	74,142円	81,128円	80,437円	80,437円
結果指標(2)	指標名					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値						
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	墓地使用者及び参拝者,その他の市民					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	6,171	受益数(b)	6,171	比率(b÷a)%	100%
	意図(対象を主語にして)	来園者が安全快適に利用出来るよう,霊園の状態を良好に保つ。					
大きな目的	市民の憩いの場となる緑の多い美しい都市公園づくり。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名					
		考慮方式					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値						
最終成果指標	指標名	ゴミ収集量					
	考慮方式						
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値	77,780kg	85,320kg	105,970kg	100,000kg	100,000kg		
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	902	住民1人当り(円)	392	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	14.9%	16,807	11,088	5,271	-
	事業費	84.5%	43,166	29,783	29,818	32,191
	他部門経費	0.6%		247	217	-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	59,973	41,118	35,306	32,191
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	111.9%	39,004	39,288	39,501	39,894
	一般財源	-11.9%	20,969	1,830	-4,195	-7,703
活動配分(人)	職員	63.8%	1.75	1.81	0.60	-
	嘱託・臨時等	36.2%		0.85	0.34	-
	合計	100.0%	1.75	2.66	0.94	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	-1	-1
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		1	1
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している					
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している					
効 率 性 3点	成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり				-1	-1
	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 把握していない		
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である					
	手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている					
コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている				特に 行っていない	D	D
	内容						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	<input checked="" type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	イノシシによる被害の防止 委託業務内容の拡大		改善内容	防護柵設置工事 霊園事務所の案内業務等	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		未使用墓地等の整理						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	市民,市議会						
	意見,要望内容	墓参者の安全の為の防護柵の設置等						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	防護柵の設置					
		実施期限	平成	17	年	6	月	
	(2)	対応内容	平成17年度に墓地の調査を行い未使用墓地の数を把握する。					
		実施期限	平成	17	年	9	月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア		未使用墓地等の使用促進						
平成18~20年度の方向性		未使用墓地等の調査を行い,墓地需要に対応する。 平成16年度民間委託済み,料金徴収は市直営。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント								

(一般事業)	事業コード	4340050
平成16年度	事業名	あしや温泉運営管理業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり			所管課	生活環境部			
総合計画	中	3	安全で快適な生活基盤の充実			総務課				
政策施策	小	4	その他都市施設の整備			所管課長氏名	橋本裕二郎			
体系	細					記入者氏名	橋本裕二郎			
事業期間	平成7年12月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2050	内線	2601	
根拠法令・要綱等	芦屋市立あしや温泉の設置及び管理に関する条例					実施主体	市			
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	維持管理		
事業の概要	温泉を利用した公衆浴場									
事業の現状	震災で市内の公衆浴場が無くなった事から、総合福祉センター開設までの間、温泉を利用した公衆浴場として開設。 建物 軽量鉄骨平屋建 営業時間 午後2時~午後10時 休業日 毎週火曜日、第1・第3水曜日(ただし、水曜日は営業)、1月1日~3日 管理 兵庫県公衆浴場業生活衛生同業組合芦屋支部に管理委託									
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	利用者数							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
		指標値	86,405人	79,422人	77,095人	80,000人	80,000人			
	単位コスト	365円/人		294円/人		370円/人				
	結果指標 (2)	指標名								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値										
単位コスト										

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市民, 市外住民								
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)		比率(b ÷ a) %					
	意図	温泉を利用した公衆浴場 (対象を主語にして)								
大きな目的	公衆衛生の向上及び健康増進									
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名								
		考え方・式								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値									
	最終成果 指標	指標名								
		考え方・式								
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値										
芦屋市の特色など補足する事項										

3 事業費・活動配分(コスト)

				1世帯当り(円)	730	住民1人当り(円)	317	平成17.4.1	住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)				
内訳 (千円)	人件費	6.1%	2,560	3,260	1,742	-			
	事業費	72.5%	22,902	25,779	20,711	22,251			
	他部門経費			490		-			
	減価償却費	21.4%	6,116	6,116	6,116	-			
	合計	100.0%	31,578	35,645	28,569	22,251			
財源 (千円)	国・県								
	市債等								
	その他	76.8%	21,542	21,866	21,942	24,360			
一般財源	23.2%	10,036	13,779	6,627	-2,109				
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.25	0.30	0.20	-			
	嘱託・臨時等					-			
合計	100.0%	0.25	0.30	0.20	0.00				

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	2	2	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 利用者数 77,095人	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容				
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		-1	-1	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input checked="" type="checkbox"/> 特になし					
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない	0	0	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	入浴料の改定	改善内容	入浴料金の値上げ				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	施設の老朽化								
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	温泉利用者							
	意見,要望内容	営業の継続							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	施設の改修						
		実施期限	平成	17	年	6	月		
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア									
平成18~20年度の方向性	施設補修をしながら営業を継続する。						今後の方向性	1次評価	2次評価
							拡大・充実		
							現状維持		
							方法改善		
							民間委託等		
							縮小		
2次評価委員会コメント							統合/終期設定		
							廃止/休止		

(一般事業)	事業コード	5230900	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	ラポルテ市民サービスコーナー運営						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	5	市民と協働してつくる自立した行政基盤づくり	所管課	生活環境部		
総合計画	中	2 効率的な市役所システムの確立		市民課		
政策施策	小	3 事務事業の効率化	所管課長氏名	松元 龍二		
体系	細		記入者氏名	松元 龍二		
事業期間	昭和62年1月6日～		電話番号	0797-38-2030		
根拠法令・要綱等	ラポルテ市民サービスコーナー運営要綱		内線	2401		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		実施主体	市		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		委託内容	<input type="checkbox"/> 民間委託		
事業の概要	市民の便宜を図るためサービスコーナーを設置し、証明書等の発行を行う。					
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	住民票の写し、印鑑証明書、外国人登録記載事項証明書、税務証明はオンライン端末から出力して発行する。 戸籍関係証明は、本庁からのFAXを受信して発行する。 平成15年度 証明発行件数 本庁、ラポルテ合計164,136件、内ラポルテ発行件数 33,149件(20.2%) 16年度から税務証明発行 1,083件・その他の業務 粗大ごみ処理券発行 1,104件 コピーサービス 80,617円 統計書、あんま、針・灸利用券交付、市発行PR文書等の配布					
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	証明発行件数			
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	32,524件	32,085件	33,149件	40,000件	40,000件
	単位コスト	622円/件	652円/件	611円/件	500円/件	500円/件
結果指標 (2)	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値					
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	証明書等を必要とする市民、市外在住者、法人等				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	比率(b÷a)%		
	意 図 (対象を主語にして)	証明書等を必要とする市民、市外在住者、法人等が証明書等を取得できること。				
大 き な 目 的	本庁まで出向がなくてもサービスコーナーで証明書等を取得できるよう、利用者の利便を図る。					
アウトカム 指標	中間成果 指 標	指標名	証明書発行割合			
		考え方・式	証明書発行件数(本庁、ラポルテ)のうちサービスコーナーで取り扱った証明書発行件数(税務証明を除く)			
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	17%	17%	20%	25%	25%
最終成果 指 標	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値					
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	518	住民1人当り(円)	225	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	82.6%	16,536	17,296	16,742	-
	事業費	17.4%	3,703	3,643	3,524	2,949
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	20,239	20,939	20,266	2,949
財 源 (千円)	国・県					参考 手数料収入は、住民基本台帳事務、戸籍事務等の財源に計上
	市債等					
一 般 財 源	100.0%	20,239	20,939	20,266	2,949	サービスコーナーの手数料徴収額
活 動 配 分 (人)	職 員	0.0%	1.00	1.00	0.00	-
	嘱託・臨時等	100.0%	2.40	2.40	4.40	-
	合 計	100.0%	3.40	3.40	4.40	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			5	5		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 証明発行件数, 33, 149件	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握			4	4		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容 平日の時間延長, 土曜日, 日曜日, 祝日の証明書発行を実施	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要						
有効性 4点	優先性, 緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ, 市民の生命, 安全等が損なわれる							
	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度			<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い			
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している					<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
有効性 4点	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える					4	4	
	- 成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり							
効果 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 宝塚市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			1	0		
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト 事業費のみ把握	<input type="checkbox"/> 把握していない						
		↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度						
		高し,または低い場合の理由 人件費が低額であるため	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い						
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である					<input type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない		
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている					<input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある		
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている					<input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た	総合評価	A	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	<input type="checkbox"/> D	改善内容		<input type="checkbox"/> 改善したが, 効果がなかった			
		窓口取扱い時間の延長 人件費の削減		16年4月から土曜, 日曜, 祝日の開庁 平日の窓口取扱い時間を7時まで延長 再任用職員の配置による人件費削減					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		サービスコーナーの利用について, 市民へのPRに努める							
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称								
	意見, 要望内容								
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	平日の時間外および休日の証明書発行						
		実施期限	平成	16	年	4	月		
	(2)	対応内容	戸籍関係証明は, 戸籍システム稼働後に時間外発行可能						
		実施期限	平成	17	年	11	月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア									
平成18~20年度の方向性		自動交付機の設置については, 住基カード(作成費用約500円)が必要となり, 年間1件程度の証明書取得のために, システムを含めて整備が必要となる。 ラポルテ市民サービスコーナーは, 市の配布物及びPR文章を置いているため, 完全無人にはできない。 よって, 現状維持で考えている。					今後の方向性	1次評価	2次評価
							拡大・充実		
							現状維持		
							方法改善		
							民間委託等		
							縮小		
							統合/終期設定		
							廃止/休止		
2次評価委員会コメント		ラポルテサービスコーナーのPRに努めるとともに, 目標数値を高めてください。							

(一般事業)	事業コード	1510200
平成16年度	事業名	市民農園事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり	所管課	生活環境部			
総合計画	中	5	地域特性を生かした産業の振興	経済課			
政策施策	小	1	芦屋のイメージを高める産業の誘致・振興	所管課長氏名			
体系	細			岸本 裕志			
事業期間	平成4年~	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	記入者氏名			
根拠法令・要綱等	芦屋市市民農園の設置管理に関する要綱			電話番号			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託			内線			
委託	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			2422			
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託			実施主体			
事業の概要	委託内容 市民農園維持管理, 栽培指導等 市が農家から農地を借り受け、野菜や花等の栽培をとおして自然環境に触れていただく。 又、農家から栽培指導を受けることができる。						
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容 平成15年4月から平成17年3月までの2年間貸与。市民農園は3ヵ所、114区画を開設。 市民農園全面積は、3,830㎡(内訳 岩園第1=716㎡・28区画, 岩園第2=819㎡・35区画, 六麓荘=2,295㎡・51区画)。年度当初に、入園料として 年額36,000円(月額3,000円)を徴収する。						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	申込者数(事業費/申込者数)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	198人	156人	156人	156人	156人
	結果指標(2)	単位コスト	17,545円/人				
		指標名	利用者数(事業費/利用者数)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	117人	116人	111人	114人	114人	
	単位コスト	29,692円					
		指標値	26,862円	25,783円			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市民(平成16年4月1日世帯)					
	対象カバー率	対象数(a)	39,852世帯	受益数(b)	111世帯	比率(b÷a)%	
	意図(対象を主語にして)	野菜や花等の栽培をとおして、自然に触れ合い、農業に対する理解を深める。					
大きな目的	農地が維持され、潤いある生活環境が保全される。						
アウトカム指標	中間成果	指標名	農園利用率(%)				
		考え方・式	栽培区画数/全区画数×100				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果	指標値	67.8%	95.1%	92.3%	95.1%	95.1%
		指標名	市内宅地化農地に対する農地面積				
		考え方・式	農園面積/宅地化農地×100				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	33%	33%	34%	34%	34%	
芦屋市の特色など補足する事項	本市の農地は、35,468㎡(生産緑地24,447㎡,宅地化農地11,021㎡)があるが、農家の高齢化により農業従事者が減少してきた。 農家7戸(兼業農家)						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	73	住民1人当り(円)	32	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	52.8%	2,199	1,910	1,512	-
	事業費	47.2%	1,275	1,206	1,350	1,350
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	3,474	3,116	2,862	1,350
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	132.4%	2,784	3,906	3,788	3,788
	一般財源	-32.4%	690	-790	-926	-2,438
活動配分(人)	職員	100.0%	0.23	0.20	0.20	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.23	0.20	0.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	5	3	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> 市民農園応募倍率	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要		内容			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	0		
	受益者(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし	
-成果向上余地(1~ 1)								
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 神戸市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト 17,986円	<input type="checkbox"/> 把握していない	-1	-1	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	B	D
平成16~17年度に実施した改善内容		課題 経営コストの削減を行なった	改善内容 委託料を減額した					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		<ul style="list-style-type: none"> ・使用料が高い ・申込辞退等が多い 						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	市民(複数)						
	意見,要望内容	使用料が高い。						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	市民農園使用料の据え置き					
		実施期限	平成	17	年	4	月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性						今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		自主運営等を検討してください。						

(一般事業)	事業コード	1530030
平成16年度	事業名	商業活性化事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり	所管課	生活環境部			
総合計画	中	5 地域特性を生かした産業の振興		経済課			
政策施策	小	3 経営環境の整備への支援	所管課長氏名	岸本 裕志			
体系	細		記入者氏名	仲俣 利晴			
事業期間	昭和63年から	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2033 内線 2422			
根拠法令・要綱等	芦屋市商業活性化対策協議会補助金交付要綱		実施主体	芦屋市商業活性化対策協議会			
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 芦屋市商業活性化対策協議会 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託		委託内容	商業活性化事業の策定・実施			
事業の概要	芦屋市と芦屋市商工会及び芦屋市商店連合会の三者が、芦屋市商業活性化対策協議会を組織し、市内商業の活性化を図るための事業を実施している。						
事業の現状	商業活性化事業の実施 活性化計画の作成、アドバイザー・コンサルタントの派遣、商店街・市場等の共同イベントの助成、商店街・市場等調査研究費対象事業補助、近代化対策事業、視察研修事業、ホームページIT事業等						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	会議開催回数 (会議費+報償費のうち市補助金相当額/回数)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	6回	5回	11回	11回	11回
	結果指標(2)	指標名	活性化事業数 (事業費/事業数)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	16事業	18事業	16事業	16事業	16事業
単位コスト		402,937円	355,666円	402,375			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市内商業団体(商店街等・・商工会議案書より)					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	20団体	受益数(b)	11団体	比率(b÷a)%	55.0%
	意図(対象を主語にして)	市内商店街が、活性化事業を実施する。					
大きな目的	市内商業の活性化により、商業集積の賑わいの再生が行われ、地域の活性化にも繋がる。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	商業集積(商店街)で実施した活性化事業数				
		考え方・式	活性化事業を実施することで、来街者が増加し、消費(売り上げ)の増加にも繋がる。				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果指標	指標名	イベント集客数				
		考え方・式	集客事業を実施することで、販売額の増加に繋がる。				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値		17,400人	23,200人	44,900人	45,000人	45,000人	
芦屋市の特色など補足する事項	芦屋市は住宅都市であるため、近隣都市のような大規模な商業集積はない。しかし、面積当たりの販売額は高い。近隣市よりも、少子高齢化が進んでいることや購買力の市外への流出が大きいことなど、地域商圏の特質に根ざした経営戦略が必要。						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円)	165	住民1人当り(円)	72	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	62.6%	3,447	3,902	4,033	-				
	事業費	37.4%	3,000	2,500	2,405	2,405				
	他部門経費					-				
	減価償却費					-				
	合計	100.0%	6,447	6,402	6,438	2,405				
財源(千円)	国・県									
	市債等									
その他										
一般財源	100.0%	6,447	6,402	6,438	2,405					
活動配分(人)	職員	100.0%	0.31	0.36	0.40	-				
	嘱託・臨時等					-				
合計	100.0%	0.31	0.36	0.40	0.00					

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			2	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない				
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている				
		<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない				
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握			4	4
		<input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要				
		内容: 要請に応じた活性化事業を行っている。					
効 率 性 3点	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				0	0
	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度				
		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い					
効 率 性 3点	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			0	0
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
		<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える			<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない		
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし					
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名: _____	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない		0	0
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない			
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い		<input type="checkbox"/> 他団体と同程度			
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い		高い,または低い場合の理由: _____			
効 率 性 3点	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である				0	0
		<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない					
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり					
		<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
効 率 性 3点	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について				0	0
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である			
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	
		<input type="checkbox"/> D					
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	集客事業の活発化			改善内容	B	B
					利用しやすい補助制度とするために 1.補助金の概算払いを可能とした 2.イベント補助対象を拡大した		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	商業施設ごとの商圈に固有の特性による品揃えや空き店舗の解消に努める。 各商業団体により,活性化対策への意識の差が大きい。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	常設の協議組織を設ける				
		実施期限	平成	17	年	7	月
	(2)	対応内容	商業マップを活用した商店街の活性化				
		実施期限	平成	18	年	3	月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
			各店舗の魅力の再発見とその特質の強化 活性化のためのキャンペーン等の新規事業の実施				
平成18~20年度の方向性	事業活動の活発な商業団体への助成の集中により,効果的な事業を実施する。 商店街における空き店舗の解消 地域の特性に根ざした商店街の魅力の向上 流出している購買力の市内への還流				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント							

(一般事業)	事業コード	1310090
平成16年度	事業名	ごみ計量業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり	所管課	生活環境部		
総合計画	中	3	環境適合型社会の形成		環境処理センター		
政策施策	小	1	環境への負荷の低減	所管課長氏名	久堀英次		
体系	細			記入者氏名	久堀英次		
事業期間	不明	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-32-5391 内線 2697		
根拠法令・要綱等	芦屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例,計量法			実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____						
事業の概要	廃棄物の排出を抑制し,再利用を促進することにより廃棄物の減量を推進し,廃棄物を適正に処理することを目的として,搬入ごみの計量業務を行なう。						
事業の現状	搬入ごみの種類の確認 搬入ごみの計量 再利用できる粗大ごみの確認 処理できないごみの確認(家電4品目;特定家庭用機器再商品化法,業者・販売店で引き取り,医療系ごみ産業廃棄物(木くず・紙くず・繊維くずを除く;廃棄物の処理及び清掃に関する法律)・パソコン)						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	計量受付件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値		37,698件	39,458件		
	結果指標(2)	指標名	単位コスト				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値		1,206円	920円		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	搬入ごみ量					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	32,917トン	受益数(b)	32,917トン	比率(b÷a)%	100
	意図(対象を主語にして)	搬入ごみが適切に管理されることにより,焼却炉の安全な運転・リサイクルの推進に寄与する					
大きな目的	適正な焼却場の運転・リサイクルの推進により,快適な市民生活への寄与						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	適正に処理したごみ量				
		考え方・式					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果指標	指標値		36,176トン	36,283トン	37,000トン	37,000トン
		指標名	稼働率				
		考え方・式	年間焼却対象ごみ量÷365日÷焼却炉能力				
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値		83%	80%	80%	80%		

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	1,164	住民1人当り(円)	506	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	100.0%		45,463	45,532	-
	事業費					
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	0	45,463	45,532	0
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	0	45,463	45,532	0	
活動配分(人)	職員	81.1%		4.30	4.30	-
	嘱託・臨時等	18.9%		1.00	1.00	-
	合計	100.0%	0.00	5.30	5.30	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	2	1
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容: リサイクル法によるごみの受け入れ, 分別・再資源化によるごみの減量, 有料化による計量			
	優先性, 緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ, 市民の生命, 安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える			
- 成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし					
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神間各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-1	-3
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在, 適正な負担あり			
	手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある	<input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない	内容: 再任用職員の活用			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	<input checked="" type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが, 効果がなかった	総合評価 B D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題: 経費節減 機械化の促進	改善内容: 再任用職員の活用 コンピューターと計量機の更新					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	コスト削減						
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称	搬入者					
	意見, 要望内容	昼休み時間の受け入れ					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	これ以上のコスト削減を図るには, 民間委託による方法にならざるをえない。ごみ焼却炉の運転と一体化した民間委託, 現在の職員の配置換え等を総合的に検討して, そのメリット・デメリットを整理し政策決定する。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント	民間委託の検討を進めてください。						

(一般事業)	事業コード	1310140
平成16年度	事業名	パイプライン施設整備事業

部	長次	長課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市総合計画政策施策体系	まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり	所管課	生活環境部 環境処理センター		
	中	3	環境適合型社会の形成	所管課長氏名	久堀 英次		
	小	1	環境への負荷の低減	記入者氏名	久堀 英次		
	細			電話番号	32-5391 内線 2697		
事業期間	昭和51年4月~	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			委託内容	施設の運転・維持管理		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託			
事業の概要	芦屋浜・南芦屋浜地区のパイプラインごみ収集施設の維持管理 対象エリア(芦屋浜, 南芦屋浜の一部) 処理能力 29t/日						
事業の現状	パイプライン施設の運転・維持管理 収集ごみ量 3,366t, 運転日数 362日, プロウ運転時間 2,163時間 対象世帯 6,890世帯, 対象住民 16,648人						
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	投入口の数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	124基	124基	126基	128基	128基
	結果指標(2)	指標名	延べプロウ運転時間				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	2,335h	2,302h	2,163h	2,200h	2,200h

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	芦屋浜・南芦屋浜住民					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	16,648人	受益数(b)	16,648人	比率(b÷a)%	100%
	意図(対象を主語にして)	住民が24時間ごみ排出可能な状態に, パイプライン設備を良好に維持管理する					
大きな目的	ごみ排出の利便性, 美観・衛生面等住環境の向上						
アウトカム指	中間成果指標	指標名	ごみ収集量				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	3,265t	3,446t	3,366t	3,504t	3,540t
	最終成果指標	指標名	ランニングコスト(人件費・工事費除く)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	139,396千円	127,973千円	125,729千円	123,000千円	120,000千円
芦屋市の特色など補足する事項	収集エリアは全国一。また住宅系の収集量も全国一である。						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円)	4,766	住民1人当り(円)	2,071	平成17.41 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	3.6%	9,145	7,224	6,625	-				
	事業費	96.4%	199,435	204,818	179,850	135,267				
	他部門経費					-				
	減価償却費					-				
	合計	100.0%	208,580	212,042	186,475	135,267				
財源(千円)	国・県市債等									
	その他									
一般財源	100.0%	208,580	212,042	186,475	135,267					
活動配分(人)	職員	100.0%	0.80	0.70	0.70	-				
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-				
	合計	100.0%	0.80	0.70	0.70	0.00				

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	1	1		
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 埋立地であれば輸送管の埋設ができない等の制約がある	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要				
有効性 4点	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		2	2		
	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
	受益者(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
効 率 性 3点	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない		-3	-3		
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし					
	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 本市委託車収集 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 約1万円/ト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない				
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input checked="" type="checkbox"/> 徴収可能) <input type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない					
手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である	-3	-3		
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容: 輸送管修理工法の改善など <input type="checkbox"/> 特に行っていない					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	コスト削減	改善内容	輸送管修理工法の改善 点検対象・周期の見直し			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の老朽化・今後の整備費の増大。 ・車収集とのコスト差。 ・利用者からの負担金徴収。 							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
平成18~20年度の方向性	施設の規模・適用範囲等の様々な面から検討を行った。 国庫補助事業であり,一定期間は施設を使用しなければ補助金を返還する必要があることから,当分の間は現状維持とする。なお,ごみ収集事業の有料化が全国規模で実施されるのに並行して受益者負担の考え方の導入を検討する。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	パイプライン施設の長期的な施設のあるべき展望を他市の状況等を調査して検討してください。ゴミ有料化への対応や受益者負担の考え方を検討してください。							

(一般事業)	事業コード	2220050	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	福祉サービス利用援助事業						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部総務課					
総合計画	中	2	共に助け合う地域福祉の実現	所管課長氏名	浅田 太枝子				
政策施策	小	2	福祉サービス利用援助の推進	記入者氏名	柳谷 良彦				
体系	細			電話番号	38-2040	内線	2504		
事業期間	平成11年度～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時				
根拠法令・要綱等				実施主体	市				
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容					
事業の概要	判断能力に不安のある高齢者や障害者に対して、社会福祉協議会が実施する福祉サービス利用手続きの援助や日常の金銭管理サービス等に対して市が助成することにより、事業を促進する。								
事業の現状	福祉サービス利用援助事業の利用料金1時間1千円(県協標準額)から500円に減額している。 平成16年度:相談件数56件, 契約件数7件, 利用回数161回 平成15年度:相談件数81件, 契約件数5件, 利用回数125回 近隣市の状況:西宮市, 尼崎市とも1回500円で相談を実施(1時間超過についても, 1回とする。) 西宮市(16年度)								
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	相談件数						
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	54件	81件	56件	60件	65件			
	単位コスト	36,360円/件	15,814円/件	30,560円/件					
結果指標(2)	指標名	契約件数							
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	3件	5件	7件	8件	9件			
単位コスト	659,333円/件	256,200円/件	244,480円/件						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	高齢者, 知的障害者及び精神障害者					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	56件	受益数(b)	7件	比率(b÷a)%	12.5%
意図(対象を主語にして)	図	判断能力に欠ける高齢者, 知的障害者及び精神障害者が福祉サービスの利用相談や日常的金銭管理, 日常的に使用する通帳・印鑑預かりサービスを受けることにより, 在宅生活を送れるようにする。					
大きな目的	図	判断能力に欠ける高齢者, 知的障害者及び精神障害者が利用する福祉サービスの促進					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	支援員の派遣回数				
		考え方・式	生活支援員の派遣回数				
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	57回	125回	161回	165回	170回	
最終成果指標	指標名	1人あたりの派遣回数					
	考え方・式	生活支援員の派遣回数/契約件数 (代替指標:福祉サービス利用援助事業に対する市民利用度)					
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	19回/件	25回/件	23回/件	25回/件	27回/件		
芦屋市の特色など補足する事項	図	高齢化率(20%超過)で, 阪神間で最も高い。 そのため, 今後このようなサービスを必要とする潜在需要が存在する。					

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	44	住民1人当り(円)	19	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	94.6%	1,886	1,189	1,620	-
	事業費	5.4%	92	92	92	92
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合計	100.0%	1,978	1,281	1,712	92	
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	1,978	1,281	1,712	92	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.15	0.10	0.15	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.15	0.10	0.15	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			7	7	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない					
		<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握					
		<input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 未把握					
		<input type="checkbox"/> 相談件数を把握している。						
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		1	1	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入					
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	西宮市他	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	-1	-2	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	19648	<input type="checkbox"/> 把握していない			
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由	契約に至る訪問回数の低減					
		受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない					
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある						
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である						
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない						
		<input type="checkbox"/> 内容: 利用者が相談しやすくすることで,契約締結の向上に努めている。						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	B
			<input type="checkbox"/> D					
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	地道な努力を積み重ねることで,利用の拡大を図る。			改善内容	親身な相談を積み重ねていく。 相談結果の中から,見出された改善案を,検討・実施する。	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		平成11年10月から実施した事業で,法定成年後見制度を補完する事業として位置づけられる。現行の社会福祉制度の方向が措置制度から契約制度に変わってきていることなどから,今後利用の拡大が見込まれる。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	利用者						
	意見,要望内容	特にないが,利用者との相談の中で見出された意見等の内容を適宜検討・実施する。						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	市広報紙,CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで,機会を捉えて,広報を行う。					
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容	社会福祉協議会だよりの中で,詳細な事業内容の紹介を行うことにより,潜在需要を掘り起こす。					
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性		・市広報紙,CATV及び社会福祉協議会が実施する事業などで,機会を捉えて,広報につとめる。 ・民生・児童委員などを通じて,必要な場合は活用するようにしているが,今後とも積極的に活用するように働きかけを継続する。 ・市と社会福祉協議会の連携を密にすることで,利用の促進を図っていく。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		対象者把握のためのネットワークづくりや,適切なサービス状況の提供やPRに努めてください。						

(一般事業)	事業コード	2310020
平成16年度	事業名	高齢者の地域活動の推進

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部		
総合計画	中	3 高齢者の自立をサポートする社会の実現	総務課			
政策施策	小	1 高齢者の生きがい対策	所管課長氏名	浅田太枝子		
体系	細		記入者氏名	浅田太枝子		
事業期間	昭和39年10月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時		
根拠法令・要綱等	芦屋市立老人福祉会館の設置及び管理に関する条例等		電話番号	0797-38-2040 内線 2501		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		実施主体	市		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 社会福祉協議会他 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託		委託内容	管理・運営		
事業の概要	60歳以上の市民を対象に「老人福祉会館」及び「老人憩の家」、各1箇所を設置					
事業の現状	(1)老人福祉会館は、舞台付き大広間(140人定員)、和室(20人定員)、風呂等を備える。 平成16年度は、年間293日開館し、1日約86人が利用。また、各種の学級等を実施。 (社会福祉協議会に委託) (2)老人憩の家は、木造家屋(約78㎡)を賃借して設置。 平成16年度は、年間243日開館し、1日約3人が利用。(16年度からシルバー人材センターに委託)					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	年間延べ利用者数(老人福祉会館)			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	26,545人	27,328人	25,094人	25,800人	26,500人
	単位コスト	1273円/人	1221円/人	1249円/人		
結果指標(2)	指標名					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値						
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市内に居住する60歳以上の人					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	24,497人	受益数(b)	延25,094人	比率(b÷a)%	102.44%
意図(対象を主語にして)	図	高齢者が老人福祉会館で実施する各種の学級などを受講したり、また、同会館で備えている健康器具などを活用する事により、高齢者の生きがいと健康づくりを図る。					
大きな目的		高齢者の生きがいと交流の場の提供により、福祉の増進を図る。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	1日当たりの利用者数(老人福祉会館)				
		考え方・式	年間延べ利用者数/開館日数				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	87.3人	89.4人	85.6人	90人	95人	
最終成果指標	指標名						
	考え方・式						
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項		高齢化率(20.2%)が阪神間で最高。 老人福祉会館の認知度は、平成14年度に社会福祉協議会が実施した住民意識調査の結果では36.7%である。					

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	801	住民1人当り(円)	348	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	5.2%	1,805	1,827	1,620	-
	事業費	33.3%	12,618	12,236	10,430	10,818
	他部門経費					-
	減価償却費	61.6%	19,298	19,298	19,298	-
合計	100.0%	33,721	33,361	31,348	10,818	
財源(千円)	国・県					
	市債等					
その他						
一般財源	100.0%	33,721	33,361	31,348	10,818	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.15	0.15	0.15	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.15	0.15	0.15	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			4	4	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
		<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない					
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握			2	2	
		<input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 年間利用者25,094人	<input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要					
		内容 老人福祉学級の内容などの見直しをしている。						
有効性 4点	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度			<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している						
有効性 4点	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している						
	-成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入						
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			-2	-2	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない					
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度					
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い					
効率性 3点	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である						
		<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない						
	手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり						
効率性 3点	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている						
		<input type="checkbox"/> 特に行っていない						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	経費の節減	改善内容	改善し,効果を得た			
					<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			
					老人憩いの家の委託先を社会福祉協議会からシルバー人材センターに変更することにより,経費の削減ができた。			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		(1)利用者が固定している傾向がある。 (2)指定管理者制度の導入。 (3)施設の老朽化						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	社会福祉協議会及び会館利用者						
	意見,要望内容	老人福祉会館の大広間の内装のリフォーム等						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	指定管理者制度の導入については,市民センターと協議しながら進める。当面,委託方法の見直しで対応する。					
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容	内装のリフォームは,今後の痛み具合によって対応する。					
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア		無償ボランティアによる障子等の張替え						
平成18~20年度の方向性		業務委託の内容を見直し,さらにコストの縮減を図る。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		老人福祉会館については,指定管理者制度の導入を検討してください。老人憩いの家については,利用者増を図るようPRに努めてください。						

(一般事業)	事業コード	2610020	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	生活困窮者に対する法外扶助金給付事業						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり				所管課	保健福祉部			
総合計画	中	6	経済的困窮者への支援				生活支援課				
政策施策	小	1	生活自立への支援				所管課長氏名	小山 忠寛			
体系	細						記入者氏名	姥谷 真誠			
事業期間	昭和45年4月1日～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時	電話番号	38-2042	内線	2513
根拠法令・要綱等	生活困窮者に対する法外扶助金給付要綱						実施主体	市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金										
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____										
事業の概要	被保護者及び要保護者の生活困窮者に対して、法外扶助金を給付し最低限度の生活を保障するとともにその自立を助長する。										
事業の現状	(主な法外扶助の種類等) 公立・私立高校入学準備金...5人130,200円 老人ホーム入所者無年金者日用品費扶助...63人1,304,614円 ホームレス等応急扶助...63人25,980円 高齢者インフルエンザ予防接種自己負担額扶助...46人46,000円 原爆被害者栄養補給物資...207,952円 ホームヘルパー派遣事業...11人1,204,086円										
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	申請件数								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
	指標値	112件	138件	126件	125件	125件					
	単位コスト										
結果指標(2)	指標名										
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)					
	指標値	3,482,799円	3,462,717円	2,918,832円	2,500,000円	2,500,000円					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	被保護者及び要保護者									
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	376件	受益数(b)	125件	比率(b÷a)%	33.2%				
意図(対象を主語にして)	図	被保護者及び要保護者の生活困窮者に対して、法外扶助金を給付し最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長する。									
大きな目的	生活困窮者に早期の自立を促す。										
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	公立・私立高校入学準備金受給件数								
		考え方・式	向学心・就学意欲の向上・将来の自立助長								
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)					
	指標値	1件	1件	5件	3件	3件					
最終成果指標	指標名										
	考え方・式										
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)						
指標値											
芦屋市の特色など補足する事項											

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	132	住民1人当り(円)	57	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	43.3%	908	1,993	2,231	-
	事業費	56.7%	1,843	3,463	2,919	1,908
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	2,751	5,456	5,150	1,908
財源(千円)	国・県					
	市債等					
その他						
一般財源	100.0%	2,751	5,456	5,150	1,908	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.15	0.25	0.30	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.15	0.25	0.30	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	5	5	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		1	1	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし						
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: _____	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-2	-3	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	他市の状況等を参考に制度の見直し	改善内容	老人ホーム入所者無年金者日用品費扶助を減額 平成17年度より23,200円を20,000円に減額した。				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
	意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	自立支援プログラムの導入による自立・就労支援策の充実等の見直し	今後の方向性	拡大・充実	1次評価	2次評価		
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
		統合/終期設定					
2次評価委員会コメント	廃止/休止						

(一般事業)	事業コード	2620030
平成16年度	事業名	被災者自立支援金支給事務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	保健福祉部				
総合計画	中	6	経済的困窮者への支援			生活介護課					
政策施策	小	2	被災者の生活再建への支援			所管課長氏名	小山 忠寛				
体系	細					記入者氏名	仙石 輝夫				
事業期間	平成12年～平成17年3月		経常臨時	<input type="checkbox"/>	経常	<input checked="" type="checkbox"/>	臨時	電話番号	38-2041	内線	2552
根拠法令・要綱等	被災者自立支援金制度実施要綱による受託業務					実施主体	市				
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営			<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金	
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託			名称			<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容		
事業の概要	「被災者生活再建支援法」の附帯決議を踏まえ、既存の生活再建支援法と中高年自立支援金制度を統合し、1日も早く生きがいのある生活を支援する。支援金は(財)阪神・淡路大震災復興基金から支給される。平成17年3月末で終了。										
事業の現状	平成17年3月末で終了。										
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	被災者自立支援金申請受付事務費								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
		指標値	22件	9件	3件						
	単位コスト	300,000円	208,000円	78,000円							
	結果指標 (2)	指標名	被災者自立支援金交付額								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値		20,350,000円	7,900,000円	3,250,000円							
単位コスト											

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	阪神・淡路大震災により住家が全壊(焼)した世帯,または半壊(焼)し解体した世帯。										
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)			比率(b÷a)%						
	意図 (対象を主語にして)	被災者が1日も早く生活を再建することを支援する。										
大きな目的	被災者の自立を支援する。											
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	生活再建世帯割合									
		考え方・式	阪神・淡路大震災により住家が全壊(焼)した世帯,または半壊(焼)し解体した世帯。									
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)					
	指標値	不明	不明	不明								
	最終成果 指標	指標名										
		考え方・式										
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)						
指標値												
芦屋市の特色など補足する事項												

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	8	住民1人当り(円)	4	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	100.0%	338	328	317	-
	事業費					
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	338	328	317	0
財源 (千円)	国・県		300			
	市債等					
	その他	15.1%		120	48	
一般財源	84.9%	38	208	269	0	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.05	0.05	0.05	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.05	0.05	0.05	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			7	7
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない				
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である				
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている				
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない				
		<input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要				
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度			1	1
		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い					
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり					
		<input type="checkbox"/> 特になし					
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	-3	-3
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト		<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない		
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
		高い,または低い場合の理由					
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である					
		<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない					
		↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり					
		<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について					
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている					
		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある					
		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である					
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である					
		<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている					
		↳ 内容					
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価 B B
			<input checked="" type="checkbox"/> D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	改善内容				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		平成17年3月末で終了した。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性		平成17年3月末で終了した。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント								

(一般事業)	事業コード	2120010
平成16年度	事業名	特定疾病療養費補助事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	保健福祉部 健康課			
総合計画	中	1	保健・医療・福祉の連携と充実			所管課長氏名	山田 昌三			
政策施策	小	2	保健事業の推進			記入者氏名	"			
体系	細		特定疾病罹患患者への療養生活支援			電話番号	0797-31-1586	内線	2567	
事業期間	昭和54年度～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時			
根拠法令・要綱等	特定疾病療養費補助金支給条例					実施主体	芦屋市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金									
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容					
事業の概要	病因が不明であって、治療方法が確定されていない特定の疾病に罹患している療養者に対して療養補助金を支給									
事業の現状	国・県が指定している難病のうち入院(10疾病)・外来(7疾病)の疾病に罹患している方で入院若しくは外来治療を継続している方に月額5,000円を支給 ・支給対象者数 入院14人 外来110人(うち橋本病67人)									
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	支給対象者数							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	136人	128人	124人	130人	130人				
	単位コスト	52,948円/人	59,648円/人	51,734円/人	50,000円/人	50,000円/人				
	結果指標(2)	指標名								
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)					
指標値										
単位コスト										

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市が認定した疾病患者					
	対象カバー率	対象数(a)	124人	受益数(b)	124人	比率(b÷a)%	100%
対象・意図	意図(対象を主語にして)	特定疾病罹患患者への療養費を支給することで、経済的・精神的支援を行う。					
大きな目的	特定疾病療養者の療養生活の支援を図る。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	支給対象者数				
		考え方・式	支給対象者数				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	136人	128人	124人	130人	130人	
	最終成果指標	指標名					
考え方・式							
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項	対象疾病の制限と医療機関(入院・外来)を受診した月についてのみ療養補助金を支給している。 近隣各市の状況は把握済						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	185	住民1人当り(円)	80	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	11.4%	903	1,430	828	-
	事業費	88.6%	6,245	6,205	6,415	6,600
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	7,148	7,635	7,243	6,600
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	7,148	7,635	7,243	6,600	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.10	0.15	0.10	-
嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-	
合計	100.0%	0.10	0.15	0.10	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	0	-1	
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である			
	市民ニーズ(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している			
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 見舞金的なものとしての見直し			
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	0	0	
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~ 1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える			
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 近隣市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 月5000円他あり ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由:	1	-2	
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3) <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である			
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容: <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D 平成16年度実施した改善の方向性 <input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	C	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題 改善内容			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	所得制限は伊丹市で本人所得380万円まで保健診療限度額39,000円まで,保険診療外が月5,000円を限度 西宮市は月5000円,川西市はH16年度末で廃止 尼崎市はH14年度末で廃止,宝塚市は医療助成係が担当しH17年度から月5000円を3,500円に減額		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
今後の方向性	所得制限の実施(伊丹市) 月5,000円を3,500円に減額(宝塚市)		
	西宮市を除き各市とも減額から廃止の方向にある。 芦屋市からの運動により実施された経過もあり,各市の状況を見ながら検討する。	拡大・充実 現状維持 方法改善 民間委託等 縮小 統合/終期設定 廃止/休止	1次評価
2次評価委員会コメント	終期設定を検討してください。		

(一般事業)	事業コード	2120070
平成16年度	事業名	地域保健事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部			
総合計画	中	1 保健・医療・福祉の連携と充実	健康課				
政策施策	小	2 保健事業の推進	所管課長氏名	山田 昌三			
体系	細	健康づくりの意識の向上	記入者氏名	"			
事業期間		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-31-1586 内線 2567			
根拠法令・要綱等	老人保健法		実施主体	芦屋市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称	<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容				
事業の概要	健康・福祉の背策及び事業の普及・啓発を図る。						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	・あしや健康大学の開催(10日間・16講座) 入学者35人,卒業生33人,延べ受講者319人 ・健康・福祉フェアの開催(健康・福祉に係る9団体で実行委員会を組織し,開催) フェア実参加者539人,各ブ-スの延べ参加者数1,760人						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	地域保健事業参加者数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	659人	532人	572人	600人	
	結果指標 (2)	単位コスト	4,506円/人	5,015円/人	4,456円/人	3,600円/人	
		指標名	延べ参加者数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値	2,755人	2,080人	2,079人	2,200人			
単位コスト	1,078円/人	1,283円/人	1,226円/人	1,160円/人			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	健康や福祉に関心のある市民					
対 象	対 象 カ バ ー 率	対 象 数 (a)	受 益 数 (b)	572人	比 率 (b ÷ a) %		
意 図 (対象を主語にして)	図	健康長寿と生活の質を向上させるための健康づくりの知識等を習得する。					
大 き な 目 的	健康長寿と生活の質の向上						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	健康づくりの知識習得者数				
		考え方・式	健康大学の卒業生数/入学者数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果 指 標	指標値	57人/61人	44人/51人	33人/35人	35人/35人	35人/35人
		指標名					
		考え方・式					
年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項	健康福祉フェアは健康や福祉に係る9団体で実行委員会を組織して実施している。 川西市は健康大学は130人入学し,100人卒業,支出額は120万円 西宮市は健康大学50人(医師会への補助金27万円)市民健康フェア1700人(支出額80万円)						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	65	住民1人当り(円)	28	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	84.9%	2,012	2,284	2,165	-
	事業費	15.1%	958	384	384	384
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	2,970	2,668	2,549	384
財 源 (千円)	国・県	10.0%	256	256	256	
	市債等					
	そ の 他					
一 般 財 源	90.0%	2,714	2,412	2,293	384	
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.20	0.25	0.25	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合 計	100.0%	0.20	0.25	0.25	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			5	4	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 参加者539人	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容:					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			1	-2	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト:	<input type="checkbox"/> 把握していない					
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由:						
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 健康大学の事業は医師会に委託,健康福祉フェアは実行委員会で実施して予算0						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	A	D
			<input checked="" type="checkbox"/> D					
平成16~17年度に実施した改善内容		課題: 経費の見直し		改善内容: 健康フェアは過去の簡易保険からの補助金の繰越残金で運営する。				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		「あしや健康福祉フェア」の財源確保(H18以降の開催は未定)と介護予防への体力測定の実施を検討					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	健康福祉フェア実行委員会の参加団体					
	意見,要望内容	継続要望					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア	健康福祉フェアは民間(芦屋市医師会等)による実施-医師会を中心とした自主的な市民の催しが目標						
	開催場所と内容の検討						
平成18~20年度の方向性	健康フェアについては民間企業の参加を促すこと。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
				統合/終期設定			
				廃止/休止			
2次評価委員会コメント		市の関与の必要性に疑問があります。継続する場合,受益者負担の検討を進めてください。					

(一般事業)	事業コード	2120080
平成16年度	事業名	健康診査事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部		
総合計画	中	1 保健・医療・福祉の連携と充実	健康課			
政策施策	小	2 保健事業の推進	所管課長氏名	山田 昌三		
体系	細	生活習慣病予防, 介護予防	記入者氏名	"		
事業期間	昭和57年度~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-31-1586 内線 2567		
根拠法令・要綱等	老人保健法		実施主体	芦屋市		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 医師会 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容					
事業の概要	・40歳以上の健康診査の受ける機会のない市民及び在勤者を対象に健康診査を実施 ・がんの早期発見のため各種がん検診を実施					
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	・市民健康診査 市民健診(905人) 老人健康診査(5,606人) 巡回市民健診(1,005人) 健康チェック(495人) 歯周病健診(209人) ・各種がん検診 胃がん(730人) 肺がん(7,506人) 大腸がん(4,520人) 子宮がん(2,278人) 乳がん(668人) 肝がん(490人) 前立腺がん(1,342人) ・骨粗しょう症健診(308人)					
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	健診及び検診受診者数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	20,636人	24,529人	26,062人	27,000人	28,000人
	単位コスト	6,588円/人	6,066円/人	6,079円/人	5,900円/人	5,700円/人
結果指標 (2)	指標名					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値						
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	職域等で健康診査の受診機会のない40歳以上の市民及び在勤者				
対象カバー率	対象数(a)	16,135	受益数(b)	8,011人	比率(b÷a)%	49.65%
意図 (対象を主語にして)	市民の健康保持及び増進のため、健康診査等を受診することにより、生活習慣病の予防や疾病の早期発見及び適切な医療への誘導をし、壮年期の死亡の減少を期する。					
大きな目的	健康寿命の延伸と生活の質の向上					
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	健康教育への参加率(%)			
		考え方・式	健康教育参加者数/要指導対象者×100			
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	59.6%	58.5%	53.8%	60.0%	60.0%
最終成果 指標	指標名	がん発見率(%)				
	考え方・式	がんであった人数/要精密検査者×100				
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	3.9%	3.5%	3.5%			
芦屋市の特色など補足する事項	・受診率の向上を図るため、老人健康診査・巡回市民健康診査の対象者に問診票を送付 ・基本健康診査とがん検診を一部セットにして受診の向上を図っている。 ・がんの発見率は近隣市と同程度					

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
人件費	6.4%	10,739	10,390	10,087	-	
事業費	93.6%	125,198	138,388	148,337	161,381	
内訳 (千円)	他部門経費				-	
減価償却費					-	
合計	100.0%	135,937	148,778	158,424	161,381	
財源 (千円)	国・県	26.6%	36,886	41,925	42,118	
市債等						
その他	11.7%	7,706	8,272	18,500		
一般財源	61.7%	91,345	98,581	97,806	161,381	
活動 配分 (人)	職員	71.4%	1.25	1.25	1.25	-
嘱託・臨時等	28.6%	0.45	0.50	0.50	-	
合計	100.0%	1.70	1.75	1.75	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			6	6
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない				
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である				
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている				
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない				
		<input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	受診者数の増加		<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している		<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要			
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している					
		<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
		↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える			
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり					
		乳がん検診(マンモグラフィ)の充実				<input type="checkbox"/> 特になし	
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト		<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない		
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い		
		高い,または低い場合の理由					
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である					
		<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない					
		↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり					
		<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について					
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である			<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である		
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である			<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている					
		↳ 内容					
		使用料(診査料)の改定を行った。					
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	
			<input type="checkbox"/> D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	受診率の向上		前立腺がん検診(平成16年度)		
			受益者負担の適正化		改善内容 乳がん検診(マンモグラフィ-H17より) H16に使用料改定		
					総合評価	A B	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		診査内容の充実と受診率の向上 健診業務の委託内容の見直し(芦屋市医師会委託分や巡回検診分) 老人健診における必要対象者の把握(病気治療中対象者の受診除外等)					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
	意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	本市の高齢者保健計画において,基本健康診査の受診率が50%に設定されており,この数値目標の達成と対象者のニーズに合わせた健診内容の充実を図る。 生活習慣病の予防のため,健診結果の経年比較や栄養評価を行い,科学的な総合評価による健康支援を実施する。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント	受診率の向上を目指してください。						

(一般事業)	事業コード	2120100
平成16年度	事業名	機能訓練事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	保健福祉部 健康課		
総合計画	中	1	保健・医療・福祉の連携と充実			所管課長氏名	山田 昌三		
政策施策	小	2	保健事業の推進			記入者氏名	"		
体系	細		健康長寿の延伸			電話番号	0797-31-1586	内線	2567
事業期間	平成12年度~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時		
根拠法令・要綱等	老人保健法					実施主体	芦屋市		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容	
事業の概要	40歳以上で生活機能低下者に対して身体機能の維持や回復を図り、生活の質の向上を図る。								
事業の現状	機能訓練A型(楽しいリハビリ教室)を毎週1回、年間47回実施 リハビリ訓練実参加者数18人(延べ参加者374人) 平成18年度以降については介護保険の見直しにより事業の方向が不明								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	実参加人数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	15人	14人	18人	20人	25人		
	単位コスト	306,133円/人	212,357円/人	180,778円/人	162,700円/人	130,160円/人			
	結果指標 (2)	指標名	延べ参加人数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値		298人	308人	374人	420人	500人			
単位コスト	15,409円/人	9,652円/人	8,701円/人	7,750円/人	6,500円/人				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	介護保険を利用していない40歳以上の方で、身体機能が低下している人(医療・介護保険適用者を除く)							
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	31人	比率(b÷a)%				
	意図 (対象を主語にして)	機能訓練をし、身体機能の現状維持・回復を図る。							
大きな目的	介護予防と生活の質を向上させ、健康長寿の延伸を図る。								
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	参加者の満足度(アンケートによる)						
		考え方・式	満足した人/事業参加者×100						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	100%	100%	100%	100%	100%			
	最終成果 指標	指標名							
		考え方・式							
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値									
芦屋市の特色など補足する事項	機能訓練の場所に自らの意思で参加してもらう意味から送迎の対応をとっていない。								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	83	住民1人当り(円)	36	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	90.3%	4,208	2,666	2,938	-
	事業費	9.7%	360	372	316	426
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	4,568	3,038	3,254	426
財源 (千円)	国・県	4.9%	240	240	158	320
	市債等					
	その他					
一般財源	95.1%	4,328	2,798	3,096	106	
活動配分 (人)	職員	50.0%	0.45	0.25	0.30	-
	嘱託・臨時等	50.0%	0.25	0.30	0.30	-
	合計	100.0%	0.70	0.55	0.60	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			5	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
		<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握					
		<input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		3	3	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		<input type="checkbox"/> 成果向上策あり				
		<input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名: 近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		-1	-4	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない				
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由: _____						
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない						
		<input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について						
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている		<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
		内容: _____						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	B
			<input type="checkbox"/> D					
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	改善内容					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		平成18年度以降の介護予防における保健センターの役割が不明であり,介護予防事業に含まれると考えられる。運動指導員としての理学療法士の確保						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア		介護保険担当等との調整の必要あり。						
平成18~20年度の方向性		H18年度からは老人保健法の健康事業の多くが介護保険法の介護予防事業として位置づけられるので実施場所や内容の検討をすること。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		市の関与の必要性を明らかにするとともに,受益者負担を検討してください。また,介護予防・生きがい生活支援事業との統合を図ってください。						

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	5	5	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		3	3	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない					
-成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない	-1	-3	
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題		改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	平成18年度以降の保健センターの介護予防事業への関わりが不明(介護予防事業への統合)							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	介護予防教室の参加者						
	意見,要望内容	山手にもいきいき教室の開設を希望						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性	H18年度からは老人保健法の健康事業の多くが介護保険法の介護予防事業として位置づけられる。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	高齢者の受講者を増やすように検討してください。							

(内部事務)	事業コード	2120130
平成16年度	事業名	保健センター維持管理

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部 健康課	
総合計画	中	1	保健・医療・福祉の連携と充実	所管課長氏名	山田昌三	
政策施策	小	2	保健事業の推進	記入者氏名	山田昌三	
体系	細		保健センタ-機能の充実	電話番号	31-1586	
事業期間	昭和56年度~		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	内線	2567	
根拠法令・要綱等	芦屋市保健センタ-の設置及び管理に関する条例			実施主体	芦屋市	
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	保守点検業務	
事業の概要	保健センタ-事業の推進					
事業の現状	・保健センタ-の健診機器及び施設の保守管理 レントゲン画像読取装置等保守, 冷暖房設備保守点検, 自家用電気工作物保安, 消防用設備保守点検 保健センタ-警備, 施設内外清掃等業務 ・保健センタ-の施設補修, 維持費 2階フロア補修工事, 雨漏り補修工事, 女子トイレ改修工事等					
目的実現のための手段及び実施内容						
アクティブ指標	活動指標	指標名	施設補修数(補修計画なし)			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値		3箇所	3箇所	3箇所
		単位コスト		322,000円/箇所	514,000円/箇所	500,000円/箇所
アウトプット指標	結果指標	指標名				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値				
		単位コスト				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	保健センタ-を利用する市民				
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	比率(b ÷ a) %		
	意図	市民が設備等に不満なく利用できる (対象を主語にして)				
大きな目的	保健センタ-機能の充実を図る。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名				
		考え方・式				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値				
	最終成果指標	指標名				
		考え方・式				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値				
芦屋の特色など	保健センタ-は昭和56年に開設されたことから, 館内にエレベ-タ-が設置されていない。					

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	463	住民1人当り(円)	201	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	21.0%	3,249	3,283	3,802	-
	事業費	47.9%	5,282	6,175	8,676	8,113
	他部門経費					-
	減価償却費	31.1%	5,645	5,645	5,645	-
	合計	100.0%	14,176	15,103	18,123	8,113
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	5.3%	554	756	960	1,000
	一般財源	94.7%	13,622	14,347	17,163	7,113
活動員	100.0%	0.30	0.35	0.40	-	
配分	嘱託・臨時等	0.0%	0.05	0.00	0.00	-
(人)	合計	100.0%	0.35	0.35	0.40	0.00

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		2	0	
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入					
	-成果向上余地(1~1)	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない					
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体より少ない 多い,または少ない場合の理由	団体名 活動配分 <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体より多い		2	-2	
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	団体名: 近隣市 単位コスト <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 補修費が少ない	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価	<input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がない	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	A	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	館内フロアの改修	改善内容	2階フロア補修工事施工				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	保健センタ - の建物及び施設の老朽化が進み,施設改修に経費がかさんでいる。 (冷暖房設備の更新,館内フロアの改修)						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	必要最小限の補修費に限定する。 冷暖房設備の更新(機器の部分的更新) フロアの補修	今後の方向性	1次評価	2次評価			
		拡大・充実					
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
		統合/終期設定					
		廃止/休止					
2次評価委員会コメント	保守点検業務の統括的な委託など,方法の検討を行って下さい。保健センタ - 設備整備事業との統合を行って下さい。						

(一般事業)	事業コード	2120140
平成16年度	事業名	保健センター設備整備事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部			
総合計画	中	1 保健・医療・福祉の連携と充実	健康課				
政策施策	小	2 保健事業の推進	所管課長氏名	山田 昌三			
体系	細	健康の増進	記入者氏名	"			
事業期間	昭和56年	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-31-1586 内線 2567			
根拠法令・要綱等	芦屋市保健センターの設置及び管理に関する条例		実施主体	芦屋市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 保守点検業務				
事業の概要	保健センター機能の充実						
事業の現状	保健センターの健診用機器等の整備 ・レントゲン自動現像機(H12.6更新)・骨量測定器(H15.6まで) ・心電図計(H13.11更新) ・レントゲン一般撮影装置(H13.8更新) ・レントゲンテレビ撮影装置(H14.9更新)						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	健診用機器更新数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	1件	0件	0件	0件	
	単位コスト						
	結果指標(2)	指標名	健診用機器レンタル数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値		5件	5件	4件	4件	4件	
単位コスト	2,134,600円/件	2,499,800円/件	2,642,061円/件	2,642,250円/件	2,642,250円/件		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	健診用機器				
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	4件	比率(b÷a)%	
意図(対象を主語にして)	図	耐用年数が経過し老朽化した機器を更新する。				
大きな目的	保健センターを健康づくりの拠点にする。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	健診用機器数(耐用年数超過)			
		考え方・式	耐用年数を超過している健診用機器数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	0件	1件	2件	2件	3件
	最終成果指標	指標名				
		考え方・式				
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値						
芦屋市の特色など補足する事項	機器更新の方法をレンタル契約で行う。					

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	312	住民1人当り(円)	136	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	13.4%	621	1,749	1,637	-
	事業費	86.6%	10,052	10,750	10,569	10,569
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	10,673	12,499	12,206	10,569
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	10,673	12,499	12,206	10,569	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.05	0.15	0.15	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.05	0.15	0.15	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	6	6
	市関与(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: X線装置のデジタル化		
	優先性,緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない		
効率性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 近隣市 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____ ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由: _____	2	2
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) <input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 医療機器購入にレンタル方式の採用 <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D 平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価 A A
平成16~17年度に実施した改善内容	課題: 耐用年数を過ぎた医療機器の更新	改善内容: できるだけ更新時期の延期	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	耐用年数を過ぎた眼底カメラの更新			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	芦屋市医師会		
	意見,要望内容	眼底カメラの更新,胸部X線撮影装置のデジタル化		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	眼底カメラの更新 (レンタル方式)	
		実施期限	平成	年
	(2)	対応内容		
	実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容		
	実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア				
平成18~20年度の方向性	健診機器の整備を機器の状態や必要性を考慮しながら計画的に進める。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	保健センター維持管理と統合してください。			

(一般事業)	事業コード	2120210
平成16年度	事業名	保健センター事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部			
総合計画	中	1 保健・医療・福祉の連携と充実		健康課			
政策施策	小	2 保健事業の推進	所管課長氏名	山田 昌三			
体系	細	健康増進	記入者氏名	〃			
事業期間	昭和56年度～	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-31-1586 内線 2567			
根拠法令・要綱等	芦屋市保健センターの設置及び管理に関する条例		実施主体	芦屋市			
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容			
			血液検査の分析等				
事業の概要	市内の事業所が実施する従業員の健康診査業務の受託事業						
事業の現状	事業所が希望する健康診査の実施 目的実現のための手段及び実施内容						
アウトプット指標	指標名	事業所健診の受診者数					
	結果指標(1)	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	708人	802人	704人	710人	754人
		単位コスト	10,812円/人	11,223円/人	11,055円/人	11,000円/人	10,300円/人
結果指標(2)	指標名						
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値						
	単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市内の事業所に勤務する従業員等					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	4,435人	受益数(b)	704人	比率(b÷a)%	15.9%
	意図(対象を主語にして)	疾病等の早期発見・早期治療を行う。					
大きな目的	受診者の疾病予防・健康増進を図る。						
アウトカム指標	指標名	事業所健診利用率(%)					
	中間成果	考え方・式	事業者健診受診者数 / 市内事業所従業員数 × 100				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	16.0%	18.1%	15.9%	16.0%	17.0%	
最終成果	指標名						
	考え方・式						
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値						
芦屋市の特色など補足する事項	本市は事業所が少ない。						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円)	199	住民1人当り(円)	86	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	63.6%	4,166	5,206	4,951	-				
	事業費	36.4%	3,489	3,774	2,832	3,500				
	他部門経費					-				
	減価償却費					-				
合計	100.0%	7,655	8,980	7,783	3,500					
財源(千円)	国・県									
	市債等									
	その他	70.0%	5,125	5,179	5,450	5,000				
一般財源	30.0%	2,530	3,801	2,333	-1,500					
活動配分(人)	職員	100.0%	0.55	0.65	0.65	-				
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-				
	合計	100.0%	0.55	0.65	0.65	0.00				

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	6	2	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 事業所健診受診者704人	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容				
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	1		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない				
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-1	-4	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない		内容			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	B	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題		改善内容	<input checked="" type="checkbox"/>	改善しなかった			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	芦屋市医師会への完全委託の検討(西宮市は医師会の事業)							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性	受診者数は現状維持					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
2次評価委員会コメント	民間委託等を検討してください。					統合/終期設定		
						廃止/休止		

(一般事業)	事業コード	2130010
平成16年度	事業名	健康教育事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部	
総合計画	中	1	保健・医療・福祉の連携と充実	健康課		
政策施策	小	3	健康づくりの推進	所管課長氏名	山田 昌三	
体系	細		生活習慣病予防と生活の質の向上	記入者氏名	"	
事業期間			經常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 經常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-31-1586 内線 2567	
根拠法令・要綱等	老人保健法			実施主体	芦屋市	
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	生活習慣病予防と健康づくりの支援					
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・個別健康教育(高血圧4人・高脂血症8人・糖尿病5人)延べ68人 ・健康講座31人・健康教室1,362人・骨粗鬆症73人 ・疾病別栄養指導講習会(高血圧・高脂血症・糖尿病)131人 ・家庭介護教室110人, 歯周病疾患予防教室42人 					
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	健康教育事業参加延べ人数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	1,732人	1,748人	1,766人		
	単位コスト	13,417円/人	11,685円/人	11,259円/人		
結果指標 (2)	指標名	延べ参加人数				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値						
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	基本健康診査受診者の要指導者数				
対象カバー率	対象数(a)	2,255人	受益数(b)	1,766人	比率(b÷a)%	78.3%
意図 (対象を主語にして)	図	健康教育事業参加者の生活習慣病等の疾病予防や介護予防を図る。				
大きな目的	壮年期死亡の減少, 介護予防, 生活の質の向上を図る。					
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	健康教育利用率(%)			
		考え方・式	健康教育利用者数 / 健康診査受診者の要指導者数 × 100			
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	57.7%	54.6%	78.3%		
最終成果 指標	指標名					
	考え方・式					
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値						
芦屋市の特色など補足する事項	芦屋市民は特に健康教育への関心がたかい。					

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳 (千円)	人件費	37.8%	10,708	8,043	7,516	-
	事業費	62.2%	12,530	12,383	12,367	11,782
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	23,238	20,426	19,883	11,782
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他		26			
一般財源	100.0%	23,238	20,400	19,883	11,782	
活動配分 (人)	職員	64.3%	1.20	0.95	0.90	-
	嘱託・臨時等	35.7%	0.60	0.50	0.50	-
	合計	100.0%	1.80	1.45	1.40	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	6	3
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	4	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
-成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし					
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-1	-5
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である		
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
		<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題		改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	事業参加者の増						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
	意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	現状維持	今後の方向性	拡大・充実	1次評価	2次評価		
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
		統合/終期設定					
2次評価委員会コメント	適正な受益者負担と民間への委託を検討してください。						
		廃止/休止					

(一般事業)	事業コード	2130020
平成16年度	事業名	健康相談

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部			
総合計画	中	1 保健・医療・福祉の連携と充実		健康課			
政策施策	小	3 健康づくりの推進	所管課長氏名	山田 昌三			
体系	細	生活習慣病予防と生活の質の向上	記入者氏名	"			
事業期間		老人保健法	電話番号	0797-31-1586 内線 2567			
根拠法令・要綱等		☑ 経常臨時 ☑ 経常 ☐ 臨時	実施主体	芦屋市			
実施手法		☐ 直営 ☑ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金 ☐ 負担金					
委託先		☐ 外郭団体委託 名称 芦屋歯科医師会 ☐ 民間委託	委託内容				
事業の概要	生活習慣病予防と健康づくりの支援						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民健診後の結果説明と相談(医師相談46人, 栄養相談71人, 延べ相談者数117人) ・骨粗鬆症健診後の結果説明と相談(医師相談8人 栄養相談73人) ・個別健康相談(医師相談45人, 栄養相談76人, 保健師相談199人) ・歯科相談533人 						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	健康相談延べ利用者数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	696人	956人	1,051人	1,100人	1,200人
		単位コスト	33,164円/人	23,493円/人	20,240円/人	19,400円/人	17,800円/人
	結果指標 (2)	指標名					
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値						
	単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	健康相談利用者 / 基本健康診査受診者の要指導者					
	対象カバー率	対象数 (a)	2,255人	受益数 (b)	1,051人	比率 (b ÷ a) %	46.6%
	意 図 (対象を主語にして)	要指導の方に対する健康相談を実施することで、生活習慣病の予防と介護予防を図る。					
大 き な 目 的	介護予防と生活の質の向上を図る。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	健康相談サ - ビス利用率 (%)				
		考え方・式	健康相談サ - ビス利用者数 / 要指導者数 × 100				
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
		指標値	26.3%	35.8%	46.6%	47.8%	50.0%
	最終成果 指 標	指標名					
	考え方・式						
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値						
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	544	住民1人当り(円)	236	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	31.2%	7,183	7,250	6,640	-
	事業費	68.8%	15,900	15,209	14,633	15,925
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	23,083	22,459	21,273	15,925
財 源 (千円)	国・県	3.3%	724	710	700	760
	市債等					
	そ の 他					
	一 般 財 源	96.7%	22,359	21,749	20,573	15,165
活 動 配 分 (人)	職 員	48.1%	0.75	0.70	0.65	-
	嘱託・臨時等	51.9%	0.55	0.70	0.70	-
	合 計	100.0%	1.30	1.40	1.35	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			8	6	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 利用者数1,051人	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容:					
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い			
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		-1	-5		
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト:	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない					
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い					
		高い,または低い場合の理由:						
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容:						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題		改善内容	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		健康診査内容を充実させることにより,要指導者の早期発見に努めて健康相談を充実させていきたい。 パソコンによる市民の健康診断や相談記録の入力整理					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
	意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア		市民二・ズを的確に把握して検診内容を充実させることにより相談件数も増加する。					
平成18~20年度の方向性		現状維持	今後の方向性			1次評価	2次評価
			拡大・充実				
			現状維持				
			方法改善				
			民間委託等				
			縮小				
			統合/終期設定				
			廃止/休止				
2次評価委員会コメント		効率性の向上を図り,健康教育事業との統合を図ってください。					

(一般事業)	事業コード	2410120
平成16年度	事業名	育児相談

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部	
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現	健康課	
政策施策	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進	所管課長氏名	
体系	細		乳児の健やかな成長	記入者氏名	
事業期間		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	
根拠法令・要綱等		母子保健法		0797-31-1586	
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金	内線	
委託先		<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称	<input type="checkbox"/> 民間委託	2567	
委託内容					
事業の概要	身体測定、育児相談、栄養相談及び母乳相談を実施して母親の育児不安の軽減を図るとともに親同士の交流の場の設定をする。				
事業の現状	0歳から3歳児とその保護者に対して、個別に育児相談や栄養・母乳相談を行う。 実参加者数771人(身体測定771人、育児相談493人、栄養相談96人、母乳相談74人)				
アウトプット指標	指標名	相談事業参加者数			
	結果指標(1)	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)
	指標値	647人	611人	771人	800人
	単位コスト	2,100円/人	3,424円/人	3,210円/人	3,100円/人
結果指標(2)	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
指標値					
単位コスト					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	0歳から3歳児とその保護者			
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	2,684人	受益数(b)	771人
				比率(b÷a)%	28.7%
	意図(対象を主語にして)	0～3歳児の保護者に個別に育児相談や栄養相談を実施して、育児不安の軽減と親同士の交流を図る。			
大きな目的	乳幼児の健やかな成長と育児を支援する。				
アウトカム指標	指標名	相談事業利用率(%)			
	中間成果	考え方・式	事業参加者数 / 0～3歳児の乳幼児数 × 100		
	指標	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)
	指標値	19.4%	17.7%	28.7%	30.0%
最終成果	指標名				
指標	考え方・式				
指標	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
指標値					
芦屋市の特色など補足する事項	4ヶ月児健康診査のときに案内している。				

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
人件費	75.1%	1,140	1,877	2,291	-	
事業費	24.9%	469	597	761	667	
内訳(千円)						
他部門経費					-	
減価償却費					-	
合計	100.0%	1,609	2,474	3,052	667	
財源(千円)						
国・県						
市債等						
その他						
一般財源	100.0%	1,609	2,474	3,052	667	
活動配分(人)						
職員	62.5%	0.20	0.20	0.25	-	
嘱託・臨時等	37.5%	0.15	0.15	0.15	-	
合計	100.0%	0.35	0.35	0.40	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	5	4		
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 相談事業参加者771人	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3		3		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える					<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり			<input type="checkbox"/> 特になし					
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	0		-2	
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない	↳ 内容 栄養指導を在宅栄養士会に委託					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がな	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題 1歳児健診後の母親の交流の場の設定	改善内容 「まねっこ」広場の開設							

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題										
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称									
	意見,要望内容									
課題・要望等への対応	(1)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(2)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(3)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
その他考えられる改善のアイデア										
平成18~20年度の方向性	育児相談による育児不安の軽減は(親同士の交流を含め)今後ますます重要となる。現状維持		今後の方向性	拡大・充実	1次評価	2次評価				
			現状維持							
			方法改善							
			民間委託等							
			縮小							
			統合/終期設定							
2次評価委員会コメント		育児相談と育児教室との統合を図ってください。また,他部門との役割分担を整理してください。								

(一般事業)	事業コード	2410130
平成16年度	事業名	育児教室

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部		
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現	健康課		
政策施策	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進	所管課長氏名		
体系	細		乳幼児の健やかな成長	記入者氏名		
事業期間			経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号		
根拠法令・要綱等	母子保健法			実施主体		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金			芦屋市		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	母親同士の情報交換の場の提供と育児や離乳食等について指導と学習の場をもつ					
事業の現状	なかよし育児教室(6~7ヶ月児とその保護者) 12回開催・参加者数 親253人、子260人 幼児のための食事とおやつ教室(2~3歳児とその保護者) 6回開催・参加者数、親129人、子106人					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	育児教室参加者数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	790人	706人	748人	800人	850人
	単位コスト	3,258円/人	3,928円/人	3,607円/人	3,400円/人	3,200円/人
結果指標(2)	指標名					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値						
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	子育て中の母親等				
	対象カバー率	対象数(a)	2,487人	受益数(b)	748人	比率(b÷a)%
対象・意図	意図	(対象を主語にして) 母親同士の育児に関する情報交換を行うことで、乳幼児の健やかな成長を支援する。				
大きな目的	目的	乳幼児の健やかな成長と育児支援を図る。				
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	育児教室参加率(%)			
		考え方・式	参加者数/0歳児, 2~3歳児の乳幼児数×100			
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	32.0%	27.5%	30.1%	32.0%	34.0%
最終成果指標	指標名					
	考え方・式					
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値						
芦屋市の特色など補足する事項	事項	4ヶ月児健康診査のときに案内している。				

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	69	住民1人当り(円)	30	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	67.9%	1,373	1,877	1,833	-
	事業費	32.1%	1,201	896	865	965
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	2,574	2,773	2,698	965
財源(千円)	国・県	19.8%	800	533	533	
	市債等					
	その他					
一般財源	80.2%	1,774	2,240	2,165	965	
活動配分(人)	職員	57.1%	0.25	0.20	0.20	-
	嘱託・臨時等	42.9%	0.00	0.15	0.15	-
	合計	100.0%	0.25	0.35	0.35	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない				
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている				
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない				
		<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握				
		<input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	育児教室参加者 748人 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要				
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い			
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入					
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし					
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない			
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
		高い,または低い場合の理由					
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない					
		<input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について					
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない					
		内容					
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価
			<input type="checkbox"/> D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/>	
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	改善内容				B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		参加希望者が多いが会場の関係で人数制限をしている。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性		親同士の交流も含めて市が積極的に関与して参加希望者をうけいれていきたい。現状維持				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		育児相談との統合を図ってください。親同士の交流については,NPOや市民との協働を図ってください。						

(一般事業)	事業コード	2410140
平成16年度	事業名	乳幼児育成指導事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部			
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現	健康課			
政策施策	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進	所管課長氏名			
体系	細		子供の健やかな成長	記入者氏名			
事業期間			経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号			
根拠法令・要綱等	母子保健法			実施主体			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金			芦屋市			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容			
事業の概要	乳幼児健診時の要経過観察の必要な子供を対象に障害の早期発見や専門員による個別相談等を行い。保護者の育児不安の軽減を図る。						
事業の現状	乳幼児の育成指導事業(1歳6ヶ月児健診受診者805人うち要観察105人, 3歳児健診781人うち要観察56人) ・こども相談(精神科医・心理相談員による個別相談) 精神科35人(延べ74人), 心理相談員43人(延べ62人) ・コアラクラブの実施(1歳6ヶ月児健診後の短期観察) 実来所者数69人(延べ288人)						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	乳幼児育成指導事業参加者数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	418人	413人	424人	430人	440人
	結果指標(2)	単位コスト	7,115円/人	9,235円/人	9,837円/人	9,700円/人	9,500円/人
		指標名					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	乳幼児健診時の要観察児					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	161人	受益数(b)	78人	比率(b÷a)%	48.4%
	意図(対象を主語にして)	乳幼児健診時の要観察児を持つ親の育児不安の軽減を図る。					
大きな目的	乳幼児の健やかな成長と保護者の育児支援を図る。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	保護者の不安度軽減率(%)				
		考え方・式	事業参加人数/要観察児数×100				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果指標	指標値	45.0%	51.7%	48.4%	52.0%	55.0%
		指標名					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	107	住民1人当り(円)	46	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	64.0%	1,449	2,282	2,670	-
	事業費	36.0%	1,525	1,532	1,501	1,604
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	2,974	3,814	4,171	1,604
財源(千円)	国・県	17.5%	400	666	729	
	市債等					
	その他					
一般財源	82.5%	2,574	3,148	3,442	1,604	
活動配分(人)	職員	88.9%	0.20	0.35	0.40	-
	嘱託・臨時等	11.1%	0.05	0.05	0.05	-
	合計	100.0%	0.25	0.40	0.45	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	4	4
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 事業参加者 147人	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	4
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-1	-2
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がな い	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し なかつ た	総合 評価 B B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題		改善内容			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	すくすく学級の定員があり,コアクラブの後の受け皿がない。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性	精神科医や心理相談員等による個別相談及び経過観察の必要なこどもの保護者への支援をおこなっており,市が関与すべき事業で評価は高いと考えるので,現状維持とする。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
2次評価委員会コメント	他団体の状況を把握し,ベストプラクティスにならってください。また,親同士の交流については,NPOや市民団体との協働を図ってください。					統合/終期設定		
						廃止/休止		

(一般事業)	事業コード	2510010
平成16年度	事業名	心身障害者福祉事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部			
総合計画	中	5 障害者の社会参加の実現		障害福祉課			
政策施策	小	1 障害者(児)福祉、保健・医療サービスの充実	所管課長氏名	藤井 幹男			
体系	細		記入者氏名	藤井 幹男			
事業期間	平成2年4月～	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2043 内線 2515			
根拠法令・要綱等	芦屋市福祉タクシー利用料金等助成事業実施要綱他		実施主体	市			
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	(1)福祉タクシー利用料金等助成事業の実施(補助) (2)はり・灸・あんま・マッサージ・指圧施術費助成事業の実施(補助) (3)在宅重度心身障害者入浴サービス事業の実施(全部委託)						
事業の現状	(1)重度障害者に1枚500円のタクシー券を年間52枚交付又は月額1,000円のがり費用の助成を行っている。 利用者数 タクシー券 451人 がり助成 253人 (2)60歳以上の手帳所持者に1回1,000円の利用券を年間2枚交付。利用者6人 (3)家庭での入浴が困難な重度障害者に委託業者が入浴槽を搬入し入浴介助を行っている。 利用実人員 1名 延べ 25回利用						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	福祉タクシー制度利用者				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	446人	388人	451人		
	単位コスト	17,251円	24,289円	18,303円			
	結果指標(2)	指標名	ガソリン助成利用者				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値		274人	291人	253人			
単位コスト	11,959円	11,219円	12,996円				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	在宅の重度の身体障害者および重度の知的障害者					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	1,218人	受益数(b)	704人	比率(b÷a)%	58%
意図(対象を主語にして)	図	(1)タクシー助成...重度障害者の外出支援により障害者の社会参加を促進する。 (2)入浴サービス...重度障害者の健康の増進および家族の負担軽減。 (3)はり・灸・マッサージ事業...高齢障害者の健康増進を図る。					
大きな目的	重度障害者への社会参加の促進支援						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	タクシー券利用率				
		考え方・式	タクシー料支払い額 / タクシー券発行枚数 × 500円				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	62%	59%	70%			
	最終成果指標	指標名	障害者在宅率				
		考え方・式	在宅障害者数 / 障害者数 × 100				
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	97%	96.7%	97%				
芦屋市の特色など補足する事項	重度障害(者)児の中には、一般タクシーの利用が困難なため、移動手段に自家用自動車を使用しなければならぬ方がいるため、タクシー券に替えてガソリン費用の助成を行っている。						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	23.6%	4,777	3,939	3,729	-
	事業費	75.6%	11,514	13,283	11,933	17,161
	他部門経費	0.8%	296	236	124	-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	16,587	17,458	15,786	17,161
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他		53	28		
一般財源	100.0%	16,534	17,430	15,786	17,161	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.45	0.45	0.45	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.45	0.45	0.45	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	4	4
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 利用率70%	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	2	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない					
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない	1	-4
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	A B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	はり・灸・あんま・マッサージ事業については,廃止の方向で他市の状況を把握する。		改善内容			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	はり・灸・あんま・マッサージ事業は利用者も少なく廃止の方向 ガンソリン券利用者利用状況の把握 ガンソリン券利用者を限定するとコスト増となる。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	タクシー券の利用者					
	意見,要望内容	タクシー券の利用者からの増数について要望あり。					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	障害者自立支援法の施行を見据えながら検討を行う。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
				統合/終期設定			
				廃止/休止			
2次評価委員会コメント	はり・灸・あんま・マッサージ事業については,廃止の方向で見直してください。						

(一般事業)	事業コード	2510070
平成16年度	事業名	芦屋市福祉金の支給事務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	保健福祉部				
総合計画	中	5	障害者の社会参加の実現				障害福祉課				
政策施策	小	1	障害者(児)福祉、保健・医療サービスの充実			所管課長氏名	藤井 幹男				
体系	細					記入者氏名	藤井 幹男				
事業期間	平成15年4月1日～平成16年3月31日		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2043	内線	2515		
根拠法令・要綱等	芦屋市福祉金条例					実施主体	市				
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営			<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金	
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容			
事業の概要		障害者等に福祉金を支給する。									
事業の現状		障害者、母子・父子・遺児に対し、障害者福祉金、母子・父子福祉金、遺児福祉金を支給する。 支給区分(重度・中度・軽度・障害児)により支給<居住制限・所得制限あり> 平成15年度58,000円～30,000円 平成16年度29,000円～15,000円									
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名									
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
		指標値	2,879人	3,044人	3,236人	0人					
	単位コスト										
	結果指標 (2)	指標名									
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値											
単位コスト											

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	障害者、母子状態にある母、父子状態にある父及び遺児									
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)			比率(b÷a)%					
	意図 (対象を主語にして)	障害者、母子状態にある母、父子状態にある父及び遺児が福祉金給付を受けることによって経済的に救われる。									
大きな目的		社会的弱者に対する経済的支援									
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名									
		考え方・式									
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
	指標値										
	最終成果 指標	指標名									
		考え方・式									
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)					
指標値											
芦屋市の特色など補足する事項											

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	2,018	住民1人当り(円)	877	平成17.4.1	住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)		
内訳 (千円)	人件費	4.5%	3,556	3,165	3,535	-	
	事業費	95.5%	133,979	141,544	75,436	0	
	他部門経費		10			-	
	減価償却費					-	
	合計	100.0%	137,545	144,709	78,971	0	
財源 (千円)	国・県						
	市債等						
	その他						
一般財源	100.0%	137,545	144,709	78,971	0		
活動配分 (人)	職員					-	
	嘱託・臨時等					-	
合計		0.00	0.00	0.00	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	1	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 支給対象者及び金額 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		3	3	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない				
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない	1	0	
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容 平成16年度半額支給。平成17年度から当分の間支給停止。				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	<input checked="" type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	A	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	改善内容						

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	生活費の一部として期待をしている方がいる。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	当事者団体					
	意見,要望内容	見直しについては団体等から強い反対があり,特に制度自体の廃止について容認できないとの意見が多かった。					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	完全廃止ではなく,当分の間支給しない。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント							

(一般事業)	事業コード	2520010
平成16年度	事業名	早期療育訓練事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	保健福祉部			
総合計画	中	5	障害者の社会参加の実現				障害福祉課			
政策施策	小	2	教育・療育体制の充実			所管課長氏名	藤井 幹男			
体系	細					記入者氏名	藤井 幹男			
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2043	内線	2515	
根拠法令・要綱等	児童福祉法					実施主体	市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金									
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託		委託内容					訓練業務
事業の概要	心身に発達遅滞のおそれのある乳幼児及び親に対し、通園の場を設けて適切な療育及び訓練を行う。									
事業の現状	親子通園が可能なおおむね1歳から就学前までを対象に、芦屋くすのきデイケアセンターの「すくすく学級」で行う。 保護者に対しては、児童の療育についての個別及び集団による指導 児童に対しては、障害に応じた生活指導、遊戯指導及び訓練。 訓練業務を一部委託。									
アウトプット	結果指標(1)	指標名								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
		指標値	24人	24人	24人	24人	24人			
		単位コスト								
指標	結果指標(2)	指標名	延べ利用者数							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
		指標値	2,730人	2,599人	3,029人					
	単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	1歳から就学前までの全対象児童								
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	4,278人	受益数(b)	24人	比率(b÷a)%	0.56%			
	意図(対象を主語にして)	全対象者のうち、健診において発達遅滞のおそれのある児童に対し、療育相談を経て登録。 保護者に対しては、児童の療育についての個別及び集団による指導 児童に対しては、障害に応じた生活指導と遊戯指導及び訓練								
大きな目的	児童の健全育成									
アウトカム	中間成果	指標名	通級率(%)							
		考え方・式	延べ通級児童数 / 延べ登録児童数 × 100							
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
	指標値	50	48	61	100	100				
最終成果	指標名									
	考え方・式									
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
	指標値									
芦屋市の特色など補足する事項	発達遅滞のおそれのある児童の唯一の早期訓練の場である。									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	1,193	住民1人当り(円)	519	平成17.4.1	住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)		
内訳(千円)	人件費	57.8%	29,860	26,953	26,975	-	
	事業費	37.1%	17,469	17,182	17,307	17,781	
	他部門経費					-	
	減価償却費	5.2%	2,415	2,415	2,415	-	
	合計	100.0%	49,744	46,550	46,697	17,781	
財源(千円)	国・県	10.0%	9,481	6,148	4,671		
	市債等						
	その他						
	一般財源	90.0%	40,263	40,402	42,026	17,781	
活動配分(人)	職員	19.4%	1.30	1.15	1.20	-	
	嘱託・臨時等	80.6%	5.00	5.00	5.00	-	
	合計	100.0%	6.30	6.15	6.20	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			7	7	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い			4	4	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない					
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 三田市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			0	-3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト 3,222千円/人	<input type="checkbox"/> 把握していない					
		↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い					
		高い,または低い場合の理由						
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行ってない ↳ 内容						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	B
			<input type="checkbox"/> D					
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	慢性的に待機者を抱えているため,増設,移設の検討			改善内容	定員内での訓練内容によりコストを抑えようとしたが,待機者が多く定員越えを起こした。	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		職員配置の改善 慢性的な待機者						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	保護者						
	意見,要望内容	適切な指導訓練が受けられる体制と環境を保障してほしい。						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	次世代育成支援対策推進法第8条第1項に基づく市町村行動計画の推進事業として位置付け平成21年を目途に施設の整備充実を目指す。					
		実施期限	平成	21	年	4	月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性		増加傾向ある障害リスク児を受け止める市内唯一の療育施設である。 待機児童を慢性的に抱えており改善,拡大・拡充を図る必要がある。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		民間活力の導入について,他団体の事例を調査しアクションプランを作成して進めてください。						

(一般事業)	事業コード	2410080
平成16年度	事業名	保育所の運営及び維持管理業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	保健福祉部		
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現			所管課長氏名	こども課		
政策施策	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進			記入者氏名	松尾 秀作		
体系	細					電話番号	0797-38-2045	内線	2547
事業期間	昭和27年8月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市自治事務		
根拠法令・要綱等	児童福祉法、芦屋市保育の実施に関する条例					委託内容			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	<input type="checkbox"/> 民間委託					
事業の概要	保護者の労働又は疾病等に事由により、児童の保育に欠ける場合に、保護者からの申込みを受け、保育所において保育することにより、保護者が安心して働くことが出来生活状況が改善される。								
事業の現状	・実施場所 市内6保育所 ・定員 480人 ・保育時間 午前7時30分から午後6時 ・児童の対象年齢 0歳から就学前まで								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	入所児童数(毎年度末現在の児童数) 平成14年度を基準として(%)						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	506人(100%)	503人(99.4%)	511人(101.1%)	510人(100.8%)	510人(100.8%)			
	単位コスト								
結果指標 (2)	指標名	定員に対する入所児童の割合(入所児童数/定員)							
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	506人(105.4%)	503人(104.8%)	511人(106.5%)	510人(106.3%)	510人(106.3%)			
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	保育所の施設管理及びそれを利用する児童					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	614	受益数(b)	511	比率(b÷a)%	83.2%
意図(対象を主語にして)	親が勤労又は疾病等により保育ができない場合に、安心して預けられるような施設の供給と保育の実現をする。						
大きな目的	保育に欠ける児童を保育所が預かることにより、保護者の生活の安定と、児童の心身の健全な育成を図る。						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	入所児童数1人当り月額コスト				
		考え方・式	事業費÷(入所児童数×12ヶ月)				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	166,191円/人	160,788円/人	161803円/人			
最終成果 指標	指標名	待機児童数の推移					
	考え方・式	待機児童数には、未就労及び保育所の限定は含まない。					
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値	22人	34人	103人	40人	40人		
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	25,514	住民1人当り(円)	11,089	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	84.6%	905,612	868,342	844,496	-
	事業費	13.6%	85,360	87,852	135,662	134,610
	他部門経費					-
	減価償却費	1.8%	18,140	14,324	18,140	-
合計	100.0%	1,009,112	970,518	998,298	134,610	
財源 (千円)	国・県	0.0%	153,049	150,331	0	
	市債等					
	その他	14.3%	150,750	142,072	142,485	216,514
一般財源	85.7%	705,313	678,115	855,813	-81,904	
活動配分 (人)	職員	93.1%	96.25	93.80	110.02	-
	嘱託・臨時等	6.9%	46.48	21.08	8.16	-
	合計	100.0%	142.73	114.88	118.18	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	4	3
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	待機児童数(平成17年6月1日現在97人) <input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要				
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		2	2
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり		現在民間保育所公募中 <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト: <input type="checkbox"/> 把握していない	-1	-4
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である			
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
		<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
		↳ 内容: <input type="checkbox"/> 特になし					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	B D
平成16~17年度に実施した改善内容	待機児童の解消		改善内容	17年10月に民間保育所の開所 同じく19年4月に民間保育所の開所			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	民間活力の導入による定員の増 行政コストの削減(保育士の配置基準)							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容: 保育所の待機児童の解消							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	待機児童解消のため小学校内に60人定員の民間の保育所の開設を予定。					
		実施期限	平成	17	年	10	月	
	(2)	対応内容	待機児童解消のため100人以上定員の民間の保育所の開設を予定。					
		実施期限	平成	19	年	4	月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア	行政コストの削減(保育士の配置基準) 民間活力の導入による定員の増							
平成18~20年度の方向性	保育士の配置基準の見直しや民間活力の導入により,保育所の設置について検討を行う。			今後の方向性	1次評価	2次評価		
	保育料の見直しを行う。			拡大・充実				
				現状維持				
				方法改善				
				民間委託等				
				縮小				
			統合/終期設定					
			廃止/休止					
2次評価委員会コメント	民間委託に向けてアクションプランを作成し進めてください。							

(一般事業)	事業コード	2420120
平成16年度	事業名	子育て支援事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	こども課			
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現			所管課長氏名	中村 尚代			
政策施策	小	2	子育て支援のネットワーク化			記入者氏名	宮本 雅代			
体系	細					電話番号	38-2045	内線	2540	
事業期間	平成16年4月1日～平成17年3月31日		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	芦屋市			
根拠法令・要綱等	芦屋市児童虐待防止ネットワーク会議設置要綱					委託内容				
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金	
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託				
事業の概要	(1) 児童虐待の早期発見、早期予防のためのネットワークづくり並びに啓発活動 (2) 対市民向け事業として、乳幼児とその親の集いのひろばを開催 (3) 次世代育成支援対策推進事業・・・事業費合計9,015千円をその他で計上									
事業の現状	(1) 庁内の関係部署、市内の関係機関が連携を取り、虐待防止に向けたネットワーク会議を開催 代表者会で意識の浸透を図り、実務者会で具体的ケースの情報を共有し解決の方向性を探り、市民に講演会で虐待防 (2) 市内の公共施設(市内5ヶ所)の一室を乳幼児向けの親子の集う場として開放する。 民生児童委員、主任児童委員がスタッフになり、相談に乗ったり、情報提供をする。 親子が集うことにより、育児不安を取り除き、密室育児の解消に努める。									
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	ネットワーク会議の開催回数							
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値		7回	6回	6回	7回				
	単位コスト									
結果指標 (2)	指標名	親子の集う場の開催回数								
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
	指標値		29回	57回	58回	58回				
単位コスト										

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	虐待のリスクが高いといわれているおおむね0～3歳までの児童								
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	2466	受益数(b)	735	比率(b÷a)%	29.9%			
意図 (対象を主語にして)	図	虐待のリスクの高い乳幼児を持つ親が子育てに対する不安、ストレスを解消し、子どもが虐待の危険から回避される。								
大きな目的	図	親が子育てを楽しみ、子どもが健全に成長し、地域で親子を見守るコミュニティができる。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	子ども課が受ける相談件数							
		考え方・式	件数が多いほど、ネットワークにつなげる機会が増える							
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
	指標値	674	670	680	700	700				
最終成果 指 標	指標名	親子の集う場の参加者数								
	考え方・式	リピーターも含め、参加者が多いほど親子のつながりが広がり、コミュニティができる。								
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値	-	延489	延735	延800	延800					
芦屋市の特色など補足する事項	図	民生児童委員が主体になって独自にSOSキャッチ支援ー地域子育てネットワーク事業を実施 こども課以外の所管のつどいの事業も盛況								

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円)	53	住民1人当り(円)	23	平成17.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	人件費	92.7%		3,110	1,937	-				
	事業費	7.3%		1,336	152	193				
	他部門経費					-				
	減価償却費					-				
	合計	100.0%	0	4,446	2,089	193				
財 源 (千円)	国・県									
	市債等									
	その他									
一般財源	100.0%	0	4,446	2,089	193					
活 動 配 分 (人)	職員	100.0%		0.20	0.20	-				
	嘱託・臨時等					-				
	合計	100.0%	0.00	0.20	0.20	0.00				

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	5	5	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 子育て支援に関するアンケート(平成16年3月報告) <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容: 子育てに悩む親の数は増えており, 早急な対応策を迫られている。				
	優先性, 緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ, 市民の生命, 安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		2	1	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入		↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名: 子育てセンター	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない				
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト: _____	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない				
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	高い,または低い場合の理由: スタッフがボランティアで対応しているため			
	手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在, 適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし, 過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について			
	<input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である						
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない		内容: 公共の余裕室を利用, 玩具等はいりサイクル品を活用				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが, 効果がなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	関係者の虐待防止に対する意識を高める 虐待以外の児童の問題にも対処する必要 より市民が利用しやすい場所を検討 類似した他部門の事業との整理	改善内容	アセスメント表を導入 要保護児童対策地域協議会への移行の準備 市民のニーズに対応し, 開催箇所を変更 教育委員会所管の子育てセンターがこども課に移管				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	子育てセンターがこども課に移管したことにより, 類似した事業の性格を明確にし, 整理統合する必要がある。そのため, 内部で相談業務の検証を図り, 統合に向け働きかけを行う。								
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称	国, 県							
	意見, 要望内容	児童福祉法の改正, 次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の推進							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	情報, 相談, 交流が可能な子育て支援の拠点を作る。						
		実施期限	平成	21	年	3	月		
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア	教育委員会(幼稚園)と市長部局(保育所)の相互交流の充実								
平成18~20年度の方向性	こども課が児童に関わる一元的な窓口になり, 相談, 事業を各拠点に振り分けていけるような流れを作る。	今後の方向性	拡大・充実	現状維持	方法改善	民間委託等	縮小	統合/終期設定	廃止/休止
2次評価委員会コメント	育児教室や教育委員会が実施する事業等との連携・役割分担を整理し, 統合に向けて早急にアクションプランを作成して進めてください。								

(一般事業)	事業コード	2310040
平成16年度	事業名	生きがい活動支援事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部			
総合計画	中	3 高齢者の自立をサポートする社会の実現		高年福祉課			
政策施策	小	1 高齢者の生きがい対策	所管課長氏名	浜野 孝			
体系	細		記入者氏名	徳田 恵			
事業期間	平成12年4月1日～	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2044 内線 2523			
根拠法令・要綱等	芦屋市高齢者生きがい活動支援通所事業実施要綱		実施主体	市			
実施手続	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称 社社, 芦屋17 倶楽部(NPO)	<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容 各種講座の開催			
事業の概要	閉じこもりがちな高齢者に対し、老人福祉会館、集会所、ゆうゆう倶楽部等の場を提供し、趣味活動や体を動かすことにより生きがいと社会参加を促進させる。						
事業の現状	老人福祉会館、集会所、ゆうゆう倶楽部等の会場で、生きがいを目的とし教養講座や日常生活訓練を含む趣味活動を実施。						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	生きがい活動支援通所サービス実施回数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	344回	387回	292回	250回	250回
	結果指標(2)	指標名	生きがい活動支援通所通所サービス利用延べ人数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	4,107人	4,445人	3,482人	3,750人	4,000人

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	一人暮らしの60歳以上の自立している高齢者					
	対象カバー率	対象数(a)	24,497	受益数(b)	3,480	比率(b÷a)%	14.2%
	意図 (対象を主語にして)	一人暮らしの閉じこもりがちな高齢者が趣味や生きがいを見つけ、外出の機会を増やす。					
大きな目的	高齢者の閉じこもりを防止し、生き生きと自立した生活を送るよう促進し介護予防につなげる。						
アウトカム指標	中間成果	指標名	閉じこもりが予防された人数				
		考え方・式	講座参加実人数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果	指標名	受講者の満足度				
		考え方・式	対象者・60歳以上の高齢者で虚弱および元気な方(代替指標)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	103	住民1人当り(円)	45	平成17.4.1 住民基本台帳	
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成16年度から補助 がなくなる。	
内訳 (千円)	人件費	28.3%	1,321	1,187	1,140		-
	事業費	71.7%	3,548	5,119	2,892		4,669
	他部門経費						-
	減価償却費						-
	合計	100.0%	4,869	6,306	4,032		4,669
財源 (千円)	国・県		2,411	2,287			
	市債等						
	その他						
一般財源	100.0%	2,458	4,019	4,032	4,669		
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.10	0.15	0.15	-	
	嘱託・臨時等					-	
合計	100.0%	0.10	0.15	0.15	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	5	2	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 1回あたり利用人数が増加傾向	<input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容:閉じこもり高齢者の増加に伴い,外出の機会の提供が必要				
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
	受益者(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			2	1	
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない				
-成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり			<input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名: 県内各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			1	0
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない				
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	高い,または低い場合の理由: _____			
	手段(1~ 3)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
コスト削減取組(1~ 1)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある					
		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
		<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない					
		↳ 内容:委託先にコスト削減を依頼						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た				
			<input checked="" type="checkbox"/> D	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった				
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	県の補助対象からはずされてしまったため,財源の確保が困難。	改善内容	委託先に内容やコストについての見直しを依頼し,1回あたりの単位コストが減少。	総合評価	A	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		閉じこもりの状態にある高齢者について全て把握することが困難。 閉じこもりを防止し,いかに生活機能の改善を図るか。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	関係機関の協力により地域のネットワークづくりを促進し閉じこもり状態の高齢者を把握。					
		実施期限	平成	18	年	3	月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア	利用者から意見を聴取し,高齢者の価値観を認識・把握し内容の見直しをする。							
	現受講者が閉じこもり高齢者に声掛けを行い参加を勧める。							
	パンフレットや広報だけでなく,多くの方法で広く事業について案内し参加を呼びかける。							
平成18~20年度の方向性	高齢者の閉じこもり防止の対策として,内容やコストについて委託先の協力を得ながら方法改善を行い実施していく。コスト削減しつつも利用者の増加につながるよう工夫していくため,満足度については把握を行う。 介護予防事業とリンクさせていく。				今後の方向性	1次評価	2次評価	
					拡大・充実			
					現状維持			
					方法改善			
					民間委託等			
					縮小			
				統合/終期設定				
				廃止/休止				
2次評価委員会コメント		廃止に向けて早急にアクションプランを作成して進めてください。						

(一般事業)	事業コード	2310070
平成16年度	事業名	社会参加・生きがい事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部			
総合計画	中	3 高齢者の自立をサポートする社会の実現		高年福祉課			
政策施策	小	1 高齢者の生きがい対策	所管課長氏名	浜野 孝			
体系	細		記入者氏名	篠原 隆志			
事業期間		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2044 内線 2522			
根拠法令・要綱等	老人福祉法			実施主体	市		
実施手続	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託			<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容			
事業の概要	高齢者の生きがい作り，健康作りのための催しの開催や情報提供						
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容						
	敬老会，高齢者のつどい開催，100歳以上長寿高齢者の市長敬老訪問の実施，広報での高齢者福祉特集号の発行及び高齢者証明書の発行						
アウトプット指標	指標名	催しへの参加者数					
	結果指標(1)	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	2050人	2050人	1,337人		
		単位コスト		3,696円	4,330円		
アウトプット指標	指標名						
	結果指標(2)	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値					
		単位コスト					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	60歳以上の高齢者					
	対象カバー率	対象数(a)	24,688人	受益数(b)	1,337人	比率(b÷a)%	5.4%
	意図(対象を主語にして)	高齢者が活動発表の場をもつことにより，活動が活発化する。また長寿者を敬老することで，生きる楽しみと力が湧く。					
大きな目的	生きることに関心と楽しみが持て，長生きして良かったと思える高齢者が増える。						
アウトカム指標	指標名	事業に対する参加率(%)					
	中間成果	考え方式	参加者数 / 対象者の数 × 100				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	25%	25%			
アウトカム指標	指標名	60歳以上の在宅高齢者率(%)					
	最終成果	考え方式	60歳以上の高齢者数 - 施設入所者数 / 60歳以上の高齢者数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	97.8%	98.0%	97.8%	98.0%	98.0%
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	148	住民1人当り(円)	64	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	65.9%	5,547	4,783	3,814	-
	事業費	34.1%	4,034	2,794	1,976	2,694
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	9,581	7,577	5,790	2,694
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	9,581	7,577	5,790	2,694	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.60	0.55	0.55	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.60	0.55	0.55	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	3
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 参加者数が増えている。	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	1
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	1	-2
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	A D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題 敬老会への参加者数が少なく,記念品だけ後でとりに来る人が多い。 出演者が決まっいて,他の団体が出られない。		改善内容 記念品の交換を敬老会当日だけにすることで会の参加者が増えた。 出演者を公募することで,参加団体が増えた。				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	催し的な事業については,団体で開催できるように団体の力をつける指導を行う必要がある。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容	実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容	実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	市民ニーズ,特に対象者は非常に楽しみにしているものである。	今後の方向性	1次評価	2次評価			
	催しでは出演者の公募や参加者拡大のための改善に取り組んでいるので,実施方法を改善しながら,今後も実施する。	拡大・充実					
		現状維持	○				
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
2次評価委員会コメント	民間(NPOや市民団体など)によるアクションプランを作成して進めてください。						

(一般事業)	事業コード	2310080
平成16年度	事業名	高齢者バス運賃助成事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部			
総合計画	中	3 高齢者の自立をサポートする社会の実現		高年福祉課			
政策施策	小	1 高齢者の生きがい対策	所管課長氏名	浜野 孝			
体系	細		記入者氏名	川原 智夏			
事業期間	昭和62年1月~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2044 内線 2522			
根拠法令・要綱等	高齢者バス運賃助成事業実施要綱		実施主体	市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____						
事業の概要	満70歳以上の高齢者で、市内の阪急バスを利用するものにバス乗車券購入助成券を交付する 助成券は阪急バス回数カード等を購入する場合、3,000円を補助するものである						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	前年度末に70歳以上到達者に対し、「高齢者バス運賃助成券」を郵送により交付する。 以降、70歳に到達する方には誕生月前月末に「高齢者バス運賃助成券」を郵送により交付する。 助成券は、敬老回数カード(3,000円券)と交換又ははんきゅうグランドバス購入時に3,000円の割引が受けられる。 平成15年4月1日より現行制度に変更、平成16年度より交付方法を窓口から郵送に変更。 平成16年4月1日現在 70歳以上の高齢者数 約13,500人						
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	助成対象者数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値		12,561人	13,686人	14,000人	14,500人
		単位コスト		3,431円	2,359円		
結果指標 (2)	指標名	助成券利用人数					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値		7,159人	9,621人	9,800人	10,200人	
	単位コスト		3,612円	3,356円			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	満70歳以上の高齢者					
対象・意図 (対象を主語にして)	対象カバー率	対象数(a)	13,500	受益数(b)	9,600	比率(b÷a)%	71.1%
大きな目的	意図	満70歳以上の高齢者がバス乗車券購入助成を受けることにより、趣味及び文化活動等の社会参加の機会を促進するため。					
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	利用率				
		考え方・式	利用人数÷70歳以上の高齢者数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値		59.5%	71.1%	72.00%	73.00%
最終成果 指標	指標名	高齢者の外出頻度					
	考え方・式	高齢者の外出する割合(すこやか長寿プランアンケートによる)					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	54.8%	未把握	56.9%	58%	60%	
芦屋市の特色など補足する事項	交付方法を郵送に切り替えたため、高齢者用と分かるように「敬老回数カード」と明示した回数カードを作成。						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当たり(円)	825	住民1人当たり(円)	359	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	6.5%	1,645	2,232	2,112	-
	事業費	93.5%	40,155	23,628	30,178	30,799
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	41,800	25,860	32,290	30,799
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	41,800	25,860	32,290	30,799
活動 配分 (人)	職員	100.0%	0.10	0.20	0.20	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.20	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.30	0.20	0.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	4	4
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> 交換枚数の増加	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容:回数カードと交換,定期購入の割引とニーズに合わせて選択できる。交付方法も要望に答え郵送			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
-成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし					
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 5000円	<input type="checkbox"/> 把握していない	2	0
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない	内容:一斉郵送の際にはバーコードを印字し,市内特別と合わせてもっとも安価にしている。			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	A	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題:15年度に制度を半額から定額に変更した際助成の削減と並んで助成方法(窓口交付)に対する苦情が多かった。年度当初に高齢者が大勢来る事は危険もともなっていた。	<input checked="" type="checkbox"/> D	改善内容:交付方法を窓口から郵送に変更し,自宅近くの交換所で助成が受けられるようになり,利便性が増した。				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	高齢者人口の増加が増加しつつあること。特に年度中に満70歳に到達する人数が増加している。実際に利用しているかが,把握できない。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	窓口に交付を受けに来させるのが納得できない。(15年度) 半額助成にもどしてほしい。3,000円では少なすぎる。					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	交付方法を郵送に変更する一方,高齢者用であることが分かるように敬老回数カードを作成。				
		実施期限	平成	16	年	4	月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア	高齢者バス運賃助成事業の財源を活用したコミュニティバスの運行の検討が行われている。						
平成18~20年度の方向性	助成方法を変更して3年目であり,ようやく定額助成であるということ,助成の受け方が浸透してきたところであり,事業の有効性を判断するために継続する。	今後の方向性	1次評価	2次評価			
		拡大・充実					
		現状維持		○			
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
統合/終期設定							
廃止/休止							
2次評価委員会コメント	所得制限を設け,必要な人に助成ができるように見直ししてください。						

(一般事業)	事業コード	2340150
平成16年度	事業名	介護予防・生活支援事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部			
総合計画	中	3 高齢者の自立をサポートする社会の実現		高年福祉課			
政策施策	小	4 高齢者の生活自立支援の推進	所管課長氏名	浜野 孝			
体系	細		記入者氏名	川原 智夏			
事業期間		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2044 内線 2522			
根拠法令・要綱等	芦屋市軽生活援助事業実施要綱、芦屋市寝たきり老人理(美)容サービス事業実施要綱、芦屋市要援護高齢者寝具洗濯乾燥消毒サービス事業実施要綱、芦屋市要援護高齢者外出支援サービス事業実施要綱、芦屋市はり・灸・あんま・マッサージ・指圧施術費助成事業実施要綱			実施主体	市		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	芦屋ハートフル福祉公社他	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	清掃等の軽度家事援助・訪問理	
事業の概要	介護予防サービス、生活支援サービスを提供し、高齢者の自立を促すとともに、要介護状態にある高齢者の生活の質の向上を図る。						
事業の現状	ひとり暮らしの60歳以上の高齢者等に清掃等の家事援助(1,355回)、安否確認を兼ねた配食(70,618回)、訪問理美容(105回)、寝具の洗濯・乾燥(16回)、緊急通報システム利用のサービス(87回)、外出支援(1031回)、70歳以上の高齢者にはり灸施術の助成券の交付(712回) (民間委託) 芦屋市シルバー人材センター・尼崎老人福祉会・芦屋理美容師会・兵庫県クリーニング環境衛生同業組合						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	実施回数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	73,458回	76,145回	73,924回	75,000回	75,000回
		単位コスト		441円	488円		
結果指標(2)	指標名	利用実人数					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	760人	800人	780人	800人	800人	
	単位コスト		41,960円	46,296円			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	援助を必要とする60歳以上の高齢者					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	3,919人	受益数(b)	770人	比率(b÷a)%	19.6%
	意図(対象を主語にして)	援助を必要とする60歳以上の高齢者が、必要なサービスを受けて生活の質の向上させる。					
大きな目的	介護の予防と介護度の進行を抑える。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	在宅高齢者で負担が軽減した割合				
		考え方・式	利用実人数/60歳以上在宅要援護高齢者(虚弱出現率+在宅認定者)×100				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	22.6%	22.4%	19.9%			
最終成果指標	指標名	在宅高齢者率(%)					
	考え方・式	高齢者人口-施設入所者数/高齢者人口×100					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	97.1%	97.3%	97.1%	97.0%	96.7%	
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	953	住民1人当り(円)	414	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	9.8%	3,955	4,305	3,639	-
	事業費	90.2%	29,119	29,263	33,638	42,196
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	33,074	33,568	37,277	42,196
財源(千円)	国・県	39.2%		19,328	14,621	29,125
	市債等					
	その他					
一般財源	60.8%	33,074	14,240	22,656	13,071	
活動配分(人)	職員	50.0%	0.40	0.50	0.50	-
	嘱託・臨時等	50.0%	0.20	0.00	0.50	-
	合計	100.0%	0.60	0.50	1.00	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	5	5	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> アンケート調査で利用者意向を把握 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容:					
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		3	3	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input checked="" type="checkbox"/> 特になし							
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト:	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	0	-3	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 実施回数の見直し等						
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input checked="" type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	軽度生活援助事業の急激な増加のため,経費が大幅に増加。		改善内容	実施内容を精査し,毎月の実施は不要と思われる一部事業の実施回数に制限を設け経費を抑え事業の継続を図った。			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	サービスについて知られていない。 配食サービスに病理食がないため,サービスが利用できない場合がある。 介護予防に対する効果の測定。									
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容									
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	一般高齢者向け配食に加え,糖尿病食,腎臓病食,低カロリー食を導入した。					今後の方向性	1次評価	2次評価
		実施期限	平成	17	年	4	月			
	(2)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(3)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
その他考えられる改善のアイデア										
平成18~20年度の方向性	介護予防は本人の生活の質の向上以外にも介護保健事業にも影響を与えるものであり,事業の継続は必要であるが,18年度からの介護保険制度の改革によって事業の変更を行う。 介護予防については,制度改正において,地域支援事業へ移行する生活支援事業と介護の悪化を防止する介護予防と,施策を実施する必要がある。					拡大・充実				
						現状維持	○			
						方法改善				
						民間委託等				
						縮小				
						統合/終期設定				
						廃止/休止				
2次評価委員会コメント	はり・灸・あんま等については,廃止する方向で検討してください。									

(一般事業)	事業コード	2340280
平成16年度	事業名	敬老祝金

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部	
総合計画	中	3	高齢者の自立をサポートする社会の実現		高年福祉課	
政策施策	小	4	高齢者の生活自立支援の推進	所管課長氏名	浜野 孝	
体系	細			記入者氏名	篠原 隆志	
事業期間			経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2044 内線 2522	
根拠法令・要綱等	芦屋市敬老祝金条例			実施主体	市	
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____					
事業の概要	高齢者に対し敬老祝金を支給し、多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛するとともに長寿を祝う。					
事業の現況	芦屋市敬老祝金 77歳-10,000円 88歳-20,000円 99歳・100歳-30,000円 毎年9月1日(基準日)現在において住民基本台帳又は外国人登録法による登録をされているものに支給する。 77歳-727人 88歳-211人 99歳・100歳-22人 /計960人 原則として対象者から銀行口座を確認し、口座振込みにてお祝金を渡す。口座のない方に対しては、市窓口にて手渡しする。					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	支給人数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	884人	953人	960人	987人	1,014人
	単位コスト	15,771円	16,501円	16,036円		
結果指標(2)	指標名					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値						
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	9月1日現在において77歳, 88歳, 99歳, 100歳の者					
	対象カバー率	対象数(a)	960人	受益数(b)	960人	比率(b÷a)%	100%
	意図 (対象を主語にして)	<input checked="" type="checkbox"/> 多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う。					
大きな目的	高齢者が生きがいをもって長寿を迎えられる環境をつくる。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	高齢者における受給率				
		考え方・式	支給人数÷高齢者人口				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	5.3%	5.5%	5.3%	5.4%	5.5%	
最終成果指標	指標名	長寿を実感した人の割合(代替指標 高齢化率)(%)					
	考え方・式	高齢者人口/人口					
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値	19.0%	19.4%	19.7%	20.0%	20.5%		
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	393	住民1人当り(円)	171	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	15.2%	2,621	2,607	2,338	-
	事業費	84.8%	11,321	12,515	13,057	14,341
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合計	100.0%	13,942	15,122	15,395	14,341	
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
その他						
一般財源	100.0%	13,942	15,122	15,395	14,341	
活動配分 (人)	職員	38.5%	0.20	0.20	0.20	-
	嘱託・臨時等	61.5%	0.32	0.32	0.32	-
	合計	100.0%	0.52	0.52	0.52	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	2	2
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要なである	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容: 対象年齢を見なおしている。(H13年度に)			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	3
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない	1	-2
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている		<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がな	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価 A D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題		改善内容				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	県で88歳(3万)と100歳(5万)に支給されている長寿祝金が,市敬老祝金と重複部分がある。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	各市の動向を踏まえながら,必要に応じ見直し等について検討したい				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持	○	
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
				統合/終期設定			
				廃止/休止			
2次評価委員会コメント	事業手段として金銭給付が妥当かの検討が必要です。						

(一般事業)	事業コード	2340350	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	高齢世帯生活援助員派遣事業						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり				所管課	保健福祉部 高年福祉課	
総合計画	中	3	高齢者の自立をサポートする社会の実現				所管課長氏名	浜野 孝	
政策施策	小	4	高齢者の生活自立支援の推進				記入者氏名	川原 智夏	
体系	細						電話番号	0797 - 38 - 2044 内線 2522	
事業期間	間	平成14年度～	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等		阪神・淡路震災復興計画				補助金	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託				委託内容	生活援助員業務		
委託先	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称				委託内容	生活援助員業務		
事業の概要		災害復興公営住宅に居住する被災高齢者等を対象に、安否確認、生活指導、相談、一時的な家事援助等を行う。							
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容	災害復興公営住宅に居住する被災高齢者宅へ、週に一回程度生活援助員を派遣し、身体状況等の確認を行うとともに、生活等に関する相談に応じている。緊急の場合は、一時的な家事援助も行う。 訪問団地 大東町東団地・大東町西団地・大東町西2団地・宮塚町北団地・楠町団地・翠ヶ丘町団地 対象世帯 74世帯 生活援助員 1人で巡回							
アウトプット指	結果指標 (1)	指標名	訪問回数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	3,865回	4,053回	3,266回	4,000回	4,000回			
	単位コスト		839円	1,000円					
結果指標 (2)	指標名								
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	85回	50回	38回	50回	50回			
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	災害復興公営住宅の入居世帯で、概ね65歳以上の単身者、夫婦のみの世帯(一方が65歳以上)、概ね65歳以上の高齢者のみの世帯等							
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	163戸	受益数(b)	74世帯	比率(b÷a)%	45.4%		
意図(対象を主語にして)		災害復興公営住宅に入居している高齢者の健康状況、生活状況を確認し、必要な場合適正な対処(関係する必要な機関、保健センター、在宅介護支援センター等につなぐ)を行う。							
大きな目的		災害復興公営住宅に入居している高齢者が、孤立せず、在宅で安心して生活できるように支援する。							
アウトカム指	中間成果指標	指標名	入居率(%)						
		考え方・式	戸数に対する入居率						
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	100%	100%	100%	100%	100%			
最終成果指標	指標名	高齢者在宅率							
	考え方・式	高齢者人口÷施設入所者数×100							
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値	97.1%	97.3%	97.1%	97.3%	97.5%				
芦屋市の特色など補足する事項		南芦屋浜地区においては24時間常駐で対応							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円)	83	住民1人当り(円)	36	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	28.1%	565	956	917					
	事業費	71.9%	2,350	2,447	2,348					
	他部門経費									
	減価償却費									
合計	100.0%	2,915	3,403	3,265	2,350					
財源(千円)	国・県									
	市債等									
	その他	90.7%	3,000	3,005	2,962	2,970				
一般財源	9.3%	-85	398	303	-620					
活動配分(人)	職員	0.0%	0.05	0.10	0.00					
	嘱託・臨時等	100.0%	0.00	0.00	1.00					
	合計	100.0%	0.05	0.10	1.00	0.00				

4 評価(チェック)

評価	視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	3
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である <input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 数字で把握している <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している <input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容: 震災から10年が経過しており,一般の要介護高齢者と同様な対応。		
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える		
	- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり 対象者に訪問意向調査を行い,必要な人には訪問回数を増や <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神各市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由:	1	-1
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行ってない 内容:		
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果 <input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D 平成16年度実施した改善の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がな <input type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	A	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題: 訪問対象者がどの程度,訪問を必要としているのかわからない。必要か不必要か実態が不明。 改善内容: 対象者に聞き取りを実施。訪問間隔の希望も差があり,その方の状況に合わせた訪問体制を17年度からとる事とする。			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	阪神・淡路大震災復興基金事業として,5年間(平成21年度まで)の事業延長が決定したが,その後事業が廃止された後の被災高齢者への見守り・支援体制をどう地域を交えて構築していくか。				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	
その他考えられる改善のアイデア	L S Aの派遣制度				
	在宅介護支援センターによる支援				
平成18~20年度の方向性	5年間の事業継続が示された事と,年々高齢化が進む被災高齢者の支援の必要性からも継続しておこなう。また,この間に事業廃止後の支援体制を構築する。		今後の方向性	1次評価	2次評価
			拡大・充実		
			現状維持	○	
			方法改善		
			民間委託等		
			縮小		
		統合/終期設定			
		廃止/休止			
2次評価委員会コメント	終期設定を行い,平成21年度をもって終了してください。				

(一般事業)	事業コード	2340390
平成16年度	事業名	高齢者相談業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部			
総合計画	中	3 高齢者の自立をサポートする社会の実現		高年福祉課			
政策施策	小	4 高齢者の生活自立支援の推進	所管課長氏名	浜野 孝			
体系	細		記入者氏名	徳田 恵			
事業期間		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2044 内線 2523			
根拠法令・要綱等			実施主体	市			
実施手法	法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称	<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容			
事業の概要		高齢者福祉相談員(嘱託職員)を配置し、高齢者の総合相談にあたる					
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容	相談員を窓口配置。高齢者の相談内容から福祉サービスや各種の情報の提供をおこない、問題解決にあたる。必要に応じて各関係機関と連携し、情報や知識の共有をしながら、幅広くサービス提供や問題解決を行っている。					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	相談日数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	245日	247日	245日	245日	245日	
	単位コスト		11,230円	11,343円			
結果指標(2)	指標名	相談人数(件数)					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	185人	306人	325人	360人	390人	
単位コスト		9,065円	8,551円				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	支援を必要とする高齢者本人や高齢者の家族・親族等					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	3,100人	受益数(b)	325	比率(b÷a)%	10.5%
	意図(対象を主語にして)	高齢者やその家族等が、抱えている問題を相談し、それを解消する方法やサービスについての情報提供を受け、問題解決の糸口をつかむ。					
大きな目的		相談を受けることにより、制度やサービスの利用につなげ、生活の質を向上させる。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	問題解決のためのサービスや情報が得られた人の割合				
		考え方・式	窓口へ相談に来た人のうち問題解決のためのサービスや情報を受けた人/相談人数				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	100%	100%	100%	100%	100%	
最終成果指標	指標名						
	考え方・式						
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値						
芦屋市の特色など補足する事項		近隣の市に比べて高齢化率が高い。					

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	71	住民1人当り(円)	31	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	100.0%	2,110	2,774	2,779	-
	事業費			2,273		2,311
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	2,110	5,047	2,779	2,311
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	2,110	5,047	2,779	2,311
活動配分(人)	職員					-
	嘱託・臨時等	100.0%	1.00	1.00	1.00	-
	合計	100.0%	1.00	1.00	1.00	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			7	7	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 毎年相談件数が増加している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 高齢化率が上昇,それに伴い相談が増える	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い			
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神間各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			0	0	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 阪神間各市	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない					
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
		高い,または低い場合の理由						
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 人件費を抑えるため年齢層の低い嘱託職員を雇用している						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	総合的な問題の発見・分析に至っていない。		改善内容			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		具体的な個々の問題に対し発見・分析に至っていないケースがある。 全ての相談に対し,スムーズに問題の発見や情報提供ができていないことがある。 相談業務の統合化。					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	基幹型在宅介護支援センターへ相談記録のデータ集約を送り,問題の発見・分析にあたる。必要に応じて「地域ケア会議」を行う。				
		実施期限	平成	17	年	4	月
	(2)	対応内容	専門の相談員(嘱託職員)だけでなく正規職員も相談にあたり,幅広く情報提供や関係機関への連携を図る。				
		実施期限	平成	18	年	3	月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア	相談の質の向上を図るため,相談員の研修等を行う。						
平成18~20年度の方向性	高齢化に伴い相談件数は増加傾向にあり,その個々の問題から高齢者福祉に求められるニーズや問題の発見・分析を行い,今後の施策に活かすために,拡大・充実の方向で取り組んでいく。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント	相談業務の統合を図るなど,方法改善を行って下さい。						

(一般事業)	事業コード	2340120
平成16年度	事業名	養護老人ホーム運営事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	保健福祉部 和風園			
総合計画	中	3 高齢者の自立をサポートする社会の実現	所管課長氏名	辻田 宗弘			
政策施策	小	4 高齢者の生活自立支援の推進	記入者氏名	辻田 宗弘			
体系	細		電話番号	0797-23-0485 内線 2577			
事業期間	昭和40年~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	芦屋市			
根拠法令・要綱等	芦屋市立養護老人ホームの設置及び管理に関する条例, 和風園処務規						
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容 調理業務				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・和風園運営費及び一般事務費の支払業務等 ・維持管理及び支払業務等 ・養護費の支払業務等 						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・養護老人ホーム和風園の運営(定員50名) ・平成16年度入園者の現況 入園者2人 退園者7人 年度末在園者27人 平均年齢 84.1歳 最高齢者97歳 最低齢者70歳 平均在園年数8年9か月 ・年間主要行事 花見会, 七夕祭り, 輪投げ大会, 盆踊り, 創立祭, 健康講座, 鍋を囲む会, パスツアー, 忘年会, クリスマス会, 新年祝賀会, 茶道初釜, 節分豆まき 						
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	入所者数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	36人	32人	27人	33人	33人	
	単位コスト	4,989千円	5,132千円	5,460千円			
結果指標 (2)	指標名						
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値							
単位コスト							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	(養護老人ホーム入所者)65歳以上で,身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難なため,老人福祉法に基づき措置を受けた者					
対象カバー率	対象数(a)	27人	受益数(b)	27人	比率(b÷a)%	100%	
意図 (対象を主語にして)	図	養護老人ホーム和風園に入所させ,養護する。					
大きな目的	高齢者の生活自立支援の推進						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	入所率(%)				
		考え方・式	入所者数/定員×100				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	72%	64%	54%			
最終成果 指標	指標名						
	考え方・式						
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳 (千円)	人件費	51.7%	115,750	89,070	76,194	-
	事業費	39.2%	49,133	61,688	57,755	61,191
	他部門経費	0.0%	1,240	0	0	-
	減価償却費	9.1%	13,475	13,475	13,475	-
	合計	100.0%	179,598	164,233	147,424	61,191
財源 (千円)	国・県	19.2%		29,696	28,234	0
	市債等					
	その他	10.1%		16,541	14,857	14,868
	一般財源	70.8%	179,598	117,996	104,333	46,323
活動 配分 (人)	職員	88.9%	12.00	9.00	8.00	-
	嘱託・臨時等	11.1%	2.00	1.00	1.00	-
	合計	100.0%	14.00	10.00	9.00	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	1		
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している 内容: 個室的な取り組み				
	優先性,緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	2		
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない				
効性3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神各市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 4744千円 ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	0	-2		
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3) <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性 <input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	B	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題 入所者が増えると単位コストは下がる。入所要件は老人福祉法に基づくため,法改正を待たなければ入所者増は望めない状況である。	改善内容 介護職員1名を,正規職員から臨時的任用職員に切り替えた。			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	介護保険制度改正に伴う18年度以降の養護老人ホーム和風園の類型選択 類型選択後の施設改修及び民間活力導入 経費節減						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	和風園の施設形態決定				
		実施期限	平成	18	年	3	月
	(2)	対応内容	施設形態決定後の施設改修等				
		実施期限	平成	19	年	3	月
	(3)	対応内容	委託方針案の策定				
		実施期限	平成	19	年	3	月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	介護保険制度改正に伴う関連法令の改正及び政令,省令,通知等に基づき和風園の施設形態をどうするか17年度末までに決定する。 18年度に必要な施設改修等を行い,受託者を公募し,平成19年度を別途として民間委託等を実施する。	今後の方向性	1次評価	2次評価			
		拡大・充実					
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
統合/終期設定							
廃止/休止							
2次評価委員会コメント	平成19年度民間委託に向けてアクションプランを作成して進めてください。						

(一般事業)	事業コード	1220090
平成16年度	事業名	都市計画事業特別融資制度、芦屋市既成宅地防災工事資金融資あっせん制度

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市総合計画政策施策体系	まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり	所管課	建設部総務課	
	中	2	安全と防災の確保	所管課長氏名	阪本 繁樹	
	小	2	防災生活圏の整備充実	記入者氏名	杉町美和子	
事業期間	昭和56年3月～，平成8年3月～			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	
根拠法令・要綱等	芦屋市都市計画事業特別融資制度要綱，芦屋市既成宅地防災工事資金			電話番号	0707-38-2070 内線 2902	
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容					
事業の概要	都市計画事業特別融資制度及び芦屋市既成宅地防災工事資金融資あっせん制度に係る資金調達の困難な市民を金融機関に融資のあっせんをおこない，融資資金の原資を金融機関に預託し，事業の円滑な推進を促す。					
事業の現状	都市計画事業特別融資制度 対象事業は土地区画整理事業，再開発事業，街路事業。近年，金融機関の融資が多様化し，低金利が続く，この制度よりもっと利用者により有利な融資が金融機関等で実施されており，この制度の利用者は無い。 芦屋市既成宅地防災工事資金融資あっせん制度 近年，申請者はないが，危険な既成宅地の防災工事を対象としている。					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	都市計画事業特別融資制度による融資あっせん件数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	0件	0件	0件		
	単位コスト					
結果指標(2)	指標名	芦屋市既成宅地防災工事資金融資あっせん制度によるあっせん件数				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	0件	0件	0件		
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	都市計画事業(土地区画整理事業，市街地再開発事業，街路事業に限る。)の区域内の権利者で，事業の施行により移転に要する建築資金・土地購入資金・清算金充当資金の調達に困難な者及び危険宅地の所有者				
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	比率(b ÷ a) %		
意図(対象を主語にして)	意図	資金調達が容易となり，事業に協力できる。				
大きな目的	目的	事業の円滑な推進を促すことにより，災害のない安全で住み良いまちづくりができる。				
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	融資を受けて事業を実施した件数			
		考え方・式	都市計画事業特別融資制度，芦屋市既成宅地防災工事資金融資あっせん制度の融資を受けた市民の満足度			
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	0件	0件	0件		
最終成果指標	指標名	危険宅地での災害発生件数				
	考え方・式	都市計画事業及び芦屋市既成宅地防災事業の円滑な推進を促し，住み良いまちづくりができる。				
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	0件	0件	0件			
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	36.3%	490	478	458	-
	事業費	63.7%	5,263	2,920	803	20,648
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	5,753	3,398	1,261	20,648
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	63.7%	5,263	2,920	803	20,648
一般財源	36.3%	490	478	458	0	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.05	0.05	0.05	-
嘱託・臨時等						-
合計	100.0%	0.05	0.05	0.05	0.00	

過去融資分預託金
 H17 都市計画新規分
 融資額 預託率
 @2000万×4件×1/4
 = 20,000千円
 既成宅地 既融資分
 324万×1/5
 = 648千円

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			3	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
		<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握					
		<input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		0	0	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			0	-2	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない					
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由: _____						
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない						
		<input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある						
		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である						
		<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない						
		内容: _____						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	D	D
			<input checked="" type="checkbox"/> D					
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	改善内容					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		近年の金融情勢にあわせた制度の見直し。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容	取扱金融機関から,近年,利用者がいないので制度の内容を見直しはどうかとの意見があった。						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア		低金利の時代を考慮し現行の融資の利率を下げる等については,財政状況を勘案して検討中である。						
平成18~20年度の方向性						今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		社会状況に合わせた見直しを行って下さい。						

(一般事業)	事業コード	2620040
平成16年度	事業名	災害復興住宅特別融資制度

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	建設部				
総合計画	中	6	経済的困窮者への支援			住宅課					
政策施策	小	2	被災者の生活再建への支援			所管課長氏名	藤原龍一				
体系	細					記入者氏名	早崎寛				
事業期間	平成7年度～平成16年度・受付終了		経常臨時	<input type="checkbox"/>	経常	<input checked="" type="checkbox"/>	臨時	電話番号	38-2026	内線	2875
根拠法令・要綱等	芦屋市災害復興住宅特別融資制度					実施主体	財団法人 阪神・淡路大震災復興基金				
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称				<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容		
事業の概要	阪神・淡路大震災により住宅に被害を受けた人に自らの住宅を確保するために、芦屋市が資金の一部を預託し、金融機関から必要な資金を融通し、もって早期に再建復興を円滑に図る。(融資利率等:新築1500万円以内・償還25年以内・利率3.3%、中古購入1000万円以内・償還20年以内・利率3.3%、住宅改良600万円以内・償還10年以内・利率2.5%)										
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容 ・融資件数 0件 【融資実績件数及び貸付残高 1,099件, 1,958,520千円(平成17年3月末現在)】 ・預託金額 75,510千円 平成16年度で災害復興住宅特別融資制度の受付は終了するが、銀行への預託は残る。										
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	融資件数								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
		指標値	0件	0件	0件						
	結果指標(2)	指標名	融資金額								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
		指標値	0円	0円	0円						
		単位コスト	0円	0円	0円						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	阪神・淡路大震災により被災された方で、芦屋市内で自ら住むための住宅を建設・購入又は改良(補修等)される方。										
	対象カバー率	対象数(a)	不明	受益数(b)	不明	比率(b÷a)%	不明					
	意図(対象を主語にして)	阪神・淡路大震災により被災された方の住宅再建復興。										
大きな目的	阪神・淡路大震災により住宅に被害を受けた人に自らの住宅を確保するために、早期に再建復興を円滑に図る。											
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	融資条件の満足度(%)									
		考え方・式	借入れしやすい融資条件の満足度(%)、未調査のため実績不明									
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)					
	指標値	0	0	0								
	最終成果指標	指標名										
		考え方・式										
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)						
指標値												
芦屋市の特色など補足する事項												

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	1,946	住民1人当り(円)	846	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	0.8%	827	1,853	632	-
	事業費	99.2%	167,830	121,930	75,510	75,510
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	168,657	123,783	76,142	75,510
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	168,657	123,783	76,142	75,510	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.10	0.20	0.10	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.10	0.20	0.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			4	4		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない						
		<input type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握						
		<input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 初期の目標は達成している						
		<input type="checkbox"/> 未把握							
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		2	2		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している							
		<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定							
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している							
		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入							
		<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える							
		<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない							
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合							
		<input type="checkbox"/> 成果向上策あり							
		<input type="checkbox"/> 特になし							
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	阪神7市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	-1	-1		
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト		<input type="checkbox"/> 把握していない				
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い					
		高い,または低い場合の理由							
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である							
		<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない							
		<input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり							
		<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)							
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について							
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている							
		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある							
		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である							
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である							
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である							
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である							
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている							
		<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない							
		内容							
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	B	B
			<input type="checkbox"/>	D		<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	改善内容						

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題										
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称									
	意見,要望内容									
課題・要望等への対応	(1)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(2)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(3)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
その他考えられる改善のアイデア										
平成18~20年度の方向性		平成16年度で事業終了				今後の方向性	1次評価	2次評価		
						拡大・充実				
						現状維持				
						方法改善				
						民間委託等				
						縮小				
						統合/終期設定				
						廃止/休止				
2次評価委員会コメント										

(一般事業)	事業コード	2620050
平成16年度	事業名	高齢者住宅再建支援事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	建設部			
総合計画	中	6 経済的困窮者への支援		住宅課			
政策施策	小	2 被災者の生活再建への支援	所管課長氏名	藤原龍一			
体系	細		記入者氏名	早崎寛			
事業期間	平成9年度～平成18年度(終了)		電話番号	38-2026			
		経常臨時 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時	内線	2875			
根拠法令・要綱等	財団法人 阪神・淡路大震災復興基金事業		実施主体	財団法人 阪神・淡路大震災復興基金			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____						
事業の概要	住宅再建にあたり、高齢者が融資を受けず自己資金を取り崩し、自らが居住するための住宅を建設・購入または大規模な補修を行った被災者を支援することにより、住宅復興を促進する。 (被災市が受け持つ申請窓口と書類審査業務)						
事業の現状	補助対象者 ・ 半壊以上の被災判定を受け被災住宅を解体された方。 ・ 前年所得が690万円以下で住宅の再建(補修)時における満年齢65歳以上の方。 補助対象限度額 ・ 建設・購入の場合1140万円(補助金限度額57万円) ・ 補修の場合830万円(補助金限度額29万円) 活用実績 2件(累計598件 内訳:建設・購入461件,補修137件)平成17年3月31日現在						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	活用実績				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	8件	1件	2件		
		単位コスト	61千円	2,809千円	775千円		
結果指標(2)	指標名						
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値						
	単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	・ 半壊以上の被災判定を受け被災住宅を解体された方。 ・ 前年所得が690万円以下で住宅の再建(補修)時における満年齢65歳以上の方。					
	対象カバー率	対象数(a)	不明	受益数(b)	不明	比率(b÷a)%	不明
対象・意図	意図(対象を主語にして)	被災者(65歳以上の高齢者)の住宅再建支援をすることにより、住宅復興を促進する。					
大きな目的	目的	住宅再建にあたり、高齢者が融資を受けず自己資金を取り崩し、自らが居住するための住宅を建設・購入または大規模な補修を行った被災者を支援することにより、住宅復興を促進する。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	高齢者住宅再建支援の満足度				
		考え方・式	補助対象条件(補助金額等)の満足度(%)。				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	不明	不明	不明		
最終成果指標	指標名						
	考え方・式						
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	8件	1件	2件			
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	40	住民1人当り(円)	17	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	100.0%	489	2,809	1,549	-
	事業費					
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	489	2,809	1,549	0
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	489	2,809	1,549	0
活動配分(人)	職員	100.0%	0.05	0.30	0.20	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.05	0.30	0.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			1	1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握						
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い					
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定							
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない							
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 被災市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			0	-1		
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト:	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない						
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	高い,または低い場合の理由:						
		受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である							
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容:							
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	<input checked="" type="checkbox"/> D	改善内容		<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		65歳以上の高齢者の住宅再建支援は,今後の住宅政策の課題である。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称								
	意見,要望内容								
課題・要望等への対応	(1)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア									
平成18~20年度の方向性		平成18年度で事業終了(2年間延長)					今後の方向性	1次評価	2次評価
							拡大・充実		
							現状維持		
							方法改善		
							民間委託等		
							縮小		
							統合/終期設定		
							廃止/休止		
2次評価委員会コメント		平成18年度で事業を終了してください。							

(一般事業)	事業コード	2620060
平成16年度	事業名	民間賃貸住宅家賃負担軽減事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	建設部		
総合計画	中	6 経済的困窮者への支援		住宅課		
政策施策	小	2 被災者の生活再建への支援	所管課長氏名	藤原龍一		
体系	細		記入者氏名	早崎寛		
事業期間	平成8年度～平成17年度(終了)		経常臨時	<input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時		
電話番号	38-2026		内線	2875		
根拠法令・要綱等	財団法人 阪神・淡路大震災復興基金事業		実施主体	財団法人 阪神・淡路大震災復興基金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____					
事業の概要	阪神・淡路大震災により家屋が滅失し、被災者が民間賃貸住宅等(公団、公社含む)に入居した場合、家賃の一部を補助する。					
事業の現状	補助対象者 ・家屋の解体が条件であり、政令月収が20万円以下の者。 補助金額 ・家賃が6万円未満の場合、その1/2の額を補助する。(千円未満切捨て) ・家賃が6万円以上の場合、1万円を補助する。 活用実績 ・平成16年度末の補助対象者 140件。 平成17年度で事業終了予定。 (ピーク時で補助対象者 950件。 受付け、平成12年度で終了。 退去まで継続。)					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	活用実績			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	210件	170件	140件		
	単位コスト	6千円	21千円	16千円		
結果指標(2)	指標名					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値					
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	阪神・淡路大震災により家屋が滅失し、被災者が民間賃貸住宅等(公団、公社含む)に入居している者。					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	不明	受益数(b)	不明	比率(b÷a)%	不明
意図(対象を主語にして)	図	阪神・淡路大震災により家屋が滅失した被災者に対し、民間賃貸住宅等(公団、公社含む)に入居している場合。家賃の一部を補助する。					
大きな目的	図	阪神・淡路大震災により家屋が滅失した被災者に対し、民間賃貸住宅等(公団、公社含む)に入居している場合。家賃の一部を補助し生活再建への支援を図る。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	民間賃貸住宅等家賃負担軽減補助事業の満足度				
		考え方・式	補助対象条件(補助金額等)の満足度(%)。				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	不明	不明	不明			
最終成果指標	指標名						
	考え方・式	活用実績					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	210件	170件	140件				
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当たり(円)	59	住民1人当たり(円)	25	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	95.1%	1,053	3,465	2,182	-
	事業費	4.9%	104	78	112	107
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	1,157	3,543	2,294	107
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	1,157	3,543	2,294	107	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.20	0.40	0.30	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.20	0.40	0.30	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			5	5		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 初期の目標は達成している。 <input type="checkbox"/> 未把握						
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		0	0		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定							
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない							
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 被災市町	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			0	0		
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない						
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い					
		高い,または低い場合の理由							
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)							
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である							
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容							
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	<input checked="" type="checkbox"/> D	改善内容		<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題										
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称									
	意見,要望内容									
課題・要望等への対応	(1)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(2)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(3)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
その他考えられる改善のアイデア										
平成18~20年度の方向性		平成17年度,終了予定。					今後の方向性	1次評価	2次評価	
							拡大・充実			
							現状維持			
							方法改善			
							民間委託等			
							縮小			
							統合/終期設定			
							廃止/休止			
2次評価委員会コメント		平成17年度中に事業を終了してください。								

(一般事業)	事業コード	4310030
平成16年度	事業名	特定優良賃貸住宅家賃対策補助

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり	所管課	建設部			
総合計画	中	3 安全で快適な生活基盤の充実		住宅課			
政策施策	小	1 住宅の整備	所管課長氏名	藤原 龍一			
体系	細		記入者氏名	藤原 龍一			
事業期間	平成8年度～平成30年度		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時			
根拠法令・要綱等	特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律 特優良制度実施要綱		電話番号	38-2026 内線 2881			
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託		実施主体	市自治事務			
委託	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称(財)芦屋市都市整備公社		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金				
委託	<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容				
事業の概要	中堅所得者層が所得に応じた適正な負担で優良な賃貸住宅に入居できるようにするため、契約家賃と入居尾者負担額の差額を市と国が補助する。(所得に応じて1/2～2/3の負担有り) 補助対象期間は入居者負担額が契約家賃に達するまで。(20年限度)						
事業の現状	特優良の管理戸数は7団地146戸 空家や入居者の収入ランクにより影響は受けるが、入居者負担額が毎年3.5%ずつ上昇する分、契約家賃との差額がちじまるため補助額が減少する。 平成16年度に契約家賃について、空家解消対策としてオーナーと協議し、7団地とも改定(平均約10%減)に至ったため、さらにその差額が減少する。						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	管理戸数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	146	146	146	146	146
	結果指標(2)	指標名	入居戸数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	133	123	114	136	136
		単位コスト	602,015円	558,577円	440,070円	403,220円	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	中堅所得者層が所得に応じた適正な負担で良質な賃貸住宅を求めている人					
	対象カバー率	対象数(a)	146	受益数(b)	114	比率(b÷a)%	78.08%
	意図 (対象を主語にして)	所得に応じた適正な入居者負担となるよう契約家賃と入居者負担額の差額を市・国が補助する。					
大きな目的	中堅所得者層が居住するための優良な賃貸住宅を供給する。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	年間平均入居戸数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	133	123	108	135	135
	最終成果指標	指標名					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値					
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	1,282	住民1人当り(円)	557	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費					-
	事業費	100.0%	80,068	68,705	50,168	54,838
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	80,068	68,705	50,168	54,838
財源 (千円)	国・県	46.7%	39,098	33,529	23,432	27,419
	市債等					
	その他					
	一般財源	53.3%	40,970	35,176	26,736	27,419
活動配分 (人)	職員					-
	嘱託・臨時等					-
	合計		0.00	0.00	0.00	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	0	-1
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 近傍家賃調査による契約家賃の見直し		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	2
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない		
効 率 性 3点	- 成果向上余地(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり 内容: 契約家賃の改正,入居者負担額軽減補助	0	-1
	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 西宮市,他 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____ ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由: _____		
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 近傍家賃調査によるオーナーとの契約家賃の見直し協議を行い改定した。	総合評価	D	D
平成16年評価内容及び改善の方向性 平成16年度評価結果 <input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D 平成16年度実施した改善の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			
平成16~17年度に実施した改善内容 課題: 入居率の向上 改善内容: 賃貸専門業者に入居者斡旋業務委託 オーナーとの協議による契約家賃の改定 3年間の入居者負担額の軽減制度導入			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	入居率の向上			
市民,関係者からの意見等	市民,関係者の名称	市会議員		
意見,要望内容	特定優良賃貸住宅制度の改善を国へ要望すること。			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	毎年,入居者負担額が3.5%アップすることの改善を機会ある毎に県を通じて,阪神間各市と連携して国へ要望する。	
		実施期限	平成	年
	(2)	対応内容		
		実施期限	平成	年
	(3)	対応内容		
		実施期限	平成	年
その他考えられる改善のアイデア	収入基準の引き下げ。			
平成18~20年度の方向性	・制度改正を機会ある毎に,兵庫県や阪神間各市と連携して国へ要望して行く。 ・空家解消に向けての対策を強化しながら入居率の向上を目指して行く。		今後の方向性	1次評価
			拡大・充実	2次評価
			現状維持	
			方法改善	
			民間委託等	
			縮小	
			統合/終期設定	
			廃止/休止	
2次評価委員会コメント	家賃の適正化に向けて引き続き改定に努めてください。また,入居率の向上を図ってください。			

(内部事務)	事業コード	4310060
平成16年度	事業名	市営住宅管理業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり	所管課	建設部 住宅課	
総合計画	中	3	安全で快適な生活基盤の充実	所管課長氏名	藤原龍一	
政策施策	小	1	住宅の整備	記入者氏名	早崎寛	
体系	細			電話番号	38-2026	
事業期間	昭和26年～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	内線	2875	
根拠法令・要綱等	公営住宅法			実施主体	芦屋市	
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託	先 <input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託	名称	(財)芦屋市都市整備公社	委託内容		
事業の概要	・市営住宅の維持・管理 ・維持・修繕, 空家住宅の改修等を芦屋市都市整備公社に委託している					
事業の現状	市営住宅1,289戸・駐車場 469台・集会所 2ヶ所の維持管理。 ・退去跡住宅の改修 ・エレベーター等の設備の保守点検 ・各団地(各戸)の営繕補修					
アクティブ指	活動指標	指標名	施設の維持補修等の件数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値	259件	250件	283件	280件
		単位コスト	29千円	354千円	307千円	
アウトプット指	結果指標	指標名	施設の維持補修等の件数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値	259件	250件	283件	250件
		単位コスト	29千円	354千円	307千円	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市営住宅入居世帯数				
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	1,289戸	受益数(b)	1,289戸	比率(b ÷ a) %
	意図	市営住宅の維持管理 (対象を主語にして)				
大きな目的	市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること。					
アウトカム指	中間成果指標	指標名	修繕率			
		考え方・式	苦情。要望件数からみた満足度の割合(%)			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	最終成果指標	指標名				
		考え方・式				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値				
芦屋の特色など						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円)	2,380	住民1人当り(円)	1,035	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳 (千円)	人件費	6.5%		7,750	6,087	-				
	事業費	93.5%		81,035	87,057	74,938				
	他部門経費					-				
	減価償却費					-				
	合計	100.0%	0	88,785	93,144	74,938				
財源 (千円)	国・県									
	市債等									
	その他									
	一般財源	100.0%	0	88,785	93,144	74,938				
活動配分 (人)	職員	100.0%		0.90	0.70	-				
	嘱託・臨時等			0.10		-				
	合計	100.0%	0.00	1.00	0.70	0.00				

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	4
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
	- 成果向上余地(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない				
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名 阪神7市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		-5	-5
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	活動配分	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない			
		<input type="checkbox"/> 他団体より少ない	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体より多い			
		多い, または少ない場合の理由					
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名 阪神7市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない			
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
		高い, または低い場合の理由					
	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について					
		<input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある				
		<input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行ってない				
		内容					
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た	総合評価	B
			<input type="checkbox"/> D		<input type="checkbox"/> 改善したが, 効果がない		
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	指定管理者制度導入検討中		改善内容	三者見積りを基に積算中	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		<ul style="list-style-type: none"> ・新旧建物(昭和26年度建設から平成9年度建設がある)で居住性に差がある。 ・空家改修等, 古い建物ほど経費が高くなる。どの程度の経費をかけるかが課題である。 					
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称	市民等					
	意見, 要望内容	エレベータの無い住宅が多く存在する。古い住宅において駐車場が不足している。					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	財政状況により勘案しながら検討していく。				
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	長期修繕計画について, 財政状況を勘案しながら検討していく。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント	<p>老朽した市営住宅の統廃合を検討するとともに, 維持管理経費の軽減に取り組んでください。また, 都市整備公社の解散を踏まえて, 指定管理者制度・民間委託等を検討してください。</p>						

(一般事業)	事業コード	4310080
平成16年度	事業名	市営住宅募集業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	4	快適でうろおいのある都市づくり	所管課	建設部			
総合計画	中	3 安全で快適な生活基盤の充実		住宅課			
政策施策	小	1 住宅の整備	所管課長氏名	藤原龍一			
体系	細		記入者氏名	早崎寛			
事業期間	昭和26年~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-2026 内線 2875			
根拠法令・要綱等	公営住宅法,住宅地区改良法,その他関係条例及び施行規則		実施主体	芦屋市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	・住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し,生活の安定をはかるため住宅困窮者登録制度を採用し,困窮度(点数制)の高い方から順に入居してもらう。(市営住宅等管理戸数1,598戸) ・登録受付は年1回で入居資格のある方は斡旋を受けるまで1年間資格がある						
事業の現状	・平成16年度 応募者 179世帯 登録者 179世帯 入居者 50世帯						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	住宅困窮者登録世帯数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	158世帯	168世帯	179世帯	180世帯	190世帯
		単位コスト	61千円	21千円	19千円		
	結果指標(2)	指標名	入居世帯数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	48世帯	16世帯	50世帯			
	単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市内に1年以上住民登録し,かつ居住している方,又は2年以上市内に勤務している方 収入基準に合致している方 対象者: , に該当している方					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	179世帯	受益数(b)	50世帯	比率(b÷a)%	27.93%
	意図(対象を主語にして)	住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し,生活の安定を図る。					
大きな目的	市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	斡旋世帯(入居世帯+辞退世帯)の割合(50+23)				
		考え方・式	住宅困窮者登録世帯数からみた斡旋世帯の割合(%)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	62.0%	15.4%	40.8%		
	最終成果指標	指標名	入居世帯の割合				
		考え方・式	住宅困窮者登録世帯数からみた入居世帯の割合(%)				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	30.30%	7.70%	27.93%			
芦屋市の特色など補足する事項	住宅困窮者登録制度を採用し,困窮度の度合いを的確に把握できるようにしている。						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	97.3%	9,511	3,465	3,307	-
	事業費	2.7%	105	90	92	98
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	9,616	3,555	3,399	98
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	9,616	3,555	3,399	98
活動配分(人)	職員	100.0%		0.40	0.40	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.00	0.40	0.40	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			4	4		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握						
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容:	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い					
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定							
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない							
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神7市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			-3	-3		
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト:	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない						
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	高い,または低い場合の理由:						
		受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である							
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 周知方法にホームページを活用し,印刷製本は外注を縮小している。							
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性			総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	<input type="checkbox"/> D	改善内容					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		ドメスティックバイオレンス被害者への対応							
市民,関係者からの意見等要望等	市民,関係者の名称	市会							
	意見,要望内容	ドメスティックバイオレンス被害者の入居基準への反映							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	入居審査会に諮問						
		実施期限	平成	17	年	10	月		
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア									
平成18~20年度の方向性		個人情報保護法を念頭に指定管理者制度導入に向けて精査,検討していく。					今後の方向性	1次評価	2次評価
							拡大・充実		
							現状維持		
							方法改善		
							民間委託等		
							縮小		
							統合/終期設定		
							廃止/休止		
2次評価委員会コメント		住宅困窮者登録制度見直しを含めて,個人情報に留意し民間委託等を検討してください。							

(一般事業)	事業コード	4310110
平成16年度	事業名	住宅使用料等に関する事務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり	所管課	建設部住宅課			
総合計画	中	3 安全で快適な生活基盤の充実	所管課長氏名	藤原 龍一			
政策施策	小	1 住宅の整備	記入者氏名	安原 和男			
体系	細		電話番号	38-2016 内線 2873			
事業期間	昭和26年~	経常臨時 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	芦屋市			
根拠法令・要綱等	公営住宅法等、関係条例、施行規則及び制度要綱		委託先	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金			
実施手法	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
委託							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度入居者からの収入申告に基づき、市営住宅等の使用料を賦課、徴収する。 ・滞納者への督促、催告、明渡し等法的措置を行う。 						
事業の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅等(1802戸)の使用料決定 ・滞納者に対する毎月督促(月250件) ・滞納者に対する催告(年4回,5月,8月,12月,3月を徴収強化月間と位置付けている) ・長期滞納者に対する納付指導 						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	申告書配布世帯				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	1,653世帯	1,653世帯	1,678世帯	1,697世帯	1,697世帯
	結果指標(2)	指標名	未申告者数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	26件	34件	25件	20件	20件

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市営住宅等入居世帯(全体1,802世帯)					
	対象カバー率	対象数(a)	1,802世帯	受益数(b)	1,802世帯	比率(b÷a)%	100%
	意図 (対象を主語にして)	住宅等使用料の決定及び収納・徴収					
大きな目的	住宅に困窮する低所得者に対して、低廉な家賃で住宅を賃貸することにより、市民生活の安定と社会福祉に寄与する						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	使用料収納率				
		考え方・式	市営住宅等現年度収納率				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果指標	指標名	市営住宅等現年度・滞納合計収納率				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	96.22%	94.44%	93.87%	95.0%	95.0%

芦屋市の特色など補足する事項						
3 事業費・活動配分(コスト)		1世帯当り(円)	413	住民1人当り(円)	180	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳 (千円)	事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)
	人件費	97.7%	21,129	13,400	15,790	-
	事業費	2.3%	259	421	379	468
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財源 (千円)	合計	100.0%	21,388	13,821	16,169	468
	国・県					
	市債等					
活動配分 (人)	その他					
	一般財源	100.0%	21,388	13,821	16,169	468
	職員	66.7%	2.45	1.30	1.60	-
合計	嘱託・臨時等	33.3%	0.00	0.80	0.80	-
	合計	100.0%	2.45	2.10	2.40	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			5	5		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握						
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い					
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定							
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える							
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし ↳ <input type="checkbox"/> 催告,納付指導を強化し,明渡し請求等法的措置を執る							
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 県下12市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			-1	-1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト 徴収率	<input type="checkbox"/> 把握していない						
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	高い,または低い場合の理由						
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)							
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である							
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容							
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	B	B
			<input type="checkbox"/> D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった			
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	収納率の向上			改善内容	・滞納整理要綱の制定 ・事務処理手順の確立による迅速な対応		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		<ul style="list-style-type: none"> ・未申告者の減少 ・収納率の向上 ・入居者の公平性を保つため,明渡し等の法的措置を積極的に行うこと。 							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称								
	意見,要望内容								
課題・要望等への対応	(1)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア									
平成18~20年度の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・収納率の向上 ・平成16年度・平成17年度の取り組みの継続,強化徹底を図る 					今後の方向性	1次評価	2次評価
							拡大・充実		
							現状維持		
							方法改善		
							民間委託等		
							縮小		
							統合/終期設定		
							廃止/休止		
2次評価委員会コメント		民間活力の導入を図るなど収納率の向上に努めてください。							

(一般事業)	事業コード	4310140
平成16年度	事業名	市営住宅等入居者対応

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり	所管課	建設部			
総合計画	中	3 安全で快適な生活基盤の充実		住宅課			
政策施策	小	1 住宅の整備	所管課長氏名	藤原龍一			
体系	細		記入者氏名	早崎寛			
事業期間	昭和26年~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-2026 内線 2875			
根拠法令・要綱等	公営住宅法,住宅地区改良法,住宅市街地整備総合支援事業制度要綱			実施主体	芦屋市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	・入居者からの苦情・要望への対応(市営住宅等管理戸数1,802戸) ・収入超過者・高額所得者への措置						
事業の現状	・入居者からの苦情・要望(1日当たり1件,年間300件の苦情対応) ・平成16年度:収入超過世帯51世帯,他の住宅への斡旋回数3回。						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	収入超過世帯数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	63世帯	67世帯	51世帯		
	結果指標(2)	指標名	収入超過世帯に対する公営住宅以外の公的資金による住宅への斡旋回数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	3回	3回	3回		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市営住宅等入居者					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	1,802戸数	受益数(b)	1,802戸数	比率(b÷a)%	100%
	意図(対象を主語にして)	入居者からの苦情・要望に対する対応。 収入超過者等への他の住宅の斡旋。					
大きな目的	市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	苦情率				
		考え方・式	100% - 苦情件数 ÷ 入居戸数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果指標	指標名	苦情件数				
		考え方・式					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当たり(円)	222	住民1人当たり(円)	97	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	100.0%	8,270	7,394	8,693	-
	事業費					
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	8,270	7,394	8,693	0
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	8,270	7,394	8,693	0	
活動配分(人)	職員	90.9%	0.95	0.80	1.00	-
	嘱託・臨時等	9.1%		0.10	0.10	-
	合計	100.0%	0.95	0.90	1.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			4	4	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容					
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 阪神7市	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない			-4	-4	
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない					
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	高い,または低い場合の理由					
		受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input checked="" type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題		改善内容	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情・要望については早急に対応しているところであるが,経費がかかる苦情・要望(補修等)については対応しにくいのが現状である。 ・収入超過者に積極的に他の公的住宅等を斡旋しているが住宅を明渡さない。 							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称								
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					今後の方向性	1次評価	2次評価
		実施期限	平成		年				
	(2)	対応内容					拡大・充実		
		実施期限	平成		年		月	現状維持	
	(3)	対応内容					方法改善		
		実施期限	平成		年		月	民間委託等	
その他考えられる改善のアイデア							縮小		
平成18~20年度の方向性						統合/終期設定			
2次評価委員会コメント						廃止/休止			

(内部事務)	事業コード	4310150
平成16年度	事業名	上宮川町住宅管理業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり			所管課	建設部
総合計画	中	3	安全で快適な生活基盤の充実				住宅課
政策施策	小	1	住宅の整備			所管課長氏名	藤原龍一
体系	細					記入者氏名	早崎寛
事業期間	間	昭和61年~	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-2026
根拠法令・要綱等		住宅地区改良法				内線	2875
実施手法		<input type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金	
委託	先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	(財)芦屋市都市整備公社	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	
事業の概要		・上宮川町住宅の維持・管理 ・維持・修繕, 空家住宅の改修等を芦屋市都市整備公社に委託している					
事業の現状		改良住宅217戸・集会所 2ヶ所, 店舗 14戸, 作業所 21戸の維持管理。 ・退去跡住宅の改修 ・エレベーター等の設備の保守点検 ・各団地(各戸)の営繕補修					
目的実現のための手段及び実施内容							
アクティブ指標	活動指標	指標名	施設の維持補修等件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	55件	58件	112件	100件	100件
		単位コスト	445千円	329千円	230千円		
アウトプット指標	結果指標	指標名	施設の維持補修等件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	55件	58件	112件		
		単位コスト	445千円	329千円	230千円		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	上宮川町住宅入居世帯数					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	217戸	受益数(b)	217戸	比率(b ÷ a) %	100.00%
	意図	上宮川町住宅の維持・管理 (対象を主語にして)					
大きな目的		市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	修繕率				
		考え方・式	苦情・要望件数からみた満足度の割合(%)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	100%	100%	100%	100%	100%
	最終成果指標	指標名					
		考え方・式					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値					
芦屋の特色など							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)						
人件費	19.3%		2,057	4,962	-	
事業費	80.7%	24,484	17,024	20,804	20,618	
他部門経費					-	
減価償却費					-	
合計	100.0%	24,484	19,081	25,766	20,618	
財源(千円)						
国・県						
市債等						
その他			19,081			
一般財源	100.0%	24,484	0	25,766	20,618	
活動配分(人)						
職員	83.3%		0.20	0.50	-	
嘱託・臨時等	16.7%			0.10	-	
合計	100.0%	0.00	0.20	0.60	0.00	

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	4
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
	- 成果向上余地(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない				
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名 阪神7市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		-5	-5
	単位コスト(1~1)	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	活動配分	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない			
		<input type="checkbox"/> 他団体より少ない	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体より多い			
	手段(1~3)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名 阪神7市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			
コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない				
	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
平成16年度評価内容及び改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 平成16年度評価	C	<input type="checkbox"/> 平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た	総合評価	B
平成16~17年度に実施した改善内容		<input type="checkbox"/> 改善したが, 効果がない	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった		B		
課題		改善内容					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	* 空家改修等, 経費をどの程度かけるかが課題である。							
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
平成18~20年度の方向性	長期修繕計画について, 財政状況を勘案しながら検討していく。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	都市整備公社の解散を踏まえて, 指定管理者制度・民間委託等を検討してください。							

(内部事務)	事業コード	4310170
平成16年度	事業名	若宮町住宅管理業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり	所管課	建設部 住宅課	
総合計画	中	3	安全で快適な生活基盤の充実	所管課長氏名	藤原龍一	
政策施策	小	1	住宅の整備	記入者氏名	早崎寛	
体系	細			電話番号	38-2026	
事業期間	平成10年~		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	内線	2875	
根拠法令・要綱等	住宅地区改良法			実施主体	芦屋市	
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託	先 <input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 (財) 芦屋市都市整備公社 <input type="checkbox"/> 民間委託			委託内容		
事業の概要	・若宮町住宅の維持・管理 ・維持・修繕, 空家住宅の改修等を芦屋市都市整備公社に委託している					
事業の現状	若宮町住宅92戸・駐車場 64台・集会所 1ヶ所, 店舗 2戸の維持管理。 ・退去跡住宅の改修 ・エレベーター等の設備の保守点検 ・各団地(各戸)の営繕補修					
アクティブ指	活動指標	指標名	施設の維持補修等件数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値	7件	10件	33件	30件
		単位コスト	988千円	770千円	271千円	
アウトプット指	結果指標	指標名	施設の維持補修等件数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値	7件	10件	33件	
		単位コスト	988千円	770千円	271千円	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	若宮町住宅入居世帯数				
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	92戸	受益数(b)	92戸	比率(b ÷ a) %
	意図	若宮町住宅の維持・管理 (対象を主語にして)				
大きな目的	市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること。					
アウトカム指	中間成果指標	指標名	修繕率			
		考え方・式	苦情・要望件数からみた満足度の割合(%)			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値	100%	100%	100%	100%
	最終成果指標	指標名				
		考え方・式				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
		指標値				
芦屋の特色など						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円) 229	住民1人当り(円) 100	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	34.2%		2,057	3,063			
	事業費	65.8%	6,917	5,639	5,896		7,950	
	他部門経費							-
	減価償却費							-
	合計	100.0%	6,917	7,696	8,959		7,950	
財源(千円)	国・県							
	市債等							
	その他			7,696				
	一般財源	100.0%	6,917	0	8,959		7,950	
活動配分(人)	職員	100.0%		0.20	0.30			-
	嘱託・臨時等							-
	合計	100.0%	0.00	0.20	0.30		0.00	

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	4
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
	- 成果向上余地(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない				
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名 阪神7市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		-5	-5
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	活動配分	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない			
		<input type="checkbox"/> 他団体より少ない	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体より多い			
		多い, または少ない場合の理由					
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名 阪神7市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない			
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
		高い, または低い場合の理由					
	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について					
		<input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある				
		<input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
		内容					
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た	総合評価	B
			<input type="checkbox"/> D		<input type="checkbox"/> 改善したが, 効果がない		
平成16~17年度に実施した改善内容		課題		改善内容			B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	空家改修等, 経費をどの程度かけるかが課題である。							
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性	長期修繕計画について, 財政状況を勘案しながら検討していく。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	都市整備公社の解散を踏まえて, 指定管理者制度・民間委託等を検討してください。							

(内部事務)	事業コード	4310180
平成16年度	事業名	県公社住宅管理業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり	所管課	建設部 住宅課		
総合計画	中	3	安全で快適な生活基盤の充実	所管課長氏名	藤原龍一		
政策施策	小	1	住宅の整備	記入者氏名	早崎寛		
体系	細			電話番号	38-2026		
事業期間	昭和44年～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	内線	2875		
根拠法令・要綱等	公営住宅法			実施主体	芦屋市		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託	名称	(財)芦屋市都市整備公社	委託内容			
事業の概要	・公社住宅の維持・管理 ・維持・修繕, 空家住宅の改修等を芦屋市都市整備公社に委託している						
事業の現状	県公社住宅68戸の維持管理。 ・退去跡住宅の改修 ・各団地(各戸)の営繕補修						
目的実現のための手段及び実施内容							
アクティブ指	活動指標	指標名	施設の維持補修等件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	15件	19件	22件	20件	20件
アウトプット指	結果指標	指標名	施設の維持補修等件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	15件	19件	22件		
		単位コスト	290千円	560千円	428千円		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	公社住宅入居世帯数					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	68戸	受益数(b)	68戸	比率(b ÷ a) %	100.00%
	意図	図 公社住宅の維持・管理 (対象を主語にして)					
大きな目的	市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること。						
アウトカム指	中間成果指標	指標名	修繕率				
		考え方・式	苦情・要望からみた満足度の割合(%)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	100%	100%	100%	100%	100%	
	最終成果指標	指標名					
考え方・式							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値					
芦屋の特色など							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	241	住民1人当り(円)	105	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	13.4%		3,165	1,265	-
	事業費	86.6%	4,346	7,484	8,151	11,133
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	4,346	10,649	9,416	11,133
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他		10,649			
	一般財源	100.0%	4,346	0	9,416	11,133
活動配分(人)	職員	100.0%		0.40	0.20	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.00	0.40	0.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	4
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
	- 成果向上余地(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない				
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名 阪神7市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		-4	-4
	単位コスト(1~1)	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	活動配分	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない			
		<input type="checkbox"/> 他団体より少ない	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体より多い			
	手段(1~3)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名 阪神7市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			
コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない				
	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
平成16年度評価内容及び改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが, 効果がない	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価 B B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	改善内容				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	* 空家改修等, 経費をどの程度かけるかが課題である。							
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称							
課題・要望等への対応	(1) 対応内容							
	実施期限	平成		年		月		
	(2) 対応内容							
	実施期限	平成		年		月		
	(3) 対応内容							
その他考えられる改善のアイデア	実施期限	平成		年		月		
平成18~20年度の方向性	長期修繕計画について, 財政状況を勘案しながら検討していく。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
2次評価委員会コメント	都市整備公社の解散を踏まえて, 指定管理者制度・民間委託等を検討してください。					統合/終期設定		
						廃止/休止		

(内部事務)	事業コード	4310200
平成16年度	事業名	従前居住者用住宅管理業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり			所管課	建設部
総合計画	中	3	安全で快適な生活基盤の充実				住宅課
政策施策	小	1	住宅の整備			所管課長氏名	藤原龍一
体系	細					記入者氏名	早崎寛
事業期間	間	平成7年~	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-2026
根拠法令・要綱等		住宅市街地整備総合支援事業制度要綱				内線	2875
実施手法		<input type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金
委託	先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	(財)芦屋市都市整備公社	<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	
事業の概要		・従前居住者用住宅の維持・管理 ・維持・修繕, 空家住宅の改修等を芦屋市都市整備公社に委託している					
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容	・管理戸数 99戸・駐車場 47台(大原町住宅38戸, 精道町住宅16戸, 津知町住宅25戸, 清水町住宅20戸) ・各設備の保守点検 ・各団地(各戸)の小修理 ・空家住宅の改修					
アクティブ指	活動指標	指標名	施設の維持補修等件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	18件	23件	45件	40件	40件
		単位コスト	847千円	738千円	350千円		
アウトプット指	結果指標	指標名	施設の維持補修等件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	18件	23件	45件		
		単位コスト	847千円	738千円	350千円		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	従前居住者用住宅入居世帯数					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	99戸	受益数(b)	99戸	比率(b ÷ a) %	100.00%
	意図(対象を主語にして)	従前居住者用住宅の維持・管理					
大きな目的		良好な住宅環境の維持					
アウトカム指	中間成果指標	指標名	改修率				
		考え方・式	苦情・要望件数からみた満足度の割合(%)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	100%	100%	100%	100%	100%	
	最終成果指標	指標名					
考え方・式							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値					
芦屋の特色など							

3 事業費・活動配分(コスト)

				1世帯当り(円)	403	住民1人当り(円)	175	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)			
内訳(千円)	人件費	17.6%		1,757	2,779	-		平成14年度 平成15年度事業費につ いては, 大原町住宅負 担金もれていた。
	事業費	82.4%	15,251	15,212	12,975	14,254		
	他部門経費					-		
	減価償却費					-		
	合計	100.0%	15,251	16,969	15,754	14,254		
財源(千円)	国・県							
	市債等							
	その他							
	一般財源	100.0%	15,251	16,969	15,754	14,254		
活動配分(人)	職員	100.0%		0.20	0.30	-		
	嘱託・臨時等					-		
	合計	100.0%	0.00	0.20	0.30	0.00		

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	4	
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入					
	- 成果向上余地(1~1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし					
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体より少ない 多い, または少ない場合の理由	団体名 阪神7市 活動配分	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体より多い		-5	-5	
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い, または低い場合の理由	団体名 阪神7市 単位コスト	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価	<input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが, 効果がない	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題		改善内容					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	空家改修等, 経費をどの程度かけるかが課題である。							
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	財政状況により勘案しながら検討していく。					
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性	財政状況と長期修繕計画との兼ね合いを調整しながら検討していく。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	都市整備公社の解散を踏まえて, 指定管理者制度・民間委託等を検討してください。							

(内部事務)	事業コード	4130260
平成16年度	事業名	南芦屋浜公園等管理業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり			所管課	建設部
総合計画	中	1	暮らしやすく質の高い市街地の形成				公園緑地課
政策施策	小	3	市街地の整備			所管課長氏名	伊丹 幸夫
体系	細					記入者氏名	桑原 雅雄
事業期間	間	平成16年4月~平成17年3月	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2065
根拠法令・要綱等						実施主体	市
実施手法			<input type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金
委託	先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	芦屋市シルバー人材センター	<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	
事業の概要			南芦屋浜地区の都市公園及び公共施設緑地の維持管理並びに樹木の育成管理 陽光緑地 A=41,643㎡. 陽光公園 A=2,670㎡. 親水中央公園 A=20,122㎡. 芦屋市総合公園 A=100,245㎡ 陽光海洋線・陽光涼風線・陽光1号線 A=6,970㎡				
事業の現状			園路等清掃 12回/年, 便所清掃 3回/週/5.2週, 除草 2回/年, 中低木剪定 1回/年 護岸清掃 15回/年				
目的実現のための手段及び実施内容							
アクティブ指標	活動指標	指標名	維持管理面積				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値		156,938㎡	171,650㎡		
		単位コスト		281円/㎡	377円/㎡		
アウトプット指標	結果指標	指標名	伐採量(焼却)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値		41,600kg	544,100kg		
		単位コスト		700円/100kg	900円/100kg		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	南芦屋浜地区の都市公園及び公共施設緑地の維持管理並びに街路樹					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	171650	受益数(b)	171650	比率(b÷a)%	100%
	意図	南芦屋浜地区の環境を良好に保つ (対象を主語にして)					
大きな目的		都市の環境, 景観機能の充実を図り清潔な公園, 緑地を維持することにより, 公園利用者が増え, 市民が自ら清掃等に 参加意識を保つことで維持管理費のコスト縮減を図る。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	駐車台数				
		考え方・式					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値		20,128	39,361		
	最終成果指標	指標名	緑被率				
		考え方・式					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値		不明	不明		
芦屋の特色など		苦情・要望については, 出来る限り早く対応する。					

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円)	1,657	住民1人当り(円)	720	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	14.3%	490	1,116	9,243	-				
	事業費	85.7%	24,761	43,039	55,584	-				
	他部門経費					-				
	減価償却費					-				
	合計	100.0%	25,251	44,155	64,827	0				
財源(千円)	国・県									
	市債等									
	その他									
	一般財源	100.0%	25,251	44,155	64,827	0				
活動配分(人)	職員	83.3%	0.05	0.10	1.00	-				
	嘱託・臨時等	16.7%			0.20	-				
	合計	100.0%	0.05	0.10	1.20	0.00				

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト		1次評価	2次評価	
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	2
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
	- 成果向上余地(1~1)	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない			
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体より少ない 多い, または少ない場合の理由	団体名: 近隣都市 活動配分: 回数1~2回/月 <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体より多い	1	0
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い, または低い場合の理由	団体名: 近隣都市 単位コスト: 344円/m2 <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い		
	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容: 樹種による剪定回数の減, 市民参加による維持管理	<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価	<input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが, 効果がない <input type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	A B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題: 樹木(低木)の剪定利用, 活用及び維持管理への市民参加	改善内容: 市民組織のPMOあしやを組織化				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	週3回の便所清掃並びに年2回実施の除草及び樹木(低木)の剪定 住民参加による公園の管理						
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称	市民					
	意見, 要望内容	便所の清掃並びに除草及び剪定の回数を増やしてほしい。					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	財政状況により辛抱してもらうように説得。				
		実施期限	平成	年	月		
	(2)	対応内容	自治会等に公園の地元管理を要請する。				
		実施期限	平成	年	月		
	(3)	対応内容	指定管理者による管理を行う。				
		実施期限	平成	18	年	4	月
その他考えられる改善のアイデア	芦屋市総合公園の利用者(ボランティア)による陸上競技場の除草作業。						
	公園の市民参加による利用, 活用の増進。						
平成18~20年度の方向性	芦屋市総合公園の指定管理者制度による管理運営により利用, 活用の増進と維持管理費の低減を図る。			今後の方向性	1次評価	2次評価	
				拡大・充実			
				現状維持			
				方法改善			
				民間委託等			
				縮小			
				統合/終期設定			
				廃止/休止			
2次評価委員会コメント	指定管理者の導入に向けてアクションプランを進めてください。						

(内部事務)	事業コード	4420120
平成16年度	事業名	都市公園維持・管理

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり			所管課	建設部		
総合計画	中	4	個性と風格のある街並みの創造			公園緑地課			
政策施策	小	2	緑の保全と育成			所管課長氏名	伊丹 幸夫		
体系	細					記入者氏名	桑原 雅雄		
事業期間	間	平成16年4月~平成17年3月	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2065	内線	2843
根拠法令・要綱等						実施主体	市		
実施手法	法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金			
委託	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	点検・修繕		
事業の概要		都市公園及び公共緑地の施設の保全を図る。							
事業の現状		都市公園及び公共施設緑地の環境を良好に保つ 清掃業務 園路等 12回/年, 便所 3回/週/52週, 便所数 26箇所 遊具の安全点検 一斉点検を行い不良箇所の修理を実施 遊具数 255基 砂場の犬猫回虫卵検査 犬猫回虫卵を検出した砂場の砂の入れ替えを実施 砂場数 33ヶ所							
目的実現のための手段及び実施内容									
アクティブ指	活動指標	指標名	維持管理面積						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	433,132㎡	439,686㎡	434,183㎡				
		単位コスト	167円/㎡	218円/㎡	227円/㎡				
アウトプット指	結果指標	指標名	危険遊具の補修・撤去数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値		補修6基, 撤去11基	補修23基, 撤去2基				
		単位コスト							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	各公園緑地の利用者							
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	434,183㎡	受益数(b)	434,183㎡	比率(b÷a)%	100%		
	意図(対象を主語にして)	公園, 緑地が清潔になる。危険な遊具が減る。							
大きな目的		公園に対する市民の満足度が向上する。遊具を安心して利用できる。							
アウトカム指	中間成果指標	指標名	苦情・要望件数						
		考え方・式	安全に遊べ, 事故を減らす。						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	176件	121件	112件				
	最終成果指標	指標名	市民満足度(%)						
		考え方・式	憩い, 遊び, レクリエーションの場として利用・活用する市民が増える。						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	100%	100%	100%				
芦屋の特色など		苦情・要望については, 出来る限り早く対応する。							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円)	2,524	住民1人当り(円)	1,097	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	24.9%	6,300	16,783	24,588	-				
	事業費	75.1%	66,074	79,213	74,170	-				
	他部門経費					-				
	減価償却費					-				
	合計	100.0%	72,374	95,996	98,758	0				
財源(千円)	国・県									
	市債等									
	その他									
	一般財源	100.0%	72,374	95,996	98,758	0				
活動職員	71.4%	0.55	1.55	2.70	-					
配分嘱託・臨時等	28.6%	0.40	0.70	1.08	-					
(人)合計	100.0%	0.95	2.25	3.78	0.00					

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	4
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
	- 成果向上余地(1~1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし				
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体より少ない 多い, または少ない場合の理由	団体名: 近隣都市 活動配分: 回数1~2回/月 <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体より多い	行革で必要最小限の業務を委託している。	2	0
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い, または低い場合の理由	団体名: 近隣都市 単位コスト: 委託料344円/m2 <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容: 地元管理やボランティア・NPO団体への委託	<input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価	<input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た <input checked="" type="checkbox"/> 改善したが, 効果がない <input type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	A	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題: 自治会等に維持管理の要望	改善内容: 自治会の受け入れ					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	週3回の便所清掃が少ない。						
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称	市民					
	意見, 要望内容	清掃回数を増やしてほしい。(便所・砂場が汚い。)					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	財政状況により辛抱してもらうように説得。				
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容	自治会等に公園の地元維持管理を要請する。				
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容	指定管理者による管理を行う。				
		実施期限	平成	18	年	4	月
その他考えられる改善のアイデア	公園の市民参加による維持管理						
平成18~20年度の方向性					今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント	維持管理等については, 市民・市民団体等との協働を図ってください。						

(一般事業)	事業コード	4420160
平成16年度	事業名	まちなみ緑化助成事業関係業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり			所管課	建設部公園緑地課		
総合計画	中	4	個性と風格のある街並みの創造			庭園都市推進担当			
政策施策	小	2	緑の保全と育成			所管課長氏名	林 茂晴		
体系	細					記入者氏名	林 茂晴		
事業期間	平成11年度～平成16年度		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号		内線	2845
根拠法令・要綱等	緑ゆたかな美しいまちづくり条例, まちなみ緑化助成金交付要綱					実施主体	市		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	(財)芦屋市都市整備公社			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	助成金交付事務	
事業の概要	まちなみ景観の向上を図る。								
事業の現状	地域の住民等が主体となって行う緑化に必要な経費を助成する。								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	助成対象件数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	66件	8件	5件				
	結果指標 (2)	指標名							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	指定を受けた地区の緑化工事を行う住民							
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)			比率(b ÷ a) %			
	意図 (対象を主語にして)	指定地区のまちなみの景観の向上を図り, 美しく住みよい芦屋を実現する。							
大きな目的	緑の保全と育成のための助成制度を推進することにより, 秩序ある良好な市街地景観の向上を図る。								
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名							
		考え方・式							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	最終成果 指標	指標名	市内緑被率						
		考え方・式	市民の活動の場が広がり, 景観の向上が図れる。						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値	不明	不明	不明						
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当たり(円)	42	住民1人当たり(円)	18	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	34.1%		1,422	563	-
	事業費	65.9%	23,040	3,568	1,089	0
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	23,040	4,990	1,652	0
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	23,040	4,990	1,652	0	
活動配分 (人)	職員					-
	嘱託・臨時等					-
合計		0.00	0.00	0.00	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	4	4
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要				
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		0	0
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない				
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-1	-1
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	D
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	改善内容	平成16年度で要綱廃止			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題																										
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称																									
	意見,要望内容																									
課題・要望等への対応	(1)	対応内容																								
		実施期限 平成 年 月																								
	(2)	対応内容																								
		実施期限 平成 年 月																								
	(3)	対応内容																								
		実施期限 平成 年 月																								
その他考えられる改善のアイデア																										
平成18~20年度の方向性	平成16年度をもって助成制度を廃止した。	<table border="1"> <tr> <th>今後の方向性</th> <th>1次評価</th> <th>2次評価</th> </tr> <tr> <td>拡大・充実</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>方法改善</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間委託等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>統合/終期設定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止/休止</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	1次評価	2次評価	拡大・充実			現状維持			方法改善			民間委託等			縮小			統合/終期設定			廃止/休止		
今後の方向性	1次評価	2次評価																								
拡大・充実																										
現状維持																										
方法改善																										
民間委託等																										
縮小																										
統合/終期設定																										
廃止/休止																										
2次評価委員会コメント																										

(一般事業)	事業コード	4420270
平成16年度	事業名	住民緑化団体育成事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	4	快適でうろおいのある都市づくり	所管課	建設部公園緑地課			
総合計画	中	4	個性と風格のある街並みの創造	庭園都市推進担当			
政策施策	小	2	緑の保全と育成	所管課長氏名 林 茂晴			
体系	細			記入者氏名 林 茂晴			
事業期間	平成3年度~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	内線 2845			
根拠法令・要綱等	芦屋市住民緑化団体育成事業に係る助成金交付要綱			実施主体 市			
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 (財)芦屋市都市整備公社 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	緑化活動団体の活動支援						
事業の現状	市内で緑化活動をしている団体に助成金を交付する。						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	申請団体数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	46団体	52団体	61団体	67団体	70団体
	結果指標(2)	指標名					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市内で緑化活動をしている団体					
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	比率(b ÷ a) %			
	意図 (対象を主語にして)	市内で緑化活動をしている団体に対し、活動の支援を行い緑化事業の育成を図る。					
大きな目的	緑の保全と育成のための助成制度を推進することにより、良好な市街地景観の向上を図る。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	緑化助成申請数				
		考え方・式	市民の緑化活動の活性化				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果指標	指標値	46団体	52団体	61団体	67団体	70団体
		指標名	市内緑化率				
		考え方・式	市内緑化レベルの向上				
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値	不明	不明	不明				
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	96	住民1人当り(円)	42	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	29.9%	1,773	2,155	1,126	-
	事業費	70.1%	2,094	2,354	2,634	2,600
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	3,867	4,509	3,760	2,600
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	3,867	4,509	3,760	2,600	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.15	0.20	0.10	-
	嘱託・臨時等		0.05	0.10		-
	合計	100.0%	0.20	0.30	0.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			5	5		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない						
		<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握						
		<input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	助成団体数,市内の花壇取組み数 <input type="checkbox"/> 未把握						
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入						
		<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	阪神間各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない				
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト		<input type="checkbox"/> 把握していない				
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い					
			高い,または低い場合の理由						
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない							
		<input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)							
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について							
		<input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある					
		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている			<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
		内容							
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	B	B
			<input checked="" type="checkbox"/> D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	花壇の質の向上		改善内容	花と緑のコンテストへの応募義務 ガーデンマップで公開する			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		花壇の質の向上 助成団体の増加による財源の確保 助成期限を切ることが困難							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	住民緑化団体							
	意見,要望内容	助成団体を対象にアンケート調査を行った結果,助成金の増額および緑化資材の提供の要望がある。							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	花と緑のコンテストへ応募してもらうよう義務付け,市内花壇マップで一般市民に公開する。						
		実施期限	平成	17	年	6	月		
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア	オープンガーデンへの参加								
平成18~20年度の方向性							今後の方向性	1次評価	2次評価
							拡大・充実		
							現状維持		
							方法改善		
							民間委託等		
							縮小		
							統合/終期設定		
							廃止/休止		
2次評価委員会コメント		本市では,庭園都市宣言を行い,花と緑のまちづくりを推進しているため,補助事業の有効性が発揮できるように,検証しながら継続してください。							

(一般事業)	事業コード	4420280
平成16年度	事業名	生け垣等設置助成事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり	所管課	建設部公園緑地課			
総合計画	中	4 個性と風格のある街並みの創造		庭園都市推進担当			
政策施策	小	2 緑の保全と育成	所管課長氏名	林 茂晴			
体系	細		記入者氏名	林 茂晴			
事業期間	平成2年度~	経常臨時 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	内線 2845			
根拠法令・要綱等	芦屋市生け垣等設置助成金交付要綱		実施主体	市			
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 (財)芦屋市都市整備公社 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	緑の保全とまちなみの景観の向上を図る。						
事業の現状	個人の居住用住宅敷地内で生け垣等を設置する場合に経費の一部を助成する。						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	助成対象件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	19件	10件	14件	25件	25件
	結果指標(2)	指標名					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	住宅の新築および居住している住宅敷地内で生け垣等を設置する工事を行う住民					
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	比率(b ÷ a) %			
	意図 (対象を主語にして)	生け垣等を設置する工事を行う住民に助成することにより、まちなみの景観の向上が図られ、美しく住みよい芦屋を実現する。					
大きな目的	緑の保全と育成のための助成制度を推進することにより、秩序ある良好な市街地景観の向上を図る。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	生け垣等設置件数				
		考え方・式	芦屋市らしい景観を保つ				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果指標	指標値	19件	10件	14件	25件	25件
		指標名					
		考え方・式					
指標	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値						
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	58	住民1人当り(円)	25	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	24.7%	966	563	-	
	事業費	75.3%	4,455	2,398	1,718	3,000
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	4,455	3,364	2,281	3,000
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	4,455	3,364	2,281	3,000	
活動配分 (人)	職員	100.0%			0.05	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.00	0.00	0.05	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	4
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> 生け垣等設置件数	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容: 良好な景観の保持			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	1	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり			<input type="checkbox"/> 特になし			
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名: 阪神間各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	1	1	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない			
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である				
	<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
		<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない				
		内容: 助成率,助成限度額の見直し検討					
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	C
			<input checked="" type="checkbox"/> D		<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった		
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	廃止も含め,他事業との統合		改善内容	平成17年度より制度を廃止し,他事業と統合	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題								
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性						今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		まちなみ緑化助成事業廃止に伴い,他事業との統合の検討を行って下さい。						

(一般事業)	事業コード	4420690
平成16年度	事業名	庭園都市推進に関する業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり			所管課	建設部公園緑地課			
総合計画	中	4	個性と風格のある街並みの創造			庭園都市推進担当				
政策施策	小	2	緑の保全と育成			所管課長氏名	林 茂晴			
体系	細					記入者氏名	林 茂晴			
事業期間	平成16年度~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時	電話番号	内線	2845
根拠法令・要綱等						実施主体	市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金	
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容		
事業の概要	市民の参画と協働により、歴史ある本市の花と緑いっぱいのまちづくりをさらに推進する。									
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・庭園都市情報の収集と発信（広報での情報発信・ホームページの設立） ・（仮称）オープンガーデンの実施（花壇マップの作成） ・緑の制度の勉強会（市民ワークショップ参加者を対象に勉強会を実施） ・緑の循環システム（剪定枝のチップ化・苗圃づくり） ・緑の交流会（住民緑化団体を対象に実施） 									
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
		指標値								
	結果指標 (2)	指標名								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
		指標値								

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	花とみどりに興味のある市民								
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)			比率(b ÷ a) %				
	意図 (対象を主語にして)	花とみどりに興味のある市民と協働で花の取組みを行い、景観の向上を図る。								
大きな目的	花とみどりに興味のある市民を増やすことにより、市全体が花と緑いっぱいの、一度は訪れてみたいまちになる。									
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	住民緑化団体数							
		考え方・式								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	最終成果 指標	指標値	46	52	61	67	70			
		指標名								
		考え方・式								
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)					
指標値										
芦屋市の特色など補足する事項										

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	229	住民1人当り(円)	99	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	56.6%		5,064	-	
	事業費	43.4%		3,887	10,430	
	他部門経費				-	
	減価償却費				-	
	合計	100.0%	0	0	8,951	10,430
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	0	0	8,951	10,430	
活動配分 (人)	職員	100.0%		0.45	-	
	嘱託・臨時等				-	
	合計	100.0%	0.00	0.00	0.45	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	3
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> 住民緑化団体数	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり				<input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない	0	0	
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない			
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
	手段(1~ 3)	負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めざるべき事業ではない					
コスト削減取組(1~ 1)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている						
		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
		<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない				
		↳ 内容 県の助成制度を活用し,一般財源からの支出をおさえる。					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題		改善内容				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	市内を花と緑いっぱいにするための財源と人材の確保							
市民,関係者からの意見等	市民,関係者の名称	緑化委員,住民緑化団体等						
	意見,要望内容	花苗,緑化資材の提供,花壇活動への助成金の拡大						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	兵庫県助成制度を活用し,団体に資材の配布等を実施する。					
		実施期限	平成	17	年	3	月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性	今後の方向性	拡大・充実	現状維持	方法改善	民間委託等	縮小	統合/終期設定	廃止/休止
	花と緑に興味のある市民を対象とした「緑の交流会」を開催し,緑化団体からリーダーとなる人材を育成することにより,市内に花・緑を増やしていく。							
2次評価委員会コメント	当面する国体開催に向けて,市民の参画を得て,庭園都市の推進を進めてください。							

(一般事業)	事業コード	4330190
平成16年度	事業名	下水道施設建設負担金設計業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり	所管課	建設部			
総合計画	中	3 安全で快適な生活基盤の充実		下水道課			
政策施策	小	3 下水道の整備	所管課長氏名	藤井 高			
体系	細		記入者氏名	西村 仁			
事業期間	昭和10年~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-2067 内線 2314			
根拠法令・要綱等	下水道法			実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____						
事業の概要	排水設備設置計画による下水道取付管工事						
事業の現況 目的実現のための 手段及び実施内容	戸建て並びに集合住宅等の新築に際し、公共下水道管へ接続する下水取付管布設申請に基づく工事設計並びに積算及び現場管理業務						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	排水設備設置計画申請件数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	474件	386件	377件		
	結果指標 (2)	指標名	下水道取付管布設申請				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	128件	128件	116件		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	新たに排水設備設置(新設)をする市民及び下水取付管布設工事業者					
	対象カバー率	対象数(a)	116	受益数(b)	116	比率(b÷a)%	100
	意 図 (対象を主語にして)	処理区域内の宅内排水を公共下水道管へすべて接続する。					
大 き な 目 的	水洗化100%を図り、市民衛生環境の保全に努める。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	下水取付管布設完了率				
		考え方・式	取付管布設数÷排水設備設置に伴う新設取付管申請件数				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	100%	100%	100%	100%	100%	
	最終成果 指 標	指標名	水洗化率				
		考え方・式	取付管布設数÷排水設備設置計画数(新設)				
年 度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	100%	100%	100%	100%	100%		
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	996	住民1人当り(円)	433	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	13.2%	3,666	4,441	5,147	-
	事業費	86.8%	32,366	27,755	33,843	56,200
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	36,032	32,196	38,990	56,200
財 源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	79.9%	36,032	32,196	31,170	56,200
	一般財源	20.1%	0	0	7,820	0
活 動 配 分 (人)	職員	64.7%	0.45	0.60	0.55	-
	嘱託・臨時等	35.3%		0.10	0.30	-
	合 計	100.0%	0.45	0.70	0.85	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	2	2	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要なである	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	下水取付管布設申請件数 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容					
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		3	3	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
効率性 3点	成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-3	-3	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行ってない ↳ 内容							
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がな	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価 D D	
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	<input checked="" type="checkbox"/> D	改善内容					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	市が施工することにより,適正な単価で施工することができるが,民間に委ねると価格がばらばらになり均衡が保てない。 また,舗装復旧工事については市道路課の立会件数が増え,水道部との調整も必要。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	排水設備指定工事店						
	意見,要望内容	道路部分の取付管布設工事をできないか。						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性	民間委託による対応に向け,他市の事例や問題点を整理する。 他市は民間で行っている。水道・道路との関連性が高いため,民間で行う場合の条例改正,現場立会い・舗装復旧の費用負担などのルールを決める必要がある。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	事業を縮小して,民間での対応を進めてください。							

(内部事務)	事業コード	4330270	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	下水処理場・ポンプ場維持管理業務						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうろおいのある都市づくり	所管課	建設部		
総合計画	中	3	安全で快適な生活基盤の充実		下水処理場		
政策施策	小	3	下水道の整備	所管課長氏名	竹中 満		
体系	細			記入者氏名	竹中 満		
事業期間	昭和27年度~		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	32-1291 内線 2877		
根拠法令・要綱等	下水道法・同法施行令・同法施行規則			実施主体	市自治事務		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 維持管理業務委託				
事業の概要	国土交通省令で定められた技術上の基準に従い、施設の機能を維持管理するものである。						
事業の現状	1. 芦屋下水処理場、場内ポンプ場、大東ポンプ場の直営による維持管理 2. 奥山下水処理場、南芦屋浜下水処理場、南宮ポンプ場の委託業務による維持管理						
目的実現のための手段及び実施内容	汚水処理量(計) 10,579,713 m3/年 芦屋下水処理場 10,124,292m3/年 奥山下水処理場 202,483m3/年 南芦屋浜下水処理場252,938m3/年 雨水等排出(計) 10,397,519 m3/年 場内ポンプ場 9,841,104m3/年 大東ポンプ場 370,454m3/年 南宮ポンプ場 185,961m3/年						
アクティブ指	活動指標	指標名	正常稼働日数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	365日	365日	366日	365日	365日
		単位コスト	1,945,416円/日	941,408円/日	882,033円/日	882,033円/日	882,033円/日
アウトプット指	結果指標	指標名	事故発生件数(下水処理場の運転を中止しなければならないような事故)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	0	0	0	0	0
		単位コスト	0件	0件	0件	0件	0件

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	処理場・ポンプ場の維持管理及びそれを利用する市民					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	91,769人	受益数(b)	91,769人	比率(b÷a)%	100%
	意図(対象を主語にして)	処理場・ポンプ場の維持管理を行うことで、汚水処理・雨水排水を安定的、適正かつ効率的に行う。					
大きな目的	目的	汚水処理・雨水排水を効率的に行う。					
アウトカム指	中間成果指標	指標名	汚水処理量				
		考え方・式	芦屋下水処理場・奥山下水処理場・南芦屋浜下水処理場の汚水処理量				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	10,422,575m3	10,920,390m3	10,579,713m3	11,085,000m3	11,614,000m3	
最終成果指標	指標名	BOD(生物化学的酸素要求量)					
	考え方・式	微生物が一定の条件の下で水中の汚濁物質を酸化するときに消費する酸素の量。水の有機汚濁の程度を表す。					
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値	3mg/m3	2mg/m3	2mg/m3	4mg/m3	4mg/m3		
芦屋の特色など	昭和10年 都市計画決定・事業認可取得 昭和49年 供用開始 平成16年 下水普及率99.8%						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円) 11,850	住民1人当り(円) 5,151	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	45.0%	214,422	219,256	208,549	-	-	平成17年度(予算)の財源内訳のその他は(27,617+61,499)×297,402÷(397,480+63,577+10,529)=268,215
	事業費	55.0%	612,320	259,157	255,128	297,402	-	
	他部門経費							
	減価償却費							
合計	100.0%	826,742	478,413	463,677	297,402			
財源(千円)	国・県							
	市債等							
その他	47.5%	710,077	229,705	220,055	268,215			
一般財源	52.5%	116,665	248,708	243,622	29,187			
活動職員	85.0%	23.60	22.95	22.65	-			
配分嘱託・臨時等	15.0%	1.80	2.96	4.00	-			
(人)合計	100.0%	25.40	25.91	26.65	0.00			

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	4
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
	-成果向上余地(1~1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし				
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体より少ない 多し,または少ない場合の理由	団体名: 西宮市・尼崎市 活動配分: 別紙参照 <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体より多い		-2	-2
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	団体名: 西宮市・尼崎市 単位コスト: 別紙参照 <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容: エネルギー管理を行い電気使用量等削減に努めている。	<input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価	<input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た <input checked="" type="checkbox"/> 改善したが, 効果がない <input type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題: 担当事務の細分化	改善内容: 専門事務に限らず, 他職種の事務を割り当てる。					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・奥山処理区を芦屋処理区へ統合してコスト削減 ・芦屋下水処理場電気設備改築工事実施による維持管理コストの縮減 						
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア	施設管理の民間委託化。 電気設備改築工事完成後の平成20年度以降, 芦屋下水処理場の水処理に係る範囲を包括的民間委託として考える。						
平成18~20年度の方向性	・事業計画に基づき実施	今後の方向性	1次評価	2次評価			
		拡大・充実					
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
		統合/終期設定					
		廃止/休止					
2次評価委員会コメント	民間活力の導入を平成20年度を目途に実施してください。						

(一般事業)	事業コード	4130110
平成16年度	事業名	建築基準法の施行に関する事務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり	所管課	建設部			
総合計画	中	1 暮らしやすく質の高い市街地の形成		建築指導課			
政策施策	小	3 市街地の整備	所管課長氏名	林 繁樹			
体系	細		記入者氏名	林 繁樹			
事業期間等	平成12年度～	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2114 内線 2915			
根拠法令・要綱等			実施主体	市			
実施手法	法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 (財)兵庫県住宅総合センター <input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	特殊建築物の定期報告			
事業の概要		建築基準法の規定に基づく許認可及び建築指導等の特定行政庁の行う事務並びに確認申請及び完了検査等の建築主事が行う事務。					
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容	建築基準法の的確な運用を図るため、道路の位置指定及び2項道路指定等による建築制限を行うこと。 接道義務、用途地域、絶対高さ、仮設建築物及び総合設計許可並びに一団地認定を行うこと。 違反建築物に対する是正措置を行うこと。 建築協定の認可及び建築条例の制定。建築審査会の設置。 建築確認申請審査及び検査。					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	建築基準法の的確な運用に必要な職員数(人)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	10	8	7	6	6
	結果指標(2)	単位コスト	5,580千円/人	5,611千円/人	5,014千円/人	4,282千円/人	4,282千円/人
		指標名	パトロール件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	30件	30件	100件	350件	375件	
	単位コスト	4,464円/件	4,488円/件	4,011円/件	3,426円/件	3,426円/件	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	芦屋市全域の建築物					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	すべての建築物	受益数(b)	すべての建築物	比率(b÷a)%	100
	意図(対象を主語にして)	建築物は基本的生活基盤としての性格を有しており、建築関係規定に適合させ、その災害等に対する安全性を確保し、質の向上を図っていくことにより時代が要請する良質な建築物、豊かな生活空間を実現する。					
大きな目的		快適で安全安心な住まいづくりまちづくりの推進。					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	完了検査率				
		考え方・式	建築基準法の的確な運用により完了検査の受検率(%)が向上する。				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果指標	指標値	86%	87%	89%	90%	91%
		指標名	違反建築物の減少率				
		考え方・式	違反建築物の対応件数				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	14件	10件	8件	5件	3件	
芦屋市の特色など補足する事項		建築主事及び建築指導担当職員は建築の専門技術者としての性格を有することから、建築技術の進歩に応じた高度な判断能力がもたれられ、建築主をはじめとして関係者からのいろいろな相談や意見に的確に応じる必要があることから、組織的にも知識、技能の維持向上に努めることが求められる。					

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	95.4%	69,985	50,667	39,793	H17人件費 30,090
	事業費	4.6%	2,322	2,542	1,940	
	他部門経費					
	減価償却費					
	合計	100.0%	72,307	53,209	41,733	
財源(千円)	国・県					H17その他 6,500 H17一般財源 25,695
	市債等					
	その他	15.9%	16,498	8,320	6,632	
	一般財源	84.1%	55,809	44,889	35,101	2,105
活動配分(人)	職員	100.0%	7.70	5.85	4.80	H17合計3.55
	嘱託・臨時等					
	合計	100.0%	7.70	5.85	4.80	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			6	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない				
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている				
		<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握				
		<input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要				
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している		<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
		<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない			
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合					
		<input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし			
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト		<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない		
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い		<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	
		高い,または低い場合の理由					
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない			
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり		<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について					
		<input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である			
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
		内容		職員数の削減等による事務の効率化			
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価
			<input type="checkbox"/> D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	事務効率の改善		改善内容	職員数の削減	A

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		<ul style="list-style-type: none"> 審査事務の効率化 行政の審査業務が減少していく中での建築等への関わり 						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	判断基準の共通化					
		実施期限	平成	19	年	12	月	
	(2)	対応内容	建築指導パトロールの実施					
		実施期限	平成	17	年	4	月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア		近隣市との審査事務組合設立						
平成18~20年度の方向性		市で処理する審査業務が年々減少しているが,大都市のように,違反対策室等を設置して,本格的な違反行政に取組んでいくには,行政規模が小さい。従って,建築指導パトロールの実施等の違反の未然防止策を実施することにより,小規模な体制でも,市民が安全で安心な生活ができる基盤を構築していく。確認・検査業務については,近隣市との審査事務組合を設立することにより,職員の知識,技能向上による事務の効率化を図る。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		審査事務組合の設立に向けて検討してください。						

(一般事業)	事業コード	4230030
平成16年度	事業名	駐車場法に規定する建築物である路外駐車場の設置に関する事務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうろおいのある都市づくり	所管課	建設部	
総合計画	中	2	快適な交通体系の整備	所管課長氏名	建築指導課	
政策施策	小	3	駐車・駐輪対策の推進	記入者氏名	林 繁樹	
体系	細			電話番号	島津 久夫	
事業期間	平成12年度～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2114 内線 2918	
根拠法令・要綱等				実施主体	市	
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金	
委託先		<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	
事業の概要	道路交通の円滑化を図り、都市機能の維持及び増進に寄与する。					
事業の現状	路外駐車場の構造及び設備の基準を定め、設置の届出を受理する。					
アウトプット	結果指標(1)	指標名	届出件数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	0	0	0	0	0
	単位コスト					
結果指標(2)	指標名					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値					
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	道路の路面外に設置される自動車の駐車のための施設であって一般公共の用に供されるもので、自動車の駐車のために供する部分の面積が500㎡以上であるもの(駐車料金を徴収するものを設置するものに限る)				
	対象カバー率	対象数(a)	対象物件無し	受益数(b)	比率(b÷a)%	0
対象・意図	意図(対象を主語にして)	対象物件の設置者が提出する届出の審査を行うことにより、都市機能の維持及び増進に寄与することを目的とする。				
大きな目的	都市における道路交通の円滑化					
アウトカム	中間成果	指標名				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値					
	最終成果	指標名	届出率			
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値	届出必要件数無し	届出必要件数無し	届出必要件数無し	100	100	
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳	
内訳(千円)	人件費	100.0%	490	231	224	-	H17人件費 317
	事業費	0.0%	0	0	0	0	
	他部門経費					-	
	減価償却費					-	
合計	100.0%	490	231	224	0		
財源(千円)	国・県						H17一般財源 317
	市債等					0	
一般財源	100.0%	490	231	224	0		
活動配分(人)	職員	100.0%	0.05	0.05	0.05	-	H17合計 0.05
	嘱託・臨時等					-	
合計	100.0%	0.05	0.05	0.05	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	7	4
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	1	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない					
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 近隣市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない	1	1
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	<input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	A C
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	特に無し		改善内容			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	特に無し						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
	意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア	建築物でない駐車場についての事務を開発指導課が所管しており,当該事務と同様に件数が少ないので一元化する。						
平成18~20年度の方向性	都心における立体駐車場を対象としていると考えられ,市内において近年中に建築される可能性は低いと考えられる。	今後の方向性	拡大・充実	1次評価	2次評価		
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
		統合/終期設定					
2次評価委員会コメント	届出件数がないため,現状維持とします。						
		廃止/休止					

(一般事業)	事業コード	4310250	部長	次長	課長	長
平成16年度	事業名	住宅金融公庫からの受託に係る審査及び検査事務				

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	4	快適でうるおいのある都市づくり				所管課	建設部	
総合計画	中	3	安全で快適な生活基盤の充実				建築指導課		
政策施策	小	1	住宅の整備				所管課長氏名	林 繁樹	
体系	細						記入者氏名	島津 久夫	
事業期間	間	平成12年度～	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2114	内線	2918
根拠法令・要綱等		住宅金融公庫法				実施主体	市		
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input checked="" type="checkbox"/> 負担金			
委託先		<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	中堅所得者層向けの良質な住宅の供給を促進するため、技術基準に関する審査及び検査を行い住宅の質を確保する。								
事業の現状	住宅金融公庫融資住宅の審査,中間検査及び竣工検査:49件								
アウトプット	結果指標 (1)	指標名	申請件数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	200件	25件	49件	20件	10件		
	結果指標 (2)	指標名							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	住宅の建設及び購入に必要な資金を、銀行その他一般の金融機関からの融資を受けることが困難な者。							
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	125	受益数(b)	49	比率(b÷a)%	40%		
	意図(対象を主語にして)	住宅の建設及び購入に必要な資金を、銀行その他一般の金融機関からの融資を受けることが困難な者に対して、長期・固定資金を安定的に提供する。							
大きな目的	住宅の質の確保と居住水準の向上								
アウトカム	中間成果	指標名	現場検査合格等件数						
		考え方・式	公庫基準に適合し、検査に合格した件数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	最終成果	指標名							
		考え方・式							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		

3 事業費・活動配分(コスト)

				1世帯当り(円)	78	住民1人当り(円)	34	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)			
	人件費	98.8%	1,993	3,081	3,010	-	H17 人件費1,879	
	事業費	1.2%	80	36	36	30		
	他部門経費					-		
	減価償却費					-		
合計	100.0%	2,073	3,117	3,046	30			
財源	国・県							
	市債等							
	その他	30.2%	1,521	187	920		H17 その他100	
一般財源	69.8%	552	2,930	2,126	30	H17 一般財源1,809		
活動配分	職員	100.0%	0.30	0.45	0.45	-		
	嘱託・臨時等					-		
合計	100.0%	0.30	0.45	0.45	0.00	H17 合計0.25		

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	-2	-2
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	0	0
	受益者(1~1) <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 近隣市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	-3	-3
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている 内容		
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果 <input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D 平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がな <input type="checkbox"/> 改善しなかつた	総合評価 D D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題 件数が少ないため,単位コストが割高になる。	改善内容 活動配分人員を削減した。	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	平成12年度に指定確認検査機関が発足し,確認検査業務件数の割合が年々当該機関に移行していく中で,それに連動して公庫の審査等業務件数の割合も当該機関に移行している。加えて,住宅金融公庫自体が平成18年度末に独立行政法人になることが決定しており,市が新しい団体とも常時委託契約を結び,事業を続けていくべきであるかどうかを検討すべきであるといえる。		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	意見,要望内容	
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア			
平成18~20年度の方向性	住宅金融公庫の受託業務の中で,災害復興住宅に関する認定についてのみは特定行政庁でしか行えない業務となっているが,当該業務については今年度中にも収束する予定である。災害等により再び必要となる時期があるかもしれないが,それ以外の通常時の業務については民間機関で十分行っていけると考える。平成19年度以降は,住宅金融公庫に代わる独立行政法人との受託契約は締結せずに,災害等で必要が生じた際のみ契約を締結するものとする。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	平成18年度を目途に終期設定を行って下さい。		

(一般事業)	事業コード	1240060
平成16年度	事業名	火災証明等発行及び各種願届出処理

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり	所管課	消防本部	
総合計画	中	2	安全と防災の確保	警防課		
政策施策	小	4	防災意識の向上	所管課長氏名	米倉義輝	
体系	細			記入者氏名	下江久雄	
事業期間	随時	経常臨時	<input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	32-2345 内線 4121	
根拠法令・要綱等	芦屋市火災予防条例			実施主体		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容					
事業の概要	1 被災市民からの申請による、り災証明発行事務 2 消防活動等に支障となる各種道路工事及び火気使用等の願届等の受理事務					
事業の現状	1 火災原因調査後の火災原簿及び各種報告書を基にPC(ワード)にて、り災証明書作成発行している。 発行手続きの簡略化には、謄・抄本、住民票等と同様なシステムの構築が必要である。(1通300円) 2 消防活動等に支障となる原因を排除するため、届出の義務を課しているが、片側通行が可能で消火栓等にも支障がない場合の届出の必要性の検討					
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	受理件数(申請及び各種届出)			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	193件	147件	151件	140件	140件
	単位コスト	35,726	45,068	14,245		
	結果指標 (2)	指標名	り災証明等の発行件数			
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	81件	24件	41件	30件	30件	
単位コスト	85,124	276,042	52,464			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	届出義務のある工事施行者及び行為者					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	151件	受益数(b)	151件	比率(b÷a)%	100%
意図 (対象を主語にして)	図	通行障害等が発生しない施行方法等の指導及び各署所への出勤経路の確認					
大きな目的		各種届出により活動障害を排除し、市民生活の安全を確保する。					
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値						
	最終成果 指標	指標名	消防活動障害解消率(%)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値	100%	100%	100%	100%	100%		
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳 (千円)	人件費	100.0%	6,895	6,625	2,151	-
	事業費					
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	6,895	6,625	2,151	0
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	6,895	6,625	2,151	0	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.85	0.70	0.30	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.85	0.70	0.30	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	4	3
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input checked="" type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容			
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	0	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 近隣消防本部	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	1	1
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない	内容			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	A C
平成16~17年度に実施した改善内容	課題 内容変更等の届出の簡素化		改善内容 内容変更等の電話及びファクス連絡への簡素化へ変更				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	道路占用者会議等で指導しているが,無届による工事施工が後を絶たない。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容	特になし						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	無届による工事については,月例調査時等(地水利調査等)に指導する。					
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性	道路使用,占用に係る届出義務は,県下関係機関統一事項であり,決められた書式に基づき実施している事業である。 しかし,届出方法等について,簡略化等に向けた取組みも現在検討されているところである。 また,片側通行が可能で消火栓等にも支障がない場合の届出の必要性を検討している。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	必要な事業であると考えますが,事業の目的を精査し,アウトカム指標(中間成果指標,最終成果指標)を再度検討してください。また,無届工事施工を減らすための啓発・指導等を行なってください。							

(一般事業)	事業コード	1220270
平成16年度	事業名	液化石油ガス設備、高圧ガス消費施設、火薬庫等への立入検査火災予防措置

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり	所管課	消防本部		
総合計画	中	2 安全と防災の確保		予防課		
政策施策	小	2 防災生活圏の整備充実	所管課長氏名	樋口 文夫		
体系	細		記入者氏名	樋口 文夫		
事業期間	平成6年~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2098 内線 4141		
根拠法令・要綱等	火薬類取締法・高圧ガス保安法・液化石油ガス法		実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容					
事業の概要	県から市への委譲事務で、火薬庫、高圧ガス消費施設、液化石油ガス設備の届出受理及び立入検査を実施する。					
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	高圧ガス(アセチレン)1箇所(海技中学校)、火薬庫貯蔵所1箇所、火薬庫外3箇所(ともに警察関係施設)があるが、立入検査は実施していない。 液化石油ガス施設(LPG)については、300kg以上貯蔵している施設は29施設ある。					
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	立入検査数			
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	0	0	0		
	単位コスト					
結果指標 (2)	指標名	違反判明数				
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	0	0	0		
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	火薬類取締法・高圧ガス保安法・液化石油ガス法に関する施設関係者				
	対象カバー率	対象数(a)	5	受益数(b)	5 比率(b÷a)% 100	
	意 図 (対象を主語にして)	施設関係者が関係法令を遵守する。				
大 き な 目 的	地域の安全を確保する。					
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	改修数			
		考え方・式	違反指示に対する改修			
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	0	0	0		
最終成果 指 標	指標名	事故発生件数				
	考え方・式					
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値	0	0	0			
芦屋市の特色など補足する事項	火薬庫、高圧ガス施設はいずれも公的機関に設置されている。 液化石油ガス施設については、都市ガスの普及により、大規模飲食店が出来ない限りは設置の予定はない。					

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	20	住民1人当り(円)	9	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	100.0%	1,937	1,883	775	-
	事業費					
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	1,937	1,883	775	0
財 源 (千円)	国・県					
	市債等					
	そ の 他					
一 般 財 源	100.0%	1,937	1,883	775	0	
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.20	0.20	0.10	-
	嘱託・臨時等					-
	合 計	100.0%	0.20	0.20	0.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	4	4
	市関与(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 大規模災害が発生するたびに、法改正される。		
	優先性、緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	3	2
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える		
効率性 3点	- 成果向上余地(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり ↳ 立入検査の方法改善	-1	-1
	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 近隣消防本部 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____ ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い、または低い場合の理由: _____		
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 <input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能		
	手段(1~ 3) <input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等で対応可能である		
コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: _____ <input checked="" type="checkbox"/> 特に行ってない			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性 <input type="checkbox"/> 改善し、効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが、効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価 B B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題: 特になし	改善内容: 特になし	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	県からの委譲事務であり、施設が設置され、届出が提出された時点で地元消防本部が動き出す。 本市にとっては、施設数が少ないこともあり、目立った動きがない。			
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	特になし		
	意見、要望内容	特になし		
課題・要望等への対応	(1) 対応内容			
	実施期限	平成	年	月
	(2) 対応内容			
	実施期限	平成	年	月
	(3) 対応内容			
	実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア				
平成18~20年度の方向性	この仕事に従事させる人員を減じる。(事務担当者のみとする) 通常の対象物立入検査時に、併設されている施設があれば、併せて実施する。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント				

(一般事業)	事業コード	1240130	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	芦屋危険物安全協会, 芦屋市少年消防クラブの育成指導						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり	所管課	消防本部			
総合計画	中	2	安全と防災の確保	予防課				
政策施策	小	4	防災意識の向上	所管課長氏名	樋口 文夫			
体系	細			記入者氏名	樋口 文夫			
事業期間	協会 s 5 3 ~ , 少年 h 3 ~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2098	内線	4141
根拠法令・要綱等	特になし			実施主体	市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託			<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	<input type="checkbox"/> 民間委託				委託内容
事業の概要	危険物安全協会員は, 危険物事業所等の関係者を中心とし, 危険物災害の防止を図る。 少年消防クラブ員は, 小学生(2年~5年)で消火器の取扱いや防火広報などの活動を通じて, 防火意識の向上を図る							
事業の現状	研修県学会や防災訓練に参加する。 火災予防週間に防火の街頭広報をする。 消防を体験する。 会員数 芦屋危険物安全協会 : 94 会員 芦屋市少年消防クラブ : 役員15人, クラブ員51人 計66人							
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	研修会や訓練・広報・教室等の実施回数。					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
		指標値	11回	11回	11回	11回	11回	
	単位コスト	624,456円	460,455円	390,182円				
	結果指標 (2)	指標名	研修会や訓練・広報・教室等の参加者数。					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値		408人	428人	350人	400人	400人		
単位コスト	16,836円	11,834円	12,263円					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	危険物安全協会員及び少年消防クラブ員					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	160	受益数(b)	160	比率(b÷a)%	100
意図 (対象を主語にして)	図	危険物安全協会員及び少年消防クラブ員が危険物災害の防止及び火災予防についての知識・技能を学ぶ。					
大きな目的	地域安全に寄与できるリーダー的な人材を育成する。						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	少年消防クラブ修了者				
		考え方・式	一定の知識, 技能を修得した者。				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	11人	10人	15人	11人	14人	
	最終成果 指標	指標名					
		考え方・式					
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項	他市に比べ, 市域内に危険物施設が少ない。 個人の住居に危険物施設がある。						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	110	住民1人当り(円)	48	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	97.6%	6,809	5,037	4,188	-
	事業費	2.4%		39	104	
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	6,809	5,076	4,292	0
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	6,809	5,076	4,292	0	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.70	0.45	0.50	-
	嘱託・臨時等			0.30		-
	合計	100.0%	0.70	0.75	0.50	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	3	3	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき、または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない、または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容				
	優先性、緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 近隣消防機関	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-1	-3	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容						
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し、効果を得た	<input checked="" type="checkbox"/> 改善したが、効果がなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	安全協会会員数の減少の歯止め 担当職員の人件費の抑制	改善内容	研修見学会を充実させた。 17年度は施設を保持しない賛助会員を獲得したい。 臨時的任用職員をはずした。				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	危険物の貯蔵施設等が減少し、危険物安全協会会員も減少している。 少年消防クラブについては、会員数及び役員数も適正であり現状を維持したい。						
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	特になし					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	危険物安全協会を防火安全協会とし、対象を拡大する。 少年消防クラブについては、自主防災の観点からも必要であり現状を維持したい。	今後の方向性	1次評価	2次評価			
		拡大・充実					
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
2次評価委員会コメント							

(一般事業)	事業コード	1240090	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	火災予防相談と防火思想の普及啓発						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	1	活気あふれる豊かな生活環境づくり	所管課	消防部			
総合計画	中	2 安全と防災の確保		消防署・高浜分署			
政策施策	小	4 防災意識の向上	所管課長氏名	樋口 文夫・市川 武夫			
体系	細		記入者氏名	松代 洋史・市川 武夫			
事業期間	昭和23年～	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-2098 内線 4141			
根拠法令・要綱等	消防法		実施主体	市自治事務			
実施手続	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金				
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容			
事業の概要	随時火災予防上危険とされる事項等の相談等の受付及び対応を実施するとともに、高齢者等の住宅に赴き防火診断を実施し、火災予防に関する広報及び訓練指導等により防火思想の普及啓発を行う。						
事業の現状	火災予防上危険とされる事項等に対し相談を受け、調査し改修・改善を必要とされる事項に対しては、改修・改善させる。高齢者等の住宅に赴き防火診断を実施する。火災予防に関する広報及び訓練指導等を実施する。						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	相談・調査・指示件数・防火診断				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	11件	13件	107件	110件	110件
	結果指標(2)	指標名	広報・訓練指導件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	2回	2回	145回	150回	150回

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市民, 防火対象物関係者, 危険物施設関係者, 一般住宅, 土地所有者又は占有者					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	40,217世帯	受益数(b)	40,217世帯	比率(b÷a)%	100
	意図(対象を主語にして)	市民, 防火対象物関係者, 危険物施設関係者, 一般住宅, 土地所有者又は占有者に対し, 火災予防及び防火, 防災意識を向上させる。					
大きな目的	火災の要因・危険となる事項に対し, 事前に察知し回避処置を実施することにより, 出火率を軽減するとともに防火, 防災意識の向上を図り出火防止, 災害による被害の軽減を図る。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	出火率				
		考え方・式	火災件数÷365日				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果指標	指標値	0.096件/日	0.06件/日	0.049件/日	0	0
		指標名	損害額				
		考え方・式					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	62,983千円	1,300千円	10,453千円	0	0	
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	218	住民1人当り(円)	95	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	100.0%	15,848	12,744	8,543	-
	事業費					
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	15,848	12,744	8,543	0
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	15,848	12,744	8,543	0
活動配分(人)	職員	100.0%	1.70	1.40	0.95	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	1.70	1.40	0.95	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	3	3
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき、または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない、または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		内容		
	優先性、緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			-2
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-2	-3
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し、効果を得た	総合評価	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	住宅防火診断の推進	改善内容	住宅防火診断の実施		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		住宅防火の推進の継続						
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	自主防災会等・防火対象物関係者						
	意見、要望内容	受益者の負担問題						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	独居老人、高齢者だけで構成される世帯の住宅防火診断の実施					
		実施期限	平成	17	年	11	月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア		防火診断の対象拡大(高齢者住宅だけでなく一般住宅も実施)						
平成18~20年度の方向性		訓練指導・防火診断の重点実施				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		住宅防火の推進を継続してください。						

(一般事業)	事業コード	3120260
平成16年度	事業名	高等学校修学旅行費援助費

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会管理部		
総合計画	中	1	学校教育の充実			総務課			
政策施策	小	2	教育内容の充実			所管課長氏名	橋本 達広		
体系	細					記入者氏名	橋本 達広		
事業期間	昭和56年~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2085	内線	3201
根拠法令・要綱等	芦屋市高等学校修学旅行費援助費給付要綱					実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営			<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金	
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容	
事業の概要	経済的理由により、高等学校（市内の公立高等学校を含む）における修学旅行参加困難な者に対して、25,000円を限度に援助費を給付。								
事業の現状	16年度支給人数及び援助費 39人 975,000円								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	給付件数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	47人	45人	39人				
	結果指標 (2)	指標名	給付額						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	1,175千円	1,125千円	975千円				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	芦屋市奨学金受給生							
	対象カバー率	対象数(a)	39人	受益数(b)	39人	比率(b÷a)%	100%		
	意図 (対象を主語にして)	修学旅行費援助費の給付							
大きな目的	経済的理由により、修学旅行に参加困難な者に対する教育の機会均等								
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	支給率						
		考え方・式	支給件数 / 支給対象件数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	最終成果 指標	指標値	100%	100%	100%	100%			
		指標名							
		考え方・式							
指標	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値								
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	33	住民1人当り(円)	14	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	24.5%	233	328	317	-
	事業費	75.5%	1,175	1,125	975	1,250
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	1,408	1,453	1,292	1,250
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	1,408	1,453	1,292	1,250	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.05	0.05	0.05	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.05	0.05	0.05	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	-1	-1	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき、または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない、または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容				
	優先性、緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない				
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 阪神各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない	-1	-5	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない	内容				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し、効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが、効果がなかった	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	<input checked="" type="checkbox"/> D	改善内容	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	本市では、市内公立高等学校すべてを対象としている。 他市の状況 尼崎市...市立高等学校定時制のみ、西宮市...市立高等学校のみ、川西市...夜間高校のみ 伊丹市、宝塚市...制度なし。							
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称 意見、要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性	市立芦屋高等学校の最後の修学旅行をもって廃止したい。(平成18年4月1日)			今後の方向性	1次評価	2次評価		
				拡大・充実				
				現状維持				
				方法改善				
				民間委託等				
				縮小				
2次評価委員会コメント	平成17年度末をもって廃止してください。			統合/終期設定				
				廃止/休止				

(一般事業)	事業コード	2410150
平成16年度	事業名	カウンセリングセンター管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	芦屋市教育委員会		
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現			学校教育課			
政策施策	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進			所管課長氏名	春名 片史		
体系	細					記入者氏名	石田 要		
事業期間	昭和57年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-2087	内線	3243
根拠法令・要綱等	学校教育法					実施主体	芦屋市教育委員会		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金	
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	井上 敏明		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要		青少年の健全育成を図るため、幼児、児童、生徒、保護者及び教師の相談に対応する。							
事業の現状		教育相談専従班が、幼児児童生徒とその保護者及び学校教師から教育相談や子育て全般の悩みなどを直接面接したり、電話で対応する。 電話相談・・・火曜日から金曜日10時～17時 面接相談・・・火曜日から土曜日13時から17時(金曜日を除く)							
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	悩み相談検数(毎年度末の相談件数) 平成14年度を基準として(%)						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	600人(100%)	798人(133%)	658人(110%)	700人(117%)	700人(117%)		
	単位コスト								
	結果指標 (2)	指標名							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値									
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	幼児・児童・生徒・保護者・教師							
	対象カバー率	対象数(a)	12823	受益数(b)	658	比率(b÷a)%	5.1%		
	意図 (対象を主語にして)	幼児・児童・生徒・保護者・教師の悩みの解消に寄与する。							
大きな目的	幼児・児童・生徒・保護者・教師の悩みを解消すると共に、精神的自立を促す。								
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	悩み相談件数(毎年度末の相談件数) 平成14年度を基準として(%)						
		考え方・式	相談件数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	600人(100%)	798人(133%)	658人(110%)	700人(117%)	700人(117%)			
	最終成果 指標	指標名	1回あたりの相談料						
		考え方・式	人件費÷相談件数						
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値	11,741	8,546	9,142	7,735	7,735				
芦屋市の特色など補足する事項	経済的に困難な家庭が増加し、保護者の悩みが深刻化してきた。また、子どもの悩みも多様化し診断もLD、ADHD、アスペルガー症候群等深刻な悩みも多く発生している。他機関との連携と相談機関の充実が必要である。								

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	326	住民1人当り(円)	142	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	52.1%	1,639	2,355	6,649	-
	事業費	47.9%	7,147	6,452	6,107	5,509
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	8,786	8,807	12,756	5,509
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	8,786	8,807	12,756	5,509	
活動配分 (人)	職員	93.3%	0.15	0.20	0.70	-
	嘱託・臨時等	6.7%	0.10	0.05	0.05	-
	合計	100.0%	0.25	0.25	0.75	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	6	3	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 相談件数 658件	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容 児童虐待防止法の改正により,通報の義務が設けられた。カウンセリングにより,事実の把握,他				
	優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		3	3	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない				
-成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし					
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 西宮市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト 152,008円	<input type="checkbox"/> 把握していない	1	0	
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない	内容 業務委託料の削減				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	A	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題 学校との連携強化 他の相談機関との連絡会		改善内容 学校へパンフレットを配布し周知を図った。 教育相談連絡会を開催し,他機関との連携を図った					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	LD, ADHD, アスペルガー症候群等の対応が難しい。検査等本人の人権を考慮しながら進めなければならない。								
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	市民(匿名)							
	意見,要望内容	どこに相談してよいかわからない。教育相談以外は,どこに相談すれば良いか。							
課題・要望等の対応	(1)	対応内容	小学校不登校児童への学校指導						
		実施期限	平成	18	年	3	月		
	(2)	対応内容	中学校不登校生徒への学校指導						
		実施期限	平成	18	年	3	月		
	(3)	対応内容	不登校児童生徒を昨年度の1/3減らすことを目標とする。						
		実施期限	平成	18	年	3	月		
その他考えられる改善のアイデア	各学校へカウンセラーの派遣								
平成18~20年度の方向性	教育相談については,機関が少ない。 就学前から後期中等教育までの教育相談については,学校教育課がカバーできるが,それ以降の相談については,市として考える必要がある。	今後の方向性	拡大・充実	現状維持	方法改善	民間委託等	縮小	統合/終期設定	廃止/休止
2次評価委員会コメント	教育委員会内部での相談業務を統合してください。								

(一般事業)	事業コード	3110010
平成16年度	事業名	特色ある学校園づくり支援事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会 学校教育部		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名片史		
政策施策	小	1	特色ある学校園づくり			記入者氏名	山本 哲也		
体系	細					電話番号	0797-38-2087	内線	3233
事業期間	平成11年度~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時		
根拠法令・要綱等	学校教育法					実施主体			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容	
事業の概要	学校園に対する特色ある教育活動への支援 学校における学力向上事業のための支援 教育ボランティア人材バンクを活用し、学校園への支援を行う								
事業の現状	学校園教育への保護者・地域の方々の参画と協働 生きる力の育成と基礎的基本的な学力の定着								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	教育ボランティア派遣者数(有償)						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	726人	322人	301人	250人	250人		
	結果指標 (2)	指標名	教育ボランティア派遣者数(無償)(いきいき学校応援団も含む)						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	581人	1710人	1586人	1600人	1700人		
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市立幼稚園、小・中学校の幼児児童生徒					
	対象カバー率	対象数(a)	6200人	受益数(b)	6200人	比率(b÷a)%	100%
	意図 (対象を主語にして)	児童生徒の学習指導の一層の充実 保護者・地域の方などが学校園の様子の理解					
大きな目的	児童生徒に基礎的基本的な学力を定着させるなど、学校園教育の充実を図り、保護者・市民に信頼される学校園づくりを目指す。						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	保護者の学校への理解度及び児童生徒の学習意欲の高まり度				
		考え方・式	学校評価等により調査				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果 指標	指標名					
		考え方・式					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	288	住民1人当り(円)	125	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	75.6%		4,509	8,509	-
	事業費	24.4%		2,520	2,743	3,681
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	0	7,029	11,252	3,681
財源 (千円)	国・県	11.1%		1,254	1,254	627
	市債等					
	その他					
一般財源	88.9%	0	5,775	9,998	3,054	
活動配分 (人)	職員	94.1%		0.40	0.80	-
	嘱託・臨時等	5.9%		0.05	0.05	-
	合計	100.0%	0.00	0.45	0.85	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	5	2
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容: 協働と参画の理念に基づき、保護者・市民の協力を得ている			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	0	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない					
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 西宮市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 1h860円(尼崎市)	<input type="checkbox"/> 把握していない	1	1
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 無償ボランティアの増加					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	A C
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	一人当たりの報償費を削減	改善内容	ボランティア講師は趣旨を踏まえ,無償若しくは,低額で招聘			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	幼児児童生徒に対する成果の把握 保護者の満足度の把握						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	幼児児童生徒に対する成果の把握 アンケート調査,学力の定着等の調査の実施				
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容	保護者の満足度の把握 学校評価等の実施				
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア	大学生など,学校園教育に関心のあるボランティアを導入し,より一層の充実を図る。 学校園教育における多くの分野で,保護者の支援を得て,学校園教育活動の充実を図る。						
平成18~20年度の方向性	保護者はもちろんのこと,市民ニーズでもある児童生徒の学力向上を図るためには,		今後の方向性	1次評価	2次評価		
	今後一層の学習指導補助員等を活用するなど,教育委員会としても今まで以上に,支援していくことが重要である。		拡大・充実				
			現状維持				
			方法改善				
			民間委託等				
			縮小				
		統合/終期設定					
		廃止/休止					
2次評価委員会コメント	内容の充実を図ってください。(なお,学力向上施策については,別事業として取り扱ってください。)						

(一般事業)	事業コード	3110020
平成16年度	事業名	学校園創立記念事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	芦屋市教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	1	特色ある学校園づくり			記入者氏名	石田 要		
体系	細					電話番号	38-2087	内線	3243
事業期間			経常臨時	<input type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	芦屋市教育委員会		
根拠法令・要綱等						委託先			
実施手法			<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託			<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	学校園の創立を祝う式典を開催する。 30年,50年,70年,100年毎に行う。								
事業の現状	記念冊子・記念講演・会場準備等を検討する会議を行う。 記念冊子を作成し配布する。 1部は,記念式典(学校長式辞,教育長・市長の祝辞,祝電披露,児童の言葉や歌) 2部は,記念講演や記念コンサート 昨年度岩園幼稚園70年,宮川幼稚園70年(今年度は西山幼稚園30周年)								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	記念冊子数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	1050冊	1400冊	800冊	500冊				
	単位コスト								
結果指標 (2)	指標名								
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	2校1園	2校	2園	1園	1園			
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市立学校園の幼児・児童・生徒・教職員・保護者・関係機関・地域の方					
	対象カバー率	対象数(a)	813人(H16.5.1)	受益数(b)	656人	比率(b÷a)%	80.7%
意図 (対象を主語にして)	学校園の創立を祝う中で,愛校(園)心を育む。保護者・関係機関・地域の方との連携や信頼感を深める。						
大きな目的	学校教育の啓発と沿革						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	式典への参加人数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	2,189人	3,014人	656人	500人	500人	
	最終成果 指標	指標名					
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	48	住民1人当り(円)	21	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	78.0%	1,783	1,841	1,479	-
	事業費	22.0%	773	551	416	196
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	2,556	2,392	1,895	196
財源 (千円)	国・県			0		
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	2,556	2,392	1,895	196	
活動 配分 (人)	職員	100.0%	0.16	0.17	0.15	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.16	0.17	0.15	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	4	1
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき、または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない、または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容 時代や市民のニーズにあった記念事業の検討			
	優先性、緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	1	
	受益者(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし					
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない	1	-2
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある		
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない	内容			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し、効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが、効果がなかった	総合評価	A D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題 創立記念冊子・記念講演等の謝金	改善内容 冊子や謝金の減額					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	費用をかけずに冊子を作成する。						
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称						
	意見、要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	創立記念冊子の内容・予算の検討			今後の方向性	1次評価	2次評価	
	創立記念式典の継続			拡大・充実			
				現状維持			
				方法改善			
				民間委託等			
				縮小			
			統合/終期設定				
			廃止/休止				
2次評価委員会コメント	市が関与するのではなく、実施主体を市民団体やNPO等に委ねてください。						

(一般事業)	事業コード	3120070
平成16年度	事業名	適応教室実施事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	芦屋市教育委員会		
総合計画	中	1	学校教育の充実			学校教育課			
政策施策	小	2	教育内容の充実			所管課長氏名	春名 片史		
体系	細					記入者氏名	米澤 光治		
事業期間	不明		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	23-8567	内線	
根拠法令・要綱等	なし					実施主体	芦屋市教育委員会		
実施手法	法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金			
委託	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	芦屋市立小学校及び中学校における不登校及び不登校傾向の児童生徒に対し、教育活動を通して指導及び援助を行い、基本的な生活習慣の確立、集団生活の訓練、基礎学力の補充により、児童生徒の自立性の育成を図るとともに、学校生活への意欲を育て、もって学校への復帰を目指すことを目的とする。								
事業の現状	通級児童生徒への指導（基本的習慣の育成、学習活動、体験活動等） 引きこもり傾向の児童生徒の家庭訪問指導								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	入級児童生徒数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	9人	11人	12人	12人	12人		
	単位コスト	5999000	670636	435833	435833	435833			
	結果指標 (2)	指標名	家庭訪問指導数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値		0人	9人	10人	12人	12人			
単位コスト	0	8159666	523000	435833	435833				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	芦屋市立小中学校に在籍し、病気等の特別な理由もなく年間30日以上の欠席する児童生徒、または30日に満たなくても将来的に30日に到達する恐れのある不登校児童生徒							
	対象カバー率	対象数(a)	49	受益数(b)	18	比率(b÷a)%	36.7		
	意図 (対象を主語にして)	不登校児童生徒が学校復帰を果たす。または、基本的な生活習慣、集団生活を営む社会性を身につけ、社会的自立を果たす。							
大きな目的	児童生徒の教育権の保障、成人の引きこもりを防ぐ。								
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	部分復帰の件数						
		考え方・式	通級児童生徒のうち、学校に行っていない状況を抜け出し、部分的でも学校に登校できるようになった不登校児童生徒人数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	8人	10人	12人	12人	12人			
	最終成果 指標	指標名	不登校児童生徒数						
考え方・式		芦屋市内において、病気等の特別な理由もなく、年間に30日以上欠席した不登校児童生徒数							
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値	57人	57人	49人	32人	21人				
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	407	住民1人当り(円)	177	平成17.4.1	住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)		
内訳 (千円)	人件費	69.8%	12,403	15,289	11,100	-	
	事業費	30.2%	6,977	7,217	4,807	5,500	
	他部門経費					-	
	減価償却費					-	
	合計	100.0%	19,380	22,506	15,907	5,500	
財源 (千円)	国・県	7.5%	1,000	900	1,200	900	
	市債等						
	その他						
一般財源	92.5%	18,380	21,606	14,707	4,600		
活動配分 (人)	職員	100.0%	1.25	1.20	1.20	-	
	嘱託・臨時等	0.0%		1.00	0.00	-	
	合計	100.0%	1.25	2.20	1.20	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	6	4
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容: 不登校・引きこもりなど			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	3
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり				<input type="checkbox"/> 特になし		
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名: 尼崎市・西宮市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト: 入級率0.02, 0.04	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり		
	手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である		
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価 A B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題: 児童生徒一人一人への異なった対応の必要性	改善内容: 不登校対策会議の開催 不登校児童生徒への家庭訪問の実施 不登校担当課長の配置				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	県の補助がなくなれば,事業そのものが成り立たない						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容	実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容	実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	・18年度から,打出教育文化センター内に併設する ・人の目を気にする児童生徒であるがゆえに,多くの人が入り出す打出教育文化センターに併設されることについては心配している				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント	他の相談指導業務との統合を図ると共に,成果があがるようアクションプランを進めてください。						

(一般事業)	事業コード	3120200
平成16年度	事業名	打出教育文化センター一般事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会 学校教育部		
総合計画	中	1	学校教育の充実				打出教育文化センター		
政策施策	小	2	教育内容の充実			所管課長氏名	上月 敏子		
体系	細					記入者氏名	上月 敏子		
事業期間	平成2年10月		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-7130	内線	
根拠法令・要綱等	地公法39条 教特法19,20条 打出教育文化センター条例					実施主体	芦屋市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容			
事業の概要	・市立学校園の幼児・児童の情緒不安,対人関係,学習障害などに対する教育相談・プレイセラピー ・国,近畿,県,阪神各教育研修所連盟にかかる負担金								
事業の現状	・教育相談のうち,プレイセラピーによる相談は,週3日(火・木・金)の午後4コマ ・平成16年の相談件数は,23組(15年度は15組)延べ683回。(15年度は540回)幼児・児童が自分のペースで遊びを中心に活動し,心の安定を得,発達を促す。対象は小学校入学前~小学校高学年の幼児児童と保護者。 ・全国教育所連盟・近畿地区教育研究所連盟・兵庫県教育研究所連盟・阪神地区教育研究所協議会に所属し,研修内容や研修に関する情報交換を行う。発表会や各研究部会出席3名30回出席								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	プレイセラピー実施回数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	18組	15組	23組	25組	25組		
	単位コスト	4.08	4.08	4.08	4.08	4.08			
	結果指標 (2)	指標名	プレイセラピーによる教育相談を受けた実人数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値		36人	30人	46人	50人	50人			
単位コスト	62	74	48	45	45				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	幼稚園・保育所~小学校の幼児児童のうち,情緒不安・学習障害等悩みのある幼児児童とその保護者								
	対象カバー率	対象数(a)	46人	受益数(b)	46人	比率(b÷a)%	100			
	意図 (対象を主語にして)	幼児児童とその保護者が,心の安定を得,落ち着いた学校園生活を送ることができる。								
大きな目的	保護者の学校園への信頼度の増加									
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	教育相談のうち,プレイセラピーを受け心の安定を得た人の数							
		考え方・式	心の安定が図られたかどうかは,アンケートや聞き取り調査による							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	36人	30人	46人	50人	50人				
	最終成果 指標	指標名	保護者の学校園への信頼度							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値		36人	30人	46人	50人	50人				
芦屋市の特色など補足する事項										

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	161	住民1人当り(円)	70	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	64.8%	4,658	5,420	4,074	-
	事業費	35.2%	2,206	2,201	2,211	2,209
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	6,864	7,621	6,285	2,209
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	6,864	7,621	6,285	2,209	
活動配分 (人)	職員	80.0%	0.40	0.50	0.40	-
	嘱託・臨時等	20.0%	0.10	0.10	0.10	-
	合計	100.0%	0.50	0.60	0.50	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	5	3	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき、または対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない、または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容: 相談内容が多様化し、専門的な資質を有する相談員による対応が不可欠である。				
	優先性、緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	1		
	受益者(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える				
-成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 市総合教育セン	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない	1	-1	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求められることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求められるべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない	内容: 相談者の実態に合わせて、相談回数の上限を設定するなどして、対象者を広げた。				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し、効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが、効果がなかった	総合評価	A	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題 教育相談システムの見直し 市立学校園や関係機関との連携 他の教育相談事業との統合	改善内容 プレイセラピーによる教育相談を形や方法を考えて継続8回までを基本としより多くの相談者に対応できるように改めた。 適応教室との施設面での統合を検討中						

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・適応教室と施設面で統合し、さらに連携を強化する。 ・相談機関として、広く応じられるように広報活動を行い周知する。 							
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	なし						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	なし					
		実施期限	平成	年	月			
	(2)	対応内容	なし					
		実施期限	平成	年	月			
	(3)	対応内容	なし					
		実施期限	平成	年	月			
その他考えられる改善のアイデア	広く市民に伝え、気軽に相談できるようホームページ等で知らせていく。 他の関係機関を調査し、連携を図る。							
平成18~20年度の方向性	今後の方向性	拡大・充実	現状維持	方法改善	民間委託等	縮小	統合/終期設定	廃止/休止
2次評価委員会コメント	事業の目的を明確にし、他の相談業務との統合を図ってください。							

(内部事務)	事業コード	3130050
平成16年度	事業名	打出教育文化センター出版刊行事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会 学校教育部	
総合計画	中	1	学校教育の充実			打出教育文化センター		
政策施策	小	3	教職員の資質と実践的指導力の向上			所管課長氏名	上月 敏子	
体系	細					記入者氏名	上月 敏子	
事業期間	間	平成2年10月	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-7130	内線
根拠法令・要綱等	地公法第39条	教特法19, 20条	打出教育文化センター条例			実施主体	芦屋市	
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称				<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	
事業の概要	・市立学校園小中学校の児童生徒の学力向上に関する出版物や、打出教育文化センターの研修・研究に関する出版物の刊行 ・教職員数(教諭・臨時講師) 357名							
事業の現状	・打出教育文化センター研修講座の概要や事業報告のための「所報」、児童生徒の基礎学力向上に資する「算数・数学基礎・基本ドリル-分数編-」「子どもを理解する視点を広げてみませんか」を刊行、市内教職員に配布した。							
目的実現のための手段及び実施内容								
アクティブ指	活動指標	指標名	発行部数					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
		指標値	700	700	1700	1700	1700	
		単位コスト	153	122	153	153	153	
アウトプット指	結果指標	指標名	出版物を読んだ教職員等の数					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
		指標値	364+50	356+50	357+50	350+50	350+50	
		単位コスト	29	21	642	642	642	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	芦屋市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教職員と関係機関。					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	407	受益数(b)	407	比率(b÷a)%	100
	意図(対象を主語にして)	芦屋市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教職員が、所報や報告書を読んだり、ドリルや冊子を活用する。					
大きな目的	児童・生徒の基礎学力が向上するとともに、教職員が研修に意欲的になり市民や保護者の信頼を得る。						
アウトカム指	中間成果指標	指標名	ドリルを活用した教職員等の数				
		考え方・式	配布部数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	414	406	407	407	407
最終成果指標	考え方・式	指標名					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値					
芦屋の特色など							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	111	住民1人当り(円)	48	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	94.0%	7,648	6,618	4,074	-
	事業費	6.0%	107	85	262	213
	他部門経費	0.0%	0	0	0	-
	減価償却費	0.0%	0	0	0	-
	合計	100.0%	7,756	6,703	4,336	213
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	7,756	6,703	4,336	213
活動配分(人)	職員	80.0%	0.75	0.60	0.40	-
	嘱託・臨時等	20.0%	0.10	0.10	0.10	-
	合計	100.0%	0.85	0.70	0.50	0.00

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト		1次評価	2次評価
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない			
	- 成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし			
効率 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している <input type="checkbox"/> 他団体より少ない 多し, または少ない場合の理由	団体名: 西宮市総合教育センター 活動配分: <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体より多い	2	0
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い, または低い場合の理由	団体名: 他市の出版物 単位コスト: <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い		
手段 4点	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		A	B
	コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない 内容: 数社の落札で一番安い業者に依頼している。庁内印刷との併用を行っている。			
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価 <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し, 効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが, 効果がない <input type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	A B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題 ・具体的に教育活動に生かせる出版物の作成を考える。 ・基礎・基本ドリルの続編を作成したり 国語にも広げてドリルを作成する。	改善内容 ・基礎・基本ドリルの続編を作成したり, 国語にも広げて基礎・基本ドリルを作成する。		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリルや冊子の活用状況を把握し, より活用されるように取り組む。 ・計算ドリルの続編と国語基礎・基本ドリルを作成し配布する。 				
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称	なし			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	なし		
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容	なし		
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容	なし		
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア	なし				
平成18~20年度の方向性	ドリルを全児童生徒に配布できるように検討する。	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
		縮小			
		統合/終期設定			
		廃止/休止			
2次評価委員会コメント	(教育推進事業及び研修事業との統合を図ってください。)				

(一般事業)	事業コード	3130060
平成16年度	事業名	打出教育文化センター管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	芦屋市教育委員会学校教育部			
総合計画	中	1	学校教育の充実				打出教育文化センター			
政策施策	小	3	教職員の資質と実践的指導力の向上			所管課長氏名	上月 敏子			
体系	細					記入者氏名	上月 敏子			
事業期間	平成2年10月		条例公布	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-7130	内線		
根拠法令・要綱等	地公法39条		教特法19・20条		実施主体	芦屋市				
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	清掃の一部・夜間警備など		
事業の概要	打出教育文化センターの維持管理 貸室業務									
事業の現状	・電気設備・消防設備・清掃の一部・火曜日と金曜日の夜間窓口業務・空調設備・自動ドア管理・池ろ過管理等の業者委託を行いながら、必要に応じてメンテナンスを行いながら、施設の維持管理を行っている。教職員の研修や研修使用以外の空き室を自治会や市民に貸し出している。 ・貸室による歳入 317,000円(平成15年度は259,350円)									
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	貸室の広報件数							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
		指標値	—	5	5	7	7			
	結果指標 (2)	指標名	貸室利用状況(開室数)							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
		指標値	291	374	445	450	450			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	芦屋市民のうち打出教育文化センター貸室が可能な延べ回数と実際に利用された貸室の割合							
	対象カバー率	対象数(a)	2070	受益数(b)	445	比率(b÷a)%	37%		
	意図 (対象を主語にして)	芦屋市民とその関係者が、安全で美しい施設において、様々な文化的活動を行い、コミュニティの場として活用する。							
大きな目的	芦屋市民の憩いの場とする								
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	利用者数(貸室規模数)						
		考え方・式	市民のうち実際に貸室を利用した人の総数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	3430	6068	6379	6500	6600			
	最終成果 指標	指標名							
考え方・式									
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値									
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

1世帯当り(円)		362	住民1人当り(円)	158	平成17.4.1 住民基本台帳	
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	55.3%	9,823	9,837	7,842	-
	事業費	44.7%	8,594	6,955	6,341	6,505
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	18,417	16,792	14,183	6,505
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他		195	260		
一般財源	100.0%	18,222	16,532	14,183	6,505	
活動配分 (人)	職員	63.6%	0.75	0.75	0.70	-
	嘱託・臨時等	36.4%	0.70	0.70	0.40	-
	合計	100.0%	1.45	1.45	1.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	4	3		
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握						
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	3		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
-成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし							
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名:立総合教育セ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	2	-2	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり	<input type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)	<input type="checkbox"/> 負担なし,過少					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である	<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容:清掃回数の減	<input type="checkbox"/> 特に行っていない						
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	A	B	
平成16~17年度に実施した改善内容	課題 ・経費の節減 ・経費の節減貸室の増加		改善内容 ・委託による清掃回数の減(4回→3回) ・貸室件数のアップ						

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・貸室件数のアップ ・維持管理のコスト削減 ・電気・ガス・水道使用料の節約 			
市民,関係者からの意見等	市民,関係者の名称	打出小槌町・楠町自治会		
意見,要望等	意見,要望内容	ピアノコンサートの会場としての使用 年に数回会食をしたい。文化祭でバザーを開きたい。		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	防音設備やピアノ設置がなされていない。持ち込みということであれば,今後音の大きさも考え検討していく。	
		実施期限	平成 15 年 06 月	
	(2)	対応内容	昼,ごみを持ち帰るという条件で,自治会に限り年に1・2回は認める。	
		実施期限	平成 17 年 3 月	
	(3)	対応内容	管理上できない。	
		実施期限	平成 15 年 6 月	
その他考えられる改善のアイデア	庭園管理のボランティア導入 土曜日の管理を自治会の自主管理とする。			
平成18~20年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修で使用しないときの貸室件数のアップ ・経費の節約 	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	経費節減に向けて,方法改善に努めてください。			

(内部事務)	事業コード	3210280	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	三条分室及び三条サービスセンターの維持管理						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部			
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	生涯学習課				
政策施策	小	1	学習推進体制の整備	所管課長氏名	石濱 正昭			
体系	細			記入者氏名	原田 逸郎			
事業期間	平成13年~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2091	内線	3271
根拠法令・要綱等	芦屋市庁舎管理規則				実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	管理業務		
事業の概要	芦屋市役所三条分室及び芦屋市立三条サービスセンターの維持管理(元三条小学校)							
事業の現状	三条分室及び三条サービスセンターの維持管理(三条サービスセンターは保健福祉部所管) ・施設補修 三条分室 三条コムスク事務室、会議室 ・各設備等保守点検 文化財課事務室、倉庫 ・夜間機械警備 グリーンベルト関係会議室など 地元の「三条地域協議会」に施設管理業務を委託している 主な業務: 管理施設内の清掃, 植木への散水, 除草, ゴミの搬出, 駐車管理, 見回りによる安全点検など							
アクティブ指	活動指標	指標名	施設の定期点検箇所数					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
		指標値	6件	6件	6件	6件	6件	
		単位コスト						
アウトプット指	結果指標	指標名	点検による補修箇所					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
		指標値	1件	1件	1件	0件	0件	
		単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	三条分室及び三条サービスセンター					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	1697.96㎡	受益数(b)	1697.96㎡	比率(b÷a)%	100
	意図(対象を主語にして)	施設、設備を良好に維持管理する					
大きな目的	利用者が安心快適に利用できるようにする						
アウトカム指	中間成果指標	指標名	常に施設の良好な維持管理ができる				
		考え方・式	施設の維持管理上の苦情件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	0件	0件	0件	0件	0件	
	最終成果指標	指標名	安全で快適な施設利用				
考え方・式		施設管理上の事故件数					
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	0件	0件	0件	0件	0件		
芦屋の特色など							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	153	住民1人当り(円)	67	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	56.7%	4,230	4,374	3,396	-
	事業費	43.3%	3,463	4,590	2,592	3,389
	他部門経費			338		-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	7,693	9,302	5,988	3,389
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	0.5%			31	
一般財源	99.5%	7,693	9,302	5,957	3,389	
活動員	100.0%	0.45	0.45	0.40	-	
配分嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.10	0.00	-	
(人)合計	100.0%	0.45	0.55	0.40	0.00	

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	2
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
	-成果向上余地(1~1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし				
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体より少ない 多い,または少ない場合の理由	団体名 活動配分 <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体より多い		-3	-3
	単位コスト(1~1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	団体名 単位コスト <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価	<input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がない <input checked="" type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	改善内容	従前から,地元の「三条地域協議会」に施設管理業務を委託している。				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	市役所分室として,日常の施設の維持管理はできており,今後も安全で快適な施設の維持管理を続けていくことが重要。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	意見,要望内容					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
(3)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月		
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	三条分室及びデイサービスセンターの施設管理業務について,地元の「三条地域協議会」に施設管理業務を委託していく。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント							

(一般事業)	事業コード	3260020
平成16年度	事業名	発掘調査の円滑化

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部			
総合計画	中	2 生涯学習社会の実現		生涯学習課(文化財担当)			
政策施策	小	6 文化財等の保存活用	所管課長氏名	石濱正昭			
体系	細		記入者氏名	中戸博幸			
事業期間	昭和23年~	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-31-9066 内線 3261			
根拠法令・要綱等	文化財保護法		実施主体				
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容				
事業の概要	文化財保護法第3条(政府及び地方公共団体の任務)「この法律の趣旨の徹底に努めなければならない。」とあり、この事業は市がやらなければならない事業である。公共事業・民間宅地開発等に伴い、埋蔵文化財包蔵地内で必要な箇所の発掘調査を行う。発掘調査は、現地調査、遺物等整理作業、調査結果の公表(報告書の発行等)の3過程に分かれる。						
事業の現状	埋蔵文化財の発掘調査により芦屋の歴史を知る意義をPRする。 埋蔵文化財包蔵地内での事業予定者との事前協議(時期、調査範囲、費用)を行なう。 平成16年度発掘調査件数は13件。						
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	作業日数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	311日	301日	243日	244日	244日
	結果指標 (2)	指標名	遺物整理個数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	5760個	5600個	5000個	3800個	3800個

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	埋蔵文化財包蔵地内で、開発行為等を行なうもの。					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	124件	受益数(b)	13件	比率(b÷a)%	10.5%
	意図 (対象を主語にして)	開発予定者等が埋蔵文化財包蔵地で事業を予定していることを知り、事前に正しく申請をさせる。					
大きな目的	文化財保護の向上						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	進捗率(%)				
		考え方・式	調査面積÷調査必要面積×100				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果 指標	指標名	公開、展示回数				
		考え方・式					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)

芦屋市の特色など補足する事項	大規模調査は他の調査機関に委託している。 山手幹線事業用地 神戸市教育委員会					
3 事業費・活動配分(コスト)	1世帯当り(円)	1,220	住民1人当り(円)	530	平成17.4.1 住民基本台帳	
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	47.6%	29,974	21,621	22,733	-
	事業費	52.4%	47,999	35,498	25,000	10,000
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	77,973	57,119	47,733	10,000
財源 (千円)	国・県	39.3%	36,000	26,600	18,750	7,500
	市債等					
	その他					
一般財源	60.7%	41,973	30,519	28,983	2,500	
活動配分 (人)	職員	49.4%	2.75	1.85	1.95	-
	嘱託・臨時等	50.6%	3.00	2.00	2.00	-
	合計	100.0%	5.75	3.85	3.95	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	3
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容			
有効性 4点	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				3	3
	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い			
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
効果 3点	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入		-1	-1
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし			
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-1	-1
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	過去のデータの電算化	改善内容	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		積算基準に従って調査をすること。 調査報告書を早期に出すように工夫すること。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	GIS地図情報を完成さす。					
		実施期限	平成	18	年	3	月	
	(2)	対応内容	積算基準に従って調査をすること。					
		実施期限	平成	18	年	3	月	
	(3)	対応内容	大規模調査は,本市の職員体制ではできないので,引き続き神戸市教育委員会に委託する。					
		実施期限	平成	18	年	3	月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性		文化財保護法により市がやらなければならない事業であり,継続していく。 本市では,今後も大規模調査が必要な時は,職員の要員体制ではできないので,神戸市教育委員会に委託していく。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント								

(一般事業)	事業コード	2410160
平成16年度	事業名	青少年育成事業(小・中学生レクリエーションキャンプ)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	スポーツ・青少年課		
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現			所管課長氏名	白川 誠二		
政策施策	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進			記入者氏名	長谷川 易司		
体系	細					電話番号	22-0358(直)	内線	92-200
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	社会教育法, スポーツ振興法					委託先			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					委託内容			
委託	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称: _____ <input type="checkbox"/> 民間委託								
事業の概要	異年齢集団による集団生活・野外活動を通し、豊かな心や自立心を育む								
事業の現状	小額4年生から中学生3年生40人を対象に2泊3日のテント生活を体験する。キャンプ中の行動は、野外炊事を含め班単位で行動する。								
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	募集人数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	40人	40人	40人	40人	40人		
	単位コスト	76975円/人	50200円/人	51050円/人	11225円/人				
	結果指標(2)	指標名	参加者数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値		33人	29人	15人	40人	40人			
単位コスト	93303円/人	70972円/人	136133円/人	11225円/人					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	小学4年生から中学生3年生					
	対象カバー率	対象数(a)	3000人	受益数(b)	15人	比率(b÷a)%	0.005
	意図 (対象を主語にして)	参加者がテントによる共同生活や野外活動を通して生きる力を育む					
大きな目的	心豊かな生きる力を持つ児童を育成する						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	参加者数				
		考え方・式	集団生活を通して、社会性、協調性、想像性、自立心を育む児童の育成				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	33人	29人	15人	40人	40人	
	最終成果指標	指標名	参加者数				
		考え方・式	心豊かな生きる力を持つ児童を育成する				
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	33人	29人	15人	40人	40人		
芦屋市の特色など補足する事項	本来、野外活動センターで実施していた事業であるが、現在、野外活動センターが利用できないため、丹波少年自然の家を利用して実施している。内容は、テントによる完全自炊の共同生活を体験する。						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	52	住民1人当り(円)	23	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	75.1%	2,315	1,430	1,533	-
	事業費	24.9%	764	578	509	680
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	3,079	2,008	2,042	680
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	2.9%	132	116	60	200
一般財源	97.1%	2,947	1,892	1,982	480	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.25	0.15	0.15	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.25	0.15	0.15	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	0	0
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	-1	-1
	受益者(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない		
効 率 性 3点	- 成果向上余地(1~ 1) <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし	-2	-2
	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 1人当たり経費 ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由		
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) <input type="checkbox"/> 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 食・材料等は必要最小限としている	総合評価	D	D
平成16年評価内容及び改善の方向性 平成16年度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D 平成16年度実施した改善の方向性 <input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input checked="" type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input type="checkbox"/> 改善しなかった			
平成16~17年度に実施した改善内容 課題: 経費の節減 参加費の引き上げ 改善内容: 食・材料等は必要最小限として経費節減に努めた。 参加費用を引き上げる			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	参加者の健康維持(慣れないテント泊のため,体調を崩しやすい) 現在,市広報紙でPRしているが,学校を通じて児童にPRする等を検討する。 参加費用の引き上げ		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	参加者児童及び保護者	
	意見,要望内容	テント宿泊による共同生活など貴重な体験をさせていただいたと好評を得ている。	
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	参加費を3500円に引き上げる
		実施期限	平成 9 年 月
	(2)	対応内容	参加費を3500円に引き上げる
		実施期限	平成 13 年 月
	(3)	対応内容	参加費を5000円に引き上げる
		実施期限	平成 17 年 月
その他考えられる改善のアイデア	芦屋市子ども会連絡協議会に事業委託		
平成18~20年度の方向性	貸切バス(1台)を利用するため,募集人数を増やすことは難しい。 募集人員を確保するため,学校を通じて対象児童に募集チラシを配布等PR方法を見直す。 参加費について段階的に引き上げるとともに,事業内容を見直し経費の節減を行なう。 なお,応募人数が一定人数以下の場合は,事業の実施を取りやめることを検討する。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	事業を廃止してください。		

(一般事業)	事業コード	2410170
平成16年度	事業名	青少年育成事業(手作り教室等)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	スポーツ・青少年課		
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現			所管課長氏名	白川 誠二		
政策施策	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進			記入者氏名	長谷川 易司		
体系	細					電話番号	22-0358(直)	内線	92-200
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等						委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
実施手法						事業の概要			
委託						自然・環境・郷土・情報通信技術等への理解を深めるとともに参加者の交流を深める			
						事業の現状			
						学校完全5日制に対応する事業として週末に実施。 パソコン教室、クリスマス交流会、和風づくり講習会、神戸市立青少年科学館見学等を実施。			
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	事業数						
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	10事業	7事業	5事業	5事業	5事業		
	単位コスト	325400円/事業	319,286円/事業	104000円/事業	43000円/事業	円/事業			
	結果指標 (2)	指標名	参加者延べ数						
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値		945人	406人	105人	120人	120人			
単位コスト	5055円/人	5055円/人	4952円/人	1791円/人	円/人				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市内在住の小学生					
	対象カバー率	対象数(a)	3800人	受益数(b)	120人	比率(b÷a)%	0.03%
	意 図 (対象を主語にして)	自然・環境・郷土・情報通信技術等への理解を深めるとともに参加者の交流を深める					
大 き な 目 的	社会性・協調性・創造性・自立心など豊かな心を持つ児童を育成する。						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	参加者数				
		考え方・式	自然・環境・郷土・情報通信技術等への理解を深めるとともに参加者の交流を深める				
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	945人	406人	105人	120人	120人	
	最終成果 指標	指標名	参加者数				
		考え方・式	社会性・協調性・創造性・自立心など豊かな心を持つ児童を育成する。				
年 度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	945人	406人	105人	120人	120人		
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	人件費	98.3%	3,122	1,980	511	-	
	事業費	1.7%	187	304	9	242	
	他部門経費					-	
	減価償却費					-	
	合 計	100.0%	3,309	2,284	520	242	
財 源 (千円)	国・県						
	市債等						
	その他	0.0%	55	49	0		
一 般 財 源	100.0%	3,254	2,235	520	242		
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.35	0.20	0.05	-	
	嘱託・臨時等					-	
	合 計	100.0%	0.35	0.20	0.05	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	0	-2	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容				
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		2	2	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		0	0		
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 1人当たり経費	<input type="checkbox"/> 把握していない					
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 講師謝金の節減(内容によっては担当職員が講師役を担う)							
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題: 経費の節減	<input checked="" type="checkbox"/> D	改善内容: ボランティア等の協力を得て,講師謝金の節減に取り組んだ。		<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	定員を定めた事業で,当日キャンセル子どもが多い。(当日キャンセル者への対応を検討) 児童センター,公民館等でも小学生を対象に事業を実施しているため,実施時期や事業内容等重複しないよう事前調整する必要がある。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
その他考えられる改善のアイデア	学習活動支援整備事業で取得したパソコン利用促進策のひとつとして一般開放を検討する。							
平成18~20年度の方向性	講師は,引き続きボランティア又は職員で対応し,経費節減を行なう。 所管している将棋・囲碁盤,天体望遠鏡,パソコン等現有する備品を活用した事業を継続する。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
					統合/終期設定			
					廃止/休止			
2次評価委員会コメント	廃止に向けて検討してください。							

(一般事業)	事業コード	3210130
平成16年度	事業名	成人式

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	スポーツ・青少年課		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	白川 誠二		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			記入者氏名	長谷川 易司		
体系	細					電話番号	22-0358(直)	内線	92-200
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等						委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	新成人を祝い・励まし、次代を担う新成人が社会人としての自覚と自己の行動に責任を持つ場とする。								
事業の現状	新成人が成人式に積極的に参画する場とするため、新成人の代表による検討委員会を設け、オープニング等のアトラクションを始め、成人式の構成について意見を求め、実施している。 平成16年度については、新成人より若い高校生による中国の獅子舞、韓国打楽器演奏、箏曲演奏のアトラクションを実施し、新成人に感動を与えることができた。 成人式は、毎年1月の第2月曜日(成人の日)にルナ・ホールで実施								
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	対象者数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	1025人	1051人	996人	1025人	1025人		
	単位コスト	3539円/人	3368円/人	3254円/人	1136円/人				
	結果指標(2)	指標名	参加者数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値		650人	700人	700人	1025人	1025人			
単位コスト	5580円/人	5057円/人	4630円/人	1136円/人					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	二十歳を迎える新成人								
	対象カバー率	対象数(a)	996人	受益数(b)	700人	比率(b÷a)%	0.70%			
	意図(対象を主語にして)	<input checked="" type="checkbox"/> 新成人を対象に、二十歳になったことを祝い・励ますとともに社会人としての自覚を即す								
大きな目的	社会人になったことを自覚し、自らの行動に責任を持つ事を啓発する。									
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	参加者数							
		考え方・式	社会人になったことを自覚し、自らの行動に責任を持つ事を即す							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	650人	700人	700人	1025人	1025人				
	最終成果指標	指標名	参加者数							
		考え方・式	社会人になったことを自覚し、自らの行動に責任でを持つ若者を社会に送り出す							
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値	650人	700人	700人	1025人	1025人					
芦屋市の特色など補足する事項	新成人としての決意(志や将来の夢)を発表する場を設けている。									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	83	住民1人当り(円)	36	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	74.4%	2,879	2,579	2,412	-
	事業費	25.6%	748	961	829	1,165
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	3,627	3,540	3,241	1,165
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	0.0%			0	
一般財源	100.0%	3,627	3,540	3,241	1,165	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.30	0.25	0.25	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.30	0.25	0.25	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			1	1		
		<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない			4	4		
		<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握						
		<input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 人生の一つの節目として必要とする意見が多い						
		<input type="checkbox"/> 未把握							
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
効果 3点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		0	0	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入						
	-成果向上余地(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり							
効果 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		0	0	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	1人当たり経費	<input type="checkbox"/> 把握していない				
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由							
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)							
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である							
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない 内容: 著名人等出演を依頼する場合,事業の趣旨を説明し経費の節減に努めている							
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	経費の節減		改善内容	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		同窓会気分で参加する者が少なく,式典中における私語等が多い。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	対象者及びその保護者							
	意見,要望内容	人生の一つの節目として,成人式は必要である。							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア									
平成18~20年度の方向性		芦屋市が実施する成人式とし,アトラクションの内容については,引き続き新成人及び19歳(次年度対象者)で構成する検討委員会を組織し,意見交換を行ない実施する。					今後の方向性	1次評価	2次評価
							拡大・充実		
							現状維持		
							方法改善		
							民間委託等		
							縮小		
							統合/終期設定		
							廃止/休止		
2次評価委員会コメント		アトラクションの内容については,引き続き新成人及び19歳で構成する検討委員会を組織し,意見交換を行ないながら実施してください。							

(一般事業)	事業コード	3220010
平成16年度	事業名	青少年団体及びリーダー育成事業(青少年リーダーの育成)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	スポーツ・青少年課		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	白川 誠二		
政策施策	小	2	指導者・ボランティアの養成			記入者氏名	長谷川 易司		
体系	細					電話番号	22-0358(直)	内線	92-200
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等						委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	野外活動等の青少年リーダーを育成する								
事業の現状	高校生以上の青少年 活動日 毎週木曜日 19時から21時 救急法(心肺蘇生法)や野外活動等の事業企画や運営に必要な知識を習得する。 具体的な実践活動の場として教育委員会が実施する野外活動(主に小・中学生レクリエーションキャンプ)で、指導補助員として事業の企画・運営に携わる								
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	実施回数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	55回	55回	55回	55回	55回		
	単位コスト	34636円/回	46018円/回	33618円/回	636円/回	円/回			
	結果指標(2)	指標名	参加数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値		15人	15人	14人	15人	15人			
単位コスト	2931円/人	3515円/人	2401円/人	42円/人	円/人				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	高校生及び大学生15人					
	対象カバー率	対象数(a)	3075人	受益数(b)	14人	比率(b÷a)%	0.04
	意図 (対象を主語にして)	野外活動に必要な知識を習得し、地域・団体に青少年リーダーとして活動する					
大きな目的	地域の青少年リーダーを育成する						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	活動しているリーダー数				
		考え方・式	地域においてリーダーとして活動した者				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	7人	10人	9人	15人	15人	
	最終成果指標	指標名					
		考え方・式					
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項	新成人としての決意(志や将来の夢)を発表する場を設けている。						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	47	住民1人当り(円)	21	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	100.0%	1,806	2,531	1,849	-
	事業費	0.0%	99	0	0	35
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	1,905	2,531	1,849	35
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	0.0%			0	
一般財源	100.0%	1,905	2,531	1,849	35	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.20	0.25	0.20	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.20	0.25	0.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			2	2	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			2	2	
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
効果 3点	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効率 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			-1	-1	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 1人当たり経費	<input type="checkbox"/> 把握していない					
		↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由:						
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
率 3点	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 職員ができる範囲内は,職員が講師となって実施している。						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容		課題		改善内容				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		参加者数を増やす						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	参加者数を増やすため,募集記事を学校内に掲示してもらうよう近隣の高校・大学に依頼した。					
		実施期限	平成	16	年	4	月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性		引き続き見直しを図りながら継続する。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント								

(一般事業)	事業コード	3240020
平成16年度	事業名	スポーツリーダー認定講習会

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	スポーツ・青少年課		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	白川誠二		
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			記入者氏名	権藤弘之		
体系	細					電話番号	22-7910	内線	92-204
事業期間	昭和59年~		経常臨時	<input type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時	<input type="checkbox"/>	
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法11条					実施主体			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称: _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容: _____								
事業の概要	スポーツリーダーやスポーツボランティアを養成する講習会の実施								
事業の現状	スポーツリーダー認定講習会(講義・実習・実技等8~10回)の実施								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	講習会参加人数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	80人	83人	52人	50人	50人		
	単位コスト	31413円/人	22253円/人	45134円/人	5420円/人				
	結果指標 (2)	指標名							
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値									
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市内のスポーツ指導者・スポーツボランティア							
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)		52	比率(b÷a)%			
大きな目的	意図 (対象を主語にして)	スポーツ指導者・スポーツボランティアの発掘と資質向上							
	目的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上							
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	週1回以上の定期的スポーツ実施率						
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	56%							
	最終成果 指標	指標名	定期的スポーツ実施率						
考え方・式		週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率							
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値	56%								
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。								

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	60	住民1人当り(円)	26	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	91.6%	2,219	1,612	2,149	-
	事業費	8.4%	294	235	198	271
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	2,513	1,847	2,347	271
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	2,513	1,847	2,347	271	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.25	0.20	0.25	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.25	0.20	0.25	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	3	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する調査結果 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		0	0	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入				
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 開催回数	<input type="checkbox"/> 把握していない	-2	-2	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	社会環境に適應した講習内容	改善内容	高齢社会を見据えた中高年向きスポーツを講習した				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査
課題・要望等への対応	(1)	対応内容: スポーツリーダー認定講習会の実施 実施期限: 平成 20 年 3 月
	(2)	対応内容: コーチ・指導員等の資格取得に対する支援 実施期限: 平成 20 年 3 月
	(3)	対応内容: 学校スポーツ学外指導者の派遣促進 実施期限: 平成 20 年 3 月
その他考えられる改善のアイデア		
平成18~20年度の方向性	平成18年に開催される「のじぎく兵庫国体」と,その前年の平成17年の開催の「リハーサル大会」を見据えて,スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことのできる人材の養成を目指す。 平成17年度から1人1000円の参加料を徴収する。	今後の方向性 拡大・充実 現状維持 方法改善 民間委託等 縮小 統合/終期設定 廃止/休止
2次評価委員会コメント	アンケート調査等を実施するなど,育成後のリーダーのフォローアップをはかってください。	

(一般事業)	事業コード	3240040
平成16年度	事業名	体育の日の行事

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			スポーツ・青少年課			
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			所管課長氏名	白川誠二		
体系	細					記入者氏名	権藤弘之		
事業期間	昭和40年~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22-7910	内線	92-204
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第5条, 国民の祝日に関する法律, 体育の日の行事通知								
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____								
事業の概要	体育の日を中心とした3日間にスポーツ教室, 新体力テスト測定, 市民啓発セミナー等を開催する								
事業の現状	市民啓発セミナーの開催・ニュースポーツフェスタ開催・市民参加のスポーツ教室開催・体育協会, レクリエーションスポーツ協会への協賛事業開催依頼・新体力テスト測定会の開催								
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	参加人数						
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	1396人	1086人	985人	1200人	1200人		
	単位コスト	2779円/人	3610円/人	3781円/人	378円/人				
	結果指標(2)	指標名							
年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値									
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	定期的でないスポーツ実施市民及び未実施者							
	対象カバー率	対象数(a)	32485	受益数(b)	985	比率(b÷a)%	3.1		
	意 図 (対象を主語にして)	市民のスポーツへの関心を高める							
大 き な 目 的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上								
アウトカム指標	中間成果 指 標	指標名	定期的スポーツ実施率						
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率						
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	56%							
	最終成果 指 標	指標名	定期的スポーツ実施率						
考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率								
年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値	56%								
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し, 平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。								

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	人件費	89.8%	3,444	3,494	3,344	-	
	事業費	10.2%	435	426	380	409	
	他部門経費					-	
	減価償却費					-	
	合 計	100.0%	3,879	3,920	3,724	409	
財 源 (千円)	国・県						
	市債等						
	そ の 他						
一 般 財 源	100.0%	3,879	3,920	3,724	409		
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.35	0.40	0.40	-	
	嘱託・臨時等					-	
	合 計	100.0%	0.35	0.40	0.40	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価			
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			4	4			
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない							
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である							
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている							
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない							
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握							
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要							
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる								
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い					
	受益者(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定							
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える								
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり				市内スポーツ関係団体の参画を促して事業を展開する <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない					
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト		<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない					
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い		<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い					
		高い,または低い場合の理由								
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない								
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である								
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容					<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	C	平成16年度実施した改善の方向性		<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input checked="" type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	B	D
平成16~17年度に実施した改善内容		課題			改善内容					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		児童・生徒の著しい体力低下 急速な高齢社会の進展 壮年層のスポーツ離れ									
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査									
	意見,要望内容	スポーツ行政への要望 ・各種のスポーツ教室やイベントを開催する(25.9%)									
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	スポーツプログラム(各ライフステージに応じたプログラム,世代間や地域を越えたスポーツ教室,交流会,競技会の開催とそのないようの充実に努める)								
		実施期限	平成	20	年	3	月				
	(2)	対応内容									
		実施期限	平成		年		月				
	(3)	対応内容									
		実施期限	平成		年		月				
その他考えられる改善のアイデア											
平成18~20年度の方向性		継続する。						今後の方向性	1次評価	2次評価	
								拡大・充実			
								現状維持			
								方法改善			
								民間委託等			
								縮小			
								統合/終期設定			
								廃止/休止			
2次評価委員会コメント		参加者を増やす工夫をしてください。									

(一般事業)	事業コード	3240050
平成16年度	事業名	市民ゴルフ大会

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部				
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				スポーツ・青少年課				
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			所管課長氏名	白川誠二				
体系	細					記入者氏名	権藤弘之				
事業期間	昭和63年~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時	電話番号	0797-22-7910	内線	92-204
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第7条					実施主体					
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	芦屋市体育協会		<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容	大会運営		
事業の概要	公益法人である社団法人芦屋カンツリー倶楽部の協力と援助のもと市民ゴルフ大会を夏季に実施する。										
事業の現状	平成11年度から体育協会に委託。										
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	参加人数								
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
		指標値	98	78	141	100	100				
	単位コスト	26429円/人	39988円/人	20401円/人	1650円/人						
	結果指標 (2)	指標名									
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値											
単位コスト											

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	ゴルフを愛好する市民										
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)		141	比率(b÷a)%						
	意 図 (対象を主語にして)	ゴルフを愛好する市民のために本大会を開催することで、ゴルフが市民スポーツとして定着する。ゴルフは今や大衆化しつつあり、その流れを加速することにより生涯スポーツの普及、振興を図る。										
大きな目的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上											
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名										
		考え方・式										
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)					
	指標値											
	最終成果 指標	指標名	週1回以上の定期的スポーツ実施率									
考え方・式		週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率										
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)						
	指標値	56%										
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。											

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	人件費	94.3%	2,390	2,839	2,712	-	
	事業費	5.7%	200	280	165	165	
	他部門経費					-	
	減価償却費					-	
	合計	100.0%	2,590	3,119	2,877	165	
財 源 (千円)	国・県						
	市債等						
	その他						
	一般財源	100.0%	2,590	3,119	2,877	165	
活 動 配 分 (人)	職員	100.0%	0.25	0.30	0.30	-	
	嘱託・臨時等					-	
	合計	100.0%	0.25	0.30	0.30	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	-1	-1	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	内容: _____				
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	0	0		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: _____	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない	0	0	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない		↳ 内容: 昨年度委託料を半減した。			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がな	<input type="checkbox"/> 改善しなかつた	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題		改善内容					

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題								
市民,関係者からの意見等要望	市民,関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査						
	意見,要望内容	・各種のスポーツ教室やイベントを開催する(25.9%)						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	スポーツプログラム(各ライフステージに応じたプログラム,世代間や地域を越えたスポーツ教室,交流会,競技会の開催とそのないようの充実に努める)					
		実施期限	平成	20	年	3	月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性						今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		市関与の妥当性が見られないため,市民団体等との協力を得た運営方法を検討してください。						

(一般事業)	事業コード	3240060
平成16年度	事業名	生活の中にひと汗運動

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部				
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			スポーツ・青少年課					
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			所管課長氏名	白川誠二				
体系	細					記入者氏名	権藤弘之				
事業期間	昭和54年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時	電話番号	0797-22-7910	内線	92-204
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第3条					実施主体					
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金										
委託	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容							
事業の概要	市民にひと汗運動カードを配布する。 1日最低15分以上のひと汗運動を行い、得点カードの100マスを埋めた修了者に、表彰状と記念バッヂを贈呈する。										
事業の現状	上記のとおり実施										
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	参加者数								
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
		指標値	125人	130人	183人						
	単位コスト	13720円/人	9347円/人	1729円/人							
	結果指標 (2)	指標名									
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値											
単位コスト											

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	定期的にスポーツを実施してる、またこれからはじめようとしている市民									
	対象カバー率	対象数(a)	32485	受益数(b)	183	比率(b÷a)%	0.6				
	意 図 (対象を主語にして)	健康・体力づくりやスポーツ活動の一環として運動・スポーツを生活の中に取り入れるようになること。									
大 き な 目 的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上										
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名									
		考え方・式									
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
	指標値										
	最終成果 指 標	指標名	週1回以上の定期的スポーツ実施率								
考え方・式		週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率									
年 度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)					
指標値	56%										
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。										

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	人件費	100.0%	1,655	1,134	316	-	
	事業費	0.0%	60	81	0	0	
	他部門経費					-	
	減価償却費					-	
	合 計	100.0%	1,715	1,215	316	0	
財 源 (千円)	国・県						
	市債等						
	そ の 他						
一 般 財 源	100.0%	1,715	1,215	316	0		
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.15	0.15	0.05	-	
	嘱託・臨時等					-	
	合 計	100.0%	0.15	0.15	0.05	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない		-1	-1	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要				
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		0	0	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない				
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし				
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い		-1	-1	
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容 郵送を極力止めている。		<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題		改善内容				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	
	意見,要望内容	
課題・要望等への対応	(1)	対応内容
	実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容
実施期限	平成 年 月	
(3)	対応内容	
実施期限	平成 年 月	
その他考えられる改善のアイデア		
平成18~20年度の方向性	平成16年度をもって廃止	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民間委託等 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合/終期設定 <input type="checkbox"/> 廃止/休止
2次評価委員会コメント		

(一般事業)	事業コード	3240070	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	ニュースポーツ・レクリエーション啓発事業						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり		所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			スポーツ・青少年課		
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援		所管課長氏名	白川誠二		
体系	細				記入者氏名	権藤弘之		
事業期間	昭和54年~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22-7910	内線	92-204
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第7条				実施主体			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金							
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容		
事業の概要	地域に出向いての巡回指導講座を実施する。 わが国の実施スポーツ種目第1位の、気軽に楽しめるウォーキング講座の実施やその奨励(1日一万歩)を行う。							
事業の現状	地域スポーツの活性化及びスポーツ・フォ・エブリワン(生涯スポーツ)の定着を図る。 平成13年度は元気ウォーク講座を開催、その有志が芦屋市ウォーキング協会を設立した。 平成14年度はより初心者向けのウォーキング教室。平成15年度は気軽体操教室を開催。 平成16年度はスナッグゴルフ巡回講習会を開催。(2講座開催予定が1講座雨天により中止)							
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	講座参加者数					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	129人	176人	91人	100	100		
	単位コスト	17469円/人	11927円/人	18522円/人	3170円/人			
結果指標 (2)	指標名							
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値							
	単位コスト							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	スポーツに関心はあるが定期的に実施していない市民					
	対象カバー率	対象数(a)	9345人	受益数(b)	91人	比率(b÷a)%	1.0
意図 (対象を主語にして)	図	継続してスポーツを実施したくなるような身近な、気軽なスポーツの振興と普及					
大きな目的	的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上					
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	週1回以上の定期的スポーツ実施率				
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	56					
最終成果 指標	指標名	週1回以上の定期的スポーツ実施率					
	考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率					
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値	56%						
芦屋市の特色など補足する事項	項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。					

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳 (千円)	人件費	91.9%	1,881	1,762	1,549	-
	事業費	8.1%	375	337	136	317
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合計	100.0%	2,256	2,099	1,685	317	
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	2,256	2,099	1,685	317	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.20	0.20	0.20	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.20	0.20	0.20	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	3
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	0	0
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している		
	成果の実績(2~ 1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		
効 率 性 3点	- 成果向上余地(1~ 1) <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	-2	-2
	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 開催回数		
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		
	手段(1~ 3) <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		
コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価 D D
平成16~17年度に実施した改善内容	ウォーキングに続く市民スポーツの提供	改善内容 スナッグゴルフの実施	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	児童・生徒の著しい体力低下 急速な高齢社会の進展 壮年層のスポーツ離れ		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査	
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	スポーツ情報(スポーツ施設のネットワーク化とインターネットの活用を進め,多様化,高度化するスポーツ活動に応じたスポーツ情報を提供する。)
		実施期限	平成 20 年 3 月
	(2)	対応内容	スポーツプログラム(各ライフステージに応じたプログラム,世代間や地域を越えたスポーツ教室,交流会,競技会の開催とそのないようの充実に努める)
		実施期限	平成 20 年 3 月
	(3)	対応内容	ウォーキング環境(人が安全,快適に歩ける町づくりに努める)
		実施期限	平成 20 年 3 月
その他考えられる改善のアイデア	申請団体による事業への指導者派遣により,より安価により参加者増を目指す。		
平成18~20年度の方向性	継続する。		今後の方向性
			拡大・充実
			現状維持
			方法改善
			民間委託等
			縮小
2次評価委員会コメント	実施方法や参加者数を増やす工夫をしてください。		統合/終期設定
			廃止/休止

(一般事業)	事業コード	3240080	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	競技スポーツ推進事業						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部			
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現		スポーツ・青少年課			
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援	所管課長氏名	白川誠二			
体系	細			記入者氏名	権藤弘之			
事業期間	昭和63年度~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22-7910	内線	92-204
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第7条,第14条			実施主体				
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金							
委託	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容				
事業の概要	競技スポーツ推進の核となる体育協会やレクリエーションスポーツ協会等と協力して、大会等を実施する 競技スポーツ人口は全人口の5%から10%と想定されるが、競技者のひたむきな姿は市民のスポーツへの関心を高め、 活力のある健全な社会の形成に貢献する。また選手の活躍を通じて郷土愛が醸成される。							
事業の現状	競技力向上研修会開催(テニス)、阪神地区都市対抗駅伝大会男女別開催 芦屋市単独での開催ではなく、競技スポーツ推進の核となる体育協会やレクリエーションスポーツ協会等と協力すること で実施している。							
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	競技力向上実技講習会、駅伝大会開催数					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	4回	4回	3回	4回	4回		
	単位コスト	408,750円/回	702,500円/回	800,592円/回	193,000円/回			
結果指標 (2)	指標名							
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値								
単位コスト								

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	体育協会参加競技団体及び競技者						
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	8,000人	受益数(b)	1,200人	比率(b÷a)%	15%	
	意図 (対象を主語にして)	体育協会レクリエーションスポーツ協会等傘下競技団体等の競技力向上						
大きな目的	競技スポーツの振興と普及							
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	優秀成績者数					
		考え方・式	県大会以上の広域大会で優秀な成績(第1位~第3位まで)を収めた者の人数					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	79人	171人	83人	100人	100人		
最終成果 指標	指標名	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率						
	考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率						
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値		56%						
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳 (千円)	人件費	70.4%	902	2,090	1,690	-	
	事業費	29.6%	733	720	710	772	
	他部門経費					-	
	減価償却費					-	
合計		100.0%	1,635	2,810	2,400	772	
財源 (千円)	国・県						
	市債等						
	その他						
一般財源		100.0%	1,635	2,810	2,400	772	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.10	0.25	0.20	-	
	嘱託・臨時等					-	
合計		100.0%	0.10	0.25	0.20	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価			
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			2	2			
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない							
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である							
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている							
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない							
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない							
		<input type="checkbox"/> ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握							
		<input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する調査結果							
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要							
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる								
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い					
	受益者(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定							
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入							
		<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない							
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合								
		<input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし							
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない					
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	年間開催開催	<input type="checkbox"/> 把握していない					
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い					
		高い,または低い場合の理由								
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である				<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない				
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり				<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について								
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている				<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である				<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている				<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
		内容								
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	D	D
			<input type="checkbox"/>	D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	改善内容							

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題											
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査									
	意見,要望内容	スポーツ行政への要望・各種のスポーツ教室やイベントを開催する(25.9%)・競技力向上のため,優れた指導者の養成や選手の育成強化を図る(7.2%)									
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	スポーツプログラム(各ライフステージに応じたプログラム,世代間や地域を越えたスポーツ教室,交流会,競技会の開催とその内容の充実に努める)								
		実施期限	平成	20	年	3	月				
	(2)	対応内容									
		実施期限	平成		年		月				
	(3)	対応内容									
		実施期限	平成		年		月				
その他考えられる改善のアイデア											
平成18~20年度の方向性									今後の方向性	1次評価	2次評価
									拡大・充実		
									現状維持		
									方法改善		
									民間委託等		
									縮小		
									統合/終期設定		
									廃止/休止		
2次評価委員会コメント		市の関与の妥当性が低いため,市民団体等との連携や自主性に委ねることを検討してください。									

(一般事業)	事業コード	3240160
平成16年度	事業名	海浜公園プール管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	社会教育部		
総合計画	中	2 生涯学習社会の実現	所管課長氏名	白川 誠二		
政策施策	小	4 スポーツ・レクリエーション活動への支援	記入者氏名	近田 真		
体系	細		電話番号	22-0358 内線 92-201		
事業期間	昭和59年7月から 経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時		実施主体	文化振興財団委託		
根拠法令・要綱等	芦屋市都市公園条例, 同施行規則		委託内容			
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 財団法人芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託					
事業の概要	海浜公園プールの管理運営					
事業の現状	・温水プール 開場時間 平日 10:00~21:00 日曜祝日 9:00~18:00 開場日 1月5日~6月30日, 9月1日~12月26日, 月曜日を除く ・屋外プール 開場時間 平日 10:00~18:00 日曜祝日 9:00~18:00, 開場日 7月1日~8月31日					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	施設の利用件数			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	88,331人	88,434人	68,051人	70,000人	70,000人
	単位コスト	1,033円/人	969円/人	1,187円/人	362円/人	
結果指標(2)	指標名					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値					
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	海浜公園プールを利用する市民				
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	68,051	比率(b÷a)%	
意図(対象を主語にして)	図	海浜公園プールを利用する市民にスポーツ等を行う場所を提供し, 市民の健康・体力づくりの増進を図る。				
大きな目的	目的	・市民の健康・体力づくりの増進。 ・スポーツの振興。				
アウトカム指標	中間成果指標	指標名				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値					
	最終成果指標	指標名	定期的なスポーツ実施率			
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値	56%					
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円) 2,064	住民1人当り(円) 897	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	12.7%	10,935	9,557	10,288	-		
	事業費	75.8%	71,111	66,928	61,238	25,320		
	他部門経費					-		
	減価償却費	11.4%	9,237	9,237	9,237	-		
合計	100.0%	91,283	85,722	80,763	25,320			
財源(千円)	国・県							
	市債等							
	その他	65.6%	47,900	46,986	53,007	5,192		
一般財源	34.4%	43,383	38,736	27,756	20,128			
活動配分(人)	職員	100.0%	1.10	1.10	1.10	-		
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-		
	合計	100.0%	1.10	1.10	1.10	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			4	4		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない						
		<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握						
		<input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 未把握						
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入					
		<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない					
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない				
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト		<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない				
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由							
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない					
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり		<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について							
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある					
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である		<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている		<input type="checkbox"/> 特に行っていない					
		内容 事業数に応じた適正な職員の配置を行う。							
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	D	D
			<input type="checkbox"/> D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	教室の拡大 利用者に応分の負担をいただく。 指定管理者制度による民間委託の検討		改善内容	教室数を増やす。 教室受講料の値上げ。 平成17年6月から指定管理者制度を導入			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		コストの削減							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称								
	意見,要望内容								
課題・要望等への対応	(1)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア									
平成18~20年度の方向性		平成17年6月1日から指定管理者による施設の管理運営を行う					今後の方向性	1次評価	2次評価
							拡大・充実		
							現状維持		
							方法改善		
							民間委託等		
							縮小		
							統合/終期設定		
							廃止/休止		
2次評価委員会コメント									

(一般事業)	事業コード	3240180
平成16年度	事業名	スポーツ振興基金事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	社会教育部			
総合計画	中	2 生涯学習社会の実現		スポーツ・青少年課			
政策施策	小	4 スポーツ・レクリエーション活動への支援	所管課長氏名	白川 誠二			
体系	細		記入者氏名	近田 真			
事業期間	平成元年度～	経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	22-0358			
根拠法令・要綱等	芦屋市スポーツ振興基金条例		内線	92-201			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		実施主体	市			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____						
事業の概要	スポーツ賞表彰事務						
事業の現状	年1回表彰式を行う						
	指標名						
アウトプット指標	結果指標(1)	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	79人	173人	133人	83人	
		単位コスト	28,924円/人	13,641円/人	15,940円/人		
	結果指標(2)	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値						
	単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	公認の広域な大会で優秀な成績をおさめた者					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	133	比率(b÷a)%		
意図(対象を主語にして)	図	公認の広域な大会で優秀な成績をおさめた者を表彰することにより競技意欲が高まり、スポーツ振興に役立たせる。					
大きな目的		・市民の健康・体力づくり ・青少年の健全育成					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	競技人口				
		考え方・式					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	8,500人	9,000人	10,000人	11,000人	
最終成果指標	指標名	定期的なスポーツ実施率					
	考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率					
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	56%					
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	91.4%	2,089	2,033	1,937	-
	事業費	8.6%	196	327	183	
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	2,285	2,360	2,120	0
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	2,285	2,360	2,120	0	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.20	0.20	0.20	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.20	0.20	0.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	1	1		
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要		内容				
有効性 4点	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				3	3		
	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い					
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している						<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	
効 率 性 3点	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	-1	-1			
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし					
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	-1	-1		
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している		単位コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない				
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い		<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
	手段(1~ 3)	高し,または低い場合の理由							
コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		改善し,効果を得た	改善したが,効果がなかった			
	↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり						<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	C	平成16年度実施した改善の方向性	改善し,効果を得た	改善したが,効果がなかった			
		<input type="checkbox"/>	D						
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	コスト削減		改善内容	副賞の見直し 郵便料の見直し		総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題										
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称									
	意見,要望内容									
課題・要望等への対応	(1)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(2)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(3)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
その他考えられる改善のアイデア										
平成18~20年度の方向性	他市と比較して,対象を県大会にまで広げているため,裾野は広がっているが,スポーツ振興基金の利息収入の減少により対象を絞っていくよう検討していく。		今後の方向性	1次評価	2次評価					
			拡大・充実							
			現状維持							
			方法改善							
			民間委託等							
			縮小							
2次評価委員会コメント			統合/終期設定							
			廃止/休止							

(一般事業)	事業コード	3240200	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	体育館管理運営						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	スポーツ・青少年課		
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援	記入者氏名	白川 誠二		
体系	細			電話番号	近田 真		
事業期間	昭和47年7月から	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	22-0358		
根拠法令・要綱等	芦屋市立体育館・青少年センターの設置及び管理に関する条例			内線	92-201		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金			実施主体	文化振興財団委託		
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 財団法人芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託			委託内容			
事業の概要							
開場時間 午前9時から午後9時							
休館日 毎月第1及び第3月曜日							
12月27日から1月3日							
事業の現状 目的実現のための手段及び実施内容							
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	施設の利用件数				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	317,064人	320,465人	328,173人	330,000人	335,000人
	単位コスト	349円/人	341円/人	296円/人	142円/人		
	結果指標 (2)	指標名					
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	体育館・青少年センターを利用する市民				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	328,173	比率(b÷a)%	
	意図 (対象を主語にして)	体育館・青少年センターを利用する市民にスポーツ等を行う場所を提供し、市民の健康・体力づくりの増進や青少年の健全な育成を図る。				
大きな目的						
・市民の健康・体力づくりの増進。 ・スポーツの振興。						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	競技人口			
		考え方・式				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	8,500人	9,000人	10,000人	11,000人	
	最終成果 指標	指標名	定期的なスポーツ実施率			
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率			
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値	56%					
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	2,482	住民1人当り(円)	1,079	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	3.4%	3,067	3,426	3,312	-
	事業費	46.1%	58,686	56,827	44,738	46,772
	他部門経費					-
	減価償却費	50.5%	49,068	49,068	49,068	-
	合計	100.0%	110,821	109,321	97,118	46,772
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	34.1%	26,833	27,808	33,094	
一般財源	65.9%	83,988	81,513	64,024	46,772	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.30	0.35	0.35	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.30	0.35	0.35	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			1	1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握						
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない						
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない						
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由: _____							
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)							
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である							
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 管理運営経費の見直し							
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容		課題: 経費の削減	<input type="checkbox"/> D	改善内容: 委託料の見直し 平成18年4月より指定管理者制度の導入に向けて検討中		<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		指定管理者制度による民営化 休館日以外の月曜日の利用率が低い							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称								
	意見,要望内容								
課題・要望等への対応	(1)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア									
平成18~20年度の方向性		平成18年4月から指定管理者制度を導入による民間委託を行なう。					今後の方向性	1次評価	2次評価
							拡大・充実		
							現状維持		
							方法改善		
							民間委託等		
							縮小		
							統合/終期設定		
							廃止/休止		
2次評価委員会コメント		指定管理者制度の導入等を進めてください。							

(一般事業)	事業コード	3240210	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	中央公園野球場, 川西運動場, 芝生広場管理運営						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	社会教育部		
総合計画	中	2 生涯学習社会の実現	所管課長氏名	白川 誠二		
政策施策	小	4 スポーツ・レクリエーション活動への支援	記入者氏名	近田 真		
体系	細		電話番号	22-0358 内線 92-201		
事業期間		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	文化振興財団委託		
根拠法令・要綱等		芦屋市都市公園条例, 同施行規則	委託内容			
実施手法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金				
委託先		<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 財団法人芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託				
事業の概要	中央公園野球場, 川西運動場, 芝生広場の管理運営					
事業の現状	中央公園野球場 4月から9月 午前7時から午後7時 10月11月3月 午前9時から午後9時 12月から2月 午前9時から午後5時 川西運動場 午前9時から午後9時 芝生広場 午前9時から午後5時 休場日 12月28日から1月4日					
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	施設の利用件数			
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	2,205件	2,263件	2,226件	2,300件	2,300件
	単位コスト	10,458円/件	9,746円/件	8,739円/件	8,417円/件	
結果指標(2)	指標名					
	年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値					
	単位コスト					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	屋外施設(中央公園野球場, 川西運動場, 芝生広場)を利用する市民				
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	2,226件	比率(b÷a)%	
意図(対象を主語にして)	図	屋外施設を利用する市民にスポーツ等を行う場所を提供し, 市民の健康・体力づくりの増進や青少年の健全な育成を図る。				
大きな目的	目的	・市民の健康・体力づくりの増進。 ・スポーツの振興。				
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	市民の健康度			
		年 度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値					
	最終成果指標	指標名	定期的なスポーツ実施率			
年 度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
指標値	56%					
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	5.2%	1,110	1,077	1,021	-
	事業費	93.0%	21,950	20,980	18,096	19,360
	他部門経費					-
	減価償却費	1.7%			336	-
合計	100.0%	23,060	22,057	19,453	19,360	
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	25.9%	5,116	5,610	5,048	
一般財源	74.1%	17,944	16,447	14,405	19,360	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.10	0.10	0.10	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.10	0.10	0.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			3	3		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない						
		<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握						
		<input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 未把握						
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している							
		<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入							
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合							
		<input type="checkbox"/> 成果向上策あり			<input type="checkbox"/> 特になし				
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない				
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト		<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない				
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由							
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である							
	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない								
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり								
	<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)								
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について							
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている			<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある				
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である			<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である			<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている			<input type="checkbox"/> 特に行っていない				
		内容			管理運営経費の見直し				
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	D	D
			<input type="checkbox"/> D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	経費の削減		改善内容	委託料の見直し 平成18年4月より指定管理者制度の導入に向けて検討中			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		指定管理者制度による民営委託								
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称									
	意見,要望内容									
課題・要望等への対応	(1)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(2)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(3)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
その他考えられる改善のアイデア										
平成18~20年度の方向性		平成18年4月から指定管理者制度の導入による民間委託を行なう。					今後の方向性	1次評価	2次評価	
							拡大・充実			
							現状維持			
							方法改善			
							民間委託等			
							縮小			
							統合/終期設定			
							廃止/休止			
2次評価委員会コメント		指定管理者制度の導入等を進めてください。								

(一般事業)	事業コード	3240220
平成16年度	事業名	テニスコートの運営管理

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	スポーツ・青少年課		
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			記入者氏名	白川 誠二		
体系	細					電話番号	22-0358	内線	92-201
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	文化振興財団委託		
根拠法令・要綱等	芦屋市都市公園条例, 同施行規則					委託内容			
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 財団法人芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託								
事業の概要	テニスコートの管理運営								
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容 供用時間 4月から9月 午前7時から午後7時 10月から3月 午前9時から午後5時 休場日 12月28日から1月4日								
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	施設の利用者数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	8,980件	6,886件	5,527件	6,000件				
	単位コスト	229円/件	311円/件	546円/件	123円/件				
結果指標(2)	指標名								
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値									
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	テニスコートを利用する市民				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	5,527	比率(b÷a)%	
対象・意図	意図(対象を主語にして)	テニスコートを利用する市民にスポーツ等を行う場所を提供し、市民の健康・体力づくりの増進や青少年の健全な育成を図る。				
大きな目的	目的	・市民の健康・体力づくりの増進。 ・スポーツの振興。				
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	競技人口			
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)
	指標値	8,500人	9,000人	10,000人	11,000人	11,000人
	最終成果指標	指標名	定期的なスポーツ実施率			
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	56%					
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		1世帯当り(円)	77	住民1人当り(円)	33	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	33.9%	1,110	1,077	1,021	-
	事業費	66.1%	952	1,067	1,994	736
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合計	100.0%	2,062	2,144	3,015	736	
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	100.0%	2,062	2,144	3,015	
一般財源		0	0	0	736	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.10	0.10	0.10	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
合計	100.0%	0.10	0.10	0.10	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			1	1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない						
		<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握						
		<input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 未把握						
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入						
		<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合							
		<input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし						
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない				
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト		<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない				
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由							
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である				<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない			
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり				<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について							
		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある					
		<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である			<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である			<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている				<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
		内容				管理運営経費の見直し			
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	D	D
			<input type="checkbox"/> D			<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	経費の削減		改善内容	委託料の見直し 平成18年4月より指定管理者制度の導入に向けて検討中			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		指定管理者制度による民営委託						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	テニスコート利用者						
	意見,要望内容	若葉テニスコートの早期再開						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性		平成18年4月から指定管理者制度の導入により民間委託を行なう。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		指定管理者制度の導入等を進めてください。						

(一般事業)	事業コード	3240230
平成16年度	事業名	市民プール管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				スポーツ・青少年課		
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			所管課長氏名	白川 誠二		
体系	細					記入者氏名	近田 真		
事業期間	昭和41年度から		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	22-0358	内線	92-201
根拠法令・要綱等	芦屋市都市公園条例, 同施行規則					実施主体	文化振興財団委託		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託			<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 財団法人芦屋市文化振興財団			<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容			
事業の概要	市民プールの管理運営								
事業の現状	開場時間 7月1日から8月31日 平日 正午から午後6時 土日祝 午前10時から午後6時								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	施設の利用件数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	24,627人	22,643人	27,998人	28,000人	29,000人		
	単位コスト	1,236円/人	1,214円/人	924円/人	798円/人				
	結果指標 (2)	指標名							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市民プールを利用する市民							
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	27,998人	比率(b÷a)%				
意図(対象を主語にして)	市民プールを利用する市民にスポーツ等を行う場所を提供し、市民の健康・体力づくりの増進や青少年の健全な育成を図る。								
大きな目的	・市民の健康・体力づくりの増進。 ・スポーツの振興。								
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名							
		考え方・式							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値								
	最終成果 指標	指標名	定期的なスポーツ実施率						
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率						
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値	56%								
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	661	住民1人当り(円)	287	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	3.9%	1,110	1,077	1,021	-
	事業費	74.8%	23,841	20,916	19,340	22,344
	他部門経費					-
	減価償却費	21.3%			5,504	-
	合計	100.0%	24,951	21,993	25,865	22,344
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	19.0%	4,916	3,922	4,911	
一般財源	81.0%	20,035	18,071	20,954	22,344	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.10	0.10	0.10	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.10	0.10	0.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要なである	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	1	1	
	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握			
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 未把握			
	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	4	
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____ <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由: _____		-2	-2	
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない 内容: 管理運営経費の見直し				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果 <input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容	経費の削減 課題: _____ 改善内容: 委託料の見直し 平成18年4月より指定管理者制度の導入に向けて検討中				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	指定管理者制度による民営委託						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
	意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	平成18年4月から指定管理者制度の導入による民間委託を行なう。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント	指定管理者制度の導入等を進めてください。						

(一般事業)	事業コード	3240290	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	スポーツ振興基金事業(市長杯・教育長杯事業)						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	社会教育部			
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	スポーツ・青少年課			
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			記入者氏名	白川 誠二			
体系	細					電話番号	22-0358	内線	92-201	
事業期間	平成元年度～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市			
根拠法令・要綱等	芦屋市スポーツ振興基金条例					委託先				
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____									
委託										
事業の概要	市長杯・教育長杯表彰状及びレプリカ交付									
事業の現状	各スポーツ団体から年1回、市長杯(成人を対象とした全市規模以上の大会)・教育長杯(高校・中学・小学生を対象全市規模以上の大会)を行うときに表彰状・レプリカを交付する。									
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
		指標値	95個	93個	99個	95個	95個			
	単位コスト	18,074円/個		17,451円/個		15,686円/個				
	結果指標(2)	指標名								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値										
単位コスト										

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	スポーツ団体が主催する全市規模以上の大会に参加する者								
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	99	比率(b÷a)%					
意図(対象を主語にして)	図	スポーツ団体が主催する全市規模以上の大会に参加し、優秀な成績をおさめた者に対し、表彰状・レプリカを交付する。								
大きな目的		<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康・体力づくり スポーツの振興 青少年の健全育成 								
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	競技人口							
		考え方・式								
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	8,500人	9,000人	10,000人	11,000人					
	最終成果指標	指標名	定期的なスポーツ実施率							
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率							
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値	56%									
芦屋市の特色など補足する事項										

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	1世帯当り(円)	40	住民1人当り(円)	17	平成17.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	95.2%	1,599	1,555	1,479	-				
	事業費	4.8%	81	68	74					
	他部門経費					-				
	減価償却費					-				
	合計	100.0%	1,680	1,623	1,553	0				
財源(千円)	国・県									
	市債等									
	その他									
一般財源	100.0%	1,680	1,623	1,553	0					
活動配分(人)	職員	100.0%	0.15	0.15	0.15	-				
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-				
	合計	100.0%	0.15	0.15	0.15	0.00				

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			2	2		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			3	3		
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い					
効率性 3点	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			-3	-3		
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし							
単位の 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	他市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	-3	-3		
		<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト		<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない				
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い					
		高い,または低い場合の理由							
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない							
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である							
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容 <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない							
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	C	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	<input type="checkbox"/>	D	改善内容	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input type="checkbox"/> 改善しなかった			
		レブリカの交付については,現在最小限までコストの削減を行っている。 名義使用の許可については表彰状に公印を押す関係から検討している。							

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		基金が減少してきている。								
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称									
	意見,要望内容									
課題・要望等への対応	(1)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(2)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
	(3)	対応内容								
		実施期限	平成		年		月			
その他考えられる改善のアイデア										
平成18~20年度の方向性							今後の方向性	1次評価	2次評価	
							拡大・充実			
							現状維持			
							方法改善			
							民間委託等			
							縮小			
							統合/終期設定			
							廃止/休止			
2次評価委員会コメント										

(一般事業)	事業コード	3210060
平成16年度	事業名	芦屋川カレッジ

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	公民館			
政策施策	小	1	学習推進体制の整備	所管課長氏名	山口俊春		
体系	細			記入者氏名	山口俊春		
事業期間	昭和60年10年~	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-35-0700 内線 91-510		
根拠法令・要綱等	社会教育法第20条及び第22条 芦屋市立公民館設置条例第3条			実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	60歳以上の市民を対象にした高齢者大学。 (昭和60年の芦屋市主要施策として発足)						
事業の現状	昭和60年(1985)市の主要施策として、高齢者が自ら教養を高め、地域での社会的役割を果たすことができるよう、設置された。発足後も、自主・自立の精神は、講座の運営や自主企画の際に発揮されている。昭和61年、修了生により「芦屋川カレッジ校友会」が結成された。また、カレッジの内容は、時事問題、法律、科学、平和と人権等で、時代にあった魅力的な講座を編成し、元気な高齢者を増やし、自主企画、係活動を通じて受講生の親睦、連帯感を強めている出席率も86%で、受講生間の仲間作りについては、90名(91%)の参加で、修了式当日には同期会の発表会を行った。						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	受講者数(聴講生含む)				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	197/人	178人	181人	190人	190人
	結果指標(2)	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値					
		単位コスト	28,000/人	36,000/人	22,000/人	20,000/人	20,000/人

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	学習意欲のある60歳以上の市民					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	22,788人	受益数(b)	3,255人	比率(b÷a)%	14.3%
意図(対象を主語にして)	図	60歳以上の市民に学習の機会を提供し、教養を高め、活発な交流を実現する。					
大きな目的	生涯学習の推進						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	応募倍率(聴講生除く)				
		考え方・式	応募者数÷募集定員				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	最終成果指標	指標値	1.4倍	1.9倍	1.6倍	1.6倍	1.6倍
		指標名	延べ出席者数				
		考え方・式	芦屋川カレッジと芦屋川カレッジ聴講生の延べ出席者数の和				
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値	4,884人	4,985人	4,572人	4,900人	4,900人		
芦屋市の特色など補足する事項	平成17年3月末日現在、60歳以上の市民の人口比は27%である。						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当たり(円)	132	住民1人当たり(円)	57	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	69.4%	4,001	6,023	3,581	-
	事業費	30.6%	2,211	1,651	1,581	1,578
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	6,212	7,674	5,162	1,578
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	23.6%	644	1,211	1,219	1,270
一般財源	76.4%	5,568	6,463	3,943	308	
活動配分(人)	職員	0.0%	0.05	0.25	0.00	-
	嘱託・臨時等	100.0%	0.95	1.00	1.00	-
	合計	100.0%	1.00	1.25	1.00	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			4	4	
	市関与(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
		<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
		<input type="checkbox"/> いずれにも該当しない	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない					
社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 応募率1.6倍	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握						
優先性,緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容 高齢化に対応した事業である。						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い			4	4	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない					
-成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし						
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 神間高齢者大	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			1	0	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない					
	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い						
	高い,または低い場合の理由							
受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である							
コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	A	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	時代に合ったコースの新設		改善内容			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	学習することに生きがいを感じる元気な高齢者を増やしたい。 自主企画、係活動を通じて受講生の親睦と連帯感を強めることができた。しかし、担当係により親密度に差が生じ今後の課題としたい。 カレッジ20周年記念冊子の作成を、費用が要らない方法で取り組む。							
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称 意見, 要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	受講料の値上げ (現在10,000円を12,000円に)及び定員を100名から110名にする					
		実施期限	平成	18	年	4	月	
	(2)	対応内容	受講料の値上げ (12,000円を15,000円に)					
		実施期限	平成	19	年	4	月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア	受講生の出席状況を見ると、両コースとも終盤出席率が下がる。今回は元気学コースにおいて最終回に受講生による散歩道の発表を入れた結果、出席率が上がった。今後も魅力的な講座を組む必要があると考える。							
平成18~20年度の方向性	・時代にあった魅力的な講座を編成することにより、生涯学習に励む高齢者を支援する。 ・今年度から選択コース講座を公開講座とした。国際1回・元気2回で計140名の受講生を集めた。これは一般市民にもカレッジの講座を体験して貰う意味で好評であった。 今後も続けて行きたい。 ・平成18年度から定員110名にし、受講料の値上げを実施する。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント								

(一般事業)	事業コード	3210070
平成16年度	事業名	芦屋川セカンド・カレッジ

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			公民館			
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			所管課長氏名	山口俊春		
体系	細					記入者氏名	山口俊春		
事業期間	平成3年		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-35-0700	内線	91-510
根拠法令・要綱等	社会教育法第20条及び第22条 芦屋市立公民館設置条例第3条					実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称: _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容: _____								
事業の概要	芦屋川カレッジ修了生対象の高齢者大学 (平成3年、生涯教育への意識の高まりのなかで発足)								
事業の現状	平成3年、生涯教育への意識の高まりのなか、カレッジ修了生を対象にセカンド・カレッジが発足。継続して更に深く生涯学習に励む高齢者を増やし、受講生間の仲間作りや高齢者が、自ら教養を高め、地域での社会的役割を果たす力を身につける。また、地域活動やボランティア活動を通して、社会に貢献できる高齢者を増やしたい。そのためには、その時代にあった魅力あるテーマの設定、高いニーズを求めている市民に対し、行政が応えなければならない。16年度のカレッジは、受講料で支出が補えて、経費収支0である。								
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	受講者数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	265人	142人	216人	220人	220人			
	単位コスト	11,640円/回	21,900円/回	7,000円/回	7,000円/回	7,000円/回			
	結果指標(2)	指標名							
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値									
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	学習意欲を持つ芦屋川カレッジ修了生。					
	対象カバー率	対象数(a)	1,800人	受益数(b)	216人	比率(b÷a)%	12%
	意図 (対象を主語にして)	芦屋川カレッジ修了生がより高度な教養を身に付ける。					
大きな目的	生涯学習の推進						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	応募率				
		考え方・式	応募者数÷募集定員				
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値	124%	138%	108%	130%	130%	
	最終成果指標	指標名	延べ出席者				
考え方・式		Aコース、Bコースの延べ出席者数					
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値	1,958人	1,949人	1,619人	1,700人	1,700人		
芦屋市の特色など補足する事項	平成17年3月末日現在、60歳以上の市民の人口比は27%である。						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	55	住民1人当り(円)	24	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	71.5%	2,874	3,165	1,550	-
	事業費	28.5%	726	729	617	666
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	3,600	3,894	2,167	666
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	29.9%	514	783	648	660
一般財源	70.1%	3,086	3,111	1,519	6	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.35	0.40	0.35	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.35	0.40	0.35	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	4	2		
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 応募率108%	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 高齢化社会に対応した事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要				
	優先性, 緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	0		
	受益者(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない					
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 神間高齢者大 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない	1	0		
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 謝礼が不要である行政職員等の講師を増やした					
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	A	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	時代に合ったコースの新設	改善内容	単位コスト削減について,他市や他団体への調査等を行い,より良い効率性を求めて取り組む			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	継続して学習に励む元気な高齢者を増やしたい。 これほど行政に高いニーズを求めている市民に対し,グループ化を図ることは難しいが,今後の検討課題としたい。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	芦屋川カレッジ修了生						
	意見,要望内容	「芦屋川カレッジ大学院」として「セカンド・カレッジ」の存続の要望が強い。						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア	その時代にあった魅力あるテーマの設定 散歩道の発表を入れた結果,出席率が上がった。今後も魅力的な講座を組む必要があると考える。							
平成18~20年度の方向性	・時代にあった魅力的な講座を編成することにより,生涯学習に励む高齢者を支援する。 ・さらに深く生涯学習に励む高齢者が増え,仲間作りや地域での社会的役割を果たす力を身につける。 ・「芦屋川カレッジ大学院」としての「セカンド・カレッジ」の存続の要望が強い受講生のニーズにどう答えていくか。 ・平均年齢70歳・最高年齢91歳の受講生の学習態度は非常に意欲的で,平均出席者81%と人気のある「セカンド・カレッジ」を生涯学習に励む高齢者を支援する,より良い方向性を探求し,継続するべきか検討していく。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	市の関与の妥当性に欠けるため,自主運営を促進してください。							

(一般事業)	事業コード	3210210
平成16年度	事業名	市民センター管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会 社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			市民センター			
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			所管課長氏名	川崎正年		
体系	細					記入者氏名	川崎正年		
事業期間	昭和38年11月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-31-4995	内線	91500
根拠法令・要綱等	芦屋市民センター運営条例(芦屋市民会館条例, 芦屋市立公民館設置)								
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	(財)芦屋市文化振興財団		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	施設の管理運営	
事業の概要	市民の生活文化の向上と教育の振興に資するため、室を提供する。								
事業の現状	生涯学習や社会福祉活動の場の提供及び芸術・文化に関するイベント・セミナー等の開催支援								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	利用件数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	15,194件	15,839件	16,311件	17,442件			
	単位コスト								
	結果指標 (2)	指標名							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値									
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市民センター施設及びその利用者							
	対象カバー率	対象数(a)	29,070室	受益数(b)	16,311件	比率(b÷a)%	56.1%		
	意図 (対象を主語にして)	市民センターの施設,設備を良好に維持するとともに,市民のニーズに対応できるよう配置し,来館者(市民)が安全・快適に利用し,もって市民の文化振興に資する。							
大きな目的	市民の生活文化の向上と教育の振興								
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	利用率(%)						
		考え方・式	利用室数/全室数×100						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	52.5%	54.5%	56.1%	60.0%				
	最終成果 指標	指標名							
		考え方・式							
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値									
芦屋市の特色など補足する事項	市民会館(本館・ルナホール),福祉会館,老人福祉会館,公民館からなる複合施設								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	5,948	住民1人当り(円)	2,585	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	4.9%	10,405	9,680	11,412	-
	事業費	55.5%	163,808	133,572	129,144	134,086
	他部門経費					-
	減価償却費	39.6%			92,158	-
	合計	100.0%	174,213	143,252	232,714	134,086
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	28.7%			66,733	60,624
一般財源	71.3%	174,213	143,252	165,981	73,462	
活動配分 (人)	職員	100.0%			1.10	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.00	0.00	1.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			5	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない				
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である				
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 小ホールの午後の利用率は98%に達する			3	3
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容:平成13年12月に「文化芸術振興基本法」が制定された。				
有効性 4点	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度			<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	
有効性 4点	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している					
有効性 4点	-成果向上余地(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり					
	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	神戸,西宮,尼崎	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		
有効性 3点	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である					
	手段(1~ 3)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり					
有効性 3点	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている					
	平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価 B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	なお一層のコスト縮減		改善内容	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	(1)日曜日・祝日の夜間開館 (2)指定管理者制について (3)施設の老朽化(4)利用率の向上(5)不法駐輪対策						
市民,関係者からの意見等	市民,関係者の名称	市議会及び利用団体					
	意見,要望内容	日曜日・祝日の夜間開館,全館禁煙,駐車場利用時間の延長					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	日曜日・祝日の夜間開館については,多くの利用は見込めないと想定しており,そのためのコストとの比較をすれば,現在の財政状況から勘案すれば消極的な考えである。				
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容	指定管理者制を導入するには解決すべき課題があるので,。当面,委託方法の見直しで対応したい。				
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容	優先順位を決めるとともに,財源の確保が課題。				
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア	施設整備と維持管理を加えたPFIの可能性の検討						
	エスコ事業の導入の可能性の検討						
平成18~20年度の方向性	民間への業務委託は実施しているが,見直しによるさらなるコスト縮減につながる委託方法の再検討や業務内容の点検を行う						今後の方向性
							拡大・充実
							現状維持
							方法改善
							民間委託等
							縮小
						統合/終期設定	
						廃止/休止	
2次評価委員会コメント	民間活力の導入について,引き続き検討してください。運営委託のための施設・設備改修等を含めた経費や負担方法,委託方法等について検討してください。						

(一般事業)	事業コード	3210170
平成16年度	事業名	図書館運営事業(視聴覚ライブラリー)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			図書館			
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			所管課長氏名	大西 和昭		
体系	細					記入者氏名	大西 和昭		
事業期間	昭和62年~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-31-2301	内線	3297
根拠法令・要綱等	図書館設置条例					実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	視聴覚教材・資料の整備と活用								
事業の現状	市民及び学校・社会教育登録団体等にビデオテープやレーザー・ディスク、DVD等を利用してもらえるよう、館内視聴及び講習会開催・貸し出しを行う。 ・所蔵資料 16ミリフィルム：376本，8ミリフィルム：8本，VTR：874本，レーザー・ディスク(LD)：1,181本 レーザー・ディスク(DVD)：192本，コンパクト・ディスク(CD)：580本								
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	一般利用人数(LD・CD等)(延べ人数)						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	4,064人	3,815人	3,390人	3,500人	3,500人		
		単位コスト							
	結果指標(2)	指標名	学校・登録団体利用者数(延べ人数)						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値		1,456人	1,774人	1,097人	1,200人	1,200人			
	単位コスト								

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	・芦屋市に在住，在勤及び在学者 ・学校及び登録団体					
	対象カバー率	対象数(a)	90,024人	受益数(b)	4,487人	比率(b÷a)%	5%
対象・意図	意図(対象を主語にして)	・視聴覚資料・教具を整備し，学校・団体に活用してもらう。 ・映画会上映や個人利用などレクリエーションに供する。					
大きな目的	・図書館からの幅広い学習機会の提供により，住民の生涯学習を支援していく。						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	ライブラリー利用率(単位：%)				
		考え方・式	ライブラリー利用者数/図書館利用者×100				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
		指標値	3%	3%	3%	4%	4%
	最終成果指標	指標名					
考え方・式							
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
	指標値						
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	24	住民1人当り(円)	10	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	99.1%	3,722	4,479	917	-
	事業費	0.9%	245	248	8	87
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	3,967	4,727	925	87
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	3,967	4,727	925	87
活動配分(人)	職員	100.0%		0.50	0.10	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.00	0.50	0.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	-1	-1
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である <input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容:		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	2
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える		
-成果向上余地(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり 新資料を購入し,市民・団体に紹介する。 <input type="checkbox"/> 特になし			
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 宝塚市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由:	-1	-2
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない 内容: ほぼ教員の補修費のみで運営している。		
平成16年評価内容及び改善の方向性 平成16年度評価結果 <input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D 平成16年度実施した改善の方向性 <input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input checked="" type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input type="checkbox"/> 改善しなかった	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容 課題: 改善内容:			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・視聴覚ライブラリーの機材の老朽化により,再生機器の部品が入手困難。 ・新教材・資料を購入できないため,利用が減少傾向が続いている。			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	利用団体 2次評価委員会		
	意見,要望内容	新しい機器・教材・資料を導入してほしい。 貴重なフィルム等の保管方法を検討し,事業縮小に努めてください。		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	各団体への研修会参加要請	
		実施期限	平成	17年 4月
	(2)	対応内容		
	実施期限	平成	年 月	
	(3)	対応内容		
	実施期限	平成	年 月	
その他考えられる改善のアイデア	教材等の相互活用			
	教材目録の発行・配布			
平成18~20年度の方向性	視聴覚教育の必要性はあるが,市の負担を増大させず機器補修いながら現状維持の状態で運営する。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	郷土資料等の活用を検討するとともに,ボランティア等による運営など市民の参画の機会をより進めてください。			

(一般事業)	事業コード	3210180	部	長	次	長	課	長
平成16年度	事業名	図書館運営事業(読書会・研究会・鑑賞会等の主催)						

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 図書館				
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	大西 和昭				
政策施策	小	1	学習推進体制の整備	記入者氏名	大西 和昭				
体系	細			電話番号	0797-31-2301	内線	3297		
事業期間	昭和28年～			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時			
根拠法令・要綱等				実施主体	市				
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 ボランティア					
事業の概要	市民に多様な学習機会を提供する。								
事業の現状	催物を開催し、市民の教養・知的欲求に資す。 ・金曜シネサロン(映画鑑賞) 48回 4,350人 ・折り紙教室 2回 160人 ・子どもおはなしの会 45回 599人 ・絵本の会 45回 997人 ・人形劇の会 1回 200人 ・その他 45回 964人								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	開催回数(全催物合計回数)						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	174回	180回	186回	190回	190回		
	単位コスト								
	結果指標 (2)	指標名	参加人数(全催物合計回数)						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値		7,648人	7,724人	7,270人	7,500人	7,500人			
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	・芦屋市内に在住する人及び在勤・在学者					
	対象カバー率	対象数(a)	90,024人	受益数(b)	7,270人	比率(b÷a)%	8.1%
意図 (対象を主語にして)	・図書館の利用者を増やす ・物語や本に親しむ機会にする						
大きな目的	・図書館からの幅広い学習機会の提供により、住民の生涯学習を支援していく。						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	・参加率(単位:%)				
		考え方・式	催物参加者数/来館者数×100				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	4%	4%	4%	5%	5%	
	最終成果 指標	指標名					
考え方・式							
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	107	住民1人当り(円)	47	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	98.1%	14,018	5,846	4,118	-
	事業費	1.9%	130	115	79	
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	14,148	5,961	4,197	0
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	14,148	5,961	4,197	0	
活動配分 (人)	職員	81.8%		0.80	0.45	-
	嘱託・臨時等	18.2%		0.60	0.10	-
	合計	100.0%	0.00	1.40	0.55	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価			
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	4	3			
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 参加人数:7,270人	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している 内容:	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	1			
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神7市 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由:	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない	-1	-2			
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input checked="" type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 人件費及び事業費の削減 <input type="checkbox"/> 特に行っていない						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C <input checked="" type="checkbox"/> D	平成16年度実施した改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	D	D
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	経費の削減	改善内容	人件費及び事業費の削減			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け行事の低年齢者の参加者の増加に対する行事計画 乳幼児向けの読書相談,選書アドバイスの必要性 	
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	2次評価委員会コメント	
	意見,要望内容	・映画鑑賞会は廃止すること。	
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館で行事を開催することにより,市民の教養・研究等に資し,図書館の効果的な利用を推進する。 ・映画鑑賞会は縮小する。 	
平成18~20年度の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の保護者に読書相談を実施して参加者人数を増やすとともに,ボランティア・グループを更に育成し,図書館の文化的活動をより充実させる。 	今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民間委託等 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合/終期設定 <input type="checkbox"/> 廃止/休止
2次評価委員会コメント		ボランティア等による運営など市民の参画の機会をより進めてください。	

(一般事業)	事業コード	3210190
平成16年度	事業名	図書館運営事業(資料発行)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			図書館			
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			所管課長氏名	大西 和昭		
体系	細					記入者氏名	大西 和昭		
事業期間	昭和43年~		経常臨時	<input type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-31-2301	内線	3297
根拠法令・要綱等	図書館設置条例					実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称				<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	・図書館及び資料等の情報提供								
事業の現状	・図書館だより「みんなの本棚」の発行(毎月1回) ・図書館ホームページの運営								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	発行部数(「みんなの本棚」)						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	1,200部	1,200部	1,200部	1,200部	1,200部		
	結果指標 (2)	指標名	アクセス件数(ホームページ)						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市民及び市外利用者					
	対象カバー率	対象数(a)	90,024人	受益数(b)	1,200人	比率(b÷a)%	1.3%
意図 (対象を主語にして)	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館に関する関心及び利用・参加を促す。 <input checked="" type="checkbox"/> 行事の案内、情報提供により図書館への関心、利用・参加を促す。						
大きな目的	・図書館からの幅広い学習機会の提供により、住民の生涯学習を支援していく。						
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	来館者数				
		考え方・式	利用・参加を促す				
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	168,250人	173,746人	165,149人	170,000人	175,000人	
	最終成果 指標	指標名	アクセス件数(ホームページ)				
考え方・式		1年間のアクセス数					
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
指標値			321,471人	350,000人	350,000人		
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	82	住民1人当り(円)	36	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	100.0%	5,073	3,223	3,204	-
	事業費	0.0%	0	0	0	
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	5,073	3,223	3,204	0
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	5,073	3,223	3,204	0	
活動配分 (人)	職員	100.0%		0.40	0.40	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.00	0.40	0.40	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			5	5	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 321,471人(アクセス件数)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			3	3	
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要 内容: ペーパーに限らず,ホームページ等多様な媒体を駆使する。					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い			-1	-1	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える					
効 率 性 3点	- 成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり	魅力ある資料群を整備し,媒体を駆使して資料群を紹介する <input type="checkbox"/> 特になし			-1	-1	
	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 川西市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない					
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない					
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	高い,または低い場合の理由: _____					
率 性 3点	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input checked="" type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			-1	-1	
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない					
		内容: 事業費はゼロ。						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	<input checked="" type="checkbox"/> D	改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった <input type="checkbox"/> 改善しなかった			
		事業費はゼロ。手作りで運営し,HPのアクセス数等効果は甚大。						

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		<ul style="list-style-type: none"> 紙面内容及びレイアウト等の改善 配布場所の拡充 ホームページ等新メディアの活用 					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	2次評価委員会					
	意見,要望内容	啓発媒体の検討を行ってください。					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
その他考えられる改善のアイデア	新本の情報提供だけでなく,図書館の催し物の開催の案内等,常に新しい情報提供をめざす。 ホームページの充実						
平成18~20年度の方向性	・ホームページの運営にボランティアグループの参画を求め,内容の充実を図る。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント	ボランティア等による運営など市民の参画の機会をより進めてください。						

(一般事業)	事業コード	3210240
平成16年度	事業名	谷崎潤一郎記念館の管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 谷崎潤一郎記念館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	三好雄介		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			記入者氏名	三好雄介		
体系	細					電話番号	23-5852 内線		
事業期間	昭和63年10月開館~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	芦屋市		
根拠法令・要綱等	芦屋市谷崎潤一郎記念館条例, 同施行規則					委託先			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	(財)芦屋市文化振興財団		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	芦屋市谷崎潤一郎記念館の維持管理								
事業の現状	芦屋市谷崎潤一郎記念館の維持管理 ・各設備等保守点検 ・施設補修 ・館及び館周辺の清掃 ・夜間機械警備								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	補修を要する箇所件数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	1件	3件	4件	1件	1件			
	単位コスト								
結果指標 (2)	指標名								
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値	1件	3件	4件	1件	1件				
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市民等谷崎潤一郎記念館の入館者				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	10,780人	比率(b÷a)%	
意図 (対象を主語にして)	市民等入館者が安全快適に観覧できるような設備・施設を良好に維持する。					
大きな目的	市民等谷崎潤一郎記念館の入館者が安全快適に観覧いただく。					
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	補修回数			
		考え方・式	谷崎潤一郎記念館の設備・施設を良好に維持するための補修回数			
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)
	指標値	1回	3回	4回	1回	1回
最終成果 指標	指標名	入館者数				
	考え方・式	谷崎潤一郎記念館に来ていただいた入館者。				
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)	
指標値	11,764人	11,718人	10,780人	11,000人	12,000人	
芦屋市の特色など補足する事項	全国唯一本市に「谷崎潤一郎記念館」がある。					

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	359	住民1人当り(円)	156	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	20.0%		2,396	2,813	-
	事業費	45.9%	7,516	11,956	6,450	6,276
	他部門経費	0.0%		676	0	-
	減価償却費	34.1%		4,792	4,792	-
	合計	100.0%	7,516	19,820	14,055	6,276
財源 (千円)	国・県			1,600		
	市債等					
	その他	0.4%	56	56	58	63
一般財源	99.6%	7,460	18,164	13,997	6,213	
活動配分 (人)	職員	100.0%		20.00	25.00	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.00	20.00	25.00	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			3	3		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			5	5		
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度					<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	
効率性 3点	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している					0	0	
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している							
	-成果向上余地(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える							
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名	全国文学館	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない		0	0	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト		<input type="checkbox"/> 把握していない				
		<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由							
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である					0	0	
		<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない							
	手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり							
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている					総合評価	B	B
		内容: 維持管理経費の見直しとコスト削減を図る。							
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	・経費削減		改善内容	・コストの見直しによる経費削減。 清掃委託料の見直し他。			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		<ul style="list-style-type: none"> ・空調機器の交換が終了し,今のところ施設面で緊急を要するものはない。 ・経済的,効率的な運営のため,開館日数の削減。 							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称								
課題・要望等への対応	(1)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア									
平成18~20年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の導入の検討。 ・開館日数の変更。(6日開館 金土日の3日開館。) ・民間活力の導入が理想であるが,寄贈者・寄託者への対応が課題になる。 					今後の方向性	1次評価	2次評価	
							拡大・充実		
							現状維持		
							方法改善		
							民間委託等		
							縮小		
							統合/終期設定		
							廃止/休止		
2次評価委員会コメント	指定管理者制度の導入等を検討してください。								

(一般事業)	事業コード	3250170
平成16年度	事業名	谷崎潤一郎賞受賞記念文化事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				谷崎潤一郎記念館		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援			所管課長氏名	三好雄介		
体系	細					記入者氏名	三好雄介		
事業期間	平成12年度~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	23-5852	内線	
根拠法令・要綱等	芦屋市谷崎潤一郎記念館条例, 同施行規則					実施主体	芦屋市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容				
事業の概要	わが国文学界の権威ある賞として知られている中央公論新社「谷崎潤一郎賞」の受賞者を芦屋市に招き、講演会を開催する。(中央公論新社, 読売新聞大阪本社, 芦屋市の共催事業)								
事業の現状	谷崎潤一郎記念館が本市にあることから、「谷崎潤一郎賞」受賞記念文化事業として取り組み、中央公論新社・読売新聞大阪本社・芦屋市の共催事業として定着してきた。 市民の教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため市民に文化事業への参加機会をより多く提供する。 合わせて、谷崎潤一郎記念館の活性化を図る。 ルナ・ホールを会場として、市民を始め近畿各地からの参加がある。								
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	参加者数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	約400人	254人	365人	450人	500人			
	単位コスト								
結果指標(2)	指標名	谷崎潤一郎記念館の入館者数							
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	11,764人	11,718人	10,780人	11,000人	12,000人			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市民及び近畿圏の谷崎潤一郎作品及び文学の愛好者。							
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	10,780人	比率(b÷a)%				
	意図(対象を主語にして)	市民が講演会に接することにより、教養の向上を図りもって市民文化の発展に寄与するため開催。民間活力の導入を図りながら開催する事業として定着してきた。谷崎潤一郎記念館のPRとともに本市が発信する文化事業としても役割が大きい。							
大きな目的	関西(芦屋)から発信する文化事業として定着させ、谷崎潤一郎記念館の活性化と谷崎文学の拠点として文化振興に大きく寄与している。								
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	谷崎潤一郎記念館の入館者数						
		考え方・式	講演会実施による谷崎潤一郎記念館のPRで入館者の増加につながる。						
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	11,764人	11,718人	10,780人	11,000人	12,000人			
最終成果指標	指標名	市内を訪れる観光客数							
	考え方・式	国際文化住宅都市芦屋を訪れる観光客数。文化施設も都市の魅力向上に貢献している。							
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値	720,000人	779,000人	未確定	未定	未定				
芦屋市の特色など補足する事項	全国唯一芦屋市にある「谷崎潤一郎記念館」である。								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	29	住民1人当り(円)	13	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	49.7%	599	563	-	
	事業費	50.3%	603	423	668	
	他部門経費		0	0	-	
	減価償却費		0	0	-	
	合計	100.0%	603	1,022	1,133	668
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	0.0%	0	0	0	0
	一般財源	100.0%	603	1,022	1,133	668
活動配分(人)	職員	100.0%	0.05	0.05	0.05	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.05	0.05	0.05	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			3	1	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり PRの充実。 <input type="checkbox"/> 特になし						
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: _____	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			0	0	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない					
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	高い,または低い場合の理由: _____					
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 共催団体からPR経費等の負担を得ている。						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	D
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	<input type="checkbox"/> D	改善内容	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た <input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		・参加費の徴収。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性		・民間との協力関係強化。 ・事業PRの強化。 ・参加費用徴収の検討。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		民間主体で進めるように検討してください。						

(一般事業)	事業コード	3250190
平成16年度	事業名	谷崎潤一郎に関する資料の収集・整理・展示事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部			
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				谷崎潤一郎記念館			
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援			所管課長氏名	三好雄介			
体系	細					記入者氏名	三好雄介			
事業期間	平成63年10月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	23-5852	内線		
根拠法令・要綱等	芦屋市谷崎潤一郎記念館条例, 同施行規則					実施主体	芦屋市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称(財)芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容									
委託	谷崎潤一郎に関する資料の収集・整理・展示等を行う。									
事業の概要	展覧会の開催。 ・常設展「谷崎潤一郎・人と作品」 企画コーナーを設け、テーマに沿って館蔵品等を展示。									
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容									
アウトプット	結果指標(1)	指標名	企画展の開催							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	1回	1回	0回	0回	0回				
	単位コスト									
指標	結果指標(2)	指標名	企画展の入館者数							
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	1,923人	1,863人	0人	0人	0人				
単位コスト										

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市民及び全国の谷崎潤一郎作品及び文学の愛好者。								
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)		10,780人	比率(b÷a)%				
対象・意図	意図(対象を主語にして)	多くの市民に谷崎文学の世界を楽しんでいただくとともに、文豪谷崎潤一郎の業績を顕彰することを目的として建設。自筆原稿・書簡・書籍・愛用品等を展示している。								
大きな目的	目的	谷崎潤一郎文学の業績をしのび、その作品遺品等に接することを通じて市民の教養を向上を図り、もって市民文化の発展に寄与する。谷崎作品は、外国語にも翻訳されており海外からの入館者もある。								
アウトカム	中間成果	指標名	小企画展の開催数							
		考え方・式	企画展(特別展)に替えて小企画展を開催。入館者の増加を図る。							
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
	指標値	0	0	3回	5回	5回				
最終成果	指標名	入館者数								
	考え方・式	小企画展開催による効果(入館者数)。								
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)					
指標値	11,764人	11,718人	10,780人	11,000人	12,000人					
芦屋市の特色など補足する事項	事項	全国唯一芦屋市に「谷崎潤一郎記念館」がある。								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	104	住民1人当り(円)	45	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	0.0%		0	0	-
	事業費	100.0%	5,935	5,672	4,059	3,768
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合計	100.0%	5,935	5,672	4,059	3,768	
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	68.4%	3,121	3,080	2,778	3,397
一般財源	31.6%	2,814	2,592	1,281	371	
活動配分(人)	職員	#DIV/0!	0.00	0.00	0.00	-
	嘱託・臨時等					-
合計		0.00	0.00	0.00	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			3	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			3	3	
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度					<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い
効果 率 3点	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			0	0	
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える					
	-成果向上余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり	PRの充実と特別展(企画展)の再開 <input type="checkbox"/> 特になし					
効果 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			0	0	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない					
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度					
		高い,または低い場合の理由	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い					
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容 企画展の一時中断。						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	・経費削減		改善内容			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		<ul style="list-style-type: none"> 入館者増のためのPRの強化。 イベントを開催し,館の活性化を図る。 企画展(特別展)の開催。 							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称								
	意見,要望内容								
	課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
			実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア		17年度のイベントとして「茶席」を開催(6月)。							
平成18~20年度の方向性		<ul style="list-style-type: none"> 民間企業との協力関係強化。 PRの強化。 民間活力の導入が理想であるが,寄贈者・寄託者等への対応が難しい。 イベントを開催し,館のイメージアップと活性化を図る。 				今後の方向性	1次評価	2次評価	
						拡大・充実			
						現状維持			
						方法改善			
						民間委託等			
						縮小			
						統合/終期設定			
						廃止/休止			
2次評価委員会コメント		指定管理者制度の導入等を検討してください。							

(一般事業)	事業コード	3250210
平成16年度	事業名	谷崎潤一郎及び記念館に関する資料等の出版事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				谷崎潤一郎記念館		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援			所管課長氏名	三好雄介		
体系	細					記入者氏名	三好雄介		
事業期間	平成63年10月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	23-5852	内線	
根拠法令・要綱等	芦屋市谷崎潤一郎記念館条例, 同施行規則					実施主体	芦屋市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称(財)芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容								
事業の概要	谷崎潤一郎記念館ニュースの編集及び発行(～15年度年2回, 16年度～年1回)								
事業の現状	谷崎潤一郎記念館ニュースは, 館のPR紙として谷崎作品に関する解説・研究報告, 谷崎潤一郎研究者からの寄稿, 展覧会情報, 事業のPR及び報告, 利用案内等掲載。ホームページとともに貴重なPR手段である。 16年度は, 第40号2,000部発行。								
アウトプット	結果指標(1)	指標名	発行部数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	4,000部	4,000部	2,000部	2,000部	2,000部			
	単位コスト								
結果指標(2)	指標名	入館者数							
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	11,764人	11,718人	10,780人	11,000人	12,000人			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	入館者及び谷崎潤一郎作品及び文学の愛好者等への情報提供・PR。							
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	10,780人	比率(b÷a)%				
	意図(対象を主語にして)	入館者等谷崎作品の愛好者に対し, 谷崎作品に関する解説・研究報告, 谷崎潤一郎研究者からの寄稿, 展覧会情報, 利用案内等を提供する。							
大きな目的	市民等の入館者が, 谷崎潤一郎文学の業績をしのび, その作品遺品等に接することを通じて市民の教養を向上を図り, もって市民文化の発展に寄与する。谷崎作品は, 外国語にも翻訳されており海外からの入館者もある。								
アウトカム	中間成果	指標名	入館者数						
		考え方・式	記念館ニュースの発行によるPR効果で入館者増につながったか。						
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	11,764人	11,718人	10,780人	11,000人	12,000人			
最終成果	指標名	市内を訪れる観光客							
	考え方・式	国際文化住宅都市芦屋を訪れる観光客数。文化施設も都市の魅力向上に貢献している。							
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値	720,000人	779,000人	未確定	未定	未定				
芦屋市の特色など補足する事項	全国唯一芦屋市に「谷崎潤一郎記念館」がある。								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	10	住民1人当り(円)	4	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	0.0%	599	0	-	
	事業費	100.0%	585	552	379	555
	他部門経費		0	0	-	
	減価償却費		0	0	-	
	合計	100.0%	585	1,151	379	555
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	0.0%	0	0	0	0
	一般財源	100.0%	585	1,151	379	555
活動配分(人)	職員	#DIV/0!	0.05	0.05	0.00	-
	嘱託・臨時等					-
	合計		0.05	0.05	0.00	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	3			3		
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない						
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である						
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている						
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない						
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握						
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要						
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる							
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3			3	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入						
		↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり	ニュース内容の充実。	<input type="checkbox"/> 特になし					
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名 全国文学館	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	0			0	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない					
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い					
		高い,または低い場合の理由							
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について							
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない						
		↳ 内容	発行回数の削減。						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	総合評価			B	B
			<input type="checkbox"/> D	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった					
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	・経費の削減。	改善内容	・ニュースの発行を年1回とした。				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		・PRの強化のためホームページの充実が必要。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称								
	意見,要望内容								
課題・要望等への対応	(1)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(2)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
	(3)	対応内容							
		実施期限	平成		年		月		
その他考えられる改善のアイデア									
平成18~20年度の方向性		・民間企業との協力関係強化。					今後の方向性	1次評価	2次評価
							拡大・充実		
							現状維持		
							方法改善		
							民間委託等		
							縮小		
							統合/終期設定		
							廃止/休止		
2次評価委員会コメント		指定管理者制度の導入等を検討してください。							

(一般事業)	事業コード	3210260
平成16年度	事業名	美術博物館管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				芦屋市立美術博物館		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			所管課長氏名	三好雄介		
体系	細					記入者氏名	三好雄介		
事業期間	平成3年3月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-5432	内線	
根拠法令・要綱等	芦屋市立美術博物館条例, 同施行規則				実施主体	芦屋市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	(財)芦屋市文化振興財団		<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容	
事業の概要	美術博物館の管理運営								
事業の現状	美術博物館の維持管理 ・各設備保守点検 ・施設補修 ・館内及び館周辺の清掃 ・夜間警備								
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	補修を要する箇所件数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	7件	0件	4件	0件	0件			
	単位コスト								
結果指標 (2)	指標名	補修件数							
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	7件	0件	4件	0件	0件			
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市民及び全国の美術・歴史等愛好者及び関係者							
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	31,761人	比率(b÷a)%				
意図(対象を主語にして)	図	市民等入館者が安全快適に観覧できるよう, 設備・施設の維持管理を良好にする。							
大きな目的		市民等美術博物館の入館者が, 安全快適に観覧いただくこと。							
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	補修回数						
		考え方・式	美術博物館の設備・施設を良好に維持するための補修回数。						
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	7件	0件	4件	0件	0件			
最終成果 指標	指標名	入館者数。							
	考え方・式	入館者が安全快適に観覧でき, 満足度が向上することにより入館者の増加を図る。							
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値	20,831人	24,080人	31,761人	20,000人	20,000人				
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	1,669	住民1人当り(円)	726	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	8.6%	8,065	7,787	5,627	-
	事業費	41.4%	38,473	27,537	27,023	28,832
	他部門経費	0.0%	0	0	0	-
	減価償却費	50.0%	32,664	32,664	32,664	-
	合計	100.0%	79,202	67,988	65,314	28,832
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	0.8%	1,273	1,351	501	387
一般財源	99.2%	77,929	66,637	64,813	28,445	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.65	0.65	0.50	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.65	0.65	0.50	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない			3	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない					
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である					
		<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている					
			<input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない					
有効性 4点	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			3	3	
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い				
効 率 性 3点	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 全国美術館	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない			0	0	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない					
		↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
		高い,または低い場合の理由: _____						
率 性 3点	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)						
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: コストの見直しで削減を行う。						
平成16年評価内容及び改善の方向性		平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性		総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容		課題	改善内容		・経費削減。 ・管理業務に要するコスト削減に努めた。清掃・警備・エレベーター保守等委託契約の見直しを行い,削減。			

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		・施設の老朽化が進むにつれて,各設備に不具合が生じてきている。施設補修の年次計画が必要。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
	意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成18~20年度の方向性		・民間活力の導入。 ・施設設備の更新。				今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント		指定管理者制度の導入等を検討してください。						

(一般事業)	事業コード	3250110
平成16年度	事業名	富田碎花顕彰事業管理委託

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				芦屋市立美術博物館		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援			所管課長氏名	三好雄介		
体系	細					記入者氏名	三好雄介		
事業期間	昭和62年度~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-5432	内線	
根拠法令・要綱等	芦屋市立美術博物館条例, 同施行規則				実施主体	芦屋市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	(財)芦屋市文化振興財団		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容			
事業の概要	富田碎花旧居の維持管理及び資料の保存・整理・展示を行う。								
事業の現状	詩人富田碎花は、歌集・詩集・訳詩集・評論集などを世に送り、大正・昭和の詩壇に大きな足跡を残した。戦後も詩集のために全国各地を旅し長編詩「兵庫賛歌」を公にするとともに、校歌や市町歌を作詞、その多彩な文化的業績から「兵庫文化の父」とも呼ばれた。 昭和60年4月、ご遺族の意思で残された研究資料のすべてを芦屋市に寄贈された。 その後市が旧居を譲り受け、できるだけ元の姿をとどめた保存整備と資料の保存・整理・展示を行う。								
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	開館日数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	99日	99日	98日	99日	99日		
	結果指標(2)	指標名	見学者数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	788人	1,056人	683人	1,000人	1,000人		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市民及び全国の詩等文学愛好者							
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)		受益数(b)	683人	比率(b÷a)%			
	意図(対象を主語にして)	市民等富田碎花旧居を訪れる方々が、建物のたたずまいや資料展示から情熱の詩人富田碎花の心を感じ取っていただくこと。							
大きな目的	芦屋の豊かな風土は、心のふるさととして多彩な文化を育み、数々の名作を生み出した。兵庫文化の父「富田碎花」の偉業を顕彰し後世へ伝える使命がある。								
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	見学者数						
		考え方・式	富田碎花の業績をしのび訪れる見学者数。						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	最終成果指標	指標名	市内を訪れる観光客数						
		考え方・式	国際文化都市芦屋を訪れる観光客数。文化施設も都市の魅力向上に貢献している。。						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	720,000人	779,000人	未確定	未定	未定		
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	66	住民1人当り(円)	29	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	21.7%	620	120	563	-
	事業費	78.3%	4,627	2,755	2,027	900
	他部門経費			0		-
	減価償却費			0		-
	合計	100.0%	5,247	2,875	2,590	900
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	0.0%			0	0
	一般財源	100.0%	5,247	2,875	2,590	900
活動配分(人)	職員	100.0%	0.05	0.01	0.05	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.05	0.01	0.05	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	3	0	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき、または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	<input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない、または未把握	<input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせて見直しが必要	内容				
	優先性、緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	0		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える			<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない	
- 成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上策あり	PRの充実。	<input type="checkbox"/> 特になし					
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない	-1	-2	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない	↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input checked="" type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない	↳ 内容 資料整理を当分の間凍結。				
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し、効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが、効果がなかった	総合評価	B	D
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	・事業費の削減。	改善内容	・資料整理担当人件費を削減。				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> 現在の管理人が高齢のため、地域ボランティアへの移行を検討。 PRが不足している。 						
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称 意見、要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成18~20年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアへの移行。 PRの充実。 入館料徴収の検討。 				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント	地域ボランティアの活用等を図ってください。						

(一般事業)	事業コード	3250230
平成16年度	事業名	美術博物館展示等委託事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				芦屋市立美術博物館		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援			所管課長氏名	三好雄介		
体系	細					記入者氏名	三好雄介		
事業期間	平成3年3月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-5432	内線	
根拠法令・要綱等	芦屋市立美術博物館条例, 同施行規則				実施主体	芦屋市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 (財) 芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託				委託内容				
美術及び歴史に関する展示事業等を開催する。									
事業の概要									
事業の現状 目的実現のための手段及び実施内容 展示会の開催 ・美術常設展7回 歴史常設展6回 ・公募展(市展, 童美展) ・アートフリーマーケット(春・秋各2日間)									
アウトプット 指標	結果指標 (1)	指標名	特別展開催回数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	2回	2回	1回	0回	0回		
	結果指標 (2)	指標名	特別展入館者数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
		指標値	7,079人	11,695人	16,142人	0人	0人		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市民及び全国の美術・歴史等愛好者							
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)		31,761人	比率(b÷a)%			
	意図 (対象を主語にして)	市民等が芦屋ゆかりの作家を中心に開催する展示会で、優れた美術品に親しんでいただく。また、芦屋の自然や歴史について興味を持ち理解を深める機会の提供を行う。							
大きな目的		より良い展示会を開催することにより、市民等入館者の教養の向上を図り文化の振興及び発展に寄与する。							
アウトカム 指標	中間成果 指標	指標名	入館者数						
		考え方・式	より良い展示会を開催することにより、入館者の増加を図る。						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	20,831人	24,080人	31,761人	20,000人	20,000人			
	最終成果 指標	指標名	市内を訪れる観光客数。						
		考え方・式	国際文化都市芦屋を訪れる観光客数。文化施設も都市の魅力向上に貢献している。						
年度		平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
指標値	720,000人	779,000人	未確定	未定	未定				
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	737	住民1人当り(円)	320	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳 (千円)	人件費	21.7%	6,081	6,141	6,259	-
	事業費	78.3%	29,601	25,916	22,587	20,000
	他部門経費	0.0%		0	0	-
	減価償却費	0.0%		0	0	-
	合計	100.0%	35,682	32,057	28,846	20,000
財源 (千円)	国・県		1,500			
	市債等					
	その他	41.2%	5,146	8,983	11,889	3,970
一般財源	58.8%	29,036	23,074	16,957	16,030	
活動配分 (人)	職員	100.0%	0.90	0.92	0.95	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.90	0.92	0.95	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	3	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		3	3	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入					
	-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし					
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 全国の美術館	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	<input type="checkbox"/> 把握していない	0	0	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり	<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない	↳ 内容	コストの見直しで削減を行う。			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	・事業費の削減。	改善内容	・展覧会経費の見直しを行い削減を行う。特別展の回数は削減したが,入館者の増加は図れた。				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> 入館者の増加対策。 ボランティアとの協働。 民間活力の導入。 							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア	展示内容の見直し。特別展(企画展)を開催する。 ホームページ等を活用した積極的なPR。 館員の意識改革を図り,親しまれる美術博物館を目指す。							
平成18~20年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 策定した「基本方針」に基づき,展覧会事業の見直しをおこなう。 限られた予算の中で,より魅力的な展覧会事業が実施できるよう知恵を絞る。 民間活力の導入の導入が望ましいが,寄贈・寄託の館蔵品の取り扱いが難しい。 					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
						統合/終期設定		
						廃止/休止		
2次評価委員会コメント	指定管理者制度の導入等を検討してください。							

(一般事業)	事業コード	3250270
平成16年度	事業名	公募展

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				芦屋市立美術博物館		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援			所管課長氏名	三好雄介		
体系	細					記入者氏名	三好雄介		
事業期間	平成3年3月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	38-5432	内線	
根拠法令・要綱等	芦屋市立美術博物館条例, 同施行規則				実施主体	芦屋市			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	(財)芦屋市文化振興財団		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容			
事業の概要	芦屋市展(昭和23年~), 童美展(昭和25年~), わたしの芦屋展(平成12年~)の公募展を開催する。								
事業の現状	芦屋市展・・・プロ・アマを問わず西日本一円から各部門に応募がある。(平成16年度応募点数580点) 童美展・・・小学校就学前の子どもの展覧会で, 近畿一円から応募がある。(平成16年度応募点数7,132点) わたしの芦屋展・・・市民参加型の公募展で隔年に実施。(平成16年度応募点数181点)								
アウトプット	結果指標(1)	指標名	公募展開催回数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	3	2	3	2	3			
	単位コスト								
指標	結果指標(2)	指標名	公募展応募点数						
		年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)		
	指標値	8,117点	8,098点	7,893点	8,000点	8,000点			
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市民及び全国の美術愛好者及び幼児。							
	対象カバー率	対象数(a)		受益数(b)	7,893点	比率(b÷a)%			
対象・意図	意図(対象を主語にして)	市民等多くのプロからアマチュアまで絵画等を通じて自己表現の場であり, 生涯学習機会の提供を図る。							
大きな目的	目的	美術を通じ, 市民の教養の向上と生涯学習機会の提供を図り, 市民文化の振興と発展に寄与する。芦屋市展・童美展とも歴史が長く, その果たしてきた役割は非常に大きい。							
アウトカム	中間成果	指標名	公募展応募点数						
		考え方・式	公募展に応募する点数。						
	年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)			
	指標値	8,117点	8,098点	7,893点	8,000点	8,000点			
最終成果	指標名	市民及び団体の公募展(童美展)応募点数。							
	考え方・式	公募展(童美展)に応募してきた芦屋市民及び市内団体の数。							
年度	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(目標)	平成18年度(目標)				
指標値	33	42	27	40	40				
芦屋市の特色など補足する事項	補足事項	芦屋市展・童美展とも戦後の混乱期から現在まで続く公募展で, 本市のみならずわが国の美術界に果たした役割は多大であり, 高く評価されている。特に, 童美展の目的は, ~個々の創意を重視し, 自由でたくましい魂の発展に寄与する~のもとに集まってくる作品群は美術博物館を埋め尽くし熱気で包む。							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	90	住民1人当り(円)	39	平成17.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	24.9%	338	568	879	-
	事業費	75.1%	2,132	3,558	2,646	2,682
	他部門経費			0		-
	減価償却費			0		-
合計	100.0%	2,470	4,126	3,525	2,682	
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他	36.4%	0	1,445	1,283	1,225
一般財源	63.6%	2,470	2,681	2,242	1,457	
活動配分(人)	職員	#DIV/0!	0.05	0.07	0.00	-
	嘱託・臨時等					-
合計		0.05	0.07	0.00	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト				1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	3	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である	<input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適應している	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要					
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる						
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		4	4	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない			
-成果向上余地(1~ 1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		<input type="checkbox"/> 特になし					
効率性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 全国の美術館	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____	<input type="checkbox"/> 把握していない	0	0	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない	↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり	<input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3)	<input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	<input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない	↳ 内容: _____	コストの見直しで削減を行う。			
平成16年評価内容及び改善の方向性	平成16年度評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> C	平成16年度実施した改善の方向性	<input type="checkbox"/> 改善し,効果を得た	<input type="checkbox"/> 改善したが,効果がなかった	総合評価	B	B
平成16~17年度に実施した改善内容	課題	・内容に偏りがあると指摘されている。	改善内容	・新たに具象部門を設けたり,審査員の選考にも配慮した。				

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・応募作品や審査員の構成に偏りがあるとされ続けている。今後も一定の改善が必要である。 ・PRの強化し,市民の参加を増加する。 						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
その他考えられる改善のアイデア	「賞」等にスポンサーを積極的にさがす。						
平成18~20年度の方向性	市民の参加率の向上。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
					統合/終期設定		
					廃止/休止		
2次評価委員会コメント	指定管理者制度等の導入を図ってください。						

芦屋市

〒659-8501
兵庫県芦屋市精道町7番6号
芦屋市役所 総務部行政経営課

電話(直通) 0797-38-2009
FAX 0797-31-4841
E-mail info@city.ashiya.hyogo.jp